

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験の授業への展開	備考
					必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。	
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
		雑談と傾聴 ～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4		2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験から、患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う。	
		宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4		2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーフケア研究所グループケア人材養成講座講師、坂越総合病院倫理委員、塩竈市社福福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
		死生学 - 死を通して生を考える -	大園 康文	1 2 3 4		2	30	小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きてのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
社会系		法学	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験から、条文の読み方の解説や事例についてのコメント等において、実務感覚が反映される。	
		日本国憲法	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験から、事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。	
		日本政治経済論	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		マスメディア論	佐藤 伸	1 2 3 4		2	30	新聞社の記者として、地方記者、海外特派員を経験を生かし、授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。また、時事問題を扱うことから、できるだけホットな話題を取り上げたいので、内容が前後したり、入れ替わる可能性があります。時間が許せば、テーマに合った記事執筆体験にも取り組みます。	
		福祉経済学	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際ジャーナリストとしてアジア諸国・地域（中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール）など海外に長年駐在し、現在も中国研究者として中国が地域に与える影響などをテーマとしています。地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で価値が影響していることを紐解きます。	
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際ジャーナリストとして、アジア諸国・地域（中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール）と米国（ワシントン）に長期駐在し、アジアを中心とした国際問題の新聞論評（社説）を執筆する論説委員を務めた。専門分野は現代中国研究と国際安全保障。国際政治、安全保障の理論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。	
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
		ボランティア論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会ボランティアセンターでの実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。	
		ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。	
		手話入門	荒川 涼子	1 2 3 4		2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムを参考に、医療・介護の現場に役立つ手話や知識を教示していく。	
専門教育科目	基礎／学部共通	統計学	島田 直樹	2		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	※専門科目にカウント
		疫学・保健医療統計学	島田 直樹	3		2	30	様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘱託産業医としての実務経験がある。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題を解決する際に、必要なデータの収集、解析、解釈などの統計学的手法を用いている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
		医療福祉教養講義	沢谷 洋平	1 2 3 4		1	15	青年海外協力隊での活動経験を伝達する。	
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2	30	航空会社国際線客室乗務員としての勤務経験や、医療機関で各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等の実務経験をもつ教員が担当する。国際線客室乗務員時代に身に着けた日本語おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等を活かしている。	
		総合講義 超高齢社会で認知症と向き合う	橋本 光康	1 2 3 4		1	15	病院、施設及び専門機関での臨床、勤務経験を有する各教員が臨床又は実務経験を活かして、テーマに沿った授業を展開する	
		公衆衛生学	島田 直樹	1		2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
		微生物と病気	山岸 裕和	1 2 3 4		2	30	小児科医として日常的に感染症患者の診療を行っている。小児感染症認定医の資格を有する。診療の他、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスに関する基礎研究も行っている。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。	
		リハビリテーション概論	橋本 弦太郎	2		2	30	リハビリテーション科医師としての経験を活かし、事例を示しながら学生の理解がよくなる講義を行う。	※専門科目にカウント
		関連職種連携論	橋本 光康	2		2	30	各教員は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療情報管理士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、生活相談員など各専門職の臨床経験を有する。病院や施設等に勤務する各専門職の資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
		看護論	林 圭子	1		2	30	看護師、保健師、助産師での実務経験に基づいた講義を展開することでわかりやすく、イメージしやすい。各看護の専門領域について理解することが出来る。	
		ケアマネジメント論	磯 玲子	2 3 4		1	15	介護老人保健施設における支援相談員および在宅介護支援事業所における主任介護支援専門員（管理士）としてケアマネジメントに関わった実務経験を踏まえ、事例を紹介することや模擬事例を用いたケアプラン作成の一連のプロセスについての講義を行う。	
		ケースワーク論	木村 潤	1 2		1	15	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
		保健医療福祉制度論	木村 潤	1		2	30	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
専門教育科目	専門基礎／学部共通	社会福祉学	若林 功	1 2		2	30	専門機関における相談援助（様々な事例における面接・グループワークの展開、施設内・機関間・地域連携、施設運営等の活動等）について経験を有する教員が、相談援助としての実務経験を踏まえ、各回の内容に照らし合わせ、事例など具体的な情報を加味した講義を行う。	
		臨床心理学概論	山下 夏美	2		2	30	公認心理師・臨床心理士の資格を有し、教育領域での実務に従事する教員が、学生が研修や臨床現場で出会う援助対象者の心理について、具体的にイメージできるよう、講師自身の臨床経験を活かして講義を展開します。	※専門科目にカウント
		関連職種連携ワーク	橋本 光康	3		1	30	チーム担当教員は、看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・臨床検査技師・診療放射線技師・社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・薬剤師・診療情報管理士等であり、多くの教員が実務経験がある。各チーム担当教員の多くが現場での実務経験があり、グループワークの中では、その経験を交え、学生にアドバイスをし、技術修得に活かしていく。	

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験の授業への展開	備考
				必修	選択			
専門	関連職種連携実習	家人 香代	4	1	45		各グループの実習担当教員の多くは、病院や福祉施設等での実務経験を有する。実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしている。	
	病理学	福澤 龍二	1	1	30		小児科専門医、病理専門医、細胞診専門医、分子病理専門医として国内や海外の大学や基幹病院で豊富な臨床経験をもつ教員が、実務経験を活かし、将来臨床で役に立つように医学の初歩から発展まで含めた講義を行います。	
	機能障害論Ⅰ（循環器・呼吸器・血液）	金子 順子	2	1	30		医師としての臨床経験や研究経験を活かし、最新の知見に基づく講義を行う。	
	機能障害論Ⅱ（脳神経・消化器・内分泌）	松本 政人	2	1	30		医師としての臨床経験や研究経験を活かし、最新の知見に基づく講義を行う。	
	機能障害論Ⅲ（生殖・泌尿器・運動・免疫）	北原 玉依	2	1	30		医師としての臨床経験や研究経験を活かし、最新の知見に基づく講義を行う。	
	機能障害論Ⅳ（精神・小児・老年関連疾患）	石田 徹	2	1	30		医師としての臨床経験を活かし、最新の知見に基づく講義を行う。	
	基礎看護学概論	林 圭子	1	2	30		病院での臨床経験、臨床実習指導者および看護部教育部長の経験を踏まえた上で臨床における看護とは何かを伝授することができる。看護師で実際に経験した事象（患者さんとの関わり等）を講義に組み込むことで具体的なイメージをつかむことができ、理解が深まることに繋がる。	
	看護理論	林 圭子	1	1	15		これまでの臨床看護の経験や看護基礎教育の経験を活かし、臨床における看護理論がどのように実践に活かされているのかを講義を通して教授する。	
	看護方法論（看護過程）	石井 容子	2	1	30		担当教員は、病院の看護師、訪問看護ステーション管理者として担当した患者の看護過程を展開実践した経験がある。臨床経験・看護基礎教育の経験をもとに、担当教員間で共同し、授業方法、事例作成、評価方法などを共有し、学生の個別指導やグループワークの指導を行う。	
	日常生活援助論Ⅰ（環境と清潔）	田代 恵美	1	1	30		看護師として臨床経験を有する教員が、病院での実務で経験した出来事を紹介しながら具体と抽象のつながりがわかるような授業展開をする。感染対策や移送、清潔援助技術については、患者さんの立場に立った援助方法について演習を行う。	
	日常生活援助論Ⅱ（食事と排泄）	林 圭子	1	1	30		病院での臨床看護経験を持つ教員が、病院での実務で経験した出来事を紹介しながら具体と抽象とのつながりがわかるような授業展開をする。食事援助・排泄援助・安全安楽援助は、患者さんの立場に立った援助方法について演習をおこなう。	
	看護技術論Ⅰ（ヘルスアセスメント）	田代 恵美	1	1	30		本科目の指導に関わる教員は、全員臨床で患者に対し看護師として看護を実践している。看護実践に必要な知識と技術、患者への関わり方などが本科目の指導の中で活用される。	
	看護技術論Ⅱ（診療支援技術）	石井 容子	1	1	30		担当教員は、これまでの臨床看護師経験や看護基礎教育の経験を活かし、臨床における患者との適切なコミュニケーション方法、技術実践時の観察ポイントおよび観察方法、安全安楽な技術等の教育を行う。	
	基礎看護学実践演習	石井 容子	2	1	30		教員は臨床における看護実務経験者であり、多くの患者、家族、多職種専門職とのコミュニケーションを成立させながら職責を果たした経験がある。実際の臨床現場における経験に基づいた演習を実施する。	
	看護管理学	村岡 亜紀	3	2	30		認定看護管理者の資格と看護管理者実践における理論と実践を交えつつ、医療安全管理者の経験も活かしながら、臨床現場の実践がイメージできるよう授業を展開していく。	
	基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）	田代 恵美	1	1	45		病院での看護師としての実務経験を生かし、臨床経験での事象を教材化し、具体的事例として取り入れている。臨床の場における行動等について具体的に指導できる。	
	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	石井 容子	2	2	90		実習担当教員はこれまでの臨床看護の経験や看護基礎教育の経験を活かし、臨床における患者へのコミュニケーション、観察、臨床推論などを学修する学生の教育を行う。	
	成人看護学概論	金子 順子	2	1	15		看護職としての臨床経験を有する教員が、成人期特有の看護師のあり方、実務内容などを経験知から講義する。	
	急性期看護学方法論	松本 政人	2	1	30		急性期看護学方法論では、教員が急性期医療の現場で培った経験を活かし、急性期看護に必要な知識をわかりやすく学べる内容を提供する。	
	慢性期・回復期看護学方法論	舟木 智恵	2	1	30		成人看護領域の臨床で経験した事例などを踏まえながら、具体的かつ実践的な看護展開に対する解説を加える。	
	がん・緩和ケア看護学方法論	金子 順子	2	1	30		成人看護領域の臨床経験のなかで経験した事例などを踏まえながら、具体的かつ実践的な看護展開に対する解説を加える。	
	急性期看護学演習	松本 政人	3	1	30		急性期での豊富な実務経験を活かし、急性期医療の現場や具体的な事例を提示し、援助技術では臨床現場で実践可能なレベルまで講義する。	
	慢性期・回復期看護学演習	舟木 智恵	3	1	30		成人看護領域の臨床経験のなかで経験した事例などを踏まえながら、具体的かつ実践的な看護展開に対する解説を加える。	
	救急医療とクリティカルケア看護	松本 政人	3	1	15		クリティカルケア領域での豊富な実務経験を活かし、医療の現場や具体的な事例を提示しながら講義を展開する。	
	高齢者看護学概論	松本 明美	2	1	15		医療機関をはじめ高齢者施設での看護の経験が豊富にあり、現在も介護予防や認知症の研究等でも高齢者を対象として進める教員が、看護師、社会福祉士、介護支援専門員等の資格と実務経験を活かし、高齢者看護の社会的基盤である福祉的目線やそれらの経験を授業に盛り込み、より社会の求める高齢者看護の能力向上に努めている。	
	高齢者看護学方法論Ⅰ（生活機能を整える看護）	村山 久美子	2	1	30		看護の臨床経験が豊富であり、特に高齢者への看護を重点的に臨床・研究に取り組む教員が、臨床経験を授業に盛り込み、より実践的な高齢者看護の能力向上につなげるようにしている。	
	高齢者看護学方法論Ⅱ（生活・療養の場における看護）	松本 明美	3	1	15		看護の臨床経験が豊富であり、特に高齢者への看護を重点的に臨床・研究に取り組む教員が、臨床経験を授業に盛り込み、より実践的な高齢者看護の能力向上につなげるようにしている。また、老人看護専門看護師、認知症看護認定看護師などの資格をもつ講師の講義も盛り込みながら、高齢者について学びを深めて行く。	
	高齢者看護学演習	松本 明美	3	1	30		看護経験が豊富であり、高齢者看護学分野での研究も積極的に行う教員らが、それぞれの臨床経験をグループワークのファシリテーターとして活用し、より臨床に迫ったシミュレーション教育ができるようにしている。	
	小児看護学概論	高山 裕子	2	1	15		小児医療や母子保健活動における看護師・保健師の実務経験を生かし、事例や具体例を通した実践的教育を展開する。	
	小児看護学方法論	高山 裕子	2	2	30		小児医療や母子保健活動における看護師・保健師の実務経験を生かし、事例や具体例を通した実践的教育を展開する。	
	小児看護学演習	高山 裕子	3	1	30		看護師等の資格を有し、病院あるいは地域の母子保健等に携わった実務経験者である教員が、病院での臨床経験等を得た知識や技術を生かした実践的教育を行う。	
	リプロダクティブヘルス看護学概論	北原 玉依	2	1	15		講義担当者は産科での実務経験を活かし、実際のケース等や研究成果を例示しながら、授業を展開する。	
	リプロダクティブヘルス看護学方法論	北原 玉依	2	2	30		科目担当者は産科及び産科混合病棟での実務経験での具体例を講義の中に取り入れながら教授する。	
	リプロダクティブヘルス看護学演習	高瀬 寛子	3	1	30		妊娠婦と新生児のアセスメントやケアに必要な技術の実際を、視聴覚教材や教員の実際の体験などを用いて説明する。またモデル人形を用いて教員がデモンストレーションを行い、学生も体験する。	
	精神看護学概論	石田 徹	2	1	15		メンタルヘルスに関する豊富な経験をもつ看護教員が、講義内容に、臨床現場で出逢った事例と支援の実際を組み込み、理論と実践が結びつくよう教授する。	
	精神看護学方法論	石田 徹	2	2	30		メンタルヘルスに関する豊富な経験をもつ看護教員が、臨床経験を講義等に取り込み、知識と実践の統合が図れるよう分かりやすく教授する。	
	精神看護学演習	堀井 さやか	3	1	30		担当教員は、精神看護に関わる豊富な臨床経験と教育経験をもっている。また精神医療に関連する教育機関や施設とのネットワークを持ち、そこで得られる最新の情報やエビデンスも教育内容、教授方略に取り入れている。臨床事例をとりあげ、知識と実践の統合が図れるよう教授する。	
	地域・在宅看護学概論	荒川 博美	1	2	30		在宅看護分野での看護職（保健師・看護師）の実務経験者で、地域で行われている療養者と家族への支援や地域包括ケア、退院支援等の在宅看護の実務経験を有する教員が、経験に基づく事例等で、より在宅看護の実際をイメージしやすく、また、幅広い観点から対象者理解や看護について授業展開を深める。	
	地域・在宅看護学方法論Ⅰ（生活を支える看護）	秋葉 喜美子	2	2	30		地域・在宅看護学分野での看護職（保健師・看護師）の実務経験者である教員が、臨床経験を活かし、事例や現在の課題を踏まえ、生活を支える看護や看護過程の実際について、幅広い視野から授業展開を行う。	
	地域・在宅看護学方法論Ⅱ（対象別看護）	荒川 博美	3	1	15		地域で行われている療養者と家族への支援や地域包括ケア等の在宅看護の実務経験を生かして、事例を通して具体的な在宅看護の支援方法を教授する実践的教育を行っている。	

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験の授業への展開	備考
				必修	選択			
	地域・在宅看護学演習	秋葉 喜美子	3	1		15	在宅療養者とその家族への看護、多職種連携等の在宅看護の実務経験を基に、より具体的な在宅看護過程や必要な技術等を教授する実践教育を行う。	
	生活療養支援実習Ⅰ（介護予防・生活支援実習）	村山 久美子	2	1		45	本授業に関わる教員全員が看護の臨床経験が豊富であり、特に高齢者への看護を重点的に臨床・研究に取り組んでいる。臨床経験を授業に盛り込み、より実践的な看護の能力向上につなげるようにしている。	
	生活療養支援実習Ⅱ（周手術期・リハビリテーション看護学実習）	金子 順子	3	2		90	成人看護領域で豊富な実務経験から、受け持ち患者の疾患、治療、看護を結びつけ指導する能力に優れている。実習中の課題についても速やかに対応できる。	
	生活療養支援実習Ⅲ（慢性・回復期看護学実習）	金子 順子	3	3		135	成人看護領域で豊富な実務経験から、受け持ち患者の疾患、治療、看護を結びつけ指導する能力に優れている。実習中の課題についても速やかに対応できる。	
	生活療養支援実習Ⅳ（施設看護実習）	松本 明美	3	2		90	本実習に関わる教員全員が看護の臨床経験が豊富であり、特に高齢者を中心とした施設等の看護を重点的に臨床・研究に取り組んでいる。実習の展開には、臨床経験をもとにした指導内容を盛り込み、より実践的な高齢者看護の能力向上につなげるようにしている。	
	生活療養支援実習Ⅴ（地域療養支援サービス実習）	松本 明美	3	1		45	本実習に関わる教員全員が看護の臨床経験が豊富であり、特に高齢者への看護を重点的に臨床・研究に取り組んでいる。実習の展開には、臨床経験をもとにした指導内容を盛り込み、より実践的な高齢者看護の能力向上につなげるようにしている。	
	小児看護学実習	高山 裕子	3	2		90	病院あるいは地域の母子保健活動等に携わった実務経験者である教員が、病院等での臨床経験等で得た知識や技術を生かした実践的教育を行う。	
	リプロダクティブヘルス看護学実習	北原 玉依	3	2		90	産科及び産科混合病棟での助産師、看護師の実務経験をともに、女性のライフコースが多様化している状況に合わせて教授する。	
	精神看護学実習	石田 徹	3	2		90	精神看護に関連した豊富な臨床経験をもつ教員が、精神看護の知識と技術の統合が図れるよう、病院や地域での施設の中で臨床指導者と連携をとりながらわかりやすく教授する。	
	地域・在宅看護学実習	荒川 博美	3	2		90	担当教員は、地域で行われている療養者と家族への支援や地域包括ケア等の在宅看護の実務経験を生かし、実習を通して具体的な在宅看護の支援方法やあり方を教授する実践的教育を行っている。	
	看護管理学演習	村岡 亜紀	4	1		30	看護を取りまく社会情勢や保健医療制度の変革の中で、看護管理者として長年実践してきた経験を持つ。認定看護管理者の資格と看護管理実践における理論を交えつつ、臨床現場の実践がイメージできるような授業を展開していく。	
	国際看護学	高山 裕子	4	1		15	国際看護活動の経験者である各担当者がそれぞれの経験を生かした講義を行い、グローバル化社会における国際看護や異文化看護の課題へと展開を図る。	
	家族看護学	北原 玉依	2	1		15	産科または在宅における家族看護実務経験者である教員が、家族看護の実践について、病院や地域・在宅で実際に体験した事例などを用いて説明する。	
	看護倫理学	村岡 亜紀	2	1		15	担当教員は、大学病院で看護管理者として、病棟管理（内科系・外科系・感覚器病棟）、管理部門（看護部人事室、情報担当、医療安全管理者：ジェネラルリスクマネージャー）等に従事し、日本看護協会認定認定看護管理者の資格等、体系的な知識を用い、実践の倫理場面に活かしてきた実務経験を持つ。臨床現場における倫理的思慮決定等の実務経験を活かし、授業に展開する。	
	災害看護学	村岡 亜紀	4	2		30	担当教員は、東京都指定災害拠点病院で長年看護部長として従事、病院内の災害対策委員会や病院災害医療マネジメント部のDMAT隊員等とともにSTART法やPAT法等、災害対策に関する講習会の企画・運営に関わり、医療安全管理ジェネラルリスクマネージャーの実務経験を有する。実務経験を生かし、トリアージ方法、人為的災害と自然災害の違い、実践的に看護師として災害時に必要な知識と行動を重点的に展開する。	
	公衆衛生看護学概論	家入 香代	1	2		30	行政保健師としての経験を活かし、公衆衛生看護活動の基礎となる概念・理論・方法・技術等について、事例を提示しながら教授する。	
	公衆衛生看護学方法論	桑野 美夏子	4	2		30	保健師・看護師として、地域で暮らし対象への支援の実務経験を通して、具体的な公衆衛生看護における個人・家族・集団の支援方法を教授する実践的教育を行っている。	
	対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）	松永 洋子	4	2		30	公衆衛生看護分野の行政保健師としての実務経験を生かして、事例を通して具体的な公衆衛生看護の支援方法を教授する実践的教育を行っている。	
	対象別保健活動論Ⅱ（障害別）	松永 洋子	4	1		15	公衆衛生看護分野の行政保健師としての実務経験を生かして、事例を通して具体的な公衆衛生看護の支援方法を教授する実践的教育を行っている。	
	地域診断論	松永 洋子	3	1		30	保健師として、地域診断を基に公衆衛生看護活動を展開してきた実務経験を活かし、地域診断の具体的な展開方法を教授する実践的教育を行っている。	
	健康教育論	桑野 美夏子	3	2		30	地域で健康教育を実施してきた保健師・看護師の実務経験を活かし、効果ある健康教育の理論・技術を教授する実践的教育を行っている。	
	産業保健論	松永 洋子	2	1		15	保健師経験を活かし、働く世代の健康問題と労働衛生施策、産業看護職（主に保健師）の果たす役割について教授する。	
	学校保健論	桑野 美夏子	2	1		15	公衆衛生看護分野の保健師・養護教諭としての実務経験を生かして、事例を通して具体的な公衆衛生看護の支援方法を教授する実践的教育を行っている。	
	健康危機管理論	桑野 美夏子	3	1		15	地域で公衆衛生看護活動を実践してきた実務経験者が、実務経験を盛り込みながら、危機発生時の法的根拠、保健活動の機能・役割をおさえ、具体化できるように演習を交えて、教授する。	
	公衆衛生看護管理論	家入 香代	4	2		30	行政保健師としての経験を活かし、公衆衛生看護活動の基礎となる概念・理論・方法・技術等について、事例を提示しながら教授する。	
	公衆衛生看護特論	松永 洋子	4	1		30	公衆衛生看護分野での実務経験を生かして、具体的な公衆衛生看護を教授する実践的教育を行っている。	
	公衆衛生看護学実習	松永 洋子	4	4		180	実際の公衆衛生看護活動に携わった実務経験を生かし、実習を通して具体的な公衆衛生看護の支援方法やあり方を教授する実践的教育を行っている。	

卒業要件単位	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	156	単位

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数	時間	実務経験の授業への展開	備考
					必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4	2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。	
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
		雑談と傾聴 ～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4	2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験から、患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う。	
		宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4	2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のことに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
		死生学 - 死を通して生を考える -	大園 康文	1 2 3 4	2	30	小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きたのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30	弁護士としての実務経験から、条文の読み方の解説や事例についてのコメント等において、実務感覚が反映される。	
		日本国憲法	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30	弁護士としての実務経験から、事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。	
		日本政治経済論	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておきたい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		マスメディア論	佐藤 伸	1 2 3 4	2	30	新聞社の記者として、地方記者、海外特派員を経験を生かし、授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。また、時事問題を扱うことから、できるだけホットな話題を取り上げたいので、内容が前後したり、入れ替わる可能性があります。時間が許せば、テーマに従った記事執筆体験にも取り組みます。	
		福祉経済学	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておきたい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
総合系	国際関係論	アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4	2	30	国際ジャーナリストとしてアジア諸国・地域（中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール）など海外に長く駐在し、現在も中国研究者として中国が地域に与える影響などをテーマとしています。地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいづれの領域にもさまざまな形で臨界が影響していることを理解します。	
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4	2	30	国際ジャーナリストとして、アジア諸国・地域（中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール）と米国（ワシントン）に長期駐在し、アジアを中心とした国際問題の新聞論評（社説）を執筆する論説委員を務めた。専門分野は現代中国研究と国際安全保障。国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。	
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておきたい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
		ボランティア論	中村 哲也	1 2 3 4	2	30	さらに自身のボランティア活動経験から課題設定を生かした講義を展開する。	
	総合系	ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4	2	30	地域の手話者や聴覚障害者、手話通訳者の立場、また障害者権利の立場から、厚生労働省策定手話専任員養成カリキュラムを参考に、医療・介護の現場に役立つ手話や知識を教示していく。	
		手話入門	荒川 涼子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておきたい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておきたい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておきたい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		医療福祉教養講義	沢谷 洋平	1 2 3 4	1	15	青年海外協力隊での活動経験を伝達する。	
専門教育科目	専門基礎／学部共通	メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4			航空会社国際線客室乗務員としての勤務経験や、医療機関で各種医療従事者と協働し、患者様接客、クレーム対応等の実務経験をもった教員が担当する。国際線客室乗務員時代に身につけた日本語でもてなしのマナー、世界のマナー・文化の実体験、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活用している。	
		総合講義 一超高齢社会で認知症と向	橋本 光康	1 2 3 4	1	15	病院、施設及び専門機関での臨床、勤務経験を有する各教員が臨床又は実務経験を活かして、テーマに沿った授業を展開する。	
		公衆衛生学	野元 謙作	1 2 3 4	2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
		微生物と病気	山岸 裕和	1 2 3 4	2	30	小児科医として日常的に感染症患者の診療を行っている。小児感染症認定医の資格を有する。診療の他、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスに関する基礎研究も行っている。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。	
		リハビリテーション概論	若江 幸三良	1	2	30	日本整形外科学会専門医であり、本大学構内クリニックで整形外科診療を行う教員が、過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をともに、実際の経験症例を提示する。	※専門科目にカウント
		関連職種連携論	橋本 光康	2	2	30	各教員は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療情報管理士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、生活相談員など各専門職の臨床経験を有する。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
		看護論	林 圭子	1	2	30	各看護者の専門領域について理解するとともに、実際の経験症例を提示する。また、イメージしやすい各看護者の専門領域について理解することができる。	
		ケアマネジメント論	磯 玲子	2 3 4	1	15	介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員（管理者）としてケアマネジメントに関わった実務経験を踏まえ、事例を紹介することや模擬事例を用いたケアプラン作成の一連のプロセスについての講義を行う。	
		ケースワーク論	木村 潤	1 2 3 4	1	15	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
		保健医療福祉制度論	木村 潤	1 2 3 4	2	30	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
		社会福祉学	若林 功	1 2 3 4	2	30	専門機関における相談援助（様々な事例における面接・ソーシャルワークの展開、施設内・機関間・地域連携、施設運営等の活動等）について経験を有する教員が、相談援助職としての実務経験を踏まえ、各回の内容に照らし合わせ、事例など具体的な情報を加味した講義を行う。	
		臨床心理学概論	杉野 珠理	2	2	30	臨床心理士、公認心理師の資格を有し、企業、自治体においてカウンセリング業務に従事する教員が、学生が研修や臨床現場で出会う援助対象者の心理について、具体的にイメージできるように、講師自身の臨床経験を基に講義を展開し、各看護者の専門領域について理解するとともに、実際の経験症例を提示する。	※専門科目にカウント
		関連職種連携ワーク	橋本 光康	3	1	30	チーム担当教員は、看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・臨床検査技師・診療放射線技師・社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・薬剤師・診療情報管理士等であり、多くの教員が実務経験がある。各チーム担当教員の多くが現場での実務経験があり、グループワークの中では、その経験を交え、学生にアドバイスをし、技術修得に活かしていく。	
		関連職種連携実習	家入 香代	4	1	45	各グループの実習担当教員の多くは、病院や福祉施設等での実務経験を有する。実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていく。	
		専門基礎	運動学Ⅰ（基礎）	小林 薫	1	1	30	理学療法士として効果的な運動あるいはリスクの回避において、運動学の知識は必要不可欠である。そのため、実務経験から得た知識やスキル、日常のありふれた現象の「なぜ？」を講義に活かす。
運動学Ⅱ（応用）	小林 薫		1	1	30	理学療法士として効果的な運動あるいはリスクの回避において、運動学の知識は必要不可欠である。そのため、実務経験から得た知識やスキル、日常のありふれた現象の「なぜ？」を講義に活かす。		
運動生理学	小林 薫		1	2	30	理学療法士として効果的な運動あるいはリスクの回避において、運動生理学の知識は必要不可欠である。そのため、実務経験から得た知識やスキル、日常のありふれた現象の「なぜ？」を講義に活かす。		
臨床医学概論	糸数 昌史		2	1	30	急性期、回復期での臨床経験および教員経験に基づくコンテンツを授業の一部で展開。		
	内科学Ⅰ（基礎）	前田 眞治	2	1	30	各担当は内科医師として、病院などで診療している。授業内容には内科医師として、臨床場面に加味して講義を展開している。講義の中で患者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。		

	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験の授業への展開	備考
				必修	選択			
	内科学Ⅱ（臨床）	前田 眞治	2	1		30	各担当は内科医師として、病院などで診療している。授業内容には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で患者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。	
	神経学Ⅰ（基礎）	野崎 一朗	2	1		30	脳神経内科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。	
	神経学Ⅱ（臨床）	野崎 一朗	2	1		30	脳神経内科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。	
	整形外科Ⅰ（基礎）	若江 幸三良	2	1		30	整形外科医として、過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をともに、実際の経験症例を提示する。	
	整形外科Ⅱ（臨床）	若江 幸三良	2	1		30	整形外科医として、過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をともに、実際の経験症例を提示する。	
	精神医学Ⅰ（総論・各論）	古城 慶子	2	1		30	精神科医師として病院で精神科実地臨床を踏まえて、症例を提示しながら、学生の理解が深まる講義を展開している。	
	運動学実習Ⅰ（基礎）	糸数 昌史	2	1		45	理学療法士として、運動による身体の運動学的・運動生理学的変化およびパフォーマンス変化を捉えることは必須のスキルである。また、各種の機器操作やそこから得られる情報を正確に理解しなければならない。そのため、実務経験から得た知識やスキル、機器操作のコツなどを実習に活かす。	
	運動学実習Ⅱ（応用）	糸数 昌史	2	1		45	理学療法士として、運動による身体の運動学的・運動生理学的変化およびパフォーマンス変化を捉えることは必須のスキルである。また、各種の機器操作やそこから得られる情報を正確に理解しなければならない。そのため、実務経験から得た知識やスキル、機器操作のコツなどを実習に活かす。	
	人間発達学	糸数 昌史	2	1		30	理学療法士として、重症心身障害児施設での子どもや両親との関わりの中から得られた経験を基にした内容を学ぶことができる。	
	リハビリテーション医学	橋本 弦太郎	3	1		30	授業内容にはリハビリテーション科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で障害者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。	
	スポーツ傷害学	松本 千晶	2 3 4		1	15	急性期総合病院でのスポーツ傷害に対する治療経験やスポーツ現場でのチームトレーナーとして活動した経験を活かし、特に傷害発生後の対応やその後の管理、症状、治療方針、等に関する内容を講義に含める。	
	外科学	吉田 昌	2 3 4		1	15	医師として、病院などで診療をしており、経験や実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開していく。	
専門	理学療法概論	糸数 昌史	1	2		30	理学療法士の実務経験を生かし、現場での経験、体験、チーム医療の中での理学療法的位置づけなどを展開する。	PT基礎
	PTスキルⅠ演習（課題発表・PBL）	糸数 昌史	1	1		30	病院、高齢者施設、小児施設など幅広い分野で理学療法士としての実務経験があり、多くの領域における理学療法の展開について講義およびディスカッションしていく。	PT基礎
	PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	糸数 昌史	2	1		30	理学療法士として、理学療法評価から問題点を抽出するという一連の過程は必須のスキルである。また、得られた情報を正確に理解しなければならない。そのため、実務経験から得た知識やスキル、コツなどを演習に活かす。	PT基礎
	病態運動学	石坂 正大	3	2		30	呼吸・循環の疾患を有する患者の運動療法の実務に関わった臨床経験や、運動器系の障害・疾患を有する患者の運動療法の実務に関わった臨床経験をもつ担当教員が、理学療法士の免許取得後に経験した臨床での実務と関連付けを行いながら講義を進行する。	PT基礎
	運動心理学	渡邊 観世子	1 2 ③ 4		1	15	理学療法士の臨床で患者さんにもみられる現象やスポーツ現場でのアスリートにもみられる現象を、運動心理学的な情報処理アプローチの観点からみたときにどう解釈できるのか、またどう治療に活用できるのかを講義内容に含めている。	PT基礎
	スポーツ心理学	松本 千晶	1 2 3 ④		1	15	理学療法の臨床は患者さんへの動作を学習してもらう側面がある。スポーツ心理学における数式やフィードバックの知見が、実際の臨床での学習にどのように応用することができるのかについて、講義の中に含めている。	PT基礎
	スポーツ医科学	松本 千晶	1 2 ③ 4		1	15	理学療法士として、医療現場、スポーツ現場や試合会場におけるサポートでの経験で得た事例や実践内容を授業内へ反映させ、実践的な知識へと結びつける。また、授業に臨場感を持たせる。	PT基礎
	理学療法評価学	原 毅	2	2		30	急性期医療機関で理学療法士として経験を基に、臨床に必須な理学療法評価に関する知識と技術について講義する。	PT評価
	理学療法診断学Ⅰ（基礎）	小野田 公	2	1		30	理学療法士としての実務経験より臨床現場で必要になる評価技術を指導し、臨床実習などで自立して評価ができるように学修・演習をしていく。	PT評価
	理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	小野田 公	2	1		30	理学療法士としての実務経験より臨床現場で必要になる評価技術を指導し、臨床実習などで自立して評価ができるように学修・演習をしていく。	PT評価
	理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	沢谷 洋平	2	1		15	理学療法士として総合病院、介護保険領域で実務経験を有する教員が、神経系の働きと疾病、障害との関連や具体的な症状など、実務経験を反映させた授業を展開する。	PT評価
	理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	飯島 進乃	② 3 4		1	15	理学療法士としての臨床経験を踏まえ、学生として知っておくべき筋電図検査に関する基礎的事項について講義を展開する。	PT評価
	動作分析学	屋嘉比 章紘	② 3 4		1	15	急性期病院、回復期病院、介護保険領域での実務経験のある教員、重症心身障害児施設においての実務経験のある教員が、各期での実務経験を活かし、病院での動作分析（主として歩行、起立の基本動作）や在宅での動作分析の知識と経験を授業に展開する。	PT評価
	臨床動作分析学	屋嘉比 章紘	2 ③ 4		1	15	急性期病院、回復期病院、介護保険領域での実務経験のある教員、重症心身障害児施設においての実務経験のある教員が、理学療法士が実際の動作分析を実施する過程を踏まえた講義を展開する。	PT評価
	運動負荷学	伊藤 晃洋	2 ③ 4		1	15	専門理学療法士（心血管/呼吸/糖尿系）／血管診療技術／心電図検定2級/日本循環器理学療法学会 専門会員A/日本心臓リハビリテーション学会会員で急性期病院に勤務し、内部障害領域に従事している教員が、スポーツ領域における、運動負荷試験を含む運動機能計測に従事していた教員が、各資格から疾患における基礎知識や運動負荷時の注意点、心電図変化等について授業を展開する。また、内部障害領域における臨床経験を踏まえ、実際の症例の進め方を学習する。	PT評価
	理学療法計測法	広瀬 環	② 3 4		1	15	理学療法士の臨床で用いられる評価は、関節可動域や徒手筋力検査をはじめ、測定をそのベースにしている。臨床でばらつきをみせる測定の原因をどのようにクリアしていけばよいかを総合病院、介護保険領域、介護予防での実務経験のある教員らの臨床の経験に統計的手法をからめながら講義する。	PT評価
	クリニカルリズニング	糸数 昌史	2 ③ 4		1	15	理学療法士として様々な施設での勤務経験のある教員らが、実際に経験した症例をもとに評価や推論のあり方や注意点を講義する。	PT評価
	高次脳機能障害学	沢谷 洋平	2 ③ 4		1	15	理学療法士として総合病院、介護保険領域で勤務経験があり、その臨床経験を授業資料や説明に反映させていく。	PT評価
	物理療法Ⅰ（基礎）	原 毅	1	1		30	医療機関で理学療法士として急性期、回復期、維持期等の患者に対して物理療法を実践した経験を基に、臨床に必須な物理療法に関する知識と技術について講義する。	PT治療
	物理療法Ⅱ（応用）	原 毅	2	1		30	医療機関で理学療法士として急性期、回復期、維持期等の患者に対して物理療法を実践した経験を基に、臨床に必須な物理療法に関する知識と技術について講義する。	PT治療
	運動療法学総論	小野田 公	2	1		30	理学療法士、認定理学療法士、専門理学療法士としての実務経験より臨床現場で必要になる運動療法を指導し、臨床実習などで自立して評価ができるように学修・演習をしていく。	PT治療
	癌のリハビリテーション	原 毅	2 ③		1	15	急性期医療施設にてがん患者に対して実務経験のある理学療法士あるいは看護資格を持つ教員が、実務経験で得た知識や観察するポイント、実践すべき臨床技能を本科目の受講生に教授する。	PT治療
	生活環境学	遠藤 佳章	3	1		30	所有している理学療法士 認定理学療法士 専門理学療法士 福祉環境コーディネーターの視点から対象者の生活環境の問題点を理解できるようにするためディスカッションします。	PT治療
	義肢学	屋嘉比 章紘	3	1		30	急性期病院での実務経験から、特に切断後の管理や義肢装着早期の症状について講義に含める。	PT治療
	装具学	糸数 昌史	3	1		30	教科書レベルにとらわれず、理学療法士として医師と連携して装具の処方および装具を用いたリハビリテーションを実施した経験から臨床でよくみる場合の多い装具や患者像について適宜解説する。	PT治療
	理学療法治療総論	小野田 公	3	1		15	リハビリテーション専門医、認定理学療法士の資格を持つ教員らが、実際の臨床現場から得た知識や疾患特有の症状を講義に活かす。	PT治療
	運動器理学療法Ⅰ（基礎）	石坂 正大	3	1		30	理学療法士として効果的な運動療法あるいはリスクの回避において、運動器および運動器疾患に関わる知識は必要不可欠である。そのため、実務経験から得た知識やスキル、疾患特有の「なぜ？」を講義に活かす。	PT治療
	運動器理学療法Ⅱ（応用）	石坂 正大	3	1		30	理学療法士として、背腰痛、TKAなど患者さんを治療する機会が多く、その実務経験を生かし授業を展開する。対象者のニーズは一概ではなく、患者さんを治療するうえで必要な知識と視点を講義で説明する。	PT治療
	神経器理学療法Ⅰ（脳血管）	遠藤 佳章	3	1		30	認定理学療法士（脳卒中）、理学療法士として、急性期および回復期における治療プログラムの実施手順を踏まえた講義を展開する。	PT治療
	神経器理学療法Ⅱ（神経筋）	遠藤 佳章	3	1		30	認定理学療法士（脳卒中）、理学療法士として、神経難病に対する治療プログラムの実施手順を踏まえた講義を展開する。	PT治療
	小児理学療法学	糸数 昌史	3	1		30	理学療法士として、重症心身障害児施設で働いている経験も時に盛り込みながら講義を行う。	PT治療
	循環器理学療法学	伊藤 晃洋	3	1		15	急性期病院の内部障害領域での実務経験と、専門理学療法士（心血管/呼吸/糖尿系）、血管診療技術師（血管に関する疾患に対しての診療技術や知識を有する医療従事者に認定される資格）、心電図検定2級（一般循環器医、循環器勤務ペタラメディカルプロフェッショナル レベル）等の資格を有する教員が、各資格から循環器の各疾患に対する基礎的知識から理学療法に必要な知識・臨床技術まで講義を行う。また、内部障害領域における臨床経験を踏まえ、実際の症例の進め方を学習する。	PT治療
	呼吸器理学療法学	原 毅	3	1		15	急性期、回復期、生活期の医療施設実務経験や、内部障害系専門理学療法士、呼吸認定理学療法士の資格をもつ教員らが、臨床経験による症例・事例を教授内容と関連付けて展開することにより、理解が深まる。呼吸器障害特有のリスク管理は、実務経験による事例紹介を豊富に展開する必要がある。	PT治療
	代謝器理学療法学	石坂 正大	3	1		15	糖尿病の診断入院を病院で担当した経験のある教員らが、運動指導や理学療法評価を授業で展開する。また、身近な日常生活に話題を変えた授業展開としている。	PT治療
	地域理学療法学演習（在宅・地域）	広瀬 環	3	1		30	高齢化が加速する日本において地域理学療法学の知識は必要不可欠である。そのため、理学療法士としての実務経験から得た知識およびスキルを活かし、最新の学術的な知見を基にした説明を組み込む。	PT治療
	急性期理学療法学	伊藤 晃洋	2 ③ 4		1	15	理学療法士としての実務経験を参考に、急性期の症例を通して授業の内容を解説します。	PT治療
	スポーツ理学療法学	松本 千晶	2 ③ 4		1	15	チームトレーナーとして、病院やスポーツ競技の現場活動経験から、特に傷害発生後の対応やその後の管理、症状、治療方針、等に関する内容を講義に含める。	PT治療
	スポーツ傷害治療学	小林 薫	2 ③ 4		1	15	理学療法士として、病院やスポーツ競技の活動経験から、特に傷害発生後の対応やその後の管理、症状、治療方針、指導等に関する内容を講義に活かす。	PT治療
	ヘルスプロモーション論	伊藤 晃洋	2 ③ 4		1	15	理学療法士として、地方自治体との連携で、地域在住高齢者の体力測定や運動指導に従事する等の経験を有する教員が、地方自治体や個人が行っているヘルスプロモーション活動を授業内容に含む。	PT治療
	産科理学療法学	渡邊 観世子	2 ③ 4		1	15	認定理学療法士、専門理学療法士の臨床的な知識の応用および本講義に関する研究成果について紹介する。	PT治療
	理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学）	小野田 公	2 ③ 4		1	15	理学療法士等の実務経験より神経筋促進法に必要な技術を指導し、様々な臨床症状に合わせた治療技術を学修・演習を実施していく。	PT治療
	理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	渡邊 観世子	2 ③ 4		1	15	理学療法士として小児施設での臨床経験を有する教員が、実際の臨床場面の事例を紹介しながら講義を進める。	PT治療
	理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	糸数 昌史	2 ③ 4		1	15	理学療法士として軟部組織の問題の評価や介入は日常的であり、その知識をもとに、直接指導を行います。	PT治療

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験の授業への展開	備考
					必修	選択			
		理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	沢谷 洋平	2 ③ 4		1	15	大学関連施設で勤務する理学療法士から、整形、中枢、呼吸・循環器疾患の最新の知識と治療手技を習得する。	PT治療
		理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手）	小野田 公	③ 4		1	15	理学療法士等の実務経験よりマニュアルセラピーで必要な技術を指導し、様々な臨床症状に合わせた治療技術を学修・演習を実施していく。	PT治療
		基礎実習	糸数 昌史	1		1	45	理学療法士としての実務経験に基づき、理学療法的作用、業務、他職種との関係を説明する。	実習
		検査実習	糸数 昌史	2		2	90	理学療法士として、理学療法評価から問題点を抽出するという一連の過程は必須のスキルである。また、得られた情報を正確に理解しなければならない。そのため、実務経験から得た知識やスキル、コツなどを実習に活かす。	実習
		評価実習	糸数 昌史	3		4	180	理学療法士として、医療福祉施設での実務経験から得た知識やスキルを講義に活かす。	実習
		総合臨床実習	糸数 昌史		4	12	540	理学療法士の実務経験から得た知識やスキルのノウハウを指導内容へ展開し、臨床能力および問題解決能力の向上に努める。	実習
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	糸数 昌史		4	2	30	理学療法士としての実務経験から得た知識やスキル、問題解決のノウハウを授業へ展開し、基礎力の向上に努める。	応用PT
		理学療法特論Ⅱ（応用）	糸数 昌史	2 3 ④		2	30	理学療法士としての実務経験から得た知識やスキル、問題解決のノウハウを授業へ展開し、基礎力の向上に努める。	応用PT
		理学療法教育学	小野田 公	2 ③ 4		1	15	教育現場の経験から、相対的な価値観に基づき、専門教育自体が持つ問題点を把握している。したがって、理学療法教育というものに特化しすぎない形で展開することを心がけ、受講者自身に今後の専門教育に新しい発想が生まれてくるような構成を試みている。	応用PT
		理学療法管理学	石坂 正大	2 ③ 4		2	30	理学療法士としての臨床経験を踏まえ、学生として知っておくべき理学療法士を取り巻く法律、リハ関連の診療報酬の問題、組織管理及びリスク管理等のマネジメント等の基本的事項について講義を展開する。	応用PT
		障害者スポーツ概論	飯島 進乃	2 ③ 4		1	15	病院やバラスポーツ競技の現場活動経験から、特にバラスポーツに関わる理学療法士の役割に関する内容を講義に含める。	応用PT
		理学療法国際事情	韓 憲受	1 2 ③ 4		1	15	国際的活動においては相互理解が不可欠である。担当教員による理学療法の国際的活動の経験を活用し、国際的相互理解に必要な方法や尺度の相違を盛り込んで展開する。	応用PT

卒業要件単位	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	155	単位

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験等の授業への展開	備考	
					必修	選択				
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。		
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。		
		雑談と傾聴 ～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4		2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験から、患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う。		
		宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4		2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副会副上智大学グリーンケア研究所グループケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。		
		死生学-死を通して生を考える-	大園 康文	1 2 3 4		2	30	小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。		
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験から、条文の読み方の解説や事例についてのコメント等において、実務感覚が反映される。		
		日本国憲法	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験から、事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。		
		日本政治経済論	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人」としてこれだけは最低限知っておいてほしいと感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		
		マスメディア論	佐藤 伸	1 2 3 4		2	30	新聞社の記者として、地方記者、海外特派員を経験を生かし、授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。また、時事問題を扱うことから、できるだけホットな話題を取り上げたいので、内容が前後したり、入れ替わる可能性があります。時間が許せば、テーマに従った記事執筆体験にも取り組みます。		
		福祉経済学	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人」としてこれだけは最低限知っておいてほしいと感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際ジャーナリストとしてアジア諸国・地域(中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール)など海外に長く駐在し、現在も中国研究者として中国が地域に与える影響などをテーマとしています。地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していることを紐解きます。		
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際ジャーナリストとして、アジア諸国・地域(中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール)と米国(ワシントン)に長期駐在し、アジアを中心とした国際問題の新聞論評(社説)を執筆する論説委員を務めた。専門分野は現代中国研究と国際安全保障、国際政治、安全保障の理論と国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。		
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人」としてこれだけは最低限知っておいてほしいと感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師(脳神経外科・臨床神経生理)の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実務事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。		
		ボランティア論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会ボランティアセンターでの実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。		
ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。				
自然・情報系	総合系	手話入門	荒川 涼子	1 2 3 4		2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムを参考に、医療・介護の現場に役立つ手話や知識を教示していく。		
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人」としてこれだけは最低限知っておいてほしいと感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人」としてこれだけは最低限知っておいてほしいと感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		
		疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1 2 3 4		2	30	様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘱託産業医としての実務経験がある。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の確立を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント	
		医療福祉教養講義	沢谷 洋平	1 2 3 4		1	15	青年海外協力隊での活動経験を伝達する。		
	総合系	メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2	30	航空会社国際線客室乗務員としての勤務経験や、医療機関で各種医療従事者と協働し、患者様接客、クレーム対応等の実務経験をもつ教員が担当する。国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接客、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。		
		総合講義 一超高齢社会で認知症と向き	橋本 光康	1 2 3 4		1	15	病院、施設及び専門機関での臨床、勤務経験を有する各教員が臨床又は実務経験を活かして、テーマに沿った授業を展開する		
		専門教育科目	公衆衛生学	島田 直樹	1 2 3		2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
			微生物と病気	山岸 裕和	1 2 3 4		2	30	小児科医として日常的に感染症患者の診療を行っている。小児感染症認定医の資格を有する。診療の他、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスに関する基礎研究も行っている。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して自分からやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。	
			リハビリテーション概論	藤本 幹	1 2 3		2	30	・作業療法士としての長年の実務経験を生かし、人々が障害者をどのように捉えてきたのか、障害を有する人々の願いが法律や制度にどのように反映してきたのかについて教授する。 ・リハビリテーションの4分野での実務経験を生かし、支援方法(ICF、MTDLP)、記録法(SOAP、F-SOAP)の発展と、その概要について教授する。 ・職業リハビリテーション(就労支援)での実務経験を生かし、支援者として組織に関わるときの自分の使い方(use of self)の講義、演習を行う。	※専門科目にカウント
関連職種連携論	橋本 光康			2	2	30	各教員は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療情報管理士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、生活相談員など各専門職の臨床経験を有する。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。			
看護論	林 圭子			1	2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開することでわかりやすく、イメージしやすく、各看護の専門領域について理解することができる。			
専門教育科目	専門教育科目	ケアマネジメント論	磯 玲子	2 3 4		1	15	介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員(管理者)としてケアマネジメントに関わった実務経験を踏まえ、事例を紹介することや模擬事例を用いたケアプラン作成の一連のプロセスについての講義を行う。		
		ケースワーク論	木村 潤	1 2 3 4		1	15	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉士を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。		
		保健医療福祉制度論	木村 潤	1 2 3 4		2	30	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉士を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。		
		社会福祉学	若林 功	1 2 3 4		2	30	専門機関における相談援助(様々な事例における面接・ソーシャルワークの展開、施設内・機関間・地域連携、施設運営等の活動等)について経験を持つ教員が、相談援助職としての実務経験を踏まえ、各回の内容に照らし合わせ、事例など具体的な事例を加味した講義を行う。		
		臨床心理学概論	山下 夏美	1 2 3		2	30	公認心理師・臨床心理士の資格を有し、教育現場での実務に従事する教員が、学生が研修や臨床現場で出会う援助対象者の心理について、具体的にイメージできるように、講師自身の臨床経験を活用して講義を展開し、テーマを担当教員は、看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・臨床検査技師・診療放射線技師・社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・薬剤師・診療情報管理士等であり、多くの教員が実務経験がある。	※専門科目にカウント	
	専門教育科目	関連職種連携ワーク	橋本 光康		3	1	30	各チームを担当教員の多くが現場での実務経験があり、グループワークの中では、その経験を交え、学生にアドバイスをし、技術修得に活かしていく。		
		関連職種連携実習	家入 香代		4	1	45	各グループの実習を担当教員の多くは、病院や福祉施設等での実務経験を有する。実習を担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていく。		
		運動学Ⅰ(基礎)	藤本 幹		1	1	30	作業療法士の実務経験を活かし、作業療法士に必要な運動学の基礎知識を教授する。		

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験等の授業への展開	備考
					必修	選択			
門 基 礎		運動学Ⅱ(応用)	藤本 幹	1	1		30	発達障害分野の実務経験から、運動学習、正常運動発達について講義する。 自閉症スペクトラムに見られる協調性運動障害への支援経験を生かし、運動学習(運動学習理論、動機づけとパフォーマンス、教示の段階づけ)などの支援への応用の基礎を教授する。 脳性麻痺児の支援経験を生かし、運動発達を促進のための反射・反応のとりえ方、ポジショニング、ハンドリングの理論と支援方法の基礎を教授する。 また、発達障害児、精神障害者に対する、就労支援の実務経験から、動作分析、作業分析、行為分析の理論とその支援方法の基礎を教授する。	
		運動学実習	平野 大輔	2	1		45	作業療法士としての発達障害領域の施設・病院に勤務し、実務に携わった経験から、作業療法士に必要な運動学習の知識・技術を教授する。	
		運動生理学	関 優樹	2	1		30	回復期リハビリテーション病棟および介護老人保険施設で勤務し、患者、利用者の作業療法を担当する。臨床現場で得た経験、知見をもとに患者の状態像を把握するために必要な基礎知識(生理学、運動学)を教授する。 小児科専門医、病理専門医、細胞診専門医、分子病理専門医として国内や海外の大学や基幹病院で豊富な臨床および研究経験と国内外の医学部、保健医療学部での豊富な教育経験を、 上記の経験を活かし、将来臨床で役に立つよう医学の初歩から発展まで含めた講義をします。	
		病理学	福澤 龍二	2	1		30	講義の中には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。	
		内科学	前田 眞治	2	1		30	講義の中で患者などの事例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。	
		神経学Ⅰ(基礎)	野崎 一朗	2	1		30	回復期リハビリテーション病棟および介護老人保険施設で勤務し、患者、利用者の作業療法を担当する。臨床現場で得た経験、知見をもとに患者の状態像を把握するために必要な基礎知識(生理学、運動学)を教授する。	
		神経学Ⅱ(臨床)	野崎 一朗	2	1		30	脳神経内科医師としての経験を活かし、事例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。	
		整形外科Ⅰ(基礎)	若江 幸三良	2	1		30	日本整形外科学会専門医(他各種専門医)として、クリニックで整形外科診療を行う教員が、過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示する。	
		整形外科Ⅱ(臨床)	若江 幸三良	2	1		30	日本整形外科学会専門医(他各種専門医)として、クリニックで整形外科診療を行う教員が、過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示する。	
		精神医学Ⅰ(基礎)	山本 直樹	2	1		30	精神科専門医としての臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。	
		精神医学Ⅱ(臨床)	山本 直樹	3	1		30	精神科専門医としての臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。	
		リハビリテーション医学	橋本 弦太郎	3	1		30	授業内容にはリハビリテーション科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。 講義の中で障害者などの事例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。	
		人間発達学	関森 英伸	1	1		30	医療機関における実務経験に留まらず、保健・福祉・教育領域での実務経験を活かし、ライフステージに応じた人間の発達を学生に理解してもらうために、臨床現場での具体的な例を挙げながら、大切な視点、知識、保護者や家族の思い等を教授し、臨床実習や臨床に繋がる講義に繋げる。	
		病態生理学	関 優樹	2	1	15		回復期リハビリテーション病棟および介護老人保険施設で勤務し、患者、利用者の作業療法を担当する教員が、臨床現場で得た経験、知見をもとに患者の症状および状態像を把握するために必要な基礎知識(生理学、運動学)を教授する。	
		外科学	吉田 昌	2	1	15		医師としての経験を実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開している。	
		脳神経外科学	坂野 晁義	2	1	15		医師としての経験を実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開している。	
		対人援助論	奥村 隆彦	2 3 4	1	15		作業療法士として精神科病院勤務、就労支援施設(就労移行支援事業)運営ボランティアの経験を有する教員が、実務経験をもとに、対人援助の技能やその理論背景について教授し、対人援助職としてアイデンティティの涵養を促す。	
専 門		作業療法概論	陣内 大輔	1	1		15	精神障害領域、小児領域、高齢者領域、地域支援に関する臨床経験を有する教員が、作業療法士に必要な作業療法の基礎知識を教授する。	作業療法基礎学群
		作業学概論	奥村 隆彦	1	1		15	作業療法士としての精神科病院勤務、就労支援施設(就労移行支援事業)運営ボランティアの経験を有する教員が、実務経験をもとに、「人の生活と作業の意味」を伝えて、作業の治療的な有用性について、理論的背景および知識・技能について教授する。	〃
		作業工程技術学・基礎論	奥村 隆彦	1	1		30	作業療法士としての実務経験をともに、治療の媒体となる作業活動について学生たちの理解を促す。講義では知識および理論背景を教授し、演習では作業活動の特性について学ばせる。	〃
		作業工程技術学・応用論	奥村 隆彦	1	1		30	作業療法士としての病院や施設に勤務した各担当教員の実務経験をともに、治療の媒体となる作業活動について学生たちの理解を促す。それぞれの作業活動の特性について学生たちの体験を通して学びを支援する。	〃
		作業分析学Ⅰ(基礎)	平野 大輔	2	1		30	作業療法士として発達障害領域の施設・病院に勤務し、実務に携わる。施設・病院の実務から事例を多く紹介する。	〃
		作業分析学Ⅱ(応用)	平野 大輔	2	1		30	作業療法士として発達障害領域の施設・病院に勤務し、実務に携わる。施設・病院の実務から事例を多く紹介する。	〃
		作業応用論	高村 直裕	2 3 4	1	30		精神科病院や保健所DC等において作業療法士として実務経験を有しており、その経験を生かし授業において実際に用いた作業活動の導入例等を挙げながら演習を展開する。	〃
		研究法概論	平野 大輔	3	1		15	作業療法士として発達障害領域の施設・病院に勤務し、実務に携わる。施設・病院の実務から事例を多く紹介する。	〃
		作業療法管理学(倫理・管理)	陣内 大輔	4	1		15	精神科病院作業療法部門での管理業務、国及び職能団体倫理委員等の経験から、作業療法部門の管理運営、倫理問題とその対処、リスク(安全管理)、職能団体の組織と役割、生涯学習などの最新の情報提供が可能である。	〃
		作業療法総論	関森 英伸	4	1		30	身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害、地域作業療法領域での豊富な経験から、作業療法士に必要な作業療法実務および基礎医学、臨床医学に関する知識を教授する。	〃
		作業療法評価学概論	陣内 大輔	2	1		15	老年期障害領域、地域支援に関する臨床経験が豊富な教員が、作業療法士に必要な評価の基礎知識を教授する。	作業療法評価学群
		作業療法評価学各論	陣内 大輔	2	1		30	作業療法士の実務経験を踏まえ、具体的な事例に対する検査・測定を臨床的な視点も含め教授する。	〃
		基礎運動機能評価法	白砂 寛基	2	1		30	担当教員の医療機関、障害保健福祉領域における作業療法士の実務経験をともに、授業を展開する。具体的には、MMT、ROM-T、病的反射、腱反射の解説と実技演習について講義を実施する。	〃
		生活機能論	高村 直裕	2	1		30	精神科病院や保健所DC等において作業療法士として実務経験を有しており、その経験を生かし、実際の事例等を用いICFによる障害構造の理解が進むよう講義を展開する。	〃
		上肢機能評価法	平野 大輔	2	1	15		作業療法士として発達障害領域の施設・病院に勤務した経験から、施設・病院の実務から事例を多く紹介する。	〃
		日常生活活動評価法	和田 美咲	2	1	15		作業療法士としての臨床経験において日常生活活動(ADL)の評価である「FIM」および「BI」を活用した経験から、検査方法および留意点を講義で説明できる。	〃
		認知機能評価法	小賀野 操	3	1	15		回復期病院における高次脳機能障害者のリハビリテーションチームの一員としての臨床経験に基づいて症例を提示し、認知機能検査の適用について教授する。	〃
		作業療法諸理論	高村 直裕	2 3 4	1	15		オムニバス形式で各理論について各領域の病院または施設で理論に基づく実践経験のある教員が実例を用いながら講義を展開する。担当教員はいずれも作業療法士として各領域の病院または施設で経験を積む教員である。	作業療法適用学群
		作業療法適用学概論	陣内 大輔	2	1		15	精神障害領域、老年期障害領域、地域支援に関する豊富な経験から、作業療法士に必要な専門的知識の課ねおおよびあり方について教授する。	〃
		コミュニケーション技術論	渡邊 清美	2	1		30	担当教員の小児領域、障害保健福祉領域の経験を元に、実践内容を踏まえた授業を展開する。	〃
		内科系疾患作業療法学	白砂 寛基	3	1		30	作業療法士として総合病院での勤務経験から、作業療法士に必要な内科系疾患の基礎知識を教授する。	〃
		生活技術学Ⅰ(総論)	小賀野 操	2	1		30	作業療法士として対象者に日常生活活動の評価や支援を行った経験を講義中に紹介したり、リハビリテーションおよび作業療法の支援の考え方を経験した事例を通して教授する。	〃
		生活技術学Ⅱ(各論)	小賀野 操	3	1		30	作業療法士として身体障害領域の対象者に日常生活活動の評価や支援を行った経験を講義中に紹介したり、経験した事例で臨床現場に関わるグループディスカッションに必要な運動器疾患の基礎知識を教授する。	〃
		運動器疾患作業療法学	関 優樹	3	1		30	身体障害領域の回復期病院に勤務経験から、作業療法士に必要な運動器疾患の基礎知識を教授する。	〃
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ(総論)	小賀野 操	3	1		30	回復期病院で担当した事例の情報からスクリーニングの考え方を教授するなど臨床での経験を都度紹介しながら講義を展開する。	〃
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ(各論)	小賀野 操	3	1		30	回復期病院に脳卒中、神経難病のある対象者に作業療法を提供した事例の経験を教授する。また、関連施設の外部講師(OTR)からは実際に作業療法を提供した事例を紹介いただき、作業療法評価計画を立案してOTRの考えと比較検討する機会とともに、OTRの臨床推論を学ぶ機会とする。	〃
		精神疾患作業療法学Ⅰ(総論)	高村 直裕	3	1		30	精神科病院や障害者総合支援施設等において作業療法士として実務経験を有しており、その経験を生かし授業において実際の事例を挙げながら講義を展開する。各疾患別作業療法については教科書を用いた基本的知識や治療原則を学び、その後教員の経験した事例を用いて学ぶ。	〃
		精神疾患作業療法学Ⅱ(各論)	奥村 隆彦	3	1		30	各教員の実務経験をともに、精神科作業療法の対象となる疾患・障害についての作業療法の実践方法について教授する。また、精神障害領域で用いられる他の専門療法についての知識と急性期治療・退院支援・司法領域の作業療法などについても教授する。PBL学習では各教員がファシリテーターとなって学習支援を行う。	〃
		小児作業療法学Ⅰ(総論)	関森 英伸	3	1		30	医療機関における実務経験に留まらず、保健・福祉・教育領域での実務経験を活かし、小児領域における作業療法支援について学生に理解してもらうために、臨床現場での具体的な例を挙げながら、大切な視点、知識、保護者や家族の思い等を教授し、臨床実習や臨床に繋がる講義に繋げる。	〃
		小児作業療法学Ⅱ(各論)	渡邊 清美	3	1		30	各疾患に対する作業療法の展開を実践例を紹介しながら、講義する。また、ICT教材を活用したり、障害当事者、親を招いて講義してもらうことで、現実的な困り感やニーズ等を聴く機会を設ける。	〃
		認知障害作業療法学	小賀野 操	3	1		30	担当教員は、回復期病院で作業療法士として高次脳機能障害のある対象者の生活支援にかかわった経験を有する。講義では都度臨床で支援した事例を紹介するとともに作業療法支援の在り方を伝える。	〃
		認知症作業療法特論	陣内 大輔	3	1	15		作業療法士の実務経験を踏まえ、非薬物療法について臨床的な視点も含め教授する。	〃
		作業療法適用学特論	渡邊 清美	3	1	15		認知症カフェに実際に参加し、家族支援を含めた非薬物的介入の全体像を理解する。	〃
		作業療法応用学概論	藤本 幹	4	1		15	オムニバス形式にて、さまざまな領域で活躍する作業療法士の実践例を教授する。	〃
		就学・就労支援論	野崎 智仁	4	1		15	作業療法士として、精神科領域、発達障害領域、地域・リハビリテーション施設での経験のある教員が、医療、福祉、地域、学校支援などのフィールドでの実務経験(事例)を伝えながら、学生にそのフィールドの現状と問題点を伝える。教員の人間関係法思考を伝達する。その臨床思考内容を基にディスカッション、GWを展開していく。	作業療法応用学群
		職業関連技術学	奥村 隆彦	3	1		30	医療機関、小児領域、障害保健福祉領域での作業療法士の実務経験をともに、授業を展開する。具体的には、それぞれの施設基準に応じて、評価や訓練の実際、連携の取り方など、事例情報をもとにしてシームレスな支援の展開について講義を行う。	〃
		作業療法の諸外国事情	小賀野 操	2 3 4	1	15		医療機関、障害保健福祉領域での作業療法士実務経験を元に、授業を展開する。具体的には、それぞれの施設基準における評価や訓練などの事例をもとに、また事例情報など合わせて授業を行う。外部講師はJICA事業への参加経験者、海外の作業療法士免許取得者等海外での作業療法の経験を有する。	〃
		地域ケアシステム論	陣内 大輔	3 4	1	15		担当教員は、海外での臨床経験や短期技術援助の経験を持つ。外部講師はJICA事業への参加経験者、海外の作業療法士免許取得者等海外での作業療法の経験を有する。	〃
		生活支援計画論	小賀野 操	4	1	15		担当教員及び外部講師の海外での作業療法経験を講義し、議論を通して学生が海外の作業療法事情について考え、興味を深められるように努める。	〃
		障害代償学概論	白砂 寛基	2	1	15		介護福祉領域、小児領域、障害保健福祉領域の経験をともに、授業を展開する。具体的には、それぞれの施設基準における法制度の適応、また事例への対応など、臨床場面を想定した講義を行う。	〃
		義肢適用論	野崎 智仁	3	1	15		作業療法士として市介護認定審査会審査業務にあたる。実務経験を踏まえ、臨床現場の事例をもとに具体的な介護保険制度における支援計画立案について教授する。	障害代償学群
								作業療法士として総合病院で勤務した経験を生かし、作業療法士に必要な障害代償アプローチについて概論的に教授する。	〃
								担当教員の医療機関、障害保健福祉領域での実務経験を元に、授業を展開する。実際の義肢を使用している動画なども用意し、事例性も合わせて講義を行う。	〃

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験等の授業への展開	備考
					必修	選択			
		装具・副子適用論	白砂 寛基	3	1		30	作業療法士としての病院勤務経験より、装具および副子が必要となる疾患の症状・病態について学生へ説明することができ、作成方法、適応方法を教授できる。	〃
		自助具・福祉機器適用論	関 優樹	3	1		30	作業療法士としての病院および介護老人保健施設での臨床経験から、対象者の生活機能を代償する自助具の作成方法、在宅復帰に必要な福祉用具の選定および適用の手順、方法を教授できる。	〃
		住環境整備論	野崎 智仁	3	1		15	医療機関、障害保健福祉領域での作業療法士としての経験をもとに、授業を展開する。具体的には、それぞれの施設基準に応じた住環境整備の実践内容を、事例情報などを交えて講義を行う。	〃
		バリアフリー論	渡邊 清美	2 3 4		1	15	作業療法士として自身が経験した臨床の中で実際に使用したもののや、考え方を教授する。また、障害当事者の方に依頼し、直接声を聴ける機会を設定する。	〃
		臨床実習特論Ⅰ (OSCE)	和田 美咲	3		1	15	学生は臨床現場(実習)の経験が十分でなく、臨床場面の想定に不足点がある。担当教員の実務経験を生かし、学生が臨床場面を想定した演習ができるよう、具体的なアドバイスを行う。	臨床教育
		臨床実習特論Ⅱ (OSCE)	和田 美咲		4	1	15	学生は臨床現場(実習)の経験が十分でなく、臨床場面の想定に不足点がある。担当教員の実務経験を生かし、学生が臨床場面を想定した演習ができるよう、具体的なアドバイスを行う。	〃
		臨床実習ゼミⅠ (作業療法総論)	奥村 隆彦	1		1	15	臨床現場へ多くの実務経験を要する複数教員により、学生の臨床思考が養われるよう、実習ゼミを展開する。	〃
		臨床実習ゼミⅡ (作業療法実践過程)	奥村 隆彦	2		1	15	臨床現場への実務経験を要する複数教員により、学生の臨床思考が養われるよう、実習ゼミを展開する。	〃
		臨床実習ゼミⅢ (作業療法計画立案)	奥村 隆彦	3		1	15	5年以上の臨床現場への実務経験を要する複数教員により、学生の臨床思考が養われるよう、実習ゼミを展開する。	〃
		臨床実習ゼミⅣ (作業療法実践)	奥村 隆彦	4		1	15	5年以上の臨床現場への実務経験を要する複数教員により、学生の臨床思考が養われるよう、実習ゼミを展開する。	〃
卒業要件単位					126		単位		
実務経験のある教員等による授業科目					132		単位		

	授業科目の名称	教員名	配当年度	単位数		時間	実務経験の授業への展開	備考	授業コード
				必修	選択				
総合教育科目	人間系 文学論	山内 則史	1 2 3 4	2	30		新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。		1301010
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4	1	15		新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。		1301021
	雑談と傾聴 ～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4	2	30		臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験から、患者・家族の関わりやコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う。		140607Z
	宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4	2	30		世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副会副会長、大智大学グループケア研究所グループケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社協福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを知ることを目指す。		140608Z
	死生学・死を通して生を考える	大園 康文	1 2 3 4	2	30		小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。		130111Z
	法学	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30		弁護士としての実務経験から、条文の読み方の解説や事例についてのコメント等において、実務感覚が反映される。		130201Z
	日本国憲法	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30		弁護士としての実務経験から、事例について講義する際に、実務感覚が活かされる。		1402280
	日本政治経済論	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30		日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		1302141
	マスメディア論	佐藤 伸	1 2 3 4	2	30		新聞社の記者として、地方記者、海外特派員を経験を生かし、授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。また、時事問題を扱うことから、できるだけファクトと話題を盛り上げた上で、内容が前後したり、入れ替わる可能性があります。時間が許せば、テーマに合った記事執筆体験にも取り組みます。		130215Z
	福祉経済学	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30		日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		1302161
社会科学系	アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4	2	30		国際ジャーナリストとしてアジア諸国・地域（中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール）など海外に長期滞在し、現在も中国研究者として中国が地域に与える影響などをテーマとしています。地域研究の出发点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で偏見が影響していることを指摘します。		1302041
	国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4	2	30		（シンジント）に長期滞在し、アジアを中心とした国際問題の新聞論評（社説）を執筆する論説委員を務めた。専門分野は現代中国研究と国際安全保障。国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。		1302051
	世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30		日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		1302061
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4	2	30		大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かして授業においては実務事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。		130207Y
	ボランティア論	中村 哲也	1 2 3 4	2	30		社会福祉協議会ボランティアセンターでの実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。		1302121
	ボランティアコーディネイト論	中村 哲也	1 2 3 4	2	30		社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。		1406130
	手話入門	荒川 涼子	1 2 3 4	2	30		地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムを基に、医療・介護の現場に役立つ手話や知識を教示していただき、市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		1302220
	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30		日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		1302250
	経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30		日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できるように衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。		1302260
	統計学	島田 直樹	1 2 3 4	2	30		様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘱託産業医としての実務経験を有する。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題を解決する際に、必要なデータの収集、解析、解釈などの統計学的手法を用いている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント	130301Z
総合系	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1 2 3 4	2	30		様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘱託産業医としての実務経験がある。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題を解決する際に、必要なデータの収集、解析、解釈などの統計学的手法を用いている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント	1303021
	医療福祉教養講義	沢谷 洋平	1 2 3 4	1	15		若手海外協力隊での活動経験を伝達する。		1406100
	メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4	2	30		航空会社国際線客室乗務員としての勤務経験や、医療機関で各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等の実務経験をもつ教員が担当する。国際線客室乗務員時代に身に付けた日本語もてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。		140615Z
	総合講義 超高齢社会で認知症と向き合う	橋本 光康	1 2 3 4	1	15		病院、施設及び専門機関での臨床、勤務経験を有する各教員が臨床又は実務経験を活かし、テーマに沿った授業を展開する。		1406010
	公衆衛生学	野元 謙作	1 2 3 4	2	30		産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント	1308015
	微生物と病気	山岸 裕和	1 2 3 4	2	30		小児科医として日常的に感染症患者の診療を行っている。小児感染症認定医の資格を有する。診療の他、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスに関する基礎研究も行っている。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。		1408260
	関連職種連携論	橋本 光康	2	2	30		各教員は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療情報管理士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、生活相談員など各専門職の臨床経験を有する。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえ、講義を展開する。		1308041
	看護論	林 圭子	1	2	30		看護師・保健師・助産師での実務経験を踏まえ、看護学を展開することにより、イメージしやすい、各看護の専門領域について理解することができるようになる。		1408250
	ケアマネジメント論	磯 玲子	2 3 4	1	15		介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員（管理者）としてケアマネジメントに関わった実務経験を踏まえ、事例を紹介することや機械事例を用いたケアプラン作成の一連のプロセスについての講義を行う。		1308051
	ケースワーク論	木村 潤	1 2 3 4	1	15		精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。		1308060
専門教育科目	保健医療福祉制度論	木村 潤	1	2	30		精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。		1308191
	社会福祉学	若林 功	1 2 3 4	2	30		専門機関における相談援助（様々な事例における面接・ソーシャルワークの展開、施設内・機関間・地域連携、施設運営等の活動等）について経験を有する教員が、相談援助職としての実務経験を踏まえ、各回の内容に即して、具体的な事例など具体的な課題を加味した講義を行う。		1308100
	関連職種連携ワーク	橋本 光康	3	1	30		各教員は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療情報管理士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、生活相談員など各専門職の臨床経験を有する。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえ、講義を展開する。		1408240
	関連職種連携実習	家入 香代	4	1	45		各グループの実習担当教員の多くは、病院や福祉施設等での実務経験を有する。実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしている。	履修推奨科目	1308170
	病理学	福澤 龍二	1	1	15		小児科専門医、病理専門医、細胞専門医、分子病理専門医として国内や海外の大学や基幹病院で豊富な臨床経験を活かし、将来臨床で役に立つように医学の初歩から発展まで含めた講義をします。		1440030
	精神医学	山本 直樹	1	1	30		臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。	新課程	1440060
	児童精神医学	山本 直樹	1 ② 3 4	1	15		臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。		1440170
	遺伝学	久保田 紀子	① 2 3 4	1	15		小児高度専門病院にて基礎的な遺伝子解析、網羅的ゲノム解析の手法を用いた遺伝性疾患やがん関連遺伝子の臨床検査、臨床研究を行っている。これまでの経験と知識を活用し、遺伝医療・ゲノム医療についての理解を促し、多職種でのかかわりの重要性についても触れる。		1440190
	脳神経外科学	蛭野 野義	1 ② 3 4	1	15		脳神経外科医としての診療経験や実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開していく。		1440200

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数 必修 選択	時間	実務経験の授業への展開	備考	授業コード
専門	生涯発達心理学	田中 真理	1	1	30	担当教員は大学の学生相談や地域の教育相談センターなどの相談機関で、臨床心理士として幼児から中高年者までの幅広い年代を対象に相談業務を行った経験がある。授業ではこれらの実務経験をともに各ライフステージでの具体例や実例の事例を交えながら展開する。		1440381
	言語学Ⅰ	洲田 隆史	1	1	30	急性期病院および大学付属医療機関での言語聴覚療法実務経験を活かし、言語聴覚士に必要な言語学の知識を言語聴覚障害例と関連付けて説明する。		1440310
	言語学Ⅱ	洲田 隆史	1	1	30	急性期病院および大学付属医療機関での言語聴覚療法実務経験を活かし、言語聴覚士に必要な言語学の知識を言語聴覚障害例と関連付けて説明する。	新課程	1440470
	基礎音声学	洲田 隆史	1	2	30	急性期病院および大学付属医療機関での言語聴覚療法実務経験を活かし、言語聴覚士に必要な音声学の知識を言語聴覚障害例と関連付けて説明する。		1440480
	コミュニケーション技能演習	金子 弥栄子	1	1	30	科目責任者および科目担当者は言語聴覚士免許取得者であり、各種医療機関（病院）や施設等での豊富な実務経験を有している。本学関連施設での臨床業務に従事し、連携体制を固めながら当該科目の対応にあっている。各教員の臨床経験に基づいて、小児から高齢者までのコミュニケーションの特徴や技法について、講義内で指導を行う。		1441420
	内科学	前田 眞治	3	1	30	授業内容には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。		1440050
	リハビリテーション医学	橋本 弦太郎	2	1	30	講義の中では患者などの事例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。		1440070
	耳鼻咽喉科学	東野 哲也	3	1	30	授業内容にはリハビリテーション科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。		1440070
	臨床歯科医学	三田村 治樹	2	1	15	講義の中で障害者などの事例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。		1440090
	口腔外科学	岩淵 博史	3	1	15	科目責任者および科目担当者は言語聴覚士免許取得者であり、各種医療機関（病院）や施設等での豊富な実務経験を有している。本学関連施設での臨床業務に従事し、連携体制を固めながら当該科目の対応にあっている。豊富な臨床実務経験と最新の知識・理論や技法を活用し、各種講義で教授した理論を臨床教育に活用させ、知識と技術の統合を図りながら展開する。		1440120
	音声言語医学	平田 文	2	1	30	授業内容には口腔外科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。		1440130
	臨床心理学	山下 夏美	2	1	30	音声障害、構音障害、嚥下障害における臨床経験（医療機関／口腔外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科：急性期から生活期の成人／小児領域）が豊富な言語聴覚士および咽喉頭を専門とする耳鼻咽喉科医師により講義を行う。		1440140
	音声学	洲田 隆史	2	1	30	言語聴覚士、耳鼻咽喉科医師の自験例を提示し、疾患の理解や発話／嚥下メカニズムが理解できるよう講義を展開している。		1440210
	聴覚心理学	富澤 晃文	3	1	30	公認心理師・臨床心理士の資格を有し、教育領域での実務に従事する教員が、学生が研修や臨床現場で出会う援助対象者の心理について、具体的なイメージできるように、講師自身の臨床経験をもちきりながら当該科目を展開する。		1440350
	コミュニケーション障害演習	小森 規代	2	1	15	急性期病院および大学付属医療機関での言語聴覚療法実務経験を活かし、言語聴覚士に必要な音声についての知識を言語聴覚障害例と関連付けて説明する。		1440370
	言語聴覚障害学総論	小森 規代	3	1	30	担当者は、全員が言語聴覚士免許を有し、各種医療機関や施設での豊富な言語聴覚臨床の実務経験を有する。現在も本学関連施設を中心として言語聴覚業務に従事し、連携体制を固めながら当該科目を展開する。科目責任者および科目担当者は、豊富な臨床実務経験と最新の知識・理論や技法を活用し、各種講義で教授した理論を臨床教育に適用させ、知識と技術の統合を図りながら展開する。		1441030
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ	櫻岡 絵里香	2	1	30	教員は言語聴覚士として、医療・介護・教育・福祉施設での臨床経験を有し、現在も各フィールドで言語聴覚臨床に従事する。本講義は前述の臨床経験を生かし、実践的に展開される。学生が各自自立的に臨床を展開することができるようにするとともに、実臨床に必要な臨床思考能力を高めることを目指す。		1441040
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ	櫻岡 絵里香	2	1	30	急性期大学病院、回復期病院及び生活期の失語症・高次脳機能障害患者に対する言語聴覚療法の実務経験を生かして、失語症・高次脳機能障害の具体的な事例に即した講義・演習を展開するとともに、評価技術の指導を行う。		1441050
	失語症Ⅰ（評価・診断）	小森 規代	3	1	30	急性期大学病院、回復期病院及び生活期の失語症・高次脳機能障害患者に対する言語聴覚療法の実務経験を生かして、失語症・高次脳機能障害の具体的な事例に即した講義・演習を展開するとともに、評価技術の指導を行う。		1441060
	失語症Ⅱ（治療）	小森 規代	3	1	30	担当教員は急性期大学病院、回復期病院及び生活期の失語症・高次脳機能障害患者に対する言語聴覚療法の実務経験を有する。本講義は教員の臨床経験に基づき実践的に展開し、実地で活用できる臨床能力および臨床思考能力を養う。		1441070
	失語症・高次脳機能障害学演習	小森 規代	3	1	30	担当教員は急性期大学病院、回復期病院及び生活期の失語症・高次脳機能障害患者に対する言語聴覚療法の実務経験を有する。本講義は教員の臨床経験に基づき実践的に展開し、実地で活用できる臨床能力および臨床思考能力を養う。		1441080
	高次脳機能障害学	櫻岡 絵里香	3	1	30	担当教員は急性期大学病院、回復期病院及び生活期の失語症・高次脳機能障害患者に対する言語聴覚療法の実務経験を有する。本講義は上記の臨床経験を生かして、高次脳機能障害の具体的な事例に即した講義を展開する。		1441090
	言語発達障害学総論	金子 弥栄子	2	1	30	担当者は言語発達障害児の言語聴覚士臨床経験を交え講義を展開する。		1441100
	言語発達障害学各論	金子 弥栄子	2	1	30	担当者は言語発達障害児の言語聴覚士臨床経験を交え講義を展開する。		1441110
	言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	佐藤 妙子	3	1	30	担当者は言語発達障害児の臨床における言語聴覚士としての実務経験を交え講義・演習を展開する。		1441120
	言語発達障害学Ⅱ（指導）	佐藤 妙子	3	1	30	担当者は言語発達障害児の臨床における言語聴覚士としての実務経験を交え講義・演習を展開する。		1441130
	言語発達障害学Ⅲ（指導）	佐藤 妙子	3	1	30	担当者は言語発達障害児の臨床における言語聴覚士としての実務経験を交え講義・演習を展開する。		1441140
	聴覚障害学総論	佐藤 友貴	2	1	30	担当者は言語聴覚士として、小児構音障害領域（口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）で豊富な臨床経験を有し、専門的な知識と豊富な臨床技術を有している。特に、小児構音障害領域（小児医療機関／口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）はそれぞれ専門性の高い講義を展開する。		1441150
	聴覚機能評価学	佐藤 友貴	2	2	60	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441160
	聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	大金 さや香	3	1	30	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441170
	小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	大金 さや香	3	1	30	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441180
	小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	大金 さや香	3	1	30	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441190
	成人聴覚障害学（二重障害を含む）	大金 さや香	3	1	30	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441200
	発声発語障害学総論	前新 直志	2	2	30	担当者は言語聴覚士免許を有し、小児構音障害領域（口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）で豊富な臨床経験を有し、専門的な知識と豊富な臨床技術を有している。特に、小児構音障害領域（小児医療機関／口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）はそれぞれ専門性の高い講義を展開する。		1441210
	構音障害学Ⅰ（理論）	平田 文	2	1	30	担当者は言語聴覚士として、小児構音障害領域（口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）で豊富な臨床経験を有し、専門的な知識と豊富な臨床技術を有している。特に、小児構音障害領域（小児医療機関／口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）はそれぞれ専門性の高い講義を展開する。		1441220
	構音障害学Ⅱ（評価・診断）	平田 文	3	1	30	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441230
	構音障害学演習（治療）	前新 直志	3	1	45	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441240
	流暢性障害学	前新 直志	2	1	30	担当者は言語聴覚士として、小児構音障害領域（口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）で豊富な臨床経験を有し、専門的な知識と豊富な臨床技術を有している。特に、小児構音障害領域（小児医療機関／口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）はそれぞれ専門性の高い講義を展開する。		1441250
	音声障害学	平田 文	3	1	30	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441260
	摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	平田 文	3	1	30	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441270
	摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	平田 文	3	1	30	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441280
	言語聴覚障害基礎演習	佐藤 友貴	3	1	15	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441290
	言語聴覚療法特論	大金 さや香	4	1	15	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441300
	言語聴覚障害学特論（総括）	大金 さや香	4	1	15	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441310
	臨床実習Ⅰ（基礎）	佐藤 友貴	3	2	90	担当者は言語聴覚士として、小児構音障害領域（口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）で豊富な臨床経験を有し、専門的な知識と豊富な臨床技術を有している。特に、小児構音障害領域（小児医療機関／口腔外科）と成人構音障害領域（医療機関／リハビリテーション科）はそれぞれ専門性の高い講義を展開する。		1441320
	臨床実習Ⅱ（総合）	前新 直志	4	10	450	講義を担当する教員の研究実績や教育および実務経験に基づき、言語聴覚士としての心構えや姿勢および基本的な知識、技術を修得できるように展開する。		1441330

授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験の授業への展開	備考	授業コード
			必修	選択				
			卒業要件単位数		126	単位		
			実務経験のある教員等 による授業科目		126	単位		

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数	時間	実務経験の授業への展開	備考
					必修/選択			
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		雑談と傾聴 ～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4		2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーバイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験から、患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家としての、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う。
		宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4		2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自功での介護者カフェの主宰、介護者リポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グループケア研究所グループケア人材養成講座講師、坂総病院内院倫理委員、塩瀬市社協福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを生かさんと共に考えていきます。
		死生学 - 死を通して生を考える -	大園 康文	1 2 3 4		2	30	小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きて知る知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験から、条文の読み方の解説や事例についてのコメント等において、実務感覚が反映される。
		日本国憲法	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験から、事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。
		日本政治経済論	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		マスメディア論	佐藤 伸	1 2 3 4		2	30	新聞記者として体験したことをニュースの裏側に関する話を随時します。また、時事問題を扱うことから、できるだけホットな話題を取り上げたいので、内容が前後したり、入れ替わり可能性があります。時間が許せば、テーマに従った記事執筆体験にも取り組めます。
		福祉経済学	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
自然・情報	総合系	アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際ジャーナリストとしてアジア諸国・地域(中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール)など海外に長く駐在し、現在も中国研究者として中国が地域に与える影響などをテーマとしています。地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していることを紐解きます。
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際ジャーナリストとして、アジア諸国・地域(中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール)と米国(ワシントン)に長期駐在し、アジアを中心とした国際問題の新聞論評(社説)を執筆する論説委員を務めた。専門分野は現代中国研究と国際安全保障。国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師(脳神経外科・臨床神経生理)の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かしながら授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		ボランティア論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会ボランティアセンターでの実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。
	自然・情報	ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進実務経験を生かした講義。
		手話入門	荒川 渙子	1 2 3 4		2	30	さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		統計学	島田 直樹	1 2 3 4		2	30	様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘱託産業医としての実務経験がある。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題を解決する際に、必要なデータの収集、解析、解釈などの統計学的手法を用いている。その経験を授業で適宜紹介する。
専門教育科目	基礎／学部共通	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1 2 3 4		2	30	様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘱託産業医としての実務経験がある。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の確立を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。
		医療福祉教育講義	沢谷 洋平	1 2 3 4		1	15	厚生労働省協力医としての活動経験を授業で適宜紹介する。
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2	30	航空会社国際線客室乗務員としての勤務経験や、医療機関で各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等の実務経験をもつ教員が担当する。国際線客室乗務員時代身に付けた日本語もてないマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等を活用して行う。
		総合講義 一超高齢社会で認知症と向き合う	橋本 光康	1 2 3 4		1	15	病院、施設及び専門機関での臨床、勤務経験を有する各教員が臨床又は実務経験を活かして、テーマに沿った授業を展開する。
		公衆衛生学	島田 直樹	1	2	30	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。
	専門基礎	微生物と病気	山岸 裕和	1 2 3 4		2	30	小児科医として日常的に感染症患者の診療を行っている。小児感染症認定医の資格を有する。診療の他、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスに関する基礎研究も行っている。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。
		リハビリテーション概論	若江 幸三良	1	2	30	30	過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をともに、実際の経験事例を提示する。
		関連職種連携論	橋本 光康	2	2	30	30	各教員は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療情報管理士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、生活相談員など各専門職の臨床経験を有する。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		看護論	林 圭子	1	2	30	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開することにより、イメージしやすく、各看護の専門領域について理解することが出来る。
		ケアマネジメント論	磯 玲子	2	1	15	15	介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員(管理者)としてケアマネジメントに関わった実務経験を踏まえ、事例を紹介することや模範経験を意味したケアプラン作成の一連のプロセスについての講義を行う。
専門基礎	専門基礎	ケースワーク論	木村 潤	1 2	1	15	15	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。
		保健医療福祉制度論	木村 潤	1 2	2	30	30	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。
		社会福祉学	若林 功	1	2	30	30	専門機関における相談援助(様々な事例における面接・ソーシャルワークの展開、施設内・機関間・地域連携、施設運営等の活動等)について経験を有する教員が、相談援助職としての実務経験を踏まえ、各々の内容に照らし合わせ、事例など具体的な情報を加味した講義を行う。
		臨床心理学概論	山下 夏美	2	2	30	30	公認心理師・臨床心理士の資格を有し、教育領域での実務に従事する教員が、学生が研修や臨床現場で出会う援助対象者の心理について、具体的にイメージできるよう、講師自身の臨床経験を活かして講義を展開します。
		関連職種連携ワーク	橋本 光康	3	1	30	30	ケア担当教員は、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士・臨床検査技師・診療放射線技師・社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・薬剤師・診療情報管理士等で多く、多くの教員が実務経験があり、各々一人担当教員の多くが現場での実務経験があり、グループワークの中では、その経験を変え、学生にアドバイスをし、技術修得に活かしていく。
	専門基礎	関連職種連携実習	家入 香代	4	1	45	45	各グループの実習担当教員の多くは、病院や福祉施設等での実務経験を有する。実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしている。
		人間発達学	関森 英伸	1	1	30	30	医療機関における実務経験に留まらず、保健・福祉・教育領域での実務経験を活かし、ライフステージに応じた人間の発達を学生に理解してもらうために、臨床現場での具体的な例を挙げながら、大切な視点、知識、保護者や家族の思い等を教授し、臨床実習や臨床に繋がる講義に繋げる。
		病理学	福澤 龍二	2	1	30	30	小児科専門医、病理専門医、細胞診専門医、分子病理専門医として国内や海外の大学や基幹病院で豊富な臨床経験を活かし、将来臨床で役に立つように医学の初歩から発展まで含めた講義をします。
		内科学 I (基礎)	前田 眞治	2	1	30	30	授業内容には内科医師として、臨床場面に加味して講義を展開している。講義の中で患者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数 必修/選択	時間	実務経験の授業への展開	備考
専門	内科学Ⅱ（応用）	前田 眞治	2	1	30	授業内容には内科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で患者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。	
	神経学	野崎 一朗	2	1	30	講師は神経内科医師としての経験を活かし、実例を示しながら学生の理解がより深まる講義を行う。	
	精神衛生	上里 彰仁	2	1	30	講師は精神科医として医療機関における実務経験がある。臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。	
	リハビリテーション医学	橋本 弦太郎	2	1	30	授業内容にはリハビリテーション科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で障害者などの実例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。	
	外科学	吉田 昌	2	1	15	医師としての経験や実際の症例などを授業内容に取り入れて講義を展開していく。	
	保育	大金 礼子	2	1	15	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。科目担当責任者は幼稚園教諭、保育士として幼児教育経験を有し、実務経験で得た専門知識の中から保育に関する基本知識や基本原理を毎回の授業で提示し、履修者が視能訓練士に必要な保育の知識を理解し習得できるように教授する。	
	視能学概論	鈴木 賢治	1	2	30	眼科医師として眼科診療の実務経験のある教員が、視能訓練士の歴史、関連法規、業務の実態、専門知識の導入について講義する。	
	視器解剖病態学	原 直人	2	2	30	眼科医として診療業務経験を有する教員が、眼科臨床的な観点から眼疾患の発症機序と病態生理学または眼薬理学について実務経験を活かして講義を行う。	
	視覚運動生理学	原 直人	2	2	30	眼科医、視能訓練士の実務経験を有する各担当教員は、実務経験を活かして臨床上一切事項について詳細に説明する。	
	生理光学Ⅰ（基礎）	鈴木 賢治	1	2	30	視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科臨床での経験をもとに眼鏡やコンタクトレンズ、眼内レンズなど屈折矯正を中心に専門性の高い講義を展開する。	
	視覚臨床生理学	鈴木 賢治	3	2	30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。眼科医師あるいは視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、光覚、色覚、視覚電気生理、超音波について原理、検査の流れ、所見の読み方を理解し、実践に活かすことができるよう、症例を提示しながら講義する。	
	高次脳機能障害	原 直人	3	1	30	各担当教員は、それぞれ眼科医、診療放射線技師、言語聴覚士としての実務経験を有する。各担当は実務経験を活かして講義を行う。担当教員は、実務経験で得た専門知識や技術から、神経学的、神経心理学的、画像診断学的側面から、視覚情報処理過程と視覚に関連する大脳皮質の構造と機能について解説する。	
	生理光学Ⅱ（応用）	鈴木 賢治	2	2	30	視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、その実務経験を活かして視能訓練士として必要な光学の基礎知識と理論を理解できるように講義を行う。	
	生理光学Ⅲ（実践）	川守田 拓志	2	2	30	視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科臨床での経験をもとに眼鏡やコンタクトレンズ、眼内レンズなど屈折矯正を中心に専門性の高い講義を展開する。	
	生理光学実習	鈴木 賢治	2	2	90	視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、視能訓練士として必要な光学の検査に関する基本的技術と関連知識を教授する。	
	臨床屈折矯正学演習	川守田 拓志	3	1	30	視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、その実務経験を活かして視能訓練士として必要な光学の基礎知識と理論を理解できるように講義を行う。	
	視能障害学Ⅰ（基礎）	原 直人	2	2	30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識の中から、眼科検査結果の診方に加え、症状や所見から疾患を想定する上で必要となる基本的知識や基本原理を教養する。	
	視能障害学Ⅱ（応用）	原 直人	3	2	30	眼科医として実務経験を活かして低視学を講義を行う。	
	神経眼科学	新井田 孝裕	3	2	30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識の中から、視機能を理解する上で重要な視神経、視路、高次視覚皮質に加え、視覚と密接に関連する眼球運動、輻差、調節瞳孔系の解剖、病態生理と検査法・検査結果の診方に関する基本的知識や基本原理を毎回の授業で提示し、履修者が専門分野の基礎となる知識を理解し習得できるように教授する。	
	視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）	新井田 孝裕	1	2	30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、弱視・斜視の領域を扱う視能矯正学の基礎を学ぶ上で根幹となる外眼筋の解剖・生理、基本的な眼球運動の特性と理論、近見反応における調節・輻差のメカニズムに関する応用的な専門知識を毎回の授業で教授する。	
	視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）	新井田 孝裕	2	2	30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、弱視・斜視の領域を扱う視能矯正学の基礎を学ぶ上で根幹となる視覚系の構造と情報処理、両眼視のメカニズムとその発達、網膜対応の概念と分類に関する応用的な専門知識を毎回の授業で教授する。	
	視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）	新井田 孝裕	2	2	30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、多様化する視能矯正学の専門知識を毎回の授業で提示し、履修者が自ら問題発見と課題解決に取り組み、専門領域の実務に活かすための発展的学習ができるよう教授する。	
	視能矯正学実習	鈴木 賢治	2	2	90	視能訓練士として眼科診療に関わる実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、視能検査に関わる応用技術と関連知識を教授し、履修者が応用技術を習得できるように指導を行う。	
	視能検査学Ⅰ（機能検査）	岡野 真弓	3	2	30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、正確な視能検査を実施するために必要な実践的技術を教授する。	
	視能検査学Ⅱ（形態・画像検査）	内川 義和	3	2	30	眼科医あるいは視能訓練士の実務経験を活かして視覚関連英語論文の内容の把握と知識の必要性を学習させる。	
	視能検査学実習Ⅰ（機能検査）	岡野 真弓	3	3	135	担当教員は、眼科診療における視能訓練士実務経験で得た専門知識や技術から、視能検査に関わる応用技術と関連知識を教授し、履修者が実践的技術を習得できるように指導を行う。	
	視能検査学実習Ⅱ（形態・画像検査）	内川 義和	3	3	135	視能訓練士の実務経験を活かして視覚関連英語論文の内容の把握と知識の必要性を学習させる。	
	視能訓練学Ⅰ（病態評価の基本的知識）	岡野 真弓	2	2	30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、視能検査に関する基本知識を理解し、実践に活かすことができるよう、動画や症例を提示しながら講義する。	
	視能訓練学Ⅱ（弱視・斜視の病態）	内川 義和	3	2	30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、当該分野における問題点や課題を毎回の授業で提示し、履修者が課題解決のための学習ができるよう教授する。	
	視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	岡野 真弓	3	2	30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。視能訓練士として眼科診療に関わる実務経験を持つ教員が、視能矯正の実践に必要な知識を理解し、実践に活かすことができるよう、症例を提示しながら講義する。	
	視能学総合演習Ⅰ（実践）	新井田 孝裕	3	1	30	本科目は実務経験のある教員による授業科目である。眼科医師として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、視機能検査法や神経眼科疾患の診方、斜視手術の要点を教授する。	
	臨地実習Ⅰ（基本）	鈴木 賢治	3	1	45	眼科医師・視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科臨床での経験をともに臨床で求められる知識や技術について指導する。	
	保健福祉実習	岡野 真弓	3	1	45	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。担当者は、事前・事後指導において実務経験で得た経験、専門知識や技術を教授し、履修者が保健、福祉、教育分野での視能訓練士の役割を具体的に理解できるように指導する。	
	視覚リハビリテーション	市邊 義幸	3	1	30	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。眼科医師あるいは視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識の中から、ロービジョン／ロービジュアルケアに関する基本的知識を毎回の授業で提示し、履修者が専門分野の基礎となる知識を理解し習得できるように教授する。	
	視覚リハビリテーション演習	内川 義和	3	1	30	眼科医師、視能訓練士、社会福祉士、同行援護従業者、盲人歩行指導員として同行援護、眼科診療、福祉に係る実務経験を持つ教員が、実務経験で得た専門知識や技術から基本的技術と関連知識を教授し、履修者が基本的技術を習得できるように指導を行う。	
	視能学研究法Ⅰ（文献詳読）	原 直人	3	1	15	本科目は「実務経験のある教員による授業科目」である。眼科医師または視能訓練士として眼科診療に係る実務経験を持つ教員が、当該分野における問題点や課題を毎回の授業で提示し、履修者が課題解決のための学習ができるよう教授する。	
	視能検査学実習Ⅱ（応用）	岡野 真弓	4	1	45	視能訓練士として眼科診療における視能訓練士業務経験を有する担当教員が、実務経験で得た専門知識や技術から、幼児期の視覚スクリーニングに関わる知識と応用技術を教授し、履修者が実践的知識と技術を習得できるように指導を行う。	
	視能訓練学Ⅴ（発展）	内川 義和	4	2	60	各担当は視能訓練士、医師としての実務経験を活かして、視能訓練士に必要な学習の基礎固めと臨床に必要な視機能検査学、病態などの知識を教授する。	
	臨地実習Ⅱ（応用）	鈴木 賢治	4	12	540	眼科医師・視能訓練士として眼科診療の実務経験のある教員が、眼科臨床での経験をともに臨床で求められる知識や技術について指導する。	

卒業要件単位	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	143	単位

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	実務経験の授業への展開	備考
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4	2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。	
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日本の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
		雑談と傾聴 ～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4	2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験から、患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かした「メンタルヘルス」の講義を行う。	
		宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4	2	30	世界宗教連盟での国際経験、全日本仏教会昨日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワークチームむすび代表、全国介護者支援団体連合会副会と智大グリーフケア研究所グリーフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを皆さんと世に考えていきます。	
		死生学 - 死を通して生を考える -	大園 康文	1 2 3 4	2	30	小児外科ががん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きての苦悩を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
社会系	法学	日本国憲法	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30	弁護士としての実務経験から、条文の読み方の解説や事例についてのコメント等において、実務感覚が反映される。	
		日本国憲法	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	日本政治経済論	日本政治経済論	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	新聞社の記者として、地方記者、海外特派員を経験を生かし、授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。また、時事問題を扱うことから、できるだけホットな話題を取り上げたいので、内容が前後したり、入れ替わる可能性があります。時間が許せば、テーマに従った記事執筆体験にも取り組ませます。	
		マスメディア論	佐藤 伸	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	福祉経済学	福祉経済学	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	国際ジャーナリストとして、アジア諸国・地域（中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール）と米国（ワシントン）に長期駐在し、アジアを中心とした国際問題の新聞論評（社説）を執筆する論説委員を務めた。専門分野は現代中国研究と国際安全保障。国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。	
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	国際関係論	国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
	国際医療福祉論	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4	2	30	社会福祉協議会ボランティアセンターでの実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。	
		ボランティア論	中村 哲也	1 2 3 4	2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。	
	経済の仕組み	ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4	2	30	さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。	
		手話入門	荒川 涼子	1 2 3 4	2	30	地域の手話率仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話率仕員養成カリキュラムを参考に、医療・介護の現場に役立つ手話や知識を教示していく。	
	経済の歴史	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
自然・情報	疫学・保健医療統計学	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1 2 3 4	2	30	様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘱託産業医としての実務経験がある。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
		医療福祉教養講義	沢谷 洋平	1 2 3 4	1	15	青年海外協力隊での活動経験を伝達する。	
	総合系	メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4	2	30	航空会社国際線客室乗務員としての勤務経験や、医療機関で各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等の実務経験をもち教員が担当する。国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。	
		総合講義 一起高齢社会で認知症と向き合うー	橋本 光康	1 2 3 4	1	15	病院、施設及び専門機関での臨床、勤務経験を有する各教員が臨床又は実務経験を活かして、テーマに沿った授業を展開する。	
	自然・情報	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1 2 3 4	2	30	様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘱託産業医としての実務経験がある。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学的手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
専門教育科目	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	野元 謙作	2	2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
		微生物と病気	久保田 紀子	1 2	2	30	小児科医として日常的に感染症患者の診療を行っている。小児感染症認定医の資格を有する。診療の他、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスに関する基礎研究もしている。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。	
	専門基礎／学部共通	リハビリテーション概論	若江 幸三良	1 2	2	30	本大学構内クリニックで整形外科診療を行っている。過去30年以上の大学病院での臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示する。	※専門科目にカウント
		関連職種連携	橋本 光康	2	2	30	各教員は、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・診療情報管理士・精神保健福祉士・医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、生活相談員など各専門職の臨床経験を有する。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
	専門基礎／学部共通	看護論	林 圭子	1	2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開することでわかりやすく、イメージしやすいべく、各看護の専門領域について理解することができるよう。	
		ケアマネジメント論	磯 玲子	1 2	1	15	介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員（管理者）としてケアマネジメントに関わった実務経験を踏まえ、事例を紹介することや模擬事例を用いたケアプラン作成の一連のプロセスについての講義を行う。	
	専門基礎／学部共通	ケースワーク論	木村 潤	1 2	1	15	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実践について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
		保健医療福祉制度論	木村 潤	1	2	30	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実践について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
	専門基礎／学部共通	社会福祉学	若林 功	1 2	2	30	専門機関における相談援助（様々な事例における面接・ソーシャルワークの展開、施設内・機関間・地域連携、施設運営等の活動等）について経験を持つ教員が、相談援助としての実務経験を踏まえ、各回の内容に照らし合わせ、事例など具体的な情報を加味した講義を行う。	
		臨床心理学概論	清水 佐紀	1 2	2	30	臨床心理士の資格を有し、福祉領域での実務経験を有する教員が、支援の実際や、支援対象者の心理についてイメージできるように、臨床経験を活かした講義を行う。	※専門科目にカウント
	専門基礎／学部共通	関連職種連携ワーク	橋本 光康	3	1	30	チーム担当教員は、看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・臨床検査技師・診療放射線技師・社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・薬剤師・診療情報管理士等であり、多くの教員が実務経験がある。各チーム担当教員の多くが現場での実務経験があり、グループワークの中では、その経験を交え、学生にアドバイスをし、技術修得に活かしていく。	
		関連職種連携実習	家入 香代	4	1	45	各グループの実習担当教員の多くは、病院や福祉施設等での実務経験を有する。実習担当教員の臨床実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしている。	
専門基礎	臨床神経学・精神医学	臨床神経学	手塚 悠一	1 2 3	1	30	大学病院での神経内科専門医・指導医としての実務経験を踏まえた臨床神経学について、講義をする。	
		精神医学	山本 直樹	1 2 3	1	30	精神科専門医としての臨床経験を踏まえ、事例などを提示しながら授業を展開する。	
	リハビリテーション医学	リハビリテーション医学	橋本 弦太郎	1 2 3	1	30	授業内容にはリハビリテーション科医師として、臨床場面を加味して講義を展開している。講義の中で障害者などの事例を示し、より具体的なイメージを持ちやすくしている。	
専門基礎	生化学実習	生化学実習	藤巻 慎一	1	1	45	臨床検査技師の臨床実務経験を有する教員らが、実際の臨床現場や研究活動等が必要とされる基本的な知識や技術について、経験談を交えながら解説を進めていく。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数 必修/選択	時間	実務経験の授業への展開	備考
専門	医用工学・情報概論	嶺 喜隆	1	2	30	企業にて画像解析装置の研究・開発に従事した経験を生かし、画像診断装置等で医用工学がどのように利用されているかを解説する。	
	医用工学・情報実習	嶺 喜隆	1	1	45	企業にて画像診断装置の研究・開発に従事した経験を生かし、座学で学んだ内容を実験で確認し、理論がどのように実現・観測されるかを経験させる。	
	一般検査学	小笠原 篤	1	2	30	大学病院検査部（検体検査部門）において、臨床検査技師としての実務経験から、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について、経験談を交えながら明確に解説し進めていく。	
	遺伝子検査学	長田 誠	1	2	30	遺伝子検査は、今後の臨床診断・治療に有用な情報をもたらす科目であるため、大学病院にて臨床検査技師として遺伝子関連検査に従事した経験を踏まえて、基礎から応用までわかりやすく講義する。	
	医科分子生物学	長田 誠	1 2 3		15	遺伝子工学は、今後の遺伝子診療に欠かせない技術であるため、大学病院にて臨床検査技師として遺伝子関連検査に従事した経験を踏まえて、基礎を中心にその臨床応用までわかりやすく講義する。	
	臨床検査管理総論	藤巻 慎一	1	2	30	本講義は、これまで約40年間携わってきた医療機関での現場経験や臨床検査技師会での会務経験を活かし、臨床検査技師になるために大切な知識やスキルは元より、臨床検査技師として将来のキャリアを考える機会となり得る授業を展開する。	
	臨床検査基礎演習	小笠原 篤	1	1	30	大学病院検査部（検体検査部門）において、臨床検査技師としての実務経験を有する教員が、実際の臨床現場や研究活動等で必要とされる基本的な知識や技術について、経験談を交えながら解説し進めていく。	

卒業要件単位	128	単位
実務経験のある教員等による授業科目	78	単位

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数	時間	実務経験の授業への展開	備考
					必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4	2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。	
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4	2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーバイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験から、患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う。	
		宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4	2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市市旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
		死生学-死を通して生を考える-	大園 康文	1 2 3 4	2	30	小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きてのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を弁護士としての実務経験から、条文の読み方の解説や事例についてのコメント等において、実務感覚が反映される。	
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30	弁護士としての実務経験から、事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。	
		日本国憲法	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30	弁護士としての実務経験から、事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。	
		日本政治経済論	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		マスメディア論	佐藤 伸	1 2 3 4	2	30	新聞社の記者として、地方記者、海外特派員を経験を生かし、授業の合間に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。また、時事問題を扱うことから、できるだけホットな話題を取り上げたいので、内容が前後したり、入れ替わる可能性があります。時間が許せば、テーマに従った記事執筆体験にも取り組みます。	
		福祉経済学	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4	2	30	国際ジャーナリストとしてアジア諸国・地域(中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール)など海外に長く駐在し、現在も中国研究者として中国が地域に与える影響などをテーマとしています。地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいづれの領域にもさまざまな形で偏見が影響していることを紐解きます。	
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4	2	30	国際ジャーナリストとして、アジア諸国・地域(中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール)と米国(ワシントン)に長期駐在し、アジアを中心とした国際問題の新聞論評(社説)を執筆する論説委員を務めた。専門分野は現代中国研究と国際安全保障。国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。	
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4	2	30	大学や病院等で医師(脳神経外科・臨床神経生理)の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
		ボランティア論	中村 哲也	1 2 3 4	2	30	社会福祉協議会ボランティアセンターでの実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。	
		ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4	2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。	
		手話入門	荒川 涼子	1 2 3 4	2	30	地域の手話奉仕員養成講習会講師、手話通訳者の立場、また障害当事者の立場から、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムを参考に、医療・介護の現場に役立つ手話や知識を教示していく。	
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	自然・情報系	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1 2 3 4	2	30	様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘔吐・産業医としての実務経験がある。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学の手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
		コンピュータの基礎	杉山 直樹	1	2	30	企業にてPACSや医療機器の開発に長年従事。その間各種のコンピュータを用いて、システム開発、解析・シミュレーションのためのプログラム開発、機器開発、システム構築等の実務経験を有する教員が、ソフトウェア開発やシステム構築で得た知識をもとに、コンピュータ内部でどのように計算しているかを伝え、PCを有効に活用するための基礎を伝える。	※専門科目にカウント
総合系	医療福祉教養講義	医療福祉教養講義	沢谷 洋平	1 2 3 4	1	15	青年海外協力隊での活動経験を伝達する。	
		航空会社国際線客室乗務員としての勤務経験や、医療機関で各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等の実務経験をもつ教員が担当する。国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。	橋本 光康	1 2 3 4	2	30		
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4	2	30		
		総合講義 超高齢社会で認知症と向き	橋本 光康	1 2 3 4	1	15	病院、施設及び専門機関での臨床、勤務経験を有する各教員が臨床又は実務経験を活かして、テーマに沿った授業を展開する。	
	専門基礎・学部共通	公衆衛生学	島田 直樹	2	2	30	産業医は、産業保健を中心として、公衆衛生学の様々な領域に関する知識を活用して業務を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
		微生物と病気	山岸 裕和	1 2 3 4	2	30	小児科医として日常的に感染症患者の診療を行っている。小児感染症認定医の資格を有する。診療の他、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスに関する基礎研究も行っている。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について討議する。	
		関連職種連携論	橋本 光康	2	2	30	各教員は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療情報管理士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、生活相談員など各専門職の臨床経験を有する。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
		看護論	林 圭子	1	2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開することでわかりやすく、イメージしやすく、各看護の専門領域について理解することができ。	
		ケアマネジメント論	磯 玲子	2 3 4	1	15	介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員(管理員)としてケアマネジメントに関わった実務経験を踏まえ、事例を紹介することや模擬事例を用いたケアプラン作成の一連のプロセスについての講義を行う。	
		ケースワーク論	木村 潤	1 2 3 4	1	15	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
		保健医療福祉制度論	木村 潤	1 2 3 4	2	30	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数 必修 選択	時間	実務経験の授業への展開	備考
		社会福祉学	若林 功	1 2 3 4	2	30	専門機関における相談援助(様々な事例における面接・ソーシャルワークの展開、施設内・機関間・地域連携、施設運営等の活動等)について経験を持つ教員が、相談援助職としての実務経験を踏まえ、各回の内容に照らし合わせ、事例など具体的な情報を加味した講義を行う。	※専門科目に
		臨床心理学概論	清水 佐紀	1 2 3 4	2	30	臨床心理士の資格を有し、福祉領域での実務経験を有する教員が、支援の実際や、支援対象者の心理についてイメージできるよう、臨床経験を活かした講義を行う。	
	専門基礎	関連職種連携ワーク	橋本 光康	3	1	30	チーム担当教員は、看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・臨床検査技師・診療放射線技師・社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・薬剤師・診療情報管理士等であり、多くの教員が実務経験がある。	
		関連職種連携実習	家入 香代	4	1	45	各グループの実習担当教員の多くは、病院や福祉施設等での実務経験を有する。実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていく。	
	専門	病理学	福澤 龍二	2	2	30	小児科専門医、病理専門医、細胞診専門医、分子病理専門医として国内や海外の大学や基幹病院で豊富な臨床経験を過ごし、将来臨床で役に立つように医学の初歩から発展まで含めた講義をします。	
		医学概論	洲鎌 秀永	1	2	30	医師としての臨床・基礎医学の実務経験を加味し、テキストの内容を超えた授業展開とする。	
	専門	看護概論	林 圭子	3	1	15	看護師・保健師・助産師での具体的経験に基づき、抽象化された事柄をわかりやすく講義することでイメージをつかせるように繋がる。	
		放射線科学演習	座間 佳男	2	1	30	診療放射線技師として放射線の取扱、管理業務の実務に従事した教員が、放射線の取扱、管理業務の実務を通して、放射線に関する基礎科学(放射線物理学、放射線生物学、放射化学、放射線計測学)、放射線管理の実務、法令について講義する。	
	専門	放射線計測学	座間 佳男	2	1	30	診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者及び医学物理士として大学病院で10年程度、放射線計測、放射線管理、放射線治療業務に従事した経験のある教員がその経験(例:ファーマー型電離箱を用いた標準計測法の実務)を活かし業務内容の詳細を講義(例:放射線治療における線量測定の実務)する実践的教育を展開する。	
		放射線計測学実験	座間 佳男	2	1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員および放射線研究に従事した経験のある教員がその経験(例:ファーマー型電離箱を用いた標準計測法の実務)を活かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育(例:高エネルギーX線の吸収線量の測定)を展開する。	
	専門	放射線管理学	島雄 大介	2	2	30	診療放射線技師として放射線の取扱、管理業務の実務に従事した教員が、放射線防護に関する知識、放射線管理の実務、法令について講義する。	
		放射線管理学実験	橋本 光康	4	1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。	
	専門	放射線関係法規	細貝 良行	3	1	15	診療放射線技師の核医学検査業務を通して、診療放射線技師法や放射性同位元素等規制法、医療法への法に基づいたRIの管理、原子力規制委員会との法的手続き上の業務経験がある教員が、実際の現場での実態に則したRIの管理・運用方法を授業内容に反映している。手続きや管理帳簿について教科書だけではなく、実例に基づいた紹介をすることで学生の各種法令への理解を促進していくように努めている。	
		画像情報学Ⅰ(感光理論・処理)	西川 祝子	1	2	30	診療放射線技師として医療機関で放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし、業務に必要とされる画像情報学の内容について詳細な講義を展開する。	
	専門	画像情報学実験	本村 信篤	1	1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員および医療機器の研究開発に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。	
		コンピュータ演習Ⅰ(データ処理)	杉山 直樹	1	1	30	企業にてPACSや医療機器の開発に長年従事し、システム開発、解析・シミュレーションのためのプログラム開発、機器開発、システム構築を行った経験のある教員が、ソフトウェア開発やシステム構築で得た知識をもとに、Word、Excelなどの使い方を指導する。	
	専門	コンピュータ演習Ⅱ(プログラミング)	杉山 直樹	2	1	30	企業にてPACSや医療機器の開発に長年従事し、システム開発、解析・シミュレーションのためのプログラム開発、機器開発、システム構築を行った経験のある教員が、ソフトウェア開発やシステム構築で得た知識をもとに、模倣(まね)をすることから始めればプログラムを作成することが簡単であることを学びながら、コンピュータの仕組みを理解することを通して、将来の医療システムの利用がより容易に行えるように指導する。	
		医療情報システム論	杉山 直樹	3	1	15	担当教員は、企業にてPACSや医療機器の開発に長年従事し、システム開発、解析・シミュレーションのためのプログラム開発、機器開発、システム構築を、ユーザである病院システム担当者・診療放射線技師・放射線科医師と共にを行った。また、JIRA、医機連の依頼を受け、IMDRFにて医療機器のITセキュリティを保つためのガイドラインの策定に参加した経験や、システム開発・構築の際には、医療施設での運用・利用状況を確認し、その実情に合わせて調整を行う。複数の医療施設での臨床現場での状況も含めて講義を行う。	
	専門	医用工学	嶺 喜隆	1	1	30	画像診断機器メーカーで画像診断装置の研究および製品開発に従事した経験から、画像診断機器で医用工学がどのように利用されているかを解説する。	
		医用工学演習	嶺 喜隆	2	1	30	画像診断機器メーカーで画像診断装置の研究および製品開発に従事した経験から、座学で学んだ内容を実験で確認し、理論がどのように実証・観測されるかを経験させる。	
	専門	X線機器工学	島雄 大介	1	2	30	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かして、業務内容に関連する事項と絡めながら実践的教育を展開する。	
		診療画像機器工学	嶺 喜隆	2	1	30	(超音波)画像診断装置メーカーで超音波診断装置を研究開発した経験や、臨床の超音波画像に超音波理論がどのように影響しているかを解説する。(MRI)磁気共鳴専門技術者(上級)、診療放射線技師として医療機関で放射線検査(MRI含む)業務に従事した経験や、臨床現場でMRI検査に携わった実務経験に基づき、MRIの撮像原理およびMRI装置構成について詳しく講義する。	
	専門	X線機器工学実験	河野 良介	2	1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。	
		診療画像機器工学実験	丸山 純人	2	1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員および医療機器の研究開発に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。	
	専門	診療放射線概論	橋本 光康	1	1	15	医療機関等において診療放射線技師あるいは医学物理士としての臨床業務経験、研究開発に従事した経験や、診療放射線業務における現状課題と将来展望について講義を展開する。	
		診療画像検査学概論	岡野 員人	1	1	15	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし、診療放射線技師が行う画像検査の概要を講義する。	
	専門	X線検査学Ⅰ(単純撮影・他)	島雄 大介	2	1	30	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし業務内容の詳細を講義する実践的教育を展開する。	
		X線検査学Ⅱ(造影検査・他)	西川 祝子	2	1	30	診療放射線技師として医療機関で放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし業務内容の詳細を講義する実践的教育を展開する。	
	専門	X線CT検査学	岡野 員人	2	2	30	診療放射線技師としての臨床経験をもちにCT検査の接遇や撮影時のポイントについて話をし、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。	
		MRI検査学	丸山 純人	2	2	30	診療放射線技師として臨床現場でMRI検査に携わった実務経験に基づき、MRI検査の基礎から臨床現場で必要とされる知識・技術まで詳しく講義する。	
	専門	MRI特論	丸山 純人	4	1	30	診療放射線技師、磁気共鳴専門技術者(上級)として医療機関での放射線検査(MRI含む)業務に従事した実務経験に基づき、MRI検査の臨床および最新技術について詳しく解説する。	
		超音波検査学	嶺 喜隆	2	2	30	画像診断装置メーカーで超音波診断装置を研究開発に従事した経験のある教員が、臨床の超音波画像に超音波理論がどのように影響しているかを解説する。また、超音波検査の臨床業務経験を有する教員が、超音波検査が臨床業務にどのように使われているかを解説する。	
	専門	診療画像学実験Ⅰ(X線検査・他)	西川 祝子	2	1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。	
		診療画像学実験Ⅱ(CT・MRI・超音波検)	岡野 員人	2	1	45	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。	
	専門	核医学Ⅰ(基礎)	細貝 良行	2	2	30	診療放射線技師として核医学検査に携わり、PETやサイクロtronなどの立ち上げにも関わった経験を踏まえた講義を行う。また、それぞれの分野で論文(英文を含む)記述の経験があり、特に核医学ならびにMRIの臨床データ収集・解析において研究を含めた講義を行う。	
		核医学Ⅱ(臨床)	松本 健希	3	2	30	教科書的な内容だけでなく、現場での運用を含めたより実践的な知識を盛り込む。また、臨床だけでなく放射性同位元素の管理や取り扱い、診療放射線技師法改正に伴う診療放射線技師の業務拡大内容についても紹介する。	
	専門	核医学実験	細貝 良行	3	2	60	本授業は、診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を生かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。	
		核医学特論	細貝 良行	4	1	30	診療放射線技師として核医学検査に携わり、PETやサイクロtronなどの立ち上げにも関わった経験を踏まえた講義を行う。また、それぞれの分野で論文(英文を含む)記述の経験があり、特に核医学ならびにMRIの臨床データ収集・解析において研究を含めた講義を行う。	
	専門	放射線治療学Ⅰ(物理・技術)	橋本 光康	2	2	30	医療従事者、放射線業務従事者として培った経験を活かし、放射線治療業務に必要な知識等について、現状課題と将来展望を含めた講義を展開する。	

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	実務経験の授業への展開	備考
		放射線治療Ⅱ（臨床）	橋本 光康	3	2	30	医療従事者（診療放射線技師・医学物理士・放射線治療品質管理士）として培った経験を活かし、がん治療に関連する幅広い知識にも触れながら放射線治療の現状課題と将来展望について講義を展開する。	
		放射線治療機器工学	橋本 光康	2	1	15	医療従事者（診療放射線技師・医学物理士・放射線治療品質管理士）として培った経験を活かし、放射線治療関連機器の基本原理を中心に講義を展開する。また、その特徴を利用した技術等について品質管理の視点から将来展望をも含めて講義を展開する。	
		放射線治療学実験	橋本 光康	3	2	60	医療機関において診療放射線技師・医学物理士・放射線治療品質管理士として放射線治療業務に従事した教員および研究開発に従事した教員がその経験を活かし、放射線治療業務に必要な基礎および実践的な知識・技能について学内にある装置等を用いて教育を展開・実施する。	
		放射線腫瘍特論	橋本 光康	4	1	30	医療従事者、放射線業務従事者として培った経験を活かし、これまで学習してきた放射線治療業務に必要な知識・実務上必要な技能等について総合的に纏め、基礎学力と応用力を向上させるための講義を展開する。	
		画像解剖学	川住 祐介	2	1	30	放射線診断医の立場から、放射線技師に必要とされる画像・疾患の知識を解説することができ、病院での放射線画像診断の実務経験から 日常的にしばしば画像診断の対象となる疾患画像を選択して学生に解説している。	
		画像診断学	大嶽 達	4	1	30	日々の画像読影に関する業務において得た、様々な疾患や最新の医療技術の知見を基に講義を展開する。	
		画像診断学演習	細貝 良行	4	1	30	放射線診断医の立場から、放射線技師に必要とされる画像・疾患の知識を解説することができ、病院での放射線画像診断の実務経験から 日常的にしばしば画像診断の対象となる疾患画像を選択して学生に解説している。	
		臨床医学Ⅰ（基礎）	川住 祐介	3	1	30	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし、学内にある装置を用いた演習形式による実践的教育を展開する。	
		臨床医学Ⅱ（発展）	川住 祐介	4	1	30	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし、学内にある装置を用いた演習形式による実践的教育を展開する。	
		医療安全概論	西川 祝子	3	1	30	診療放射線技師として核医学検査に携わり、PETやサイクロtronなどの立ち上げにも関わった経験を踏まえた講義を行う。医療安全に関しては、以前所属していた各施設における対応を参考にしながら実際の環境を参考にした講義を行う。	
		医療安全管理学	細貝 良行	4	1	30	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし、学内にある装置を用いた演習形式による実践的教育を展開する。	
		臨床画像学演習	丸山 純人	3	2	60	学外での実習では、医療機関にて放射線業務に従事している診療放射線技師により実践的教育が実施される。学内では診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員が、臨床実習前、実習中、実習後の指導、フォローアップを行う。	
		診療画像臨床実習	西川 祝子	3	8	360	学外での実習では、医療機関にて放射線業務に従事している診療放射線技師により実践的教育が実施される。学内では診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員が、臨床実習前、実習中、実習後の指導、フォローアップを行う。	
		核医学検査臨床実習	西川 祝子	3	2	90	学外での実習では、医療機関にて放射線業務に従事している診療放射線技師により実践的教育が実施される。学内では診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員が、臨床実習前、実習中、実習後の指導、フォローアップを行う。	
		放射線治療臨床実習	西川 祝子	3	2	90	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員または卒業生がその経験を活かし、病院で働くための心得やマナー、今後の診療放射線技師の展望について講義する。	
		診療放射線特論	岡野 員人	4	1	30		

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	138	単位

医療管理総論	滝澤 雅美	1 2	2 30				○	担当教員は病院での実務経験があり、診療情報管理士(診療情報管理士指導者)の資格を有する。日本の医療制度、医療機関の法規制などの法律についても実際の病院の具体的な事例を示しながら講義を行う。また、医療資源(物的資源、人的資源、財務資源、情報資源)については、担当教員の実務経験を元に例題を用いながら講義を行う。
簿記論Ⅰ(基礎)	松岡 一路	1 2	2 30				○	担当教員はかつて総合商社に勤務し、事業投資先に対する監査、そして取引先に対する信用調査や財務アドバイスの経験がある。タイに設立した新会社に役員として出向し、財務諸表の分析がいかに経営に役立つか、よく理解している。
簿記論Ⅱ(応用)	松岡 一路	1 2	2 30				○	簿記・会計では「勘定科目」を用いて取引を記録する。学生の皆さんは実務経験がないので、この「勘定科目」の理解に苦労する。実務で得た知識・経験をともに、学生の皆さんにもわかりやすく、その意味を説明する。英文会計では「勘定科目」を英語で覚えていただく必要はない。
臨床医学総論	上里 彰仁	1 2	2 30				○	本講義では、医師としての臨床経験にもとづく事例紹介を行う。医療現場で働くうえで必要となる基礎知識を理解できるように、ケーススタディを取り入れながら講義を行う。
ソーシャルワーク演習Ⅰ	中山 和幸/磯 玲子 須藤 昌寛/木村 潤 高石 麗理湖/中西 正人	1 2	1 30				○	児童福祉施設(児童養護施設、児童心理治療施設)において8年間、社会的養護を必要とする児童に対する心理的ケアや相談援助、さらに、児童の家族への支援、関係機関との連携等の臨床実践を経験した。それらの実務経験を踏まえ、ソーシャルワークの視点・知識・技術について、各授業の演習内容に照らし合わせて伝えていく。
臨床医学各論Ⅰ(新生物と消化器・泌尿器)	須藤 昌寛	1 2	2 30				○	医師である講義者が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えて授業展開とする。
臨床医学各論Ⅱ(精神・神経・感覚器)	須藤 昌寛	1 2	2 30				○	医師である講義者が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えて授業展開とする。
こころからのしくみⅢ(生活支援)	武田 真理子	2	4 60	—	—	○	—	・高齢者介護の現場における介護職としての実務経験から教授する。
コミュニケーション技術	渡辺 修宏	2	4 60	—	—	○	—	・高齢者介護施設での看護、介護、介護支援専門員等の経験から教授する。
介護の基本Ⅱ(自立に向けた介護等)	中西 正人	2	4 60	—	—	○	—	・高齢者介護や障害者介護の現場における介護職としての実務経験を活かし、適宜事例を示しながら行う。
介護過程Ⅰ(介護過程の意義・展開)	畠山 博之	2	4 60	—	—	○	—	・介護老人福祉施設や認知症対応型通所介護事業所等における介護福祉士としての実務経験を活かし、専門職としての役割や介護実践について、適宜事例を示しながら伝えていく。
障害の理解	銭本 隆行	2	4 60	—	—	○	—	・特別養護老人ホームでの介護福祉士としての経験を活かし、本人主体の生活が継続できるように根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。
生活支援技術Ⅱ(身支度・移動の介護)	畠山 博之	2	4 60	—	—	○	—	・特別養護老人ホームでの介護福祉士としての経験を活かし、本人主体の生活が継続できるように根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。
生活支援技術Ⅲ(入浴・排泄・食事の介護)	武田 真理子	2	4 60	—	—	○	—	・特別養護老人ホームでの介護福祉士としての経験を活かし、本人主体の生活が継続できるように根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。
生活支援技術Ⅳ(住環境・家事)	武田 真理子	2	4 60	—	—	○	—	・特別養護老人ホームでの介護福祉士としての経験を活かし、本人主体の生活が継続できるように根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を修得に結び付ける。
生活支援技術Ⅴ(睡眠・終末期の介護)	新井 祥子	2	2 30	—	—	○	—	・高齢者介護の現場における介護職としての実務経験から教授する。
医療的ケア論Ⅰ	新井 祥子	2	1 15	—	—	○	—	・高齢者介護での経験をともに、介護福祉士が医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えることが出来るよう、知識、技術や医療機関との連携等について講義する。
介護実習Ⅰ(多様な施設における実習)	中西 正人 新井 祥子 成田 真理子	2 3	2 90	—	—	○	—	・介護老人福祉施設や認知症対応型通所介護事業所等における介護福祉士としての実務経験を活かし、介護実習に必要な法的制度などの知識や介護福祉職の業務内容および役割などについて、適宜事例を示しながら伝えていく。
介護総合演習Ⅰ(基礎)	新井 祥子 成田 真理子	2 3	2 60	—	—	○	—	・介護老人福祉施設や認知症対応型通所介護事業所等における介護福祉士としての実務経験を活かし、介護実習に必要な法的制度などの知識や介護福祉職の業務内容および役割などについて、適宜事例を示しながら伝えていく。
医療福祉関連法規	森川 伸吾	2	2 30				○	担当教員は、病院の医事課や診療情報管理士の職務経験を有する。講義で扱う内容を整理させ、医療機関を取り巻く問題と課題解決法について必要スキルを講義で扱う。
医療管理各論Ⅰ(病院管理)	坂本 幸平	2	2 30				○	担当教員は、病院の医事課や診療情報管理士の職務経験を有する。講義で扱う内容を整理させ、医療機関を取り巻く問題と課題解決法について必要スキルを講義で扱う。
医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険)	坂本 幸平	2	2 30				○	担当教員は、病院の医事課や診療情報管理士の職務経験を有する。講義で扱う内容を整理させ、医療機関を取り巻く問題と課題解決法について必要スキルを講義で扱う。
医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質)	山本 康弘	2	2 30				○	担当教員は、病院の医事課や診療情報管理士の職務経験を有する。講義で扱う内容を整理させ、医療機関を取り巻く問題と課題解決法について必要スキルを講義で扱う。
臨床医学各論Ⅲ(循環器・血液・代謝・内分泌)	須藤 昌寛	2 3	2 30				○	医師である講義者が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えて授業展開とする。
臨床医学各論Ⅳ(循環器・呼吸器・内分泌)	須藤 昌寛	2 3	2 30				○	医師である講義者が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味しテキストの内容を超えて授業展開とする。
経営学演習	坂本 幸平	2	2 60	—	—			担当教員は、病院や企業のマネジメント研究に関連するフィールドワークを10年以上実施している。多数の医療機関との経営改善調査を担当している。
簿記論Ⅱ(商業簿記)	松岡 一路	2 3	2 30					担当教員はかつて総合商社に勤務し、事業投資先に対する監査、そして取引先に対する信用調査や財務アドバイスの経験がある。タイに設立した新会社に役員として出向し、財務諸表の分析がいかに経営に役立つか、よく理解している。
簿記論Ⅲ(工業簿記)	松岡 一路	2 3	2 30					簿記・会計では「勘定科目」を用いて取引を記録する。学生の皆さんは実務経験がないので、この「勘定科目」の理解に苦労する。実務で得た知識・経験をともに、学生の皆さんにもわかりやすく、その意味を説明する。製造原価報告書作成時に「勘定科目」が起きやすい点や、勘定科目間の関係などについて事例を交えながら解説する。
ソーシャルワーク演習Ⅱ	中村 哲也/須藤 昌寛 磯 玲子/高石 麗理湖 中山 和幸/若林 功	2	2 60				—	社会福祉士(介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員)としての実務経験を踏まえ、専門機関の現場における相談援助職としての実践経験に基づく指導(現場でのコッ、利用者像などの解説等)を行い、学生が事例をより現実的にイメージできるようにする。
認知症の理解	銭本 隆行	2	4 60	—	—	○	—	デンマークの認知症コーディネーター資格取得、高齢者施設にて回想法を多年にわたって実施してきた経験をもつ教員が、日本と海外の社会の隔ちとともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験をもとに、適宜幅広い事例を示しながら伝えていく。
発達と老化の理解	新井 祥子	2	4 60	—	—	○	—	・介護施設における実務経験から、とくに高齢者の特徴と可能性について事例を交えて授業を行う。また、実施フィールドにおける成長や発達について、写真、動画等を用いて授業を展開する。
社会保障	伊奈川 秀和	2 3 4	4 60	○	○			担当教員は、厚生労働省において、社会保障の制度や政策の企画・立案に長年にわたり携わり、特にこの授業の柱である医療保険や年金等の社会保障の実務にも従事した経験をもつ。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	山本 由紀	2 3 4	4 60	○	○			社会福祉士・精神保健福祉士としての臨床現場での経験やエピソードを交えて授業する。また、実践事例(デザイン事例)を講義で取り上げながら解説する。
児童・家庭福祉	中山 和幸	2 3 4	2 30			○		児童福祉施設(児童養護施設、児童心理治療施設)において8年間、社会的養護を必要とする児童に対する心理的ケアや相談援助、さらに、児童の家族への支援、関係機関との連携等の臨床実践を経験した。それらの実務経験を踏まえ、児童・家庭福祉におけるソーシャルワークの視点・知識・技術について、現在のわが国の児童・家庭福祉における諸課題に照らし合わせながら講義を行う。
子ども家庭援助論	中山 和幸	2 3 4	2 30					児童福祉施設(児童養護施設、児童心理治療施設)において8年間、社会的養護を必要とする児童に対する心理的ケアや相談援助、さらに、児童の家族への支援、関係機関との連携等の臨床実践を経験した。それらの実務経験を踏まえ、子ども家庭福祉におけるソーシャルワークの視点・知識・技術について、現在のわが国の子ども家庭福祉における諸課題に照らし合わせながら講義を行う。
障害者福祉	山口 佳子	2 3 4	2 30			○	○	言語聴覚士としての実務経験に基づき、障害児者の医療・保健・福祉のニーズおよび制度・サービスについて講義を行う。
地域福祉と包括的支援体制	中村 哲也	2 3 4	4 60	○	○			保健福祉の現場における実務経験に基づき、多職種多機関連携の手法について講義を行う。
高齢者福祉	磯 玲子	2 3 4	2 30			○		地域自立支援協議会、障害者差別解消法支援協議会の活動に基づき、地域自立生活支援や障害者福祉計画について講義を行う。
精神医学と精神医療	上里 彰仁	2 3 4	4 60					行政職員、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー等の実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。
現代の精神保健の課題と支援	山本 由紀	2 3 4	4 60					・介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員(管理者)としての実務経験を踏まえ、高齢者福祉におけるソーシャルワークの視点、知識、技術について講義を行う。特に介護保険制度の概要や子ども高齢社会の現状を中心に学びを深める。
精神保健福祉の原理	山本 由紀	2 3 4	4 60			○		講師は精神科医として医療機関における実務経験がある。
高齢者援助論	磯 玲子	2 3 4	2 30					精神保健福祉士として医療機関・精神保健行政機関・独立型相談機関等における実務経験を有する教員が、臨床現場での経験から、現代精神保健の課題とその支援の要因についてコメントする。
障害者援助論	若林 功	2 3 4	2 30					精神保健福祉士として、医療機関・精神保健行政機関・独立型相談機関等における実務経験を有する教員が、精神保健福祉士として、障害者施設等における実務経験のある教員が、臨床現場での経験や職能団体の活動体験から、精神保健福祉士としての実務経験を踏まえ、高齢者援助において必要な介護保険制度や施設・事業者の概要、関係機関の役割について講義を行う。
心理学と心理的支援	須藤 昌寛	2 3 4	2 30	○	○			また、ケアプラン作成から介護報酬の請求の流れについて、介護報酬の基本構造や介護報酬請求に必要な書類の作成、介護報酬の算定方法などを事例を用いて学ぶことができた講義を行う。
カウンセリング論	須藤 昌寛	2 3 4	2 30					専門機関の現場における相談援助職としての実践経験に基づく指導(現場でのコッ、利用者像などの解説等)を行い、学生が事例をより現実的にイメージできるようにする。
要支援論	二浦 裕也	2 3 4	2 30					社会福祉士としての実務経験を基に、心理学の諸理論を具体例を用いながら説明していく。
医療福祉管理会計論	山本 康弘	2 3 4	2 30					カウンセリングの諸理論について、公認心理士や社会福祉士等の実務経験を基に、実際の相談場面を言葉にした説明していく。
医療福祉財務会計論	松岡 一路	2 3 4	2 30					薬剤師である講義者自身が経験・担当した症例を交えるなど、実務経験を加味し授業展開をする。
会計学	松岡 一路	2 3 4	2 30					担当教員は官公庁の経営主体による医療機関運営の実務経験を有する(会計・医事課等)において経営計画・予算計画等に関する業務に従事。

ソーシャルワーク実習指導	須藤 昌寛/若林 功 銭本 隆行/高石 麗理湖 中山 和幸/中村 哲也 磯 玲子	2 3 4	3	90	社	—	—	社会福祉士(介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員)としての実務経験を踏まえ、ソーシャルワーク実習における指導を行う。
ソーシャルワーク実習Ⅰ	銭本 隆行/須藤 昌寛 若林 功/高石 麗理湖 中山 和幸/中村 哲也 磯 玲子	2	2	90	社	—	—	社会福祉士(介護老人保健施設における支援相談員および居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員)としての実務経験を踏まえ、ソーシャルワーク実習における指導を行う。
簿記演習Ⅱ(応用)	松岡 一路	2 3	2	60	—	—	—	簿記・会計では「勘定科目」を用いて取引を記録する。学生の皆さんは実務経験がないので、この「勘定科目」の理解に苦勞する。会計監査の実務で得た知識・経験をもとに、学生の皆さんにもわかりやすく、その意味を説明する。また誤りや起るべき点について実例を交えながら解説する。
経営戦略論	中田 健吾	3 4	2	30	—	—	○	実務での具体的な事例を提示しながら、基本的概念をより実践的に実務的に習得できるようにする。このために、社会調査分野で実務にあたる外部客員スピーカーによる講義を適宜、実施する。
介護の基本Ⅲ(リソースマネジメント・連携等)	中西 正人	3	4	60	—	—	○	介護老人福祉施設や認知症対応型通所介護事業所等における介護福祉士としての実務経験を活かし、専門職として必要となる法制度やリスクマネジメントに関する知識について、適宜事例を示しながら伝えていく。
介護過程Ⅱ(介護過程の実践的展開)	昌山 博之	3	4	60	—	—	○	介護支援専門員(施設・在宅)、介護福祉士(施設)の実務経験を有する教員が、施設、在宅におけるプランニング作成の経験から、ケアマネジメント、ケアプラン、介護過程の相連性を明確にして「介護過程とは何か」明確にできる授業を展開する。
介護過程Ⅲ(介護過程とチームアプローチ)	昌山 博之	3	2	30	—	—	○	介護支援専門員(施設・在宅)、介護福祉士(施設)の実務経験を有する教員が、施設、在宅での支援プランニング作成の経験から、職種間連携の必要性と重要性と介護過程の関連性を主とした授業を展開する。
介護総合演習Ⅱ(応用)	中西 正人 武田 真理子 昌山 博之 新井 祥子	3	2	60	—	—	○	介護老人福祉施設や認知症対応型通所介護事業所等における介護福祉士としての実務経験を活かし、介護実習に必要な法制度などの知識や介護福祉職の業務内容および役割などについて、適宜事例を示しながら伝えていく。
生活支援技術Ⅵ(形態別に応じた介護)	昌山 博之	3	4	60	—	—	○	施設、在宅、病院における介護や相談の経験から、基本的な手法から障害形態別に応じた手法への変換ポイントとなる部分を授業で展開する。
医療的ケア論Ⅱ	新井 祥子	3	2	30	—	—	○	高齢者施設での経験をもとに、介護福祉士が医療的ケアが必要な人が安全で安楽な生活を支えることができるよう、知識、技術や医療機器との連携等について講義する。
医療的ケア論Ⅲ	新井 祥子	3	2	30	—	—	○	高齢者施設での経験をもとに、介護福祉士が医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えることができるよう、知識、技術や医療機器との連携等について講義する。
医療的ケア論Ⅳ(演習)	新井 祥子	3	1	30	—	—	○	高齢者の介護施設での看護師経験及び、介護福祉士の実務者研修指導看護師としての経験をもとに、安全で適切な医療的ケアの実施を指導する。
介護実習Ⅱ(ケアプラン作成)	中西 正人 武田 真理子 昌山 博之 新井 祥子	3	4	180	—	—	○	介護老人福祉施設や認知症対応型通所介護事業所等における介護福祉士としての実務経験を活かし、介護実習に必要な法制度などの知識や介護福祉職の業務内容および役割などについて、適宜事例を示しながら伝えていく。また、介護過程を展開するうえで、実務経験を活かし、計画作成の視点や作成方法について教授する。
介護実習Ⅲ(ケアプラン実施)	武田 真理子 昌山 博之 新井 祥子	3	4	180	—	—	○	医療・福祉の連携の具体性を中心に、共通する専門用語の理解、介護福祉士が実施できる医行為の範囲の理解と観察項目の医療職への報告・連絡、介護福祉士の法的基準と倫理について深く考えることができる展開とした。
診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	高橋 幸恵	3	2	30	—	—	○	本講義は診療情報管理士として必要な知識である法令、諸規則を学ぶ。教員が病院勤務で担当していた診療記録の指示や管理方法の経験をもとに、事例について経験を共有しながら授業を展開する。
診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	高橋 幸恵	3	2	30	—	—	○	本講義は診療情報管理士がどのような実務を行うか基礎から応用まで学ぶ講義である。教員も診療情報管理士として病院に勤務していた経験があり、チーム医療の一員としての診療情報管理士の役割について、増った経験を生かした内容で講義を行う。
診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助)	高橋 幸恵	3	2	30	—	—	○	本講義は診療情報管理士が実務に携わることが多い、DPC、医師事務作業補助者、がん登録について学ぶ。専門要素が高い科目であるため、教員が病院に勤務し業務に携わった経験を共有し、実際に診療情報管理士が取り扱うデータ等について講義を行う。
病院原価計算概論	山本 康弘	3	2	30	—	—	○	住民としての経営主体における医療機関運営の実務経験(医事課等において病院経営戦略に関する業務に従事。病院原価計算手法を活用したコスト分析の実務経験)を有する。担当教員の実務経験を基にした教材を講義で活用し、実践的な事例紹介を繰り返しながら授業を展開する。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	若林 功	3 4	4	60	○	—	—	専門機関の現場における相談援助職としての実践経験に基づく指導(現場でのコッ、利用者像などの解説等)を行い、学生が事例をより現実的にイメージできるようにする。
医療ソーシャルワーク論	高石 麗理湖	3 4	2	30	○	—	—	医療ソーシャルワーカーとしての実践経験を講義で取り上げながら解説する。
権利擁護を支える法制度	磯 玲子	3 4	2	30	○	○	—	介護老人保健施設における支援相談員としての実務経験と居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員(管理者)として高齢者の権利擁護に関わった実務経験を踏まえ、ソーシャルワークにおける権利擁護の視点、チームについて講義を行う。
貧困に対する支援	伊奈川 秀和	3 4	2	30	○	—	—	厚生労働省において、社会保障の制度や政策の企画・立案に長年にわたり携わり、特に生活保護等の貧困者支援に関しては、厚生労働省の生活保護の担当課長を務めたほか、子どもの貧困支援に関しては内閣府の担当審議官の経験がある。制度や施策に関してリアルな知識を有している。
刑事司法と福祉	島谷 綾郁	3 4	2	30	○	○	—	矯正施設内での社会福祉士・精神保健福祉士としての勤務経験、刑務所外の施設・機関(保護観察所や更生保護施設、福祉施設など)との連携などといった実務経験をいかし、司法領域において、どのような立場で、どのように福祉支援を考えているのかについて紹介していく。
社会福祉調査の基礎	須藤 昌寛	3 4	2	30	○	○	—	社会福祉士としての経験を基に、調査の具体的な方法や、調査面接の留意点等について具体例を用いながら説明していく。
福祉サービスの組織と経営	伊奈川 秀和	3 4	2	30	○	—	—	厚生労働省において、社会保障の制度や政策の企画・立案に長年にわたり携わる。この授業に関係する社会福祉関係の部局にも勤務したことがある。学生にはなじみが薄い法人制度についても、実務経験を踏まえわかりやすく解説していきたい。
メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法	山本 由紀	3 4	4	60	○	—	—	精神保健福祉士として相談援助業務の実務経験を有する。授業においては、臨床現場での経験から、現代精神保健福祉分野の課題と支援の実践についてコメントする。現場の対応や事例などを用いて講義を行う。
精神保健福祉制度論	渡辺 修宏	3 4	2	30	○	—	—	ソーシャルワーカーとして専門機関における実務経験、およびNPO、NPO等における臨床経験から、授業内容にかかわる臨床事例を随時紹介致します。
精神障害リハビリテーション論	渡辺 修宏	3 4	2	30	○	—	—	具体的には、制度の変遷がどのような社会的背景・社会的事件によって成されてきたのかという説明とともに、担当教員の臨床経験がどのような変化とつながってきたのかについて紹介致します。
ソーシャルワーク演習Ⅲ	若林 功 須藤 昌寛 中村 哲也 高石 麗理湖	3 4	1	30	○	—	—	ソーシャルワーカーとして専門機関における実務経験、およびNPO、NPO等における臨床経験から、授業内容にかかわる臨床事例を随時紹介致します。
ソーシャルワーク演習Ⅳ	若林 功 須藤 昌寛 磯 玲子 銭本 隆行	3 4	1	30	社	—	—	行政職員、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー等の実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。
ソーシャルワーク実習Ⅱ	磯 玲子/高石 麗理湖 若林 功/須藤 昌寛 山口 佳子/銭本 隆行 中山 和幸/中村 哲也	3 4	4	180	社	—	—	社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)として保健医療機関において相談援助の実務経験を有する教員が、現場における事務、相談援助の経験やこれまでの現場の人々とのかかわりを踏まえ、適宜助言を行う。
保健医療と福祉	高石 麗理湖	3 4	2	30	○	—	—	社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)としての実務経験を講義で取り上げながら解説する。
経営分析論	中田 健吾	3 4	2	30	—	—	○	担当教員は経営戦略・マーケティング戦略・PRコミュニケーションのコンサルタントとして活動するほか、企業のマーケティング担当、などの経験を有する。
財務管理論	松岡 一路	3 4	2	30	—	—	—	実務での具体的な事例を提示しながら、基本的概念をより実践的に実務的に習得できるようにする。このために、社会調査分野で実務にあたる外部客員スピーカーによる講義を適宜、実施する。
国際統計分類Ⅰ(国際疾病分類)	滝澤 雅美	3	2	30	—	—	○	担当教員は、総合商社に勤務し、海外事業投資案件を担当し、実際にタイ王国に設立した、合弁会社に役員として出向して、オランダの調査や決算業務なども主導した経験を持つ。
国際統計分類Ⅱ(分類コードの実例)	滝澤 雅美	3	2	30	—	—	○	ファイナンス理論では将来キャッシュフローを用いて企業価値を算定する。学生の皆さんは実務経験がないので、この「将来キャッシュフロー」ならびに「割引現在価値」などの理解に苦勞する。実務で得た知識・経験をもとに、学生の皆さんにもわかりやすく、その意味を説明する。
国際統計分類Ⅰ特別講義(基礎)	滝澤 雅美	3	2	30	—	—	○	国際統計分類(ICD)が用いられている人口動態統計や患者調査、診断群分類包括支払制度(DPC/PPDS)等について、実際の活用事例を提示しながら講義を行う。特にDPC/PPDSにおけるICDの利用においては、担当教員の実務経験を元に例題を用いながら講義を行う。
国際統計分類Ⅱ特別講義(応用)	滝澤 雅美	3	2	30	—	—	○	担当教員は、病院での実務経験があり、診療情報管理士(診療情報管理士指導者)の資格を有する。医療現場で働く者について医療機関で働く者による病名を例題に取り上げながら講義を行う。
診療情報管理演習Ⅰ(基礎)	國吉 保孝	3 4	1	30	—	—	—	担当教員は、病院での実務経験があり、診療情報管理士(診療情報管理士指導者)の資格を有する。医療現場で作成されている国際統計分類の例題を用いて講義を行う。
診療情報管理演習Ⅲ(分類法)	滝澤 雅美	3 4	1	30	—	—	—	教員が培った医師としての経験を共有しながら内容も講義中に扱う。医療現場で扱う主要な疾患を網羅的に学習し、暗記に頼らない本質的な疾患への理解を深められるよう、事例紹介を適宜行う講義を展開する。
医療ソーシャルワーク実習指導	高石 麗理湖	4	2	60	—	—	—	講義では科目担当責任者の診療情報管理士実務経験等をもとに例題を用いながら講義を行う。
医療ソーシャルワーク実習	高石 麗理湖 中村 哲也 中山 和幸 若林 功	4	4	180	—	—	—	医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を講義で取り上げながら解説する。
医療福祉実習指導	中村 哲也 中山 和幸 若林 功	4	1	30	—	—	—	医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を共有しながら実習指導を行う。
医療福祉実習	中村 哲也 中山 和幸 若林 功	4	2	90	—	—	—	行政職員、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー等の実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。
社会福祉特別講義Ⅰ(人和社会)	山口 佳子	4	2	30	—	—	—	行政職員、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー等の実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。
社会福祉特別講義Ⅲ(地域福祉)	若林 功	4	2	30	—	—	—	地域包括支援センター、介護老人保健施設等における相談援助の実務経験に基づき、ソーシャルワークの倫理、知識、技術について講義を行う。
社会福祉特別講義Ⅳ(福祉とサービスの知識)	山口 佳子	4	2	30	—	—	—	専門機関の現場における相談援助職としての実践経験に基づく指導(現場でのコッ、利用者像などの解説等)を行い、学生が事例をより現実的にイメージできるように講義を行う。
社会福祉特別講義Ⅴ(関連サービスの知識)	山口 佳子	4	2	30	—	—	—	地域包括支援センター、介護老人保健施設等における相談援助の実務経験に基づき、ソーシャルワークの倫理、知識、技術について講義を行う。

		メンタルヘルスソーシャルワーク演習	山本 由紀 渡辺 修宏 木村 潤		4		3	90		精		—	—	担当教員は精神科病院(外来・慢性期病棟・アルコール病棟勤務)、独立型精神保健福祉士による相談室を主宰(ア ディクションやメンタルヘルスの問題のある当事者とその家族への相談・カウンセリング・心理教育実践)、精神保健福祉 センターや保健所・行政の女性相談・母親の心の相談等の実務経験を有する。 臨床での経験をもち、実践に即したソーシャルワークの援助技術を指導する。	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導	山本 由紀 渡辺 修宏 木村 潤		4		3	90		精				担当教員は精神科病院(外来・慢性期病棟・アルコール病棟勤務)、独立型精神保健福祉士による相談室を主宰(ア ディクションやメンタルヘルスの問題のある当事者とその家族への相談・カウンセリング・心理教育実践)、精神保健福祉 センターや保健所・行政の女性相談・母親の心の相談等の実務経験を有する。 臨床での経験をもち、実践に即したソーシャルワークの援助技術を指導する。	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習A	山本 由紀 渡辺 修宏 木村 潤		4		4	180		精		—	—	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にか かわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験か ら、支援の実態について具体例を示しながら指導を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れそ の意見を食めて指導を行う。	SW実習Ⅱ
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習B	山本 由紀 渡辺 修宏 木村 潤		4		5	225		精		—	—	精神科病院・精神保健福祉行政機関・独立型精神保健福祉士相談室でのソーシャルワーク実践経験を有する教員 が、臨床現場での経験から、実践に即したソーシャルワークの援助技術を指導し、実習スーパービジョンを行う。	
		精神保健福祉特別講義Ⅰ(基礎)	木村 潤		4		2	30				—	—	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にか かわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験か ら、支援の実態について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実践者からの情報を取り入れそ の意見を食めて講義を行う。	

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等 による授業科目	341	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数 必修 選択	時間	実務経験の授業への展開	備考
総合教育科目	人間系						
	文学論	山内 則史	1 2 3 4 5 6	2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。	
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4 5 6	1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
	雑談と傾聴 ～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4 5 6	2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴィザーン・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験から、患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う。	
	宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4 5 6	2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、坂城総合病院倫理委員、塩瀬市社協福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを目指しと進んでいきます。	
社会系	死生学 - 死を通して生を考える -	大園 康文	1 2 3 4 5 6	2	30	小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きながら死生学を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
	法学	森川 伸吾	1	2	30	弁護士としての実務経験から、条文の読み方の解説や事例についてのコメント等において、実務感が反映される。	
	日本国憲法	森川 伸吾	1 2 3 4 5 6	2	30	弁護士としての実務経験から、事例について講義する際に、実務感覚が活かされる。	
	日本政治経済論	光山 奈保子	1 2 3 4 5 6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	マスメディア論	佐藤 伸	1 2 3 4 5 6	2	30	新聞社の記者として、地方記者、海外特派員を経験を生きし、授業の合同に、講師が記者として体験したことなどをニュースの裏側に関する話を随時します。また、時事問題を扱うことから、できるだけホットな話題を取り上げたいので、内容が前後したり、入れ替わる可能性があります。時間が許せば、テーマに沿った記事執筆体験にも取り組む。	
	福祉経済学	光山 奈保子	1 2 3 4 5 6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4 5 6	2	30	国際ジャーナリストとしてアジア諸国・地域（中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール）など海外に長く駐在し、現在も中国研究者として中国が地域に与える影響などをテーマとしています。地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で貢献が影響していることを指摘します。	
	国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4 5 6	2	30	国際ジャーナリストとして、アジア諸国・地域（中国・北京、香港、台湾・台北、シンガポール）と米国（ワシントン）に長期駐在し、アジアを中心とした国際問題の新聞論評（社説）を執筆する論説委員を務めた。専門分野は現代中国研究と国際安全保障。国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。	
	世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4 5 6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4 5 6	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生きし授業においては実際事例などを織り交せて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
	ボランティア論	中村 哲也	1 2 3 4 5 6	2	30	社会福祉協議会ボランティアセンターでの実務経験を活かし、適宜事例を示しながら講義を行う。	
	ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4 5 6	2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進実務経験を生かして講義。	
	手話入門	荒川 涼子	1 2 3 4 5 6	2	30	地域の手話者社員養成講座を講師し、手話通訳者の立場、手話通訳者の立場から、厚生労働省策定手話者社員養成カリキュラムを参考に、医療・介護の現場に役立つ手話や知識を教示していく。	
	経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4 5 6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
	経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4 5 6	2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。	
自然・情報系	疫学・保健医療統計学	島田 直樹	1 2 3 4 5 6	2	30	様々な業種の企業、特別地方公共団体、特別民間法人において、嘱託産業医としての実務経験がある。産業医は、労働現場において生じる様々な健康問題に対して、疫学の手法を用いて、原因の解明および対策の樹立を行っている。その経験を授業で適宜紹介する。	※専門科目にカウント
	化学	猪股 浩平	1	2	30	授業担当者は企業において有用な医薬品候補化合物のデザインおよびその精密合成に従事した経験を有している。実務経験を踏まえ、薬学に必要な化学の基礎的内容について、必須項目を中心に教授する。	※専門科目にカウント
総合系	医療福祉教養講義	沢谷 洋平	1 2 3 4 5 6	1	15	青年海外協力隊での活動経験を伝達する。	
	メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4 5 6	2	30	航空会社国際線客室乗務員としての勤務経験や、医療機関で各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等の実務経験を主要教員が担当する。国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけることを目指す。	
	総合講義 超高齢社会で認知症と向き合う	橋本 光康	1 2 3 4 5 6	1	15	病院、施設及び専門機関での臨床、勤務経験を有する各教員が臨床又は実務経験を活かして、テーマに沿った授業を展開する。	
専門基礎／学部共通	微生物と病気	山岸 裕和	1 2 3 4 5 6	2	30	小児科医として日常的に感染症患者の診療を行っている。小児感染症認定医の資格を有する。診療の他、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスに関する基礎研究も行っている。実務経験に基づき感染症の現状、問題点に関して、分かりやすく解説するとともに、現実的対応について講義する。	
	関連職種連携論	橋本 光康	2	2	30	各教員は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療情報管理士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなど、生活相談員など各専門職の臨床経験を有する。病院や施設等と勤務する各専門職の右資格者の臨床経験を踏まえ、講義を展開する。	
	看護論	林 圭子	1	2	30	看護師・保健師・助産師での実務経験に基づいた講義を展開することにより、イメージしやすく、各看護の専門領域について理解することができ、イメージしやすくなり、ケアマネジメントに関わった実務経験を踏まえ、事例を紹介することや模擬演習を用いたケアプラン作成の一連のプロセスについての講義を行う。	
	ケアマネジメント論	磯 玲子	2 3 4 5 6	1	15	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実態からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
	ケースワーク論	木村 潤	1 2 3 4 5 6	1	15	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実態からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
	保健医療福祉制度論	木村 潤	1 2 3 4 5 6	2	30	精神障害者地域生活支援センター、相談支援事業所での業務に従事し、精神保健福祉を中心とした障害のある人にかかわる相談援助業務として、個別の支援と地域での支援体制づくりの経験を有する教員が、相談援助業務の経験から、支援の実際について具体例を示しながら講義を行う。また、近年の課題については実態からの情報を取り入れその背景を含めて講義を行う。	
	社会福祉学	若林 功	1 2 3 4 5 6	2	30	専門機関における相談援助（様々な事例における面接・ソーシャルワークの展開、施設内・機関間・地域連携、施設運営等の活動等）について経験を持つ教員が、相談援助職としての実務経験を踏まえ、各回の内容に照らし合わせ、事例など具体的な情報を加味した講義を行う。	
	臨床心理学概論	杉野 珠理	1	2	30	臨床心理士、公認心理師の資格を有し、企業、自治体においてカウンセリング業務に従事する教員が、学生が研修や臨床現場で出会う援助対象者の心理について、具体的にイメージできるよう、講師自身の臨床経験を活かして講義を展開します。	※専門科目にカウント
	関連職種連携ワーク	橋本 光康	3	1	30	チーム担当教員は、看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・臨床検査技師・診療放射線技師・社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・薬剤師・診療情報管理士等であり、多くの教員が実務経験がある。各チーム担当教員の多くが現場での実務経験があり、グループワークの中では、その経験を交え、学生にアドバイスをし、技術修練を活かしていく。	
	関連職種連携実習	家入 香代	5	1	45	各グループの実習担当教員の多くは、病院や福祉施設等での実務経験を有する。実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていく。	
専門	分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	加藤 芳徳	1	2	30	食品残留農薬、食品残留抗菌薬および食品中ダイオキシン類の分析経験から、分析法バリデーションおよび各種分析手法に関する基礎的知識および応用例について、講義を展開する。	
	有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	猪股 浩平	2	2	30	企業において有用な医薬品候補化合物のデザインおよびその精密合成に従事した実務経験を踏まえ、薬学に必要な有機化学の基礎的内容について、必須項目を中心に教授する。	
	臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	杉山 奈津子	3	2	30	病院において病棟常駐薬剤師や乳癌専門外来での外來薬剤師、NST等に従事した経験や、副作用マネジメントにおいては、副作用の早期発見と、医師に処方提案等を行ってきた経験から、実際に経験した事例を交え、講義・演習等を実施する。病棟常駐やNST等のチーム医療への関わりについては第4回、副作用マネジメントについては第11回に講義する。	
	医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	伊東 岳	3	2	30	病院薬剤師として、医薬品情報管理業務（医薬品情報管理室所属）に従事していた経験から、実際に経験した事例等を交え、講義・演習を実施する。	
	衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	小林 章男	3	2	30	製薬メーカーにおいて、化学物質の安全性評価や副作用を回避するリスクマネジメントプランの立案を行った経験を有する。化学物質の安全性評価を目的とした非臨床毒性試験法や、評価結果から設定される一日許容摂取量などについて、実務経験に基づき、具体的な評価事例を示して解説する。	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験の授業への展開	備考
				必修	選択			
	OTC医薬品概論	加藤 芳徳	3	2		30	担当教員はいずれも臨床現場（薬局・病院）での実務経験があり、OTC医薬品の販売の経験を活かし、講義とともに、問題解決型学習および体験学習を実施する。	
	医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	加藤 芳徳	3	1		45	病院薬剤師、薬局薬剤師の実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。	
	医薬品安全性学	小林 章男	4	2		30	製薬メーカーにおいて、医薬品候補化合物の安全性評価や副作用を回避するリスクマネジメントプランの立案を行った経験を有する教員が、医薬品候補化合物の安全性評価法や、評価結果から立案されるリスクマネジメントプランなどについて、実務経験に基づき、具体的な事例を示して解説する。	
	臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	倉本 敬二	4	2		30	病院薬剤師の実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。また、教材に使用するシナリオも自身が経験した症例を匿名化し活用している。	
	臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	高崎 新也	4	2		30	病院勤務にて、薬剤管理指導等の薬学的管理を実践した経験から、教科書以外の臨床実例等を加えて講義を行う。	
	臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	倉本 敬二	4 5	1		15	病院薬剤師の実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。	
	医療関係法規	坂本 真史	4	2		30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。	
	漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	石崎 健一	4	1		15	漢方相談や漢方製剤・生薬などの販売経験や実際に経験した症例などを紹介し、漢方薬を使用する際の理解に努めたい。また、病院での診療、薬局の漢方調剤などの相違を紹介し、今後の薬剤師としての選択を広げられる機会にしたい。	
	医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	倉本 敬二	4	1		45	病院薬剤師の実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。	
	病院・薬局事前実習Ⅱ（実務実習に必要な基本的技能）	高崎 新也	4	2		90	病院薬剤師の実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識・技能・態度等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。	
	病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	倉本 敬二	5 6	10		450	病院薬剤師の実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。	
	病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）	倉本 敬二	5 6	10		450	病院薬剤師の実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。	

卒業要件単位数	191	単位
実務経験のある教員等による授業科目	107	単位

授業科目の分類		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数 必修選択		時間	内容
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	松山 高大	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験を用いて解説する。
		コミュニケーション概論	成田教員	1 2 3 4		2	30	心理臨床で培った経験をもとに、自己理解を深めることに焦点を当てながら講義を行う。
		雑談と傾聴-話す力と聴く力-	中野 真也	1 2 3 4		2	30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		人間学	伊豫 雅臣	1 2 3 4		2	30	様々な重症度の精神疾患を有する人たちの診断治療やアドバイスを行ってきており、その経験を伝えるときに、その視点からご自身や周りの人たちのメンタルヘルスの向上に目を向けられるように展開していきたい。
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
		医療関連法規	森川 伸吾	1		2	30	法文の読み方の説明の場面において実務経験が活かされる。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	岡田 佳詠	1		1	30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していることを紐解きます。
		世界の中の和文化	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	個々の外部講師が解説する文化事象について、世界的な座標における文化の位置づけを把握し、講座全体をコーディネートします。
		経営の仕組み		1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	赤沼 裕子	1 2 3 4		2	30	赤沼：医療従事者として培った知識の解説 和田：Dx・テクノロジー専門家として培った知識の解説
		マスメディア論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じるが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実即し解説を用新聞の取材、編集に携わった経験から、課題の記事について、「読む側」と「書く側」の双方の視点を提供する。受講生相互や教員との対話を通じて、受講生のリテラシー（読解力）の向上を図る。
		新聞でみた日本と世界	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。
		手話入門	飯塚 佳代	1 2 3 4		2	30	さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開す医療現場で必要な手話表現や聴覚障害者理解について、実体験を元に様々なケースを紹介。近年コロナ禍でマスク生活となり、変化が生じている聴覚障害者の困りごとや、マスク時代のコミュニケーションに必要なことなどにも
	自然・情報系	疫学	細谷 幸子	1		2	30	学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説し様々な現象の背後にある物理法則を、日常的な現象を例示しながら、自力で捉えられるように講義する。
		物理学	拝師 智之	1 2 3 4		2	30	
		化学	米根 鉄矢	1 2 3 4		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
		生物学	湯澤 聡	1 2 3 4		2	30	大学院や医学系研究所での生命科学・基礎医学に関する研究経験をもとに「生物学」の講義を行う。
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情	西田 裕介	1		1	30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
	総合系	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれます。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉となるでしょう。
		医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2 3 4		1	15	実務経験を活かして授業を展開する
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2	30	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。

授業科目の分類		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数 必修選択		時間	内容
総合教育科	外国語系	英語会話 1 (Primary)	フェルナンデス ゴンザレス バウラ	1 2 3 4		1	30	This English course follows a communicative approach which emphashizes class participation and various kinds of interaction, such as learner-content interaction, learner-instructor interaction and learner-learner interaction.
		英語会話 2 (Basic)	フェルナンデス ゴンザレス バウラ	1 2 3 4		1	30	This English course follows a communicative approach which emphashizes class participation and various kinds of interaction, such as learner-content interaction, learner-instructor interaction and learner-
		スペイン語入門 (会話含む)	伊藤 アンジ	1 2 3 4		1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎 (会話含む)	伊藤 アンジ	1 2 3 4		1	30	コミュニケーションアプローチと私の指導経験を使い、クラスでのスペイン語圏の国の文化を伝え、学生に伝えています
		タイ語入門 (会話含む)	掛谷 ナンティヤー	1 2 3 4		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		タイ語基礎 (会話含む)	掛谷 ナンティヤー	1 2 3 4		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
専門教育科目	キャンパス共通設置科目	公衆衛生学	鈴木 知子	1		2	30	学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説しま
		救急医学	志賀 隆	1 2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		感染と免疫	長沢 光章	1		2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定・ICD（インフェクションコントロールドクター）取得講師などが担当し、その経験を活かし授業を展開する。
		リハビリテーション概論	五味 幸寛	1 2 3 4		2	30	作業療法の実践経験から、リハビリテーションの理念を教授します。
		ケースワーク論	錢本 隆行	2 3 4		1	15	日本と海外の社会の隅々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら回復期リハビリテーション病棟等において医療ソーシャルワーカーとして実践してきた多職種連携の実体験や、厚生労働省において制度創設や改正に携わった経験を生かし、実務的なことから諸制度が創設されたり改正される背景や決め手となる要因等についても講義をする。
		保健医療福祉制度論	高石 麗理湖	1		2	30	日本と海外の社会の隅々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
		社会福祉学	錢本 隆行	1 2 3 4		2	30	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展開する。
		関連職種連携ワーク	西田 裕介	3		1	30	これまでの研究活動を踏まえた授業を展開する
		関連職種連携実習	西田 裕介	4		1	45	これまでの研究活動を踏まえた授業を展開する
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	根本 友見	4		1	15	実務経験をもとにレクリエーションの実践を教授する。
		レクリエーション概論	堀田 英樹	1 2 3 4		1	15	海外・国内での実務経験を基にイメージしやすい講義を行う。
		国際医療保健学	稲岡 希実子	1		1	15	本科目は科目担教員が有する臨床等の経験、国内外の医療・保健・福祉に関する知識をふまえ実施される。
		異文化体験実習	小林 純也	1 2 3 4		1	45	臨床・公衆衛生の現場経験を活かした講義を展開する。
	学部設置科目	行動科学とモチベーション	田沼 順子	1 2		1	15	実務で得た経験と自身のキャリアや研究成果を融合し、授業を展開する。
		キャリアデザイン	大谷 則子	1		1	15	医学部において解剖学や組織学の講義・実習を担当する教員が、実務上の経験や最新の知見を踏まえて講義を行う。
		からだの構造	吉岡 広陽	1		1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		からだの機能	中江 淳	1		1	30	実際の症例や事例などをもとに、具体的に説明する。豊富な視覚的資料や使用している診療ガイドラインなどを示すことで、最新の疾病と治療に関する各講師は実務経験を踏まえた講義の展開をする。
		疾病・治療学Ⅰ（呼吸、循環）	島田 伊津子	1		2	30	実際の症例や事例などをもとに、具体的に説明する。豊富な視覚的資料や使用している診療ガイドラインなどを示すことで、最新の疾病と治療に関する
		疾病・治療学Ⅱ（消化、代謝）	赤沼 裕子	2		2	30	実際の症例や事例などをもとに、具体的に説明する。豊富な視覚的資料や使用している診療ガイドラインなどを示すことで、最新の疾病と治療に関する
		疾病・治療学Ⅲ（生殖、免疫、運動器）	菱谷 純子	2		2	30	実務経験を踏まえた講義展開
		疾病・治療学Ⅴ（脳神経系、精神系）	岡田 佳詠	2		2	30	国の行政に携わった経験を活かし、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割について、国の健康課題や政策と関連づけて授業を展開す授業時に必要な情報、生じる副作用を見出すポイントなど、臨床現場に即した事例を紹介します。
		人間と栄養	坂口 景子	1		1	15	実務経験に基づいて各ライフステージの人々とその家族の理解の仕方やその支援方法を授業内で展開する。
		薬理学	西村 和洋	2		2	30	講義内容に関連した、臨床でのエピソードを紹介する。
		人間発達学	菱谷 純子	1		1	15	臨床現場での経験を活かし、現場の事例を示すことで難解な概念の理解を目指すとともに、看護の本質について自ら問いなおすことができるよう教授す
		遺伝と医療	西垣 昌和	1		1	15	臨床現場での経験を活かし、現場の事例を示すことで難解な理論の理解と実践をつなげることを教授する。
基礎看護学	基礎看護学	看護学概論	大谷 則子	1		2	30	臨床現場での実践から得られた知見を融合し、幅広い視点から授業を展開する。
		看護理論	大谷 則子	1		1	15	臨床現場での経験を活かし、人びとの生活上のニーズや諸問題を系統的に展開し、問題解決に向けた援助を実践するための方法を教授する。
		基礎看護学方法論Ⅰ（看護コミュニケーション）	島田 伊津子	1		1	15	臨床現場での実践から得られた知見を融合し、幅広い視点から授業を展開す
		基礎看護学方法論Ⅱ（看護過程）	大谷 則子	2		2	30	臨床での事象を元にしたリアリティのある演習事例を使用し、臨床の対象者に行ってきたフィジカルイグザミネーション技法・アセスメント方法を教授
		基礎看護学演習Ⅰ（日常生活援助技術）	坂 美奈子	1		2	60	臨床現場での実践から得られた知見を融合し、幅広い視点から授業を展開す
		基礎看護学演習Ⅱ（ヘルスアセスメント）	島田 伊津子	1		1	30	臨床現場での実践から得られた知見を融合し、幅広い視点から授業を展開す
		基礎看護学演習Ⅲ（医療支援技術）	古山 陽一	2		1	30	臨床現場での経験を活かし、看護の視点をもった解説を適宜行い、目標達成に向けた支援をおこなう。
		基礎看護学実習Ⅰ（入門）	坂 美奈子	1		1	45	

授業科目の分類			授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	内容
専門科目	看護学	看護管理	基礎看護学実習Ⅱ（基礎）	大谷 則子	2	2	90	臨床現場での経験を活かし、人びとの生活上のニーズや諸問題を系統的に展開し、問題解決に向けた援助を実践するための方法や意義について実習指導者とともに指導する。
			看護情報リテラシー	古山 陽一	1	1	15	臨床現場での実践から得られた知見を融合し、幅広い視点から授業を展開す
			看護管理学概論	大谷 則子	4	1	15	臨床現場での経験と自身の看護管理に関する研究から得られた知見を融合し、幅広い視点から授業を展開する。
			看護管理学演習	大谷 則子	4	1	30	臨床現場での実践から得られた知見を融合し、幅広い視点から授業を展開す
			保健事業戦略とマネジメント	細谷 幸子	4	1	15	実務経験をもとに地方公共団体の保健事業の事例検討を展開する
		リプロダクティブヘルス	リプロダクティブヘルス看護学概論	菱谷 純子	1	1	15	実務経験に基づいた事象の説明を取り入れ、イメージ化を促進する。
			リプロダクティブヘルス看護学方法論	菱谷 純子	2	2	30	臨床現場の実務経験に基づいた事象の説明を取り入れ、イメージ化を促進す
			リプロダクティブヘルス看護学演習	菱谷 純子	3	1	30	母子とその家族への看護実践経験は学生が母子を支援する際に活用できる。また看護師や助産師への教育的支援に関する研究成果の一部は学部学生への援用が可能である。
			リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ（産科病棟外実実習）	菱谷 純子	3	1	45	母子とその家族への看護実践経験は学生が母子を支援する際に活用できる。また看護師や助産師への教育的支援に関する研究成果の一部は学部学生への援用が可能である。
		小児看護学	小児看護学概論	中谷 章子	2	1	15	実務経験を踏まえ、理論および研究成果と合わせて、子どもと家族の特徴や健康課題について授業展開する。
			小児看護学方法論	中谷 章子	3	2	30	実務経験に基づいた様々な発達段階にある子どもと家族に対する看護支援を授業内で展開する
			小児看護学演習	中谷 章子	3	1	30	実務経験に基づいた様々な発達段階にある子どもと家族に対する援助技術をエビデンスを踏まえて展開する。
			小児看護学実習	中谷 章子	3	2	90	様々な発達段階、病状にある子どもと家族の理解とニーズのとらえ方など、実務経験ならびにエビデンスに基づいて実習指導を行う。
		成人看護学	成人看護学概論	益田 美津美	2	1	15	実務経験をもとに、テキストの内容を具体的な事例などに置き換えてわかりやすく教授する
			成人看護学方法論Ⅰ	益田 美津美	3	2	60	臨床経験を基に、テキストの内容を具体的な事例などに置き換えてわかりやすく教授する。
			成人看護学方法論Ⅱ	赤沼 裕子	3	2	60	臨床現場で求められる知識・看護師の役割などを臨床での実務経験に基づき授業を展開する
			成人看護学方法論Ⅲ	益田 美津美	3	1	30	講義では臨床の事例を取り入れて説明を行う。
			成人看護学実習Ⅰ	益田 美津美	3	2	90	臨床経験を基に、臨地実習指導者と協同し、受け持ち患者へのケアのあり方、原理原則とそれに基づく応用方法などを指導する。
			成人看護学実習Ⅱ	赤沼 裕子	3	2	90	担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行う
			成人看護学実習Ⅲ	赤沼 裕子	3	1	45	実習では臨床の経験を基にアドバイスを行う。
		老年看護学	老年看護学概論	丹野 志保	2	1	15	講義内容に関連した臨床現場でのエピソード等を紹介する。
			老年看護学方法論	矢代 実希	3	2	30	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。講義内容に関連した臨床現場での看護のエピソードを紹介する。
			老年看護学演習	丹野 志保	3	1	30	演習を進める過程で、実際の臨床現場でおこなわれている工夫等を紹介す
			老年看護学実習	矢代 実希	3	2	90	臨地実習では、臨床での実務経験を踏まえ、具体的かつ分かりやすい説明を
		精神看護学	精神看護学概論	岡田 佳詠	2	1	15	精神看護領域の実務経験に基づく授業展開を行う。
			精神看護学方法論	根本 友見	3	2	30	精神看護領域の実務経験に基づく授業展開を行う。
			精神看護学演習	根本 友見	3	1	30	精神看護の実務経験を活かした授業を展開する
			精神看護学実習	小林 みゆき	3	2	90	実務経験における病院、地域、企業における多様なこころの病を抱える人への看護の経験を活かし、患者の背景や病態の幅広い理解、看護過程を展開する際の視点や方向性などを示していく。
		国際看護学	国際看護学Ⅰ（異文化と看護）	稲岡 希実子	2	1	15	海外・国内での経験に基づき、異文化ケアの実際を教授する。
			国際看護学Ⅱ（活動の実際）	稲岡 希実子	2 3 4	1	15	海外・国内での経験に基づき、異文化ケアの実際を教授する。
			国際看護研修（途上国）	稲岡 希実子	3 4	2	90	実務経験に基づき途上国における健康課題・国際的な保健医療活動に関し、授業内で教授する
		災害看護学	災害関連健康危機管理論	大谷 則子	4	1	15	担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行う。
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	細谷 幸子	2	2	30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる
			産業・学校保健	細谷 幸子	2	2	30	各担当教員の実務経験を授業に反映
			公衆衛生看護活動方法論Ⅰ（公衆衛生看護技術）	長澤 ゆかり	2	2	30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる
			公衆衛生看護活動方法論Ⅱ（地域アセスメント）	長澤 ゆかり	3	2	30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる。
			公衆衛生看護活動対象論Ⅰ（発達段階別保健活動）	細谷 幸子	2	2	30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる。
			公衆衛生看護活動対象論Ⅱ（健康課題別保健活動）	細谷 幸子	3	2	30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる。
			公衆衛生看護活動対象論Ⅲ（地域包括ケア等）	長澤 ゆかり	4	1	15	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる。
			家族看護論	細谷 幸子	2	1	15	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる。
			公衆衛生看護活動展開論	長澤 ゆかり	4	2	30	それぞれの教員の実務経験を授業に反映させる
			公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政保健）	長澤 ゆかり	4	4	180	それぞれの教員の実務経験を実習指導に反映させる。
			公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業保健）	細谷 幸子	4	1	45	それぞれの教員の実務経験を実習指導に反映させる。
		在宅看護学	地域・在宅看護学概論	石塚 真美	2	1	15	各回のテーマに関連した訪問看護の具体例や場面を適宜授業内で提示する。
			地域・在宅看護学方法論Ⅰ	石塚 真美	3	2	30	各回のテーマに関連した訪問看護の具体例や場面を適宜授業内で提示する。
			地域・在宅看護学方法論Ⅱ	石塚 真美	3	2	30	各回のテーマに関連した訪問看護の具体例や場面を適宜授業内で提示する。
			地域・在宅看護学演習	石塚 真美	3	1	30	各回のテーマに関連した訪問看護の具体例や場面を適宜授業内で提示する。
			地域・在宅看護学実習	石塚 真美	3	2	90	実習では実務経験や地域・在宅看護領域での実習指導経験を活かし、対象者への関わりや連携のあり方、看護過程を展開する視点や方向性などを示して

授業科目の分類			授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	内容
						必修	選択		
		統 合 分 野	看護総合実習	菱谷 純子	4	5		225	看護学の基盤となる臨床経験を生かして、実習指導者と協力して看護実践指導を実施。
			看護倫理学	大谷 則子	4	1		15	実務経験に基づく授業展開を行う。
			看護研究	細谷 幸子	4	2		30	それぞれの教員の調査研究における経験を授業に反映させる。
			研究ゼミナール	大谷 則子	4	1		30	各専門領域の実務経験に基づくディスカッション
			海外看護研修	稲岡 希実子	4		2	90	・異文化を背景に持つ方々への訪問国でのケアに関する理解促進のために助?する

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	193	単位

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	松山 高大	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
		コミュニケーション概論	成田教員	1 2 3 4		2	30	心理臨床で培った経験をもとに、自己理解を深めることに焦点を当てながら講義を行う。
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4		2	30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		人間学	伊豫 雅臣	1 2 3 4		2	30	様々な重症度の精神疾患を有する人たちの診断治療やアドバイスを行ってきており、その経験を伝えるとともに、その視点からご自身や周りの人たちのメンタルヘルスの向上に目を向けられるように展開していきたい。
		教育学	木田 竜太郎	1	2		30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
		教育方法論	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
		医療関連法規	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	法文の読み方の説明の場面において実務経験が活かされる。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	岡田 佳詠	1	1		30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していることを紐解きます。
		世界の中の和文化	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	個々の外部講師が解説する文化事象について、世界的な座標における文化の位置づけを把握し、講座全体をコーディネートします。
		組織運営管理論	赤沼 裕子	1 2 3 4		2	30	赤沼：医療従事者として培った知識の解説 和田：Dx・テクノロジー専門家として培った知識の解説
		マスメディア論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じるが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実にも即した新聞の取材、編集に携わった経験から、課題の記事について、「読む側」と「書く側」の双方の視点を提供する。受講生相互や教員との対話を通じて、受講生のリテラシー（読解力）の向上を図る。
		新聞でみた日本と世界	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつけ大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開す
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。 さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした医療現場で必要な手話表現や聴覚障害者理解について、実体験を元に様々なケースを紹介。近年コロナ禍でマスク生活となり、変化が生じている聴覚障害者の困りごとや、マスク時代のコミュニケーションに必要な特にありません。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	ボランティアコーディネート論
		ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	手話入門
		手話入門	飯塚 佳代	1 2 3 4		2	30	防災と生活デザイン
		防災と生活デザイン	中臣 昌広	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	稲垣 誠一	1 2 3 4		2	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
		疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2 3 4		2	30	疫学・保健医療統計について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
		物理学	拝師 智之	1 2 3 4		2	30	様々な現象の背後にある物理法則を、日常的な現象を例示しながら、自力で捉えられるように講義する。
		化学	米根 鉄矢	1 2 3 4		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
		生物学	西村 和洋	1 2 3 4		2	30	研究やその応用に対する基礎知識の重要性を伝える
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	西田 裕介	1	1		30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
総合系	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれます。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉となるでしょう。	
	医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2 3 4		1	15	実務経験を活かして授業を展開する	
	メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2	30	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。	

		授業科目の名称	教員名	配当年次				単位数		時間	内容
								必修	選択		
総合 教育 科	外国語系	英語会話 1 (Primary)	フレデリクス ゴンザレス バウラ	1	2	3	4		1	30	This English course follows a communicative approach which emphasizes class participation and various kinds of interaction, such as learner-content interaction, learner-instructor interaction and learner-learner interaction.
		中国語入門 (会話含む)	山本 秀也	1	2	3	4		1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語 (國語)」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図ります。
		スペイン語入門 (会話含む)	伊藤 アンジ	1	2	3	4		1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎 (会話含む)	伊藤 アンジ	1	2	3	4		1	30	コミュニケーションアプローチと私の指導経験を使い、クラスでのスペイン語圏の国の文化を伝え、学生に伝えています
		タイ語入門 (会話含む)	掛谷 ナンティヤー	1	2	3	4		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		タイ語基礎 (会話含む)	掛谷 ナンティヤー	1	2	3	4		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		ベトナム語入門 (会話含む)	鷲頭 小弓	1	2	3	4		1	30	医療従事者と患者の間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
		ベトナム語基礎 (会話含む)	鷲頭 小弓	1	2	3	4		1	30	医療従事者と患者との間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
専門 基礎 科目 / 学部 共通	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	鈴木 知子	1	2				2	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		救急医学	志賀 隆		2			1		15	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定・ICD
		感染と免疫	長沢 光章	1	2				2	30	(インфекションコントロールドクター) 取得講師などが担当し、その経験を活かし授業を展開する。
		リハビリテーション概論	西田 裕介	1				1		30	リハビリテーション専門職としての臨床経験に基づく講義を展開する。
		ケースワーク論	銭本 隆行	1	2				1	15	日本と海外の社会の隅々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝えていく
		保健医療福祉制度論	高石 麗理湖	1	2				2	30	回復期リハビリテーション病棟等において医療ソーシャルワーカーとして実践してきた多職種連携の実体験や、厚生労働省において制度創設や改正に携わった経験を生かし、実務的なことから諸制度が創設されたり改正される背景や決め手となる要因等についても講義をする。
		社会福祉学	銭本 隆行	1	2				2	30	日本と海外の社会の隅々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝えていく
		関連職種連携ワーク	西田 裕介		3			1		30	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
		関連職種連携実習	西田 裕介		4				1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展開する。
		エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)	石田 武希		2	3			1	15	研究において文献の収集と吟味は不可欠であり、学生自身が実際にエビデンスの収集を授業内にて行う
		レクリエーション概論	堀田 英樹		3				1	15	実務経験をもとにレクリエーションの実践を教授する。
		災害保健学	後藤 圭介	1	2	3			1	15	大学病院や災害現場での災害対応経験をベースに、受講者に直接役立つ知識とスキルを提供します。
		予防保健学	石井 秀明	1	2	3			1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
		国際医療保健学	片山 博徳	1	2	3	4		1	15	国際共同研究や国際機関との連携経験を活かした講義を展開する。
		異文化体験実習	小林 純也	1	2	3	4		1	45	本科目は科目担教員が有する臨床等の経験、国内外の医療・保健・福祉に関する知識をふまえて実施される。
専門 教育 科目	専門教育科目	解剖学Ⅰ (運動器系、内臓器系)	松野 義晴	1				1		30	担当科目については、医学部・医療系学部において指導歴のある教員が、実務上の経験や知見を踏まえ授業を行う。
		生理学Ⅰ (植物性機能)	上田 浩平	1				1		30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		生理学Ⅱ (動物性機能)	上田 浩平	1				1		30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		生理学実習	上田 浩平	1				1		45	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		運動学Ⅰ (基礎)	西田 裕介	1				1		30	これまでの実務経験における基本的な知識および最新のトピックスが理解できるようにファンリテートする。
		運動学Ⅱ (応用)	石井 秀明	1				1		30	実務経験を通して得た知識をグループワーク等を通して共有する。また次年度以降の運動学特論や動作分析などの授業に発展できる基礎知識を扱
		運動生理学	西田 裕介	1				1		30	臨床にて経験した症例の、医学的情報や生理学的指標を実際の講義において活用する。 また、実際の症例の運動時の循環応答、呼吸応答、換気応答を提示し、アクティブラーニングを展開する。
		病理学	福澤 龍二		2			1		30	上記の経験を活かし、将来臨床で役に立つように医学の初歩から発展まで含めた講義をします。
		臨床医学概論	下澤 達雄		2			1		30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		内科学Ⅰ (基礎)	下澤 達雄		2			1		30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		内科学Ⅱ (臨床)	下澤 達雄		2			1		30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		神経学Ⅰ (基礎)	永山 正雄		2			1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		神経学Ⅱ (臨床)	永山 正雄		2			1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		整形外科Ⅰ (基礎)	八木 満		2			1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		整形外科Ⅱ (臨床)	八木 満		2			1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
専門 基礎 科目	専門基礎科目	精神医学Ⅰ (総論・各論)	中里 道子		2			1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		精神医学Ⅱ (各論)	中里 道子		2	3			1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		運動学特論	青木 章乃		2			2		60	臨床経験で得た知識や体験を適宜演習場面に共有する。

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
		人間発達学	後藤 圭介	2	1		30	多くの新生児を担当してきた理学療法経験を共有しながら、人間発達の段階を具体的に教育していく。また、人材育成の経験を共有しながら、社会人として重要となる社会的スキルについても同時に学習していく。
		リハビリテーション医学	角田 亘	2	1		30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。
		小児科学	塩浜 直	2	1		30	これまでの臨床経験および基礎研究を活かした講義を展開する。
		老年学	浦野 友彦	2 3		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		神経心理学概論	永山 正雄	2 3		2	30	臨床経験を活かして授業を行う。
		臨床薬理学概論	丸茂 丈史	2	1		15	多職種連携時に生じる注意点など経験的事例解説も展開する
		スポーツ傷害学	青木 章乃	2 3		1	15	実務経験を基に選択した代表的なスポーツ傷害を選択し、スポーツ動作と障害発生の関連性など臨床に即した講義を展開する。
		外科学	板野 理	2 3		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		栄養学	坂口 景子	2 3		1	15	国の行政に携わった経験を活かし、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割について、国の健康課題や政策と関連づけて授業
								理学療法士としての臨床経験に基づく講義を展開する。
専 門 科 目		理学療法概論	西田 裕介	1	2		30	実際に理学療法の臨床で対象となる疾患を提示し、筋機能障害を示しながら講義を展開する。
		機能解剖学	牧原 由紀子	2	1		30	実務経験に基づき、習得すべき事項の選択と理解すべき事項をすることができ、また、それらと実際の疾患との関係について解説ができる
		病態運動学	堀本 ゆかり	3	1		30	上記経験を踏まえて授業を展開する。
		物理療法Ⅱ(実践)	後藤 圭介	3	1		30	理学療法士としての臨床・研究・教育の実務経験から、学生のキャリア生成のサポートを行っていく。また、理学療法士としての職域の広さなど、学生に有益な情報を提供していく。
		PTスキルⅠ演習(キャリアデザイン)	堀本 ゆかり	1	1		30	検査実習、各専門理学療法学Ⅰと運動しており、臨床的な検査方法の実践を学んでいく
		PTスキルⅡ演習(検査・測定)	石田 武希	2	1		30	理学療法士としての勤務経験を活かし、評価実習に行くために必要な知識・技術・態度の水準を設定する
		PTスキルⅢ演習(専門知識の確認)	石井 秀明	2	2		60	本講義は理学療法の実践力を養うことを目標としている。担当教員の経験や知識、専門性を基盤とし、理学療法を行うに必要な思考過程を教示するとともに、多角的な視点から患者の評価や治療が行えるよう、実践
		PTスキルⅣ演習(臨床PBL)	櫻井 陽子	3	2		60	多様な疾患に対する理学療法の経験を活かし、神経系疾患、運動器系疾患、内部障害系疾患の評価に必要な内容について教示する
		理学療法評価学	竹内 真太	2	2		30	理学療法士としての勤務経験を活かし、必要な知識・技術を設定し、教
		理学療法診断学Ⅰ(基礎)	石田 武希	2	1		30	神経系理学療法における実務経験に基づき、講義・実技を展開する。
		理学療法診断学Ⅱ(神経診断学)	石井 秀明	2	1		30	多様な疾患に対する理学療法の経験を活かし、神経系疾患、運動器系疾患、内部障害系疾患の評価に必要な臨床検査と治療薬について教示する
		理学療法診断学Ⅲ(神経・画像評価学を含む)	竹内 真太	2	1		30	スポーツ動作におけるバイメカニクスの情報や自身の研究に基づいた最新の知見を学生に提供する。
		スポーツバイオメカニクス	岡道 綾	2		1	15	臨床経験で得た知識や経験を講義にて共有する
		動作分析学	岡道 綾	1	1		15	大学病院で理学療法士として心臓リハビリテーションに従事した経験を活かし、心肺運動負荷試験中の身体の生理応答と、運動処方方法について幅広い年齢層・疾患についての運動療法の経験があり、そこで培った知識や技術を授業に展開していく。
		運動処方理論	竹内 真太	2		1	15	実務経験で担当した疾患および患者情報をもとに模擬症例を作成し講義を進める。
		運動療法学総論	堀本 ゆかり	3	1		30	本邦ならびに米国の理学療法臨床業務において頻繁に用いられる基礎医療単語を抜粋した単語リストや、短文を用いた演習を実施する。
		理学療法治療学総論	西田 裕介	2	1		30	教員の留学経験・臨床経験を基に、リハビリテーションの場で実際によく用いられる語、フレーズを学ぶ。
		メディカルイングリッシュボキャブラリー	青木 章乃	2		1	15	教員の留学経験・臨床経験を基に、リハビリテーションの場で実際によく用いられる語、フレーズを学ぶ。
		グローバルメディカルコミュニケーションⅠ(基礎)	牧原 由紀子	3		1	15	運動器疾患の模擬症例等を通じて、理学療法評価の考え方等を臨床での経験をもとに進めていく
		グローバルメディカルコミュニケーションⅡ(応用)	牧原 由紀子	3		1	15	これまでの実務経験における基本的な知識に基づいた、理学療法の展開および最新のトピックスが理解できるようにファシリテートする。
		運動系理学療法学Ⅰ(評価)	岡道 綾	2	1		30	神経系理学療法における教員の経験ならびにエビデンスを用いながら講義を展開する。
		運動系理学療法学Ⅱ(治療)	岡道 綾	3	1		30	神経系理学療法における教員の経験並びにエビデンスを用いながら講義を展開する
		神経系理学療法学Ⅰ(評価)	牧原 由紀子	2	1		30	大学病院で内科系疾患患者の理学療法を行った経験を活かし、内科系疾患患者に対する理学療法士の関わり方などについて教示する
		神経系理学療法学Ⅱ(治療)	櫻井 陽子	3	1		30	大学病院等で内科系疾患患者の理学療法を行った経験を活かし、内科系疾患患者に対する理学療法について教示する
		内科系理学療法学Ⅰ(評価)	竹内 真太	2	1		30	自身の理学療法の経験を活かし、学生に高齢者に対する理学療法の重要性を説明していく。
		内科系理学療法学Ⅱ(治療)	石田 武希	3	1		30	年齢や病態に応じた装具の考え方や用い方について、福祉制度も踏まえて臨床経験で培ったノウハウを共有する。
		高齢者理学療法学	石井 秀明	3		1	15	原因疾患や活動性などの違いによる義肢のパーツ選択、さらに義肢を上手く活用するためのアプローチ方法など、経験を活かした授業を展開し知識・技術を共有していく。
		装具学	堀本 ゆかり	2	1		30	多くの疾患に対し理学療法を実施した経験を活かし、臨床に則した模擬患者を設定する 臨床場面で行われるリスク管理を実践するための思
		義肢学	堀本 ゆかり	3	1		30	生活環境への理学療法アプローチの事例提示や実務経験等の講義を通じて授業を展開していく。
		生活技術学	櫻井 陽子	2	1		30	
		生活環境学	櫻井 陽子	3	1		30	

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	内容
				必修	選択		
	地域理学療法学演習(在宅・地域)	石井 秀明	2	1		30	急性期～生活期、終末期まで各リハの時期における実務経験を活かし、地域における理学療法士の役割や課題にも触れ、授業を展開していく。
	小児理学療法学	後藤 圭介	3	1		30	新生児の抱っこや両親や多職種とのかわり方の経験を共有しながら理学療法士として必要なスキルを学修することに活かす。
	理学療法治療学特論Ⅰ(神経系治療手技)	西田 裕介	3		1	30	科目全体にわたり、成人を対象とした理学療法の基礎技術とその応用を学生が習得することに寄与する。
	理学療法治療学特論Ⅱ(運動器系治療手技)	岡道 綾	3		1	30	上記経験を活かし、実習および卒後の臨床で役立つ知識、技術を提供する。
	先端機能解剖学	牧原 由紀子	3 4		1	15	上記経験を活かして、授業では可能な限り分かりやすく、4年次の総合臨床実習に活かせる内容にする。
	先端運動系理学療法学	青木 章乃	3 4		1	15	自身の研究から得られた最新の知見を含む運動器疾患における高いエビデンスを学生に提供する。さらに、学生自身で高いエビデンスを有する最新知見を習得し、他者と情報共有することをサポートしていく。
	先端神経系理学療法学	牧原 由紀子	3 4		1	15	神経系理学療法学におけるエビデンスを用いて講義を展開する。
	先端内科系理学療法学	竹内 真太	3 4		1	15	実務経験にて蓄積した症例の情報、また、学術論文を授業の教材として活用する。
	先端スポーツ理学療法学	青木 章乃	3 4		1	15	自身の研究から得られた最新の知見を含むスポーツ障害における高いエビデンスを学生に提供する。実際に実践されている高いエビデンスのスポーツリハビリテーションをフィールドワークを通して習得していく。自身の予防分野での理学療法の経験を活かし、学生に予防分野での理学療法的重要性を説明していく。さらに、予防理学療法が実践できることを目指して授業を展開していく。
	先端予防理学療法学	石井 秀明	3 4		1	15	現場におけるテーピングの実践を実演し、基本的な技術習得をはかるべく講義を展開する。
	テーピング治療学	青木 章乃	3		1	15	評価実習と連動しており、症例情報や検査結果から臨床推論能力を高め
	クリニカルリーズニング	石田 武希	3 4	1		30	各専門領域の理学療法学Ⅰ、Ⅱに関連しており、栄養障害に対する理学療法評価、治療の方法を学ぶ。
	リハビリテーション栄養学	石田 武希	3		1	15	運動心理学の分野におけるエビデンスを用いて講義を展開する。
	運動心理学	牧原 由紀子	3		1	15	実務経験に基づき、習得すべき事項と理解すべき事項の選択ができ、適切かつ有意義な講義への反映ができる。
	理学療法管理学	堀本 ゆかり	3 4	2		30	実務経験から得た知識、エビデンスを用いて授業を展開する。
	ウィメンズヘルス理学療法学	牧原 由紀子	3		1	15	自身が「外国人」である生活を送ったことで学んだ、文化の違いや多様性を恐れるのではなく感謝する心持ちを学生に伝え、実習国についてより深く理解できるよう支援しながら研修を展開する。
	理学療法国際実習	牧原 由紀子	4		1	45	上記経験を活かし、トップレベルから地域活動レベルまで幅広く対応できるよう授業を展開する。
	障がい者スポーツ概論	岡道 綾	3		1	15	臨床現場と養成校で得た知識や体験を講義にて共有する
	理学療法特論	牧原 由紀子	4	1		30	これまでの臨床教育の経験や、厚労省指定の最新の指導要項に沿った臨床実習計画を行っている。
	基礎実習	青木 章乃	1	1		45	理学療法士としての臨床経験や学生指導の経験を活かし、実習中に多くの体験や知識を身に付けられるような内容・時間配分に設定した
	地域リハビリテーション実習(訪問・通所)	櫻井 陽子	2	1		45	これまで臨床現場で対象者と関わってきた経験を活かし、臨床現場で求められる認知領域・精神運動領域・情意領域について指導を行う。
	検査実習	竹内 真太	2	2		90	臨床での学生指導の経験を活かし、実習に臨む前に必要な技術・知識を身につけられるような試験の設定や、実習中に学生が多くの経験を積める実習形態の構築、実習後に成果の確認できる試験や振り返りの時間の設定を行い、実習中に得た知識・技術をしっかりと身につけられる内容にて妥当性の高い内容を指導する。
	評価実習	堀本 ゆかり	3	6		270	教員自身が行った研究を紹介しながら、研究デザインについて講義、指導を行うとともに、教員の研究の実務経験等に基づきフィードバックを
	総合臨床実習	竹内 真太	4	12		540	
	理学療法研究のデザイン	西田 裕介	3	1		30	

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	196	単位

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	松山 高大	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
		コミュニケーション概論	成田教員	1 2 3 4		2	30	心理臨床で培った経験をもとに、自己理解を深めることに焦点を当てながら講義を行う。
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4		2	30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		人間学	伊豫 雅臣	1 2 3 4		2	30	様々な重症度の精神疾患を有する人たちの診断治療やアドバイスを行ってきており、その経験を伝えるとともに、その視点からご自身や周りの人たちのメンタルヘルスの向上に目を向けられるように展開していきたい。
		教育学	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
		教育方法論	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
		医療関連法規	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	法文の読み方の説明の場面において実務経験が活かされる。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	岡田 佳詠	1	1		30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していることを紐
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していることを紐
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	個々の外部講師が解説する文化事象について、世界的な座標における文化の位置づけを把握し、講座全体をコーディネートします。
		世界の中の和文化	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	赤沼：医療従事者として培った知識の解説 和田：Dx・テクノロジー専門家として培った知識の解説
		組織運営管理論	赤沼 裕子	1 2 3 4		2	30	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じるが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実にも即した解説を用意す
		マスメディア論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	新聞の取材、編集に携わった経験から、課題の記事について、「読む側」と「書く側」の双方の視点を提供する。受講生相互や教員との対話を通じて、受講生のリテラシー（読解力）の向上を図る。
		新聞でみた日本と世界	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。 さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
		ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	医療現場で必要な手話表現や聴覚障害者理解について、実体験を元に様々なケースを紹介。近年コロナ禍でマスク生活となり、変化が生じている聴覚障害者にありません。
		手話入門	飯塚 佳代	1 2 3 4		2	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
		防災と生活デザイン	中臣 昌広	1 2 3 4		2	30	疫学・保健医療統計について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	自然・情報系	統計学	稲垣 誠一	1 2 3 4		2	30	様々な現象の背後にある物理法則を、日常的な現象を例示しながら、自力で捉えられるように講義する。
		疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2 3 4		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
		物理学	拝師 智之	1 2 3 4		2	30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		化学	米根 鉄矢	1 2 3 4		2	30	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれます。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギー
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	西田 裕介	1	1		30	実務経験を活かして授業を展開する
	総合系	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション
		医療福祉教養講義	平島 ユイ	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2	30	

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
総合教育科	外国語系	英語会話 1 (Primary)	フェルナンデス	1 2 3 4		1	30	This English course follows a communicative approach which emphasizes class participation and various kinds of interaction, such as learner-content interaction, learner-instructor interaction and learner-learner interaction.
		中国語入門 (会話含む)	山本 秀也	1 2 3 4		1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語 (國語)」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図りま
		スペイン語入門 (会話含む)	伊藤 アンソ	1 2 3 4		1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎 (会話含む)	伊藤 アンソ	1 2 3 4		1	30	コミュニケーションアプローチと私の指導経験を使い、クラスでのスペイン語圏の国の文化を伝え、学生に伝えています
		タイ語入門 (会話含む)	掛谷 ナン	1 2 3 4		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		タイ語基礎 (会話含む)	掛谷 ナン	1 2 3 4		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		ベトナム語入門 (会話含む)	鷲頭 小弓	1 2 3 4		1	30	医療従事者と患者の間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
		ベトナム語基礎 (会話含む)	鷲頭 小弓	1 2 3 4		1	30	医療従事者と患者との間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
専門基礎科目 / 学部共通	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	鈴木 知子	1	2		30	学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説しま
		救急医学	志賀 隆	2	1		15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		感染と免疫	長沢 光章	1 2		2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定・ICD (インフュージョンコントロールドクター) 取得講師などが担当し、その経験を活か
		リハビリテーション概論	五味 幸寛	1	2		30	作業療法の実践経験から、リハビリテーションの理念を教授します。
		ケースワーク論	錢本 隆行	1 2		1	15	日本と海外の社会の隔々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝
		保健医療福祉制度論	高石 麗理湖	3 4		2	30	回復期リハビリテーション病棟等において医療ソーシャルワーカーとして実践してきた多職種連携の実体験や、厚生労働省において制度創設や改正に携わった経験を生かし、実務的なことから諸制度が創設されたり改正される背景や決め手となる要因等についても講義をする。
		社会福祉学	錢本 隆行	1 2		2	30	日本と海外の社会の隔々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝
		関連職種連携ワーク	西田 裕介	3	1		30	臨床現場における各職種の役割と多職種との関わり、連携と実務経験に基づき展開する。
		関連職種連携実習	西田 裕介	4		1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展開する。
		エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)	寛 智裕	2 3		1	15	担当教員が持つ臨床および論文執筆経験により、学術論文の検索、読み方、書き方を教授する。
		レクリエーション概論	堀田 英樹	3 4		1	15	実務経験をともに、レクリエーションの実践を教授する。
		災害保健学	後藤 圭介	1 2		1	15	大学病院や災害現場での災害対応経験をベースに、受講者に直接役立つ知識とスキルを提供します。
		予防保健学	石井 秀明	1 2		1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
		国際医療保健学	片山 博徳	1 2		1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
		異文化体験実習	小林 純也	1 2		1	45	国際共同研究や国際機関との連携経験を活かした講義を展開する。本科目は科目担当教員が有する臨床等の経験、国内外の医療・保健・福祉に関する知識をふまえ実施される。
専門教育科目	専門基礎科目	解剖学Ⅰ (運動器系、循環器系)	松野 義晴	1	1		30	担当科目については、医学部・医療系学部において指導歴のある教員が、実務上の経験や知見を踏まえ授業を行う。
		生理学Ⅰ (植物性機能)	上田 浩平	1	1		30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		生理学Ⅱ (動物性機能)	上田 浩平	1	1		30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		生理学実習	上田 浩平	1	1		45	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		運動学Ⅰ (基礎)	光金 正官	1	1		30	評価や介入に運動学的知識が大いに活用された実際例を数多く経験しています。授業理解の助けとしてそれらの提示も積極的に行います。
		運動学Ⅱ (応用)	光金 正官	1	1		30	評価や介入に運動学的知識が大いに活用された実際例を数多く経験しています。授業理解の助けとしてそれらの提示も積極的に行います。
		運動学実習	光金 正官	2	1		45	運動学と作業療法との関わり、知識の活用について教授します。
		運動生理学	光金 正官	2	1		30	評価や介入に運動生理学的知識の活用が必須とされる実際例を数多く経験しています。授業理解の助けとしてそれらの提示も積極的に行います。
		病理学	福澤 龍二	2	1		30	上記の経験を活かし、将来臨床で役に立つように医学の初歩から発展まで含めた講義をします。
		内科学	下澤 達雄	2	1		30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		神経学Ⅰ (基礎)	永山 正雄	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		神経学Ⅱ (臨床)	永山 正雄	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		整形外科Ⅰ (基礎)	八木 満	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		整形外科Ⅱ (臨床)	八木 満	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		精神医学Ⅰ (基礎)	中里 道子	2	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		精神医学Ⅱ (臨床)	中里 道子	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		小児科学	塩浜 直	2	1		30	これまでの臨床経験および基礎研究を活かした講義を展開する。
		老年学	浦野 友彦	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		リハビリテーション医学	角田 亘	2	1		30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。
		人間発達学	谷口 敬道	1	1		30	重症心身障害、発達障害、神経疾患、就学支援などの子どもの作業療法の実践経験から、リハビリテーションの理念を教授します。
		病態生理学	寛 智裕	2 3		1	15	担当教員のもつ臨床経験から、各疾患の症状、病態生理について教授する。
		臨床薬理学概論	丸茂 丈史	2	1		15	多職種連携時に生じる注意点など経験的事例解説も展開する

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
		栄養学	坂口 景子	2 3		1	15	国の行政に携わった経験を活かし、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割について、国の健康課題や政策と関連づけて授業を展開する。
		外科学	板野 理	2 3		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
脳神経外科学		松野 彰	2 3		1	15	これまでの臨床経験を活かした授業を展開する。	
神経心理学概論		永山 正雄	2 3		1	15	臨床経験を活かして授業を行う。	
対人援助論		小林 竜	1 2		1	15	身体障害者や高齢者の作業療法の実践経験から、対人援助の理念を教授しま	
	専 門 教 育 科 目	作業療法概論	五味 幸寛	1	1		15	実践経験から、作業療法の役割、仕事を教授します。
		作業学概論	岩上 さやか	1	1		15	作業療法の実践経験から、作業とは何かを教授します。
		作業工程技術学・基礎論	澁井 実	1	1		30	本授業での学びが、多様な作業療法臨床においてどのように活用されるのかを説明しながら、授業進行する。
		作業工程技術学・応用論	澁井 実	3	1		30	本授業での学びが、多様な作業療法臨床においてどのように応用されるのかを説明しながら、授業を進行する。
		作業分析学Ⅰ（基礎）	岩上 さやか	1	1		30	作業分析は「作業」の知識なしには語れない。これは言葉の意味ではなく、実際に目の前で展開される「作業」の事だ。これまで臨床で目にしてきた人々の「作業」を題材に、「作業」とは何なのか？「作業」はどういう視点で分析するのが、作業療法の仕事なのかを伝授します。
		作業分析学Ⅱ（応用）	岩上 さやか	2	1		30	作業療法における作業分析の実務経験に基づく授業を展開する。
		作業応用論	堀田 英樹	2 3		1	30	本授業での学びが、多様な作業療法臨床においてどのように活用されるのかを説明しながら、授業進行する。
		研究法概論	小林 竜	3	1		15	担当教員の作業療法研究に関する経験をふまえて授業を展開する。
		作業療法管理学Ⅰ（基礎）	澁井 実	3	1		15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
		作業療法管理学Ⅱ（応用）	澁井 実	4	1		15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
		作業療法評価学概論	五味 幸寛	2	1		15	担当教員の実務経験をもとに、実際の臨床での考えの道筋を具体的に伝える。
		作業療法評価学各論	光金 正官	2	1		30	作業療法評価全般に関し基礎的な知識や技術を習得することに加え、臨床場面で多く実施されている評価法や評価実施時の留意点など、臨床における活用方法についても教授します。様々な疾患を重複合併した症例など、実際の臨床現場に則した形で評価の実施が求められる状況設定も意識しての講義が展開され実務経験をもとに作業療法評価について教授する。
		作業療法評価学演習	澁井 実	2	1		30	運動機能評価の目的と方法について実務経験をもとに教授する。基礎的運動機能の評価を学ぶ上で参考となる実際例を数多く経験しています。授業理解の助けとしてそれらの提示も積極的に行います。
		基礎運動機能評価法	光金 正官	2	1		30	運動機能評価の目的と方法について実務経験をもとに教授する。基礎的運動機能の評価を学ぶ上で参考となる実際例を数多く経験しています。授業理解の助けとしてそれらの提示も積極的に行います。
		生活機能論	澁井 実	2	1		15	作業療法における生活機能論に関する実務経験に基づく授業を展開する。
		基礎精神機能評価法	澁井 実	2	1		30	精神機能の障害に関する実務経験に基づく授業を展開する。
		上肢機能評価法	寛 智裕	2 3		1	15	担当教員の作業療法士臨床経験から、上肢機能の評価について教授する。
		日常生活活動評価法	小林 竜	2 3		1	15	教員の臨床経験をふまえながら、評価法使用時の留意点や臨床における活用方法を意識して講義を展開します。
		高次脳機能評価法	五味 幸寛	2 3		1	15	高次脳機能評価の進め方や各種検査の目的と方法について実務経験をもとに教授します。
		作業療法適用学概論	五味 幸寛	2	1		15	作業療法の実践経験から、作業療法の適用を教授します。
		内科系疾患作業療法学	寛 智裕	3	1		30	実務経験をもとに内科系疾患の作業療法を教授する。
		運動器疾患作業療法学	寛 智裕	3	1		30	担当者が持つ15年以上の作業療法臨床経験をもとに、運動器疾患を罹患した対象者への作業療法実践についての基礎的な知識や技術を伝えていきます。
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	小林 竜	3	1		30	中枢神経疾患の作業療法について担当教員の実務経験をもとに教授します。
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	小林 竜	3	1		30	各疾患の病態と作業療法について実務経験をもとに教授します。
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	澁井 実	3	1		30	精神障害作業療法に関する実務経験に基づく授業を展開する。
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	堀田 英樹	3	1		30	作業療法では精神、つまり「こころ」の問題がクローズアップされることが多い。本講義では「こころ」に関する多種多様な疑問について試行錯誤しながら学生とともに考えていく。
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	谷口 敬道	3	1		30	重症心身障害、発達障害、神経疾患などの子どもの作業療法の実践経験から、リハビリテーションの理念を教授します。
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	谷口 敬道	3	1		30	重症心身障害、発達障害、神経疾患などの子どもの作業療法の実践経験から、リハビリテーションの理念を教授します。
		老年作業療法学	堀田 英樹	3	1		30	老年期の作業療法における基本に加え、症例やご家族へのサービス提供時の留意点や多職種協働の実際を教授する。
		作業療法諸理論	寛 智裕	4	1		15	担当教員が持つ15年以上の作業療法士臨床経験から、実際の作業療法場面において使用される各理論について教授する。
		作業療法応用学概論	五味 幸寛	3	1		15	実務経験をもとに作業療法の応用について教授する。
		就学・就労支援論	五味 幸寛	3	1		15	作業療法の実践経験から、就学、就労支援に必要な知識を教授します。
		生活技術学Ⅰ（総論）	岩上 さやか	2	1		30	生活技術とはすなわち人々の個性の高い暮らしを支援する技術である。これは、様々な分野での臨床経験無くして伝える事は出来ない。特に回復期病棟で経験してきた、多くの人の生活の多様性の情報を交えながら授業を展開する
		生活技術学Ⅱ（各論）	岩上 さやか	3	1		30	作業療法における生活技術の実務経験に基づく授業を展開する。
		コミュニケーション技術論	澁井 実	1 2	1		30	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
		職業関連技術学	堀田 英樹	3	1		30	実務経験をもとに職業関連技術について教授する。
		地域生活作業療法論	木村 修豪	3	1		30	地域における作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
		リハビリテーション英語Ⅰ（基礎）	岩上 さやか	2 3	1		15	臨床の作業療法実践経験を活かし、将来の臨床で必要かつ、活用できる英文抄読技能を修得するための講義、演習を展開する。
		認知症作業療法特論	木村 修豪	3 4	1		15	実務経験をもとに認知症作業療法の実践を教授する。
		先端作業療法特論	寛 智裕	1 2	1		15	科目責任者は作業療法士としての臨床経験を踏まえ、卒業生の繋がりを活用した授業を展開する。
地域生活支援論	木村 修豪	3 4	1		15	地域における作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。		
障害代償学概論	小林 竜	3	1		15	身体障害領域および高齢期の作業療法の実践経験から、リハビリテーションの理念を教授します。		

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
		住環境整備論	小林 竜	3	1		15	身体障害者や高齢者の作業療法の実務経験から住環境整備についての基本的な知識技術の教授に加え、臨床場での留意点や多職種連携の内容を含め、授業
		義肢・装具・副子適用論	光金 正宮	3	1		30	実務経験をもとに、教科書内だけでは述べられていない、義肢、装具、副子の適用と作製方法のポイントについても教授する。
		自助具・福祉機器適用論	五味 幸寛	3	1		30	自助具・福祉用具についての?般的な知識に加え、臨床場?で多く求められる導?時の留意点や多職 種連携を内容に含め、授業進?する。?
		バリアフリー論	堀田 英樹	2 3		1	15	施設等での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する
		地域生活支援システム実習	笥 智裕	4	1		45	科目責任担当者は15年以上の作業療法士臨床経験を踏まえて地域での繋がりを活用した実習を展開する。
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	五味 幸寛	1 2		1	15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	五味 幸寛	2 3		1	15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
		臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	五味 幸寛	3 4		1	15	教員は作業療法の実務経験を踏まえながら演習を展開する。
		臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	五味 幸寛	4		1	15	作業療法の実務経験に基づく授業を展開する。
		臨床実習特論	五味 幸寛	3		1	15	担当教員はそれぞれの臨床経験を踏まえた指導を行う。

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	167	単位

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		演劇論	山内 則史	1 2 3		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	松山 高大	1 2		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
		コミュニケーション概論	成田教員	1 2		2	30	心理臨床で培った経験をもとに、自己理解を深めることに焦点を当てながら講義を行う。
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3		2	30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		人間学	伊豫 雅臣	1 2		2	30	様々な重症度の精神疾患を有する人たちの診断治療やアドバイスを行っており、その経験を伝えるとともに、その視点からご自身や周りの人たちのメンタルヘルスの向上に目を向けられるように展開していき
		教育学	木田 竜太郎	1 2		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
		教育方法論	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2		2	30	事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2		2	30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
		医療関連法規	森川 伸吾	1 2 3		2	30	法文の読み方の説明の場面において実務経験が活かされる。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	岡田 佳詠	1		1	30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2		2	30	地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していることを紐解きます。
		世界の中の和文化	山本 秀也	1 2 3		1	15	個々の外部講師が解説する文化事象について、世界的な座標における文化の位置づけを把握し、講座全体をコーディネートします。
		組織運営管理論	赤沼 裕子	1 2 3		2	30	赤沼：医療従事者として培った知識の解説 和田：Dx・テクノロジー専門家として培った知識の解説
		マスメディア論	山本 秀也	1 2		2	30	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じるが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実に即した新聞の取材、編集に携わった経験から、課題の記事について、「読む側」と「書く側」の双方の視点を提供する。受講生相互や教員との対話を通じて、受講生のリテラシー（読解力）の向上を図る。
		新聞でみた日本と世界	山本 秀也	1 2 3		2	30	国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつけ
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開す
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。 さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
		ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2		2	30	医療現場で必要な手話表現や聴覚障害者理解について、実体験を元に様々なケースを紹介。近年コロナ禍でマスク生活となり、変化が生じている聴覚障害者の困りごとや、マスク時代のコミュニケーションに必要
		手話入門	飯塚 佳代	1 2 3		2	30	特にありません。
		防災と生活デザイン	中臣 昌広	1 2 3		2	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	自然・情報系	統計学	稲垣 誠一	1		2	30	疫学・保健医療統計について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
		疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2		2	30	様々な現象の背後にある物理法則を、日常的な現象を例示しながら、自力で捉えられるように講義する。
		物理学	拝師 智之	1 2 3		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
		化学	米根 鉄矢	1 2 3		2	30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	西田 裕介	1		1	30	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれます。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討するこ
	総合	郷土論	山本 秀也	1 2 3		1	15	実務経験を活かして授業を展開する
		医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2		1	15	

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
	ロ系	メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2		2	30	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。
総合教育科目	外国語系	英語会話 1（Primary）	フェルナンデス	1 2 3		1	30	This English course follows a communicative approach which emphasizes class participation and various kinds of interaction, such as learner-content interaction, learner-instructor interaction and learner-learner interaction.
		中国語入門（会話含む）	山本 秀也	1 2 3		1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図ります。
		スペイン語入門（会話含む）	伊藤 アンジ	1 2 3		1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語基礎（会話含む）	伊藤 アンジ	1 2		1	30	コミュニケーションアプローチと私の指導経験を使い、クラスでのスペイン語圏の国の文化を伝え、学生に伝えています
		タイ語入門（会話含む）	掛谷 ナンティ	1 2 3		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		タイ語基礎（会話含む）	掛谷 ナンティ	1 2		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		ベトナム語入門（会話含む）	鷲頭 小弓	1 2 3		1	30	医療従事者と患者の間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
		ベトナム語基礎（会話含む）	鷲頭 小弓	1 2		1	30	医療従事者と患者との間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
専門基礎科目 / 学部共通		公衆衛生学	鈴木 知子	1 2		2	30	救急医学
		救急医学	志賀 隆	2		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		感染と免疫	長沢 光章	1 2		2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定・ICD（インфекションコントロールドクター）取得講師などが担当し、その経験を活かし授業を展開する。
		リハビリテーション概論	五味 幸寛	1		1	30	作業療法の実践経験から、リハビリテーションの理念を教授します。
		ケースワーク論	錢本 隆行	1 2		1	15	日本と海外の社会の隔々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝えていく
		保健医療福祉制度論	高石 麗理湖	1		1	30	回復期リハビリテーション病棟等において医療ソーシャルワーカーとして実践してきた多職種連携の実体験や、厚生労働省において制度創設や改正に携わった経験を生かし、実務的なことから諸制度が創設されたり改正される背景や決め手となる要因等についても講義をする。
		社会福祉学	錢本 隆行	1 2		2	30	日本と海外の社会の隔々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝えていく
		関連職種連携ワーク	西田 裕介	3		1	30	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
		関連職種連携実習	西田 裕介	4		1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展開する。
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	大石 斐子	2 3		1	15	EBPの理念を実践する際の配慮や問題について具体的に取り上げながら演習を実践していく
		レクリエーション概論	堀田 英樹	1 2		1	15	実務経験をともにレクリエーションの実践を教授する。
		災害保健学	後藤 圭介	1 2 3		1	15	大学病院や災害現場での災害対応経験をベースに、受講者に直接役立つ知識とスキルを提供します。
		予防保健学	石井 秀明	1 2 3		1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
		国際医療保健学	片山 博徳	1 2 3		1	15	国際共同研究や国際機関との連携経験を活かした講義を展開する。
		異文化体験実習	小林 純也	1 2		1	45	本科目は科目担教員が有する臨床等の経験、国内外の医療・保健・福祉に関する知識をふまえ実施される。
専門教育科目		解剖学	小阪 淳	1		1	30	担当科目については、医学部・医療系学部において指導歴のある教員が、実務上の経験や知見を踏まえ授業を行う。
		生理学	中江 淳	1		1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		病理学	片山 博徳	1		1	15	現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する
		医学概論	下澤 達雄	1		1	15	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		内科学	下澤 達雄	1		1	30	各講師は実務経験を踏まえた講義の展開をする。
		精神医学	中里 道子	2		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		リハビリテーション医学	角田 亘	2		1	30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。
		小児科学	塩浜 直	2		1	30	これまでの臨床経験および基礎研究を活かした講義を展開する。
		耳鼻咽喉科学	岡野 光博	2		1	30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		臨床神経学	村井 弘之	2		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		形成外科学	松崎 恭一	2		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		臨床歯科医学	石崎 憲	2		1	15	頭頸部の解剖、構音障害、嚥下障害の機序、対応法などに関して、歯科医としての実務経験に基づく講義を行う。
		口腔外科学	石崎 憲	2		1	15	授業内容には口腔外科医師として、臨床場面を加味して講義を展開して
		聴覚医学	野口 佳裕	1		1	30	実務経験を加味して講義を行う。
		老年学	浦野 友彦	1 2		1	15	臨床経験を活かした講義を展開する。

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
基礎科目		遺伝学	山口 良考	1 2		1	15	疾患の成り立ちを、遺伝子・ゲノムレベルで解説し、イメージングを大事にした講義を行っています。 「遺伝子」という言葉が浸透して、病気と遺伝子について聞かれることも多くなってきています。このようなことから、遺伝的な問題もつ人や健康人における遺伝子の意味など、遺伝学的なアドバイスやより良い精神的ケアが実践できるよう、遺伝学の専門的知識を身につけたコメディカルスタッフの育成を目指しています
		脳神経外科学	松野 彰	1 2		1	15	これまでの臨床経験を活かした授業を展開する。
		臨床心理学	松山 高大	2	1		30	心理学的な問題に対して、公認心理師・臨床心理士として援助した自験例（公表許可を得たもの）などを解説する
		生涯発達心理学	松山 高大	1	1		30	心理学的な問題に対して、公認心理師・臨床心理士として援助した自験例（公表許可を得たもの）などを解説する
		神経心理学	大森 智裕	2	1		30	神経心理学的障害について、実務経験に基づいて具体的エピソードを交えながら講義する。
		言語学Ⅰ（基礎）	刈田 隆史	1	1		30	言語聴覚士に必要な言語学の知識を言語聴覚障害例と関連付けて説明す
		言語発達学	岩崎 淳也	1	1		30	病院で言語聴覚療法を行った経験を生かし、定型言語発達の理解と言語発達障害の関連について講義に盛り込んでいく。
		基礎音声学	刈田 隆史	1	2		30	言語聴覚士に必要な音声学の知識を言語聴覚障害例と関連付けて説明す
		音声学	刈田 隆史	2	2		30	言語聴覚士に必要な音声についての知識を言語聴覚障害例と関連付けて説明する。
		聴覚心理学	森本 隆司	3	1		30	聴覚の専門としての臨床経験から授業へ展開する。
専門教育科目		言語聴覚障害学概論	菅野 倫子	1	1		30	臨床実務経験で得た知見を講義において適宜紹介する。
		言語聴覚障害診断学	大石 斐子	3	1		30	言語聴覚士としての臨床機関における実務経験からの具体例や考察を講義内容の具体例として実践的な内容を例示して展開する。
		成人言語障害学総論Ⅰ（基礎）	大石 斐子	2	1		30	言語症状の理解および症状観察のポイントについて、具体的事例を挙げて説明する
		成人言語障害学総論Ⅱ（発展）	大石 斐子	2	1		30	言語症状の理解および症状観察のポイントについて、具体的事例を挙げて説明する
		失語症学Ⅰ（評価・診断）	菅野 倫子	3	1		30	臨床実務経験で得た知見を講義において適宜紹介する。
		失語症学Ⅱ（治療）	菅野 倫子	3	1		30	臨床実務経験で得た知見を講義において適宜紹介する。
		失語症・高次脳機能障害学演習	大森 智裕	3	1		30	臨床実務経験で得た知見を講義において適宜紹介する。
		高次脳機能障害学	大森 智裕	3	1		30	臨床実務経験で得た知見を講義において適宜紹介する。
		言語発達障害学総論	岩崎 淳也	2	1		30	病院での小児言語療法の経験を生かし、実際の症例に基づいた実践的なリハビリテーションの技法について伝達する。
		言語発達障害学各論	佐々木 香緒里	2	1		30	臨床場面のビデオを共有し、実際の子どもの様子を見ることで理解の促進を図る。
		言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	岩崎 淳也	2	1		30	実際に臨床現場で行った検査結果に基づき講義を展開する。検査場面のビデオを共有し、採点をすることで、検査への理解の促進を図る。
		言語発達障害学Ⅰ演習(評価・診断)	佐々木 香緒里	3	1		30	実際の検査結果を用いて講義を展開する。検査場面のビデオを共有し、実際に採点・評価のまとめを行う事で、各検査への理解の促進を図る。
		言語発達障害学Ⅱ（指導）	岩崎 淳也	3	1		30	実際の指導例のビデオ・データを供覧しながら、現場で役立つ知識を提供していく。
		言語発達障害学Ⅱ演習(指導)	佐々木 香緒里	3	1		30	実際の臨床現場の映像や、症例を講義内で紹介し、言語発達障害の臨床の実際について理解を深められるようにする。また、グループワークで取り組む症例についても、教員が実際に対応した症例を提示することで、より実践的な学びにつながる。
		聴覚障害学総論	富澤 晃文	2	1		30	聴覚障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識の獲得と検査技術の習得の両立を図りつつ、聴覚検査の結果の解釈について臨床的な判断ができるよう、授業を展開する。
		聴覚機能評価学	富澤 晃文	2	2		60	聴覚障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識と臨床技術との統合を図りつつ、聴覚検査の結果の解釈について臨床的な判断ができ、かつその後の支援について計画できるよう授業を展開する。
		聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	富澤 晃文	3	1		30	聴覚障害の臨床経験を踏まえて、専門的な知識と臨床技術との統合を図りつつ、補聴機器の適合についての臨床的判断ができ、かつその後の支援について計画できるよう授業を展開する。
		小児聴覚障害学Ⅰ(評価・診断)	山本 弥生	3	1		30	聴覚障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識と臨床技術との統合を図りつつ、言語聴覚評価についての臨床的な判断ができ、かつその後の支援について計画できるよう授業を展開する。
		小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	山本 弥生	3	1		30	聴覚障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識と臨床技術との統合を図りつつ、言語聴覚評価に基づい てその後の支援を計画、実践できるよう授業
		成人聴覚障害学（二重障害を含む）	山本 弥生	3	1		30	聴覚障害の臨床経験を踏まえ、専門的な知識と臨床技術との統合を図りつつ、言語聴覚評価に基づいてその後の支援を計画、実践できるよう授業
		発声発語障害学総論	刈田 隆史	2	2		30	臨床上の経験を補足説明として、講義の中で述べる。
		構音障害学Ⅰ（理論）	阿志賀 大和	2	1		30	臨床上の経験を補足説明として、講義の中で述べる。
		構音障害学Ⅱ（評価・診断）	刈田 隆史	3	1		30	臨床上の経験を補足説明として、講義の中で述べる。
		構音障害学演習（治療）	阿志賀 大和	3	1		30	臨床上の経験を補足説明として、講義の中で述べる
		流暢性障害学	阿志賀 大和	3	1		30	臨床上の経験を補足説明として、講義の中で述べる。
		音声障害学	刈田 隆史	3	1		30	臨床実務を通して得た知見や技能、経験を講義において適宜紹介する。
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	阿志賀 大和	2	1		30	臨床上の経験を補足説明として、講義の中で述べる。
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	阿志賀 大和	3	1		30	臨床上の経験を補足説明として、講義の中で述べる。
		言語聴覚障害学研究法	富澤 晃文	3	1		30	研究活動で得た知見を講義において適宜紹介する。
		英語で学ぶ言語聴覚療法の基礎	大石 斐子	1 2		1	15	国内および海外での研究・教育・交流活動の経験に基づき、言語聴覚士に必要な英語の技能について具体例を交えて講義する。

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	内容
				必修	選択		
	言語聴覚療法英語論文抄読	富澤 晃文	3 4		1	15	研究活動で得た知見を講義において適宜紹介する。
	特別支援教育	岩崎 淳也	3		1	30	言語聴覚士としての特別支援学校での実務経験を踏まえ、児童に対する個別的・具体的な支援を考えられるよう、授業を展開する。
	基礎ゼミナールⅠ	菅野 倫子	1		1	30	臨床実務を通して得た経験を活かし、臨床家を目指す学生に求められる技能の修得を指導する。
	基礎ゼミナールⅡ	富澤 晃文	1		1	30	臨床実務を通して得た経験を活かし、臨床家を目指す学生に求められる技能の修得を指導する。
	言語聴覚障害学特論Ⅰ（基礎）	阿志賀 大和	4	1		30	専門基礎分野の基礎知識を、言語聴覚領域の臨床や研究との関連づけを考慮して講義を展開する。
	言語聴覚障害学特論Ⅱ（発展）	菅野 倫子	4	1		30	臨床実務を通して得た経験を活かし、言語聴覚士を目指す学生に必要な知識と技能の修得を指導する。
	コミュニケーション技能演習	大森 智裕	1		1	30	臨床現場における実務経験に基づき、言語聴覚士に必要とされるコミュニケーション技能に関する講義および演習を展開する。また、臨床実習に向け、実習指導者とのコミュニケーションに必要な技能を習得できる
	コミュニケーション障害実習	佐々木 香緒里	2		1	45	実際のコミュニケーション障害を有する児・者への指導など臨床現場における実務経験に基づき、講義を展開していく。臨床現場での実際場面を想定した課題を講義内に入れ、臨床におけるコミュニケーションについて理解を深められるよう促していく。
	言語聴覚障害基礎実習	山本 弥生	3	2		90	言語聴覚士として各領域の実務経験を有する教員の経験に基づき展開す
	言語聴覚療法総合実習	佐々木 香緒里	4		1	45	臨床実践の経験と知見を踏まえて展開する
	臨床実習Ⅰ（基礎）	大森 智裕	3	2		90	病院などでの実務経験をもとに、事前事後学修での指導、臨床実習中の支援を行う。
	臨床実習Ⅱ（応用）	岩崎 淳也	4	4		180	病院等での実務経験をもとに、臨床実習前・中・後の支援、指導を行う
	臨床実習Ⅲ（総合）	岩崎 淳也	4	6		270	病院などでの実務経験をもとに、臨床実習前・中・後の支援、指導を行

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	168	単位

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	松山 高大	1 2 3 4		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験を用いて解説する。
		コミュニケーション概論	成田教員	1 2 3 4		2	30	心理臨床で培った経験をもとに、自己理解を深めることに焦点を当てながら講義
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4		2	30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		人間学	伊豫 雅臣	1 2 3 4		2	30	様々な重症度の精神疾患を有する人たちの診断治療やアドバイスを行ってきており、その経験を伝えるとともに、その視点からご自身や周りの人たちのメンタルヘルスの向上に目を向けられるように展開していきたい。
		教育学	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
		教育方法論	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	社会系	法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
		医療関連法規	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	法文の読み方の説明の場面において実務経験が活かされる。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	岡田 佳詠	1	1		30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につ地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していることを紐解き
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	個々の外部講師が解説する文化事象について、世界的な座標における文化の位置づけを把握し、講座全体をコーディネートします。
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	赤沼：医療従事者として培った知識の解説 和田：Dx・テクノロジー専門家として培った知識の解説
		世界の中の和文化	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じるが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実 に即した解説を用意する。
		組織運営管理論	赤沼 裕子	1 2 3 4		2	30	新聞の取材、編集に携わった経験から、課題の記事について、「読む側」と「書く側」の双方の視点を提供する。受講生相互や教員との対話を通じて、受講生のリテラシー（読解力）の向上を図る。
		マスメディア論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。
		新聞でみた日本と世界	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	社会福祉協会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。 さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	医療現場で必要な手話表現や聴覚障害者理解について、実体験を元に様々なケースを紹介。近年コロナ禍でマスク生活となり、変化が生じている聴覚障害者の困りごとや、マスク時代のコミュニケーションに必要なことなどにも触れる。
		ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4		2	30	特にありません。
		手話入門	飯塚 佳代	1 2 3 4		2	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
		防災と生活デザイン	中臣 昌広	1 2 3 4		2	30	疫学・保健医療統計について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
	自然・情報系	統計学	稲垣 誠一	1 2 3 4		2	30	様々な現象の背後にある物理法則を、日常的な現象を例示しながら、自力で捉えられるように講義する。
		疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2 3 4		2	30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
		物理学	拝師 智之	1 2 3 4		2	30	大学院や医学系研究所での生命科学・基礎医学に関する研究経験をもとに「生物学」の講義を行う。
		化学	米根 鉄矢	1 2 3 4	2		30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		生物学	湯澤 聡	1 2 3 4		2	30	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれます。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	西田 裕介	1	1		30	実務経験を活かして授業を展開する
	総合系	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1	15	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコールの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に
		医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2	30	
		英語会話1（Primary）	ブリスベン大学 グリンダス バカラ	1 2 3 4		1	30	This English course follows a communicative approach which emphashizes class participation and various kinds of interaction, such as learner-content interaction, learner-instructor interaction and learner-learner interaction.

		授業科目の名称	教員名	配当年次				単位数		時間	内容
								必修	選択		
総合 教育 科目	外国語系	中国語入門（会話含む）	山本 秀也	1	2	3	4		1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図りま
		スペイン語入門（会話含む）	伊藤 アンジ	1	2	3	4		1	30	コミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝
		スペイン語基礎（会話含む）	伊藤 アンジ	1	2	3	4		1	30	コミュニケーションアプローチと私の指導経験を使い、クラスでのスペイン語圏
		タイ語入門（会話含む）	指谷 ナンティヤー	1	2	3	4		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かし
		タイ語基礎（会話含む）	指谷 ナンティヤー	1	2	3	4		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かし
		ベトナム語入門（会話含む）	鷲頭 小弓	1	2	3	4		1	30	医療従事者と患者の間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を
		ベトナム語基礎（会話含む）	鷲頭 小弓	1	2	3	4		1	30	医療従事者と患者との間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を
専門 教育 科目	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	鈴木 知子		2			1		30	学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
		救急医学	志賀 隆		2	3			1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		感染と免疫	長沢 光章	1	2				2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定・ICD（インフェク
		リハビリテーション概論	五味 幸寛	1	2				2	30	作業療法の実践経験から、リハビリテーションの理念を教授します。
		ケースワーク論	錢本 隆行	1	2				1	15	日本と海外の社会の隅々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践を
		保健医療福祉制度論	高石 麗理湖	1					2	30	もとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝えてい
		社会福祉学	錢本 隆行	1	2				2	30	回復期リハビリテーション病棟等において医療ソーシャルワーカーとして実践し
		関連職種連携ワーク	西田 裕介		3			1		30	てきた多職種連携の実体験や、厚生労働省において制度創設や改正に携わった経
		関連職種連携実習	西田 裕介			4		1		45	験を生かし、実務的なことから諸制度が創設されたり改正される背景や決め手と
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	竹内 啓晃		2			1		15	なる要因等についても講義をする。
		レクリエーション概論	堀田 英樹		2			1		15	日本と海外の社会の隅々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践を
		災害保健学	後藤 圭介	1	2				1	15	もとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝えてい
		予防保健学	石井 秀明	1	2				1	15	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展
		国際医療保健学	片山 博徳	1				1		15	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展
		異文化体験実習	小林 純也	1	2				1	45	各専門性（臨床と研究）に立脚した授業展開
	専門基礎科目	解剖学	松野 義晴	1				2		30	実務経験をともにレクリエーションの実践を教授する。
		肉眼解剖学実習	松野 義晴	1				1		45	大学病院や災害現場での災害対応経験をベースに、受講者に直接役立つ知識とス
		生理学	中江 淳	1				1		30	キルを提供します。
		病理学	片山 博徳	1				2		30	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
		臨床医学概論	下澤 達雄		2			1		30	臨床経験で得た知識、技術、および、先端技術を教授する
		内科学	下澤 達雄	1				1		30	これまでの研究・臨床経験を活かした授業を展開する。
		精神医学	中里 道子	1	2	3			1	30	現場で必要とされる知識、技術、および、先端技術を教授する
		リハビリテーション医学	角田 亘	1	2	3			1	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		小児科学	塩浜 直	1	2	3			1	30	これまでの臨床経験を活かした授業を行う。
		老年学	浦野 友彦	1	2	3			1	30	実際の臨床経験を活かした授業を行う。
		薬理学	丸茂 丈史	1				1		15	これまでの臨床経験および基礎研究を活かした講義を展開する。
		栄養学	坂口 景子	1	2	3			1	15	臨床経験を活かした講義を展開する。
		遺伝学	山口 良考	1					1	15	多職種連携時に生じる注意点など経験的事例解説も展開する
		微生物学	橋本 優佑	1					2	30	国の行政に携わった経験を活かし、健康の保持・増進、疾病の予防・治療におけ
		分析化学	小林 崇平	1				1		30	る栄養の役割について、国の健康課題や政策と関連づけて授業を展開する。
		生化学	小林 崇平	1				1		30	疾患の成り立ちを、遺伝子・ゲノムレベルで解説し、イメージングを大事にした
		生化学実習	小林 崇平	1				1		45	講義を行っています。 「遺伝子」という言葉が浸透して、病気と遺伝子につ
		医用工学・情報概論	佐藤 正一	1				2		30	いて聞かれることも多くなってきました。このようなことから、遺伝的な問題
		検査機器学・情報システム学総論	辰巳 暁哉		2			2		30	もつ人や健康人における遺伝子の意味など、遺伝学的なアドバイスやより良い精
		病理検査学演習	辰巳 暁哉		2			1		30	神的ケアが実践できるよう、遺伝学の専門的知識を身につけたコメディカルス
		病理検査学	片山 博徳		2			2		30	実務経験を基に、臨床微生物検査領域で必要となる知識を織り交せながら講義を
		病理検査学実習Ⅰ（基礎）	片山 博徳		3			1		45	実施する。 また、微生物の基本となる学問であるため、わかりやすい講義に
		病理検査学実習Ⅱ（応用）	片山 博徳		3			1		45	なるよう心掛ける。
		細胞診断検査学	片山 博徳		3			2		30	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。
		細胞診断検査学実習	片山 博徳		3			1		45	臨床検査の実践に必要な生化学的知識を学習させる。
											臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	血液検査学Ⅰ（総論）	木村 明佐子	2	2		30	臨床および教育の実務経験を持つ教員が、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
		血液検査学Ⅱ（各論）	木村 明佐子	2	2		30	臨床及び教育の実務経験を持つ教員が、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
		血液検査学実習Ⅰ（基礎）	木村 明佐子	3	1		45	大学病院や総合病院の検査部門（血液検査部門他）において臨床検査技師としての実務経験を持つ複数の教員が、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について、経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
		血液検査学実習Ⅱ（応用）	木村 明佐子	3	1		45	大学病院の検査部門（血液検査部門他）において臨床検査技師としての実務経験を持つ複数の教員が、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について、経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
		一般検査学	鈴木 宏	1	2		30	実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について、経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
		臨床化学検査学Ⅰ（総論）	清宮 正徳	2	2		30	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。
		臨床化学検査学Ⅱ（各論）	清宮 正徳	2	2		30	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。
		臨床化学検査学実習	小林 崇平	3	1		45	臨床化学検査における実践的な技術や知識について理解を深める。
		遺伝子検査学	山口 良考	1		2	30	疾患の成り立ちを、遺伝子・ゲノムレベルで解説し、イメージングを大事にした講義を行っています。 「遺伝子」という言葉が浸透して、病気と遺伝子について聞かれることも多くなっています。このようなことから、遺伝的な問題もつ人や健康人における遺伝子の意味など、遺伝学的なアドバイスやより良い精神的ケアが実践できるよう、遺伝学の専門的知識を身につけたコメディカルス疾患の成り立ちを、遺伝子・ゲノムレベルで解説し、イメージングを大事にした講義を行っています。 「遺伝子」という言葉が浸透して、病気と遺伝子について聞かれることも多くなっています。このようなことから、遺伝的な問題もつ人や健康人における遺伝子の意味など、遺伝学的なアドバイスやより良い精神的ケアが実践できるよう、遺伝学の専門的知識を身につけたコメディカルス分子生物学的手法で遺伝子やゲノムなどの分子を人為的に操作する技術は、医療に限らず 生命科学の様々な分野で用いられています。次世代シーケンサーの発展により、今まで困難であったガンや生活習慣病、精神疾患など、様々な疾患関連遺伝子が明らかになってきています。分子生物学を用いた 検査項目は、個別化医療にむけた個人の体質や薬物感受性などを調べられ、予防医学の一面も兼ね揃え
		遺伝子検査学実習	山口 良考	2	1		45	疾患の成り立ちを、遺伝子・ゲノムレベルで解説し、イメージングを大事にした講義を行っています。 「遺伝子」という言葉が浸透して、病気と遺伝子について聞かれることも多くなっています。このようなことから、遺伝的な問題もつ人や健康人における遺伝子の意味など、遺伝学的なアドバイスやより良い精神的ケアが実践できるよう、遺伝学の専門的知識を身につけたコメディカルス分子生物学的手法で遺伝子やゲノムなどの分子を人為的に操作する技術は、医療に限らず 生命科学の様々な分野で用いられています。次世代シーケンサーの発展により、今まで困難であったガンや生活習慣病、精神疾患など、様々な疾患関連遺伝子が明らかになってきています。分子生物学を用いた 検査項目は、個別化医療にむけた個人の体質や薬物感受性などを調べられ、予防医学の一面も兼ね揃え
		医科分子生物学	山口 良考	1 2 3		1	15	分子生物学的手法で遺伝子やゲノムなどの分子を人為的に操作する技術は、医療に限らず 生命科学の様々な分野で用いられています。次世代シーケンサーの発展により、今まで困難であったガンや生活習慣病、精神疾患など、様々な疾患関連遺伝子が明らかになってきています。分子生物学を用いた 検査項目は、個別化医療にむけた個人の体質や薬物感受性などを調べられ、予防医学の一面も兼ね揃え
		微生物検査学Ⅰ（総論）	藤岡 美幸	2	2		30	微生物検査実務経験を講義内容に含める。
		微生物検査学Ⅱ（各論）	藤岡 美幸	2	2		30	微生物検査実務経験を講義内容に含める。
		微生物検査学実習Ⅰ（基礎）	藤岡 美幸	3	1		45	微生物検査実務経験を実習内容に含める。
		微生物検査学実習Ⅱ（応用）	藤岡 美幸	3	1		45	微生物検査実務経験を実習内容に含める。
		医動物検査学演習	米根 鉄矢	2	1		30	臨床における寄生虫の重要性について織り交ぜながら演習を行う。
		免疫検査学	竹内 啓晃	2	2		30	主に感染症から診た免疫学（検査学）の重要性を実地診療（検査診断・疾患病態の理解）を意識した授業内容に展開する。
		免疫検査学実習	竹内 啓晃	2	1		45	主に感染症から診た免疫学（検査学）の重要性を実地診療（検査診断・疾患病態の理解）を意識した授業内容に展開する。
		移植検査学	山口 良考	2	1		15	移植に関連する検査内容は、免疫や遺伝学に深く関与しており、経験を踏まえて講義していく。
		輸血・移植検査学	木村 明佐子	3	2		30	臨床及び教育の実務経験を持つ教員が、実際の臨床現場で必要とされる知識や技術について、経験談を交えながら明確に解説し進めていく。
		輸血・移植検査学実習	清宮 正徳	3	1		45	実践に対応できるような実務経験を盛り込んだ実習内容。
		生理検査学Ⅰ（総論）	伊藤 記彦	1	2		30	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
		生理検査学Ⅱ（各論）	伊藤 記彦	2	2		30	これまでの実務経験を活かした授業と実習を展開する。
		生理検査学実習Ⅰ（基礎）	鈴木 宏	2	1		45	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
		生理検査学実習Ⅱ（応用）	伊藤 記彦	3	1		45	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
		超音波検査学	伊藤 記彦	3	2		30	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
		超音波検査学実習	伊藤 記彦	3	1		45	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
		循環動態画像診断学	伊藤 記彦	3	1		15	これまでの実務経験を活かして、授業・実習を展開する。
		臨床検査管理総論	鈴木 宏	1		2	30	この講義は、これまで数十年間携わってきた大学病院検査部、また臨床検査技師会での業務経験を活かし、臨床検査技師になるために必要な知識は元より、臨床検査技師として一社会人になった後にも不可欠な情報発信へと展開していく。
		精度保証学	米根 鉄矢	3	1		15	具体的な内容に踏み込んで講義を進める
		臨床検査診断学	下澤 達雄	3	1		15	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		臨床検査基礎演習	米根 鉄矢	1	1		30	適切な試薬、器具の扱い方を解説し進めていく。
		先端臨床検査技術学	清宮 正徳	3		1	15	臨床検査技師の実務経験を授業に反映する。
		臨床検査統計学	小林 崇平	3	1		30	授業への展開 臨床統計学の経験を基に講義を進める
		医療安全管理学	鈴木 宏	2	2		30	臨床検査実務経験を活かして授業を展開する。
		臨床検査研究論	清宮 正徳	3	2		30	臨床検査技師や研究者としての実務経験を授業に反映する。
		卒業研究	竹内 啓晃	4	4		120	教育と研究

卒業要件単位数	128	単位
大専修課程の定める教員等による授業科目	175	単位

授業科目の分類	授業科目の名称	教員名	配当年度	単位数		時間	内容
				必修	選択		
総合 教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2 30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1 15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	松山 高大	1 2 3 4		2 30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験を用いて解説する。
		コミュニケーション概論	成田教員	1 2 3 4		2 30	心理臨床で培った経験をもとに、自己理解を深めることに焦点を当てながら講義を行う。
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4		2 30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		人間学	伊豫 雅臣	1 2 3 4		2 30	様々な重症度の精神疾患を有する人たちの診断治療やアドバイスを行ってきており、その経験を伝えるとともに、その視点からご自身や周りの人たちのメンタルヘルスの向上に目を向けられるように展開していきたい。
		教育学	木田 竜太郎	1 2 3 4		2 30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
		教育方法論	木田 竜太郎	1 2 3 4		2 30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4		2 30	事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2 30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
		医療関連法規	森川 伸吾	1 2 3 4		2 30	法文の読み方の説明の場面において実務経験が活かされる。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	岡田 佳詠	1	1	30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2 30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4		2 30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4		2 30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4		2 30	地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していること個々の外部講師が解説する文化事象について、世界的な座標における文化の位置づけを把握し、講座全体をコーディネートします。
		世界の中の和文文化	山本 秀也	1 2 3 4		1 15	赤沼：医療従事者として培った知識の解説 和田：Dx・テクノロジー専門家として培った知識の解説
		組織運営管理論	赤沼 裕子	1 2 3 4		2 30	赤沼：医療従事者として培った知識の解説 和田：Dx・テクノロジー専門家として培った知識の解説
		マスメディア論	山本 秀也	1 2 3 4		2 30	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じるが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実に即した解説を用新聞の取材、編集に携わった経験から、課題の記事について、「読む側」と「書く側」の双方の視点を提供する。受講生相互や教員との対話を通じて、受講生のリテラシー（読解力）の向上を図る。
		新聞でみた日本と世界	山本 秀也	1 2 3 4		2 30	「書く側」の双方の視点を提供する。受講生相互や教員との対話を通じて、受講生のリテラシー（読解力）の向上を図る。
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4		2 30	国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2 30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4		2 30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。 さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
		手話入門	飯塚 佳代	1 2 3 4		2 30	医療現場で必要な手話表現や聴覚障害者理解について、実体験を元に様々なケースを紹介。近年コロナ禍でマスク生活となり、変化が生じている聴覚障
		防災と生活デザイン	中臣 昌広	1 2 3 4		2 30	特にありません。
	自然・情報系	疫学・保健医療統計学	鈴木 知子	1 2 3 4		2 30	疫学・保健医療統計について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
		数学		1 2 3 4		2 30	
		物理学	拜師 智之	1 2 3 4		2 30	様々な現象の背後にある物理法則を、日常的な現象を例示しながら、自力で捉えられるように講義する。
		化学	米根 鉄矢	1 2 3 4		2 30	これまでの分析化学の実施者としての経験を加え、分析の基本から最新技術の情報まで幅広く講義する。
		生物学	湯澤 聡	1 2 3 4		2 30	大学院や医学系研究所での生命科学・基礎医学に関する研究経験をもとに「生物学」の講義を行う。
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	西田 裕介	1	1	30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		郷土論	山本 秀也	1 2 3 4		1 15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな実務経験を活かして授業を展開する
		医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2 3 4		1 15	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディ
	総合系	メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2 30	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディ
総合 教育科目	外国語系	英語会話1（Primary）	フェルナンデス ゴンザレス バウワ	1 2 3 4		1 30	This English course follows a communicative approach which emphasizes class participation and various kinds of interaction, such as learner-content interaction, learner-instructor interaction and learner-learner interaction.
		中国語入門（会話含む）	山本 秀也	1 2 3 4		1 30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図りコミュニケーションアプローチ法を用いて、クラスでスペイン語圏の国の文化を伝えていきます。
		スペイン語入門（会話含む）	伊藤 アンジ	1 2 3 4		1 30	コミュニケーションアプローチと私の指導経験を使い、クラスでのスペイン語圏の国の文化を伝え、学生に伝えていきます
		スペイン語基礎（会話含む）	伊藤 アンジ	1 2 3 4		1 30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		タイ語入門（会話含む）	掛谷 ナンティヤー	1 2 3 4		1 30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		タイ語基礎（会話含む）	掛谷 ナンティヤー	1 2 3 4		1 30	医療従事者と患者の間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
		ベトナム語入門（会話含む）	鷲頭 小弓	1 2 3 4		1 30	医療従事者と患者との間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
		ベトナム語基礎（会話含む）	鷲頭 小弓	1 2 3 4		1 30	医療従事者と患者との間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます

授業科目の分類	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	内容
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目 / 学部共通	統計学	稲垣 誠一	2	1	30	統計学について、学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
		公衆衛生学	鈴木 知子	2	2	30	学問としてだけでなく、実践的な使い方など、実務経験に基づいて解説します。
		救急医学	志賀 隆	2	1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		感染と免疫	長沢 光章	2 3 4	2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定・ICD（インフェクションコントロールドクター）取得講師などが担当し、その経験を活かし授業を展開する。
		リハビリテーション概論	五味 幸寛	1 2 3 4	2	30	作業療法の実践経験から、リハビリテーションの理念を教授します。
		ケースワーク論	銭本 隆行	1 2 3 4	1	15	日本と海外の社会の隔々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら回復期リハビリテーション病棟等において医療ソーシャルワーカーとして実践してきた多職種連携の実体験や、厚生労働省において制度創設や改正に携わった経験を生かし、実務的なことから諸制度が創設されたり改正される背景や決め手となる要因等についても講義をする。
		保健医療福祉制度論	高石 麗理湖	1 2 3 4	2	30	日本と海外の社会の隔々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
		社会福祉学	銭本 隆行	1 2 3 4	2	30	日本と海外の社会の隔々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
		関連職種連携ワーク	西田 裕介	3	1	30	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場において臨床的な指導を展開する。
		関連職種連携実習	西田 裕介	4	1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場において臨床的な指導を展開する。
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	長谷川 浩章	2 3 4	1	15	診療放射線技師の実務経験を生かして授業を展開する。
		レクリエーション概論	堀田 英樹	2 3 4	1	15	実務経験をもとにレクリエーションの実践を教授する。
		災害保健学	後藤 圭介	2 3 4	1	15	大学病院や災害現場での災害対応経験をベースに、受講者に直接役立つ知識とスキルを提供します。
		予防保健学	石井 秀明	2 3 4	1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
		異文化体験実習	小林 純也	2 3 4	1	45	本科目は科目担当教員が有する臨床等の経験、国内外の医療・保健・福祉に関する知識をふまえて実施される。
	専門基礎科目	基礎物理学	拝師 智之	1	1	30	電磁気学からエレクトロニクスまでの知識と経験を有している。
		解剖学Ⅰ（運動器系・循環器系・内臓系）	小坂 淳	1	1	30	解剖学を専門とする教員が、最新の動向なども交えながら授業を展開している。
		解剖学Ⅱ（内臓系・神経系・感覚器系）	小坂 淳	1	1	30	解剖学を専門とする教員が、最新の動向なども交えながら授業を展開している。
		生理学	笠原 英子	1	2	30	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する。
		病理学	福澤 龍二	2	2	30	上記の経験を活かし、将来臨床で役に立つように医学の初歩から発展まで含めた講義をします。
		病態生理学	樋口 清孝	2	1	15	日々の画像読影に関する業務において得た、様々な疾患や最新の医療技術の知見を基に講義を展開する。
		医学概論	下澤 達雄	1	2	30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
		看護概論	古山 陽一	3	1	15	看護の実務経験を有する教員が、放射線看護領域に関連する事例を用いて解説する。
	専門教育科目	放射線計測学	今 大輔	2	1	30	医療機関において放射線計測業務に従事し、また、研究機関における放射線管理実務の経験を活かした授業を展開する。
		放射線計測学実験	岡村 直利	2	1	45	医療機関や放射線研究施設における放射線計測経験のある教員が、その経験を活かして、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を展開する。
		画像解剖学	吉岡 直紀	2	2	30	放射線科医師としての臨床経験から、画像解剖について放射線技師として必須の内容を指導できる。
		医療画像基礎論	栂田 喜正	1	2	30	診療放射線技師の実務経験を活用し、臨床画像なども多く取り入れた講義の診療放射線技師の実務経験にて実際に用いた画像システムの使用経験例及び研究経験を授業に取り入れる。
		画像情報学	谷本 克之	1	2	30	診療放射線技師の実務経験または医療関連分野の研究開発に従事した経験を生かして授業を展開する。
		画像情報学実験	長谷川 浩章	1	1	45	診療放射線技師の実務経験または医療関連分野の研究開発に従事した経験を生かして授業を展開する。
		医用工学	梶沢 宏之	1	1	30	画像診断機器と医用工学の関連を実務経験に基づき解説する。
		医用工学演習	梶沢 宏之	2	1	30	電気電子工学の研究開発に従事した経験を活かし、実践的な実験、演習をおこなう。
		コンピュータ演習Ⅰ（データ処理）	梶沢 宏之	1	1	30	上記経験を活かし、画像診断に役立つ情報処理技術の講義、実習を行う。
		コンピュータ演習Ⅱ（プログラミング）	梶沢 宏之	2	1	30	上記経験を活かし、画像診断に役立つ情報処理技術の講義、実習を行う。
		医療情報システム論	松浦 陽子	3	1	15	診療放射線技師の実務経験を生かして授業を展開する。
		X線機器工学	長谷川 浩章	1	2	30	診療放射線技師の実務経験または放射線研究に従事した経験を生かして授業を展開する。
		医療安全管理学	栂田 喜正	4	1	30	実務経験に基づいた事例を参考に授業を展開する。
		診療放射線概論	栂田 喜正	1	1	15	診療放射線技師としての豊富な臨床経験を活かし、診療放射線技師の歴史や仕事内容、将来展望などについて解説する。また、社会人としてのマナーや患者接遇、医療現場で求められるコミュニケーションスキルについて、実践
		診療画像検査学概論	長谷川 浩章	1	1	15	診療放射線技師の実務経験を生かして授業を展開する。
		X線検査学Ⅰ	栂田 喜正	2	1	30	診療放射線技師の実務経験を活用し、ポジショニングの実演や臨床画像なども取り入れた講義を実施する。
		X線検査学Ⅱ	栂田 喜正	2	1	30	診療放射線技師の実務経験を活用し、臨床画像なども多く取り入れた講義の診療放射線技師の実務経験を生かして授業を展開する。
		X線CT検査学	長谷川 浩章	2	2	30	機器開発の経験に基づき機器工学を解説する。 診療放射線技師として医療機関で従事した経験を生かして授業を展開する。
		診療画像機器工学	梶沢 宏之	2	1	15	基礎技術開発および臨床応用の経験を活かし、MRI検査について技術および臨床の双方を詳しく解説する。
		MRⅠ検査学	梶沢 宏之	2	2	30	診療放射線技師の実務経験を生かして授業を展開する。
		超音波検査学	松浦 陽子	2	2	30	診療放射線技師の実務経験を生かして授業を展開する。
		診療画像学実験Ⅰ	長谷川 浩章	2	2	90	診療放射線技師の実務経験または放射線研究に従事した経験を生かして授業を展開する。
		診療画像学実験Ⅱ	梶沢 宏之	2	2	90	医療機器開発経験のある教員及び診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし、学内にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。
		核医学検査技術学	水野 直子	2	2	30	臨床で実際に実施されている検査と国家試験に出題される項目の相互を図りながらの授業を展開する。
		核医学	水野 直子	3	2	30	臨床で実際に実施されている検査と国家試験に出題される項目の相互を図りながらの授業を展開する。

授業科目の分類	授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	内容
				必修	選択		
	核医学検査技術学実験	水野 直子	3	2		60	本授業は診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かして関連病院にある装置を用いた実験形式による実践的教育を実施する。また、大学PCにインストールされている専用ソフトウェアを用いて画像処理等の説明する。
	放射線治療機器工学	今 大輔	2	1		15	がん治療の臨床現場における実務経験を活かした授業を展開する。
	放射線治療技術学	今 大輔	2	2		30	がん治療の臨床現場における実務経験を活かした授業を展開する。
	放射線腫瘍学	今 大輔	3	2		30	がん治療の臨床現場における実務経験を活かした授業を展開する。
	放射線治療技術学実験	今 大輔	3	2		60	診療放射線技師・医学物理士として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かして、実習形式による実践的教育を実施する。
	臨床医学Ⅰ（基礎）	下澤 達雄	3	1		30	これまでの臨床経験を活かした講義を展開する。
	臨床医学Ⅱ（発展）	樋口 清孝	4	1		30	医師および診療放射線技師は、実務経験を生かした授業を展開する。
	放射線管理学	小林 純也	2	2		30	単に教科書をトレースするだけではなく、放射線管理や臨床での経験を生かした現場目線の授業を展開する。
	放射線管理学実験	小林 純也		4	1	45	医療機関や放射線研究施設における放射線計測経験のある教員が、その経験を活かして、学内にある装置等を用いた実験形式による実践的教育を展開す
	放射線関係法規	小林 純也	3	1		15	医療機関、研究機関、大学における放射線管理実務の経験を活かした授業を展開する。
	画像診断学	樋口 清孝	4	1		30	日々の画像読影に関する業務において得た、様々な疾患の病理・病態に対する知識や最新の医療技術の知識を基に講義を展開する。
	画像診断学演習	吉岡 直紀	4		1	30	放射線科医師としての臨床経験から、画像解剖について放射線技師として必須の内容を指導できる。 病院における臨床経験が長い診療放射線技師が読影の補助について解説する。
	臨床薬理学	西村 和洋	4	1		15	授業時に必要な情報、生じる副作用を見出すポイントなど、臨床現場に即した事例を紹介します。
	放射線救急医学	栂田 喜正	3	2		30	関係領域の専門医及び診療放射線技師が救急医療における実務経験をもとに授業を行う。
	医療安全学概論	水野 直子	3	1		30	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし教育する。
	臨床画像学演習	水野 直子	3	2		60	診療放射線技師として医療機関での放射線業務に従事した経験のある教員がその経験を活かし、学内にある装置を用いた演習形式による実践的教育を
	診療画像検査学臨床実習	水野 直子	3	8		360	学外実習では、医療機関にて放射線業務に従事している診療放射線技師により実践的教育が実施される。
	核医学検査技術学臨床実習	水野 直子	3	2		90	学外実習では、医療機関にて放射線業務に従事している診療放射線技師により実践的教育が実施される。
	放射線治療技術学臨床実習	水野 直子	3	2		90	学外実習では、医療機関にて放射線業務に従事している診療放射線技師により実践的教育が実施される。
	診療放射線特論	谷本 克之	4	1		30	診療放射線技師として医療施設での放射線業務に従事した経験のある教員または卒業生等がその経験を活かし、病院で働くための心得やマナー、今後の診療放射線技師の展望について講義する。
	放射線学演習Ⅰ（基礎）	谷本 克之	4	2		60	診療放射線技師の実務経験または医療関連分野の研究開発に従事した経験を有する教員による授業科目。
	放射線学演習Ⅱ（総合）	谷本 克之	4	2		60	診療放射線技師の実務経験または医療関連分野の研究開発に従事した経験を有する教員による授業科目。
	放射線腫瘍学特論	今 大輔	4		1	30	がん治療の臨床現場における実務経験を活かした授業を展開する。
	核医学特論	水野 直子	4		1	30	臨床で実際に実施されている検査や解析方法と国家試験に出題される項目の相互を図りながらの授業を展開する。
	MRⅠ検査学特論	柊沢 宏之	4		1	30	MRI機器開発に従事した経験を活かし、先端的なMRI機器および撮像方法について解説する
	画像情報学特論	長谷川 浩章	4		1	30	診療放射線技師の実務経験を有する教員による授業科目。
	死亡時画像診断学	樋口 清孝	4		1	15	死亡時画像診断に関わる最先端の知識と経験を基に講義を展開する。

卒業要件単位数	128	単位
実務経験のある教員等による授業科目	182	単位

授業科目の分類		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
総合 教育 科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4 5 6		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4 5 6		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		心理学	杉野 珠理	1		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
		コミュニケーション概論	杉野 珠理	1		2	30	臨床心理士として対応した事例（研究公表許可を得たもの）や臨床経験をを用いて解説する。
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4 5 6		2	30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		人間学	伊豫 雅臣	1 2 3 4 5 6		2	30	様々な重症度の精神疾患を有する人たちの診断治療やアドバイスを行ってきており、その経験を伝えるとともに、その視点からご自身や周りの人たちのメンタルヘルスの向上に目を向けられるように展開していきたい。
		教育学	木田 竜太郎	1 2 3 4 5 6		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
		教育方法論	木田 竜太郎	1 2 3 4 5 6		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	社会系	法学	坂本 真史	1		2	30	弁護士の業務経験のある教員が、具体的事例を提示することで抽象的な理論を理解する助けとなるように、実際に担当した訴訟事件や法律相談などに言及しつつ、講義する。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4 5 6		2	30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	岡田 佳詠	4	1		30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4 5 6		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済の歴史	光山 奈保子	1 2 3 4 5 6		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		世界の経済	光山 奈保子	1 2 3 4 5 6		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		アジア諸国の経済・社会・文化	山本 秀也	1 2 3 4 5 6		2	30	地域研究の出発点となった中国哲学の視点から、現代アジアを見渡し、経済、社会、文化などいずれの領域にもさまざまな形で儒教が影響していることを紐解きます。
		世界の中の和文化	山本 秀也	1 2 3 4 5 6		1	15	個々の外部講師が解説する文化事象について、世界的な座標における文化の位置づけを把握し、講座全体をコーディネートします。
		組織運営管理論	赤沼 裕子	1 2 3 4 5 6		2	30	赤沼：医療従事者として培った知識の解説 和田：Dx・テクノロジー専門家として培った知識の解説
		マスメディア論	山本 秀也	1 2 3 4 5 6		2	30	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じるが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実在即した解説を用意する。
		新聞でみた日本と世界	山本 秀也	1 2 3 4 5 6		2	30	新聞の取材、編集に携わった経験から、課題の記事について、「読む側」と「書く側」の双方の視点を提供する。受講生相互や教員との対話を通じて、受講生のリテラシー（読解力）の向上を図る。
		国際関係論	山本 秀也	1 2 3 4 5 6		2	30	国際政治、安全保障の時論を国際関係の基礎理論と有機的に結びつける。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4 5 6		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		ボランティアコーディネート論	中村 哲也	1 2 3 4 5 6		2	30	社会福祉協議会におけるボランティア活動推進業務経験を生かした講義。 さらに自身のボランティア活動経験からの課題などを生かした講義を展開する。
		手話入門	飯塚 佳代	1 2 3 4 5 6		2	30	医療現場で必要な手話表現や聴覚障害者理解について、実体験を元に様々なケースを紹介。近年コロナ禍でマスク生活となり、変化が生じている聴覚障害者の困りごとや、マスク時代のコミュニケーションに必要なことなどにも触れる。
	自然・情報系	物理学	拝師 智之	1		2	30	様々な現象の背後にある物理法則を、日常的な現象を例示しながら、自力で捉えられるように講義する。
		生物学	西村 和洋	1		2	30	研究やその応用に対する基礎知識の重要性を伝える
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	西田 裕介	1		1	30	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
	総合系	郷土論	山本 秀也	1 2 3 4 5 6		1	15	異なる分野で活躍した人々の知見や考察は、書物だけでは得られない新たな視点を与えてくれます。予備知識の少ない分野、あるいは自己と異なる見解であっても、招致した講師の講話を十分に理解し、検討することが知的エネルギーの源泉となるでしょう。
		医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2 3 4 5 6		1	15	実務経験を活かして授業を展開する
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4 5 6		2	30	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。
総合 教育 科目	外国語系	英語会話 1（Primary）	フェルナンデス ゴンザレス パウラ	1 2 3 4 5 6		1	30	This English course follows a communicative approach which emphashizes class participation and various kinds of interaction, such as learner-content interaction, learner-instructor interaction and learner-learner interaction.
		中国語入門（会話含む）	山本 秀也	1 2 3 4 5 6		1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図ります。
		スペイン語入門（会話含む）	伊藤 アンジ	1 2 3 4 5 6		1	30	スペイン語の発音や文法を学び、スペイン語圏の文化や生活について学びたい。
		スペイン語基礎（会話含む）	伊藤 アンジ	1 2 3 4 5 6		1	30	コミュニケーションアプローチと私の指導経験を、クラスでのスペイン語圏の国の文化を伝え、学生に伝えていきます
		タイ語入門（会話含む）	掛谷 ナンティヤー	1 2 3 4 5 6		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。
		タイ語基礎（会話含む）	掛谷 ナンティヤー	1 2 3 4 5 6		1	30	他の教育機関でタイ語授業の実施経験がある。過去の講師としての経験を活かしながら、生徒の学習目的に応じて授業を実施する。

授業科目の分類		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	内容
					必修	選択		
		ベトナム語入門（会話含む）	鷲頭 小弓	1 2 3 4 5 6		1	30	医療従事者と患者の間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
		ベトナム語基礎（会話含む）	鷲頭 小弓	1 2 3 4 5 6		1	30	医療従事者と患者との間で交わされる基本的な会話表現を学び、視覚教材や文化を体験する機会を通してベトナム語圏の文化への理解を深めます
専門教育科目	専門基礎科目（学部共通）	救急医学	志賀 隆	1 2 3 4 5 6		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		感染と免疫	長沢 光章	1 2 3 4 5 6		2	30	臨床検査実務経験があり、認定臨床微生物検査技師・ICMT認定・ICD（インフェクションコントロールドクター）取得講師などが担当し、その経験を活かし授業を展開する。
		ケースワーク論	銭本 隆行	1 2 3 4 5 6		1	15	日本と海外の社会の隔々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝えていく
		保健医療福祉制度論	高石 麗理湖	1 2 3 4 5 6		2	30	回復期リハビリテーション病棟等において医療ソーシャルワーカーとして実践してきた多職種連携の実体験や、厚生労働省において制度創設や改正に携わった経験を生かし、実務的なことから諸制度が創設されたり改正される背景や決め手となる要因等について
		社会福祉学	銭本 隆行	1 2 3 4 5 6		2	30	日本と海外の社会の隔々をみた経験とともに、デンマークの高齢者ケアの実践をもとに回想法を実施してきた経験から、適切で幅広い事例を示しながら伝えていく
		臨床心理学概論	成田教員	1		2	30	臨床心理学の基本的な知識、また心理学的な問題への支援方法について、講師自身の臨床経験を活かしながら解説していく。
		関連職種連携ワーク	西田 裕介	3		1	30	臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開す
		レクリエーション概論	堀田 英樹	1 2 3 4 5 6		1	15	実務経験をもとにレクリエーションの実践を教授する。
		災害保健学	後藤 圭介	1 2 3 4 5 6		1	15	大学病院や災害現場での災害対応経験をベースに、受講者に直接役立つ知識とスキルを提供します。
		予防保健学	石井 秀明	1 2 3 4 5 6		1	15	臨床経験で得た知識や体験を講義にて共有する
		異文化体験実習	小林 純也	1 2 3 4 5 6		1	45	本科目は科目担教員が有する臨床等の経験、国内外の医療・保健・福祉に関する知識をふまえ実施される。
		専門基礎科目	基礎薬学実習	西村 和洋	1		45	研究歴の豊富な教員が安全に遂行する
	専門科目	分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	伊豆津 健一	1		2	30	基礎的な分析方法が、医薬品の開発などでどう用いられているかを紹介する。
		生化学Ⅰ（生体分子）	西村 和洋	1		2	30	研究やその応用に対する基礎知識の重要性を伝える
		分子生物学	西村 和洋	2		2	30	研究やその応用に対する基礎知識の重要性を伝える
		細胞生物学	西村 和洋	2		1	15	研究やその応用に対する基礎知識の重要性を伝える
		基礎統計学	柴田 侑裕	1		1	15	対象とするデータによって用いる統計手法等は異なる。具体的な事例を用いながら各回の解説を行う。
		疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	西村 和洋	2		2	30	臨床経験をともに様々な疾病の基礎知識を伝える
		疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	西村 和洋	2		2	30	臨床経験をともに様々な疾病の基礎知識を伝える

卒業要件単位数	191	単位
実務経験のある教員等	88	単位

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数			時間	実務経験のある教員等による授業科目
					必修	選択	自由		
総合 教育 科目	人間系	医療プロフェッショナルリズムⅠ（入門）	清水 伸幸	1	2			60	多数の臨床経験豊富な教員の実体験に基づいて、医学生の時点で身につけておくべき医師としての考え方や態度を示します。
		医療プロフェッショナルリズムⅡ（応用）	荻野 美恵子	2	1			30	多数の臨床経験豊富な教員の実体験に基づいて、医学生の時点で身につけておくべき医師としての考え方や態度を示します。レポートや試験については複数の教員で確認して点数化して評価対象としますが、重大な問題を感じる提出物があつた場合には、個別に複数の教員で面談を行います。また外部講師をお招きして通常では聴講できないようなご講演も予定しています。
専門	基礎	基礎医学総論Ⅵ（組織学）	小阪 淳	1	1			15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）	小阪 淳	1	1			30	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		基礎医学総論Ⅷ（病理学）	福澤 龍二	1	1			15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		基礎医学総論Ⅸ（病理学演習）	潮見 隆之	1	1			30	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		生殖・妊娠・分娩	永松 健	1	1			15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	河村 朗夫	1	5			75	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	坂尾 誠一郎	2	5			75	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	海老沼 浩利	2	5			75	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	鷲田 直輝	2	3			45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	廣瀬 晃一	2	4			60	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	臼井 智彦	3	3			45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		器官別統合講義Ⅹ(血液系)	中世古 知昭	3	3			45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		人体解剖学実習	小阪 淳	2	3			135	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
	専門	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	塩浜 直	3	2			30	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		感染症	松本 哲哉	1	3			45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	樋口 肇	3	3			45	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		救急と集中治療	志賀 隆	3	1			15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		老年医学	浦野 友彦	3	1			15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		社会医学Ⅰ（医療管理学）	池田 俊也	3	1			15	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）	井谷 修	3	3			45	多数の経験豊富な教員の実務経験を踏まえ分かりやすく教授する
		社会医学Ⅳ（臨床疫学・EBM）	桜井 亮太	3	1.5			23	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する
		症候と臨床推論	矢野 晴美	3 4	8			240	医師としての臨床経験を踏まえ分かりやすく教授する

卒業要件単位数	227 単位
実務経験のある教員等	62.5 単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数 必修選択		時間	実務経験のある教員等による授業科目
人間系	心理学概論	オムニバス	1	2		30	臨床心理士や精神科医として培った経験を生かした内容も講義中に扱う。
	コミュニケーション概論	山下 夏美	1	2		30	臨床心理士、公認心理師として培った経験や知見を、授業に織り込む。
	雑談と傾聴	佐野 智子	1	2		30	医療領域におけるサイコセラピストとしての臨床経験を有する
	人間学	伊豫 雅臣	1 2 3 4		2	30	精神科医としての臨床経験及び医学部での教育研究活動、ならびにメンタルヘルスに関する社会的活動
	宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4		2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワークケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーフケア研究所グリーフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	教育学	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	高等学校（サポート校・フリースクール）講師としての実務経験を有す
	死生学	東海林 良昌	1 2 3 4		2	30	東日本大震災、ネパール地震における災害支援活動、世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワークケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーフケア研究所グリーフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社会福祉協議会理事、浄土宗教育学事審議会副会長を務めながら、災害支援、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
社会系	法学	森川 伸吾	1	2		30	弁護士としての実務経験
	社会学	木下 翔太郎	1 2 3 4		2	30	精神科医、産業医、大学所属の研究者、行政官としての実務経験。
	国際医療福祉論	オムニバス	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	経済学	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
自然・情報系	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	橋本 和明	1	1		30	こども家庭庁における一時保護の司法審査に関する検討委員会座長および家庭裁判所調査官の少年事件、家事事件の実務経験
	生物学	山田 晋之介	1 2 3 4		2	30	これまでの長い歴史の中で積み重ねられてきた生物学の知見を、最新の情報を含め解説していく。
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	平松 達雄	2 3 4		1	30	住民コホート調査、多施設大規模医療データ基盤の構築、医療データ分析研究への従事
	生命倫理	東海林 良昌	1 2 3 4		2	30	東日本大震災、ネパール地震における災害支援活動、世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワークケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーフケア研究所グリーフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社会福祉協議会理事、浄土宗教育学事審議会副会長を務めながら、災害支援、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	橋本 和明	1	1		30	家庭裁判所調査官の実務経験およびこども家庭庁委員の経験
総合系	医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2 3 4		1	15	言語聴覚士の免許を有し、20年以上特別支援教育機関での経験を有し、福岡山王病院や国際医療福祉大学病院、言語聴覚センターでの実務経験を有する。
	メディカルマナー入門	別府 美知子	1 2 3 4		2	30	国際線の乗務員として習得したマナー・プロトコールの知識と経験を有している。病院施設において患者応対（窓口対応、案内誘導、クレーム対応等）の実務経験を有している。企業や医療機関等で働く方への研修の実績を有している
	英語会話Ⅰ（Primary）	フェルナンデス ゴンザレス パウラ	1	1		30	英語教育を専門とし、英語の修士号および学士号を取得している。日本での英語教授経験3年。
外国語系	英語会話Ⅱ（Basic）	フェルナンデス ゴンザレス パウラ	1 2 3 4		1	30	英語教育を専門とし、英語の修士号および学士号を取得している。日本での英語教授経験3年。
	中国語初級Ⅰ（基礎）	山本 秀也	1 2 3 4		1	30	中国大陸で長期生活歴を有し、日本への引き揚げ後はジャーナリストとして北京をはじめ、中国語圏である台湾、香港、シンガポールに駐在しました。中国語の通訳・翻訳者でもあります。
	中国語初級Ⅱ（応用）	山本 秀也	1 2 3 4		1	30	中国大陸で長期生活歴を有し、日本への引き揚げ後はジャーナリストとして北京をはじめ、中国語圏である台湾、香港、シンガポールに駐在しました。中国語の通訳・翻訳者でもあります。
	関連職種連携講義	高橋 泰	2	2		30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
専門教育科目	関連職種連携ワーク	高橋 泰	3	1		30	ケアプラン自動作成ソフトの構築、ケアプラン作成に関する執筆多数
	関連職種連携実習	橋本 和明	4		1	45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしていく。
	保健医療福祉制度論	石川 ベンジャミン亮一	1 2 3 4		2	30	DPC検討WG作業班の班長として診療報酬改定に関わった経験と知識に基づいて、社会制度の形成と改革についての講義を行う。

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	実務経験のある教員等による授業科目
専門 教育 科目	専門基礎／学部共通	リスクマネジメント論	坂本 真史	1 2 3 4	2	30	弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場におけるトラブル例やその対策についても紹介する。
		災害医療論	内海 清乃	1 2 3 4	2	30	実務経験から得た災害医療の実際と最新の知見を交え、災害医療に関する基礎から実践的な知識の提供までを授業として展開する。〔特に第8回・9回、第14回講義では、被災地支援を行った実際の経験を活かし、どのような災害対策を行うことが必要か、またどのような支援が求められるかを演習などを交えて検討し解説を実施する。〕
専門 教育 科目	専門基礎	臨床心理学概論	中村 美穂	2	2	30	臨床経験にもとづいて具体的な臨床心理活動を示し活用する。
		感情・人格心理学	長谷川 晃	3	2	30	抑うつ感情や不安感情の生起と維持、および臨床的な問題と関わるパーソナリティについて、実務経験に基づいた講義をする。
		神経・生理心理学	大谷 真	3	2	30	20年以上、内科医・心療内科医・精神科医として、一般的な医療機関（大学病院、総合病院、精神科単科病院、クリニック）の他、企業・大学などの診療室でも診療を行い、数多くの患者を診察してきました。
		人体の構造と機能及び疾病	高橋 泰	1	2	30	教員が培った医師としての経験を生かした内容も講義中に扱う。特に、医師がポイントとしている臨床診断や診療記録への適切な記載内容を紹介する。
		精神疾患とその治療	村上 正人	3	2	30	心療内科医としての40年以上の臨床経験。医学部・心理学部・教養部の学部や大学院での40年以上の教員経験。日本心身医学会・心療内科学会合同専門医・指導医日本心理職協会理事。日本自律訓練学会専門指導医（上位資格）。日本交流分析学会認定研修スーパーバイザー（上位資格）。旧・日本心理学院講師。国家資格キャリアコンサルタント養成コース講師。日本歯科衛生士会教育研修会講師。公認心理師現任者講習会での講師歴5年。
		心身医学	村上 正人	3	2	30	心療内科医としての40年以上の臨床経験。医学部・心理学部・教養部の学部や大学院での40年以上の教員経験。日本心身医学会・心療内科学会合同専門医・指導医日本心理職協会理事。日本自律訓練学会専門指導医（上位資格）。旧・日本心理学院講師。国家資格キャリアコンサルタント養成コース講師。日本歯科衛生士会教育研修会講師。公認心理師現任者講習会での講師歴5年。
		社会・集団・家族心理学Ⅰ（社会・集団）	亀山 晶子	3	2	30	公認心理師。対人関係や援助行動を促進する心理教育実践に携わった経験を有する。
		心理学統計Ⅰ（単変量解析講義・データリテラシー）	亀山 晶子	1	2	30	公認心理師。対人関係や援助行動を促進する心理教育実践に携わった経験を有する。
		心理学実験Ⅰ（基礎）	倉矢 匠	2	1	45	社会的認知に関する心理実験を多数行い、論文等で発表を行なっている。
		心理学実験Ⅱ（応用）	倉矢 匠	2	1	45	社会的認知に関する心理実験を多数行い、論文等で発表を行なっている。
		発達心理学Ⅰ（胎児期から青年期）	橋本 和典	2	2	30	公認心理師・臨床心理士としての臨床経験をを用いて、発達課題と教育・臨床的対応について具体的に解説する。
		心理学研究法Ⅱ（質的研究法）	石田 航	2	2	30	臨床心理士、公認心理師としての実務経験、質的研究の実施経験と論文投稿など
		障害者・障害児心理学	佐野 智子	2	2	30	心療内科クリニックにおいて、約10年間心理士としての勤務経験をもつ。主に、心理的問題を抱える患者のアセスメントとカウンセリングに携わった。
		教育・学校心理学	中村 美穂	2	2	30	適応指導教室スクールカウンセラー、臨床心理士、公認心理師
		心理学入門演習	中村 美穂	1	2	60	適応指導教室スクールカウンセラー、臨床心理士、公認心理師
		心理学初級演習	長谷川 晃	2	2	60	心理専門職として実績がある教員が講義を担当する。
		公認心理師の職責	橋本 和明	3	2	30	担当教員（科目責任者）は、司法犯罪分野での実務経験があり、現在もその分野で活動している。また、本学の赤坂心理相談室で心理援助活動を行っている。また、その他の教員は各4分野（医療、教育、福祉、産業）で臨床活動を行った経験があり、現在も活動している。
		心理学的支援法	中野 真也	3	2	30	臨床心理士・公認心理師として、医療や教育現場での20年以上の臨床経験を有する。加えて、家族療法のスーパーバイザーとして、さまざまな現場、職種の対人援助職へのスーパーヴィジョン、指導経験がある。
		心理学中級演習	長谷川 晃	3	2	60	公認心理師、臨床心理士としての実践経験。
		心理学上級演習	中野 真也	4	2	60	臨床心理士・公認心理師としての実務経験、および研究指導経験
専門	専門	心理的アセスメントⅠ（講義）	佐藤 篤司	2	2	30	臨床心理士、公認心理師としての臨床経験を踏まえた内容も講義にて扱う。
		心理的アセスメントⅡ（演習）	山下 夏美	3	2	60	臨床心理士、公認心理師としての臨床経験を踏まえた内容を講義にて扱う。具体的には、心理アセスメントの技法について教授し、心理アセスメントをめぐる現状と課題についても触れる。
		心理演習Ⅰ（人間理解）	長谷川 晃	3	1	30	医療、福祉、教育、司法等に関する分野での臨床心理士・公認心理師・精神科医としての臨床経験を10年～30年程度有する。具体的には、それぞれ現場での臨床経験および関連職種へのコンサルテーション、スーパービジョン等の経験を有している。また上記分野での職員研修、また指導等の教育経験も同時に有している。
		心理演習Ⅱ（ロールプレイング）	中村 美穂	3	1	30	公認心理師・臨床心理士としての臨床経験を紹介し、現場の臨床感覚を活かして授業を進める。
		心理演習Ⅲ（事例検討）	中野 真也	4	1	30	実務経験での臨床実践に関して倫理的配慮、学術的視点、具体的支援の様態について授業内で言及する。
		社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）	中野 真也	3	2	30	臨床心理士・公認心理師としての医療・教育現場における家族支援の実務経験、家族療法学会認定スーパーバイザーとしての家族療法の指導経験
		家族援助技法講義	中野 真也	3	2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーバイザー・ファミリーセラピスト

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数 必修選択		時間	実務経験のある教員等による授業科目
専門 教育科目	専門	家族援助技法演習	中野 真也	4	1	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピスト
		福祉心理学	小野寺 敦志	4	2	30	担当教員がそれぞれ、高齢者福祉、子どもの福祉、障害者への福祉に関する臨床、研究業務に関する経験を有している。
		健康・医療心理学	小堀 修	2	2	30	臨床心理士として保険医療分野、スポーツ領域での実務経験
		精神保健学	大谷 真	3	2	30	20年以上、心療内科医・精神科医として、一般的な医療機関（大学病院、総合病院、精神科単科病院、クリニック）の他、企業・大学などの診療室でも診療を行い、数多くの患者を診察する中で、精神保健の分野とも関わりを持ってきました。
		産業・組織心理学	小堀 修	4	2	30	産業カウンセラー、臨床心理士、公認心理師として、働く人のメンタルヘルスの支援、社会人アスリートの支援に従事した経験
		司法・犯罪心理学	小畠 秀吾	3	2	30	精神鑑定例や臨床事例に基づいて加工した架空事例を用いながら、実際の、実践的な知識、技法を理解する。
		心理実習Ⅰ（基礎）	中野 真也	2	1	45	担当教員全員が、心理臨床現場（医療、教育、福祉、産業）での実務経験を10年以上有する。それぞれの現場での臨床経験および関連職種へのコンサルテーション、スーパーヴィジョン等の指導経験を有する。
		心理実習Ⅱ（福祉領域）	小野寺 敦志	3	1	45	科目責任者は、老人介護福祉施設勤務経験、総合病院での（現在の）「重度認知症ダイケア」スタッフ経験、高齢福祉分野における研究、現任者研修指導、認知症高齢者生活介護スタッフへのスーパーヴィジョン、地域包括支援センター・介護職・福祉職・行政職へのグループスーパーヴィジョン等の実務経験を有する
		心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	小畠 秀吾	3	1	45	精神科医師、臨床心理士、公認心理師としての当該領域の経験を豊富に有している。
		心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	中野 真也	3	1	45	公認心理師・臨床心理士等として、保育・教育現場での実務経験がある。
		心理実習Ⅴ（産業・司法領域）	小畠 秀吾	3	1	45	産業・司法領域での心理臨床活動の実際と課題を概説し、両領域での心理臨床の理解を深める。
		関係行政論	小野寺 敦志	3	2	30	実務経験に基づいた具体例を講義の際に提示し、理解を深める一助とする
		メンタルヘルスチェック制度演習	亀山 晶子	3	1	30	公認心理師。EAPサービスを行う企業においてストレスチェック項目の作成、ストレスチェックの集団分析、結果のフィードバックなどの経験を有する。
		メンタルヘルス支援演習	亀山 晶子	4	1	30	教育・産業現場でのストレスマネジメント研修作成や実施経験を有する。公認心理師。

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	115	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	実務経験のある教員等による授業科目
人間系	心理学概論	オムニバス	1	2	30	臨床心理士や精神科医として培った経験を生かした内容も講義中に扱う。
	コミュニケーション概論	山下 夏美	1 2 3 4		2 30	臨床心理士、公認心理師として培った経験や知見を、授業に織り込む。
	雑談と傾聴	佐野 智子	1 2 3 4		2 30	医療領域におけるサイコセラピストとしての臨床経験を有する
	人間学	伊豫 雅臣	1 2 3 4		2 30	精神科医としての臨床経験及び医学部での教育研究活動、ならびにメンタルヘルスに関する社会的活動
	宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4		2 30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワークケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンフケア研究所グリーンフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	教育学	木田 竜太郎	1 2 3 4		2 30	高等学校（サポート校・フリースクール）講師としての実務経験を有す
社会系	死生学	東海林 良昌	1 2 3 4		2 30	東日本大震災、ネパール地震における災害支援活動、世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワークケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンフケア研究所グリーンフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社会福祉協議会理事、浄土宗教育学事審議会副会長を務めながら、災害支援、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	法学	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30	弁護士としての実務経験
	社会学	木下 翔太郎	1 2 3 4		2 30	精神科医、産業医、大学所属の研究者、行政官としての実務経験。
	国際医療福祉論	オムニバス	1 2 3 4		2 30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	経済学	光山 奈保子	1 2 3 4		2 30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
						子ども家庭庁における一時保護の司法審査に関する検討委員会座長および家庭裁判所調査官の少年事件、家事事件の実務経験
総合教育科目	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	橋本 和明	1	1	30	これまでの長い歴史の中で積み重ねられてきた生物学の知見を、最新の情報を含め解説していく。
	生物学	山田 晋之介	1 2 3 4		2 30	住民コホート調査、多施設大規模医療データ基盤の構築、医療データ分析研究への従事
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	平松 達雄	2 3 4		1 30	東日本大震災、ネパール地震における災害支援活動、世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワークケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンフケア研究所グリーンフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社会福祉協議会理事、浄土宗教育学事審議会副会長を務めながら、災害支援、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	生命倫理	東海林 良昌	1 2 3 4		2 30	
外国語系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	橋本 和明	1	1	30	家庭裁判所調査官の実務経験および子ども家庭庁委員の経験
	医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2 3 4		1 15	言語聴覚士の免許を有し、20年以上特別支援教育機関での経験を有し、福岡山王病院や国際医療福祉大学病院、言語聴覚センターでの実務経験を有する。
	メディカルマナー入門	別府 美知子	1	2	30	国際線の乗務員として習得したマナー・プロトコールの知識と経験を有している。病院施設において患者応対（窓口対応、案内誘導、クレーム対応等）の実務経験を有している。企業や医療機関等で働く方への研修の実績を有している
	英語会話Ⅰ（Primary）	フェルナンデス ゴンザレス パウラ	1 2 3 4	1	30	英語教育を専門とし、英語の修士号および学士号を取得している。日本での英語教授経験3年。
	英語会話Ⅱ（Basic）	フェルナンデス ゴンザレス パウラ	1 2 3 4		1 30	英語教育を専門とし、英語の修士号および学士号を取得している。日本での英語教授経験3年。
	中国語初級Ⅰ（基礎）	山本 秀也	1 2 3 4		1 30	中国大陸で長期生活歴を有し、日本への引き揚げ後はジャーナリストとして北京をはじめ、中国語圏である台湾、香港、シンガポールに駐在しました。中国語の通訳・翻訳者でもあります。
外国語系	中国語初級Ⅱ（応用）	山本 秀也	1 2 3 4		1 30	中国大陸で長期生活歴を有し、日本への引き揚げ後はジャーナリストとして北京をはじめ、中国語圏である台湾、香港、シンガポールに駐在しました。中国語の通訳・翻訳者でもあります。

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	実務経験のある教員等による授業科目
専門基礎／学部共通	専門基礎	関連職種連携論	高橋 泰	2	2	30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		関連職種連携ワーク	高橋 泰	3	1	30	ケアプラン自動作成ソフトの構築、ケアプラン作成に関する執筆多数
		関連職種連携実習	橋本 和明	4		45	実習担当教員の実務経験や、現場の実習指導者のアドバイスにより、学生の討議をより活発にしている。
		保健医療福祉制度論	石川 ベンジャミン寛一	1 2 3 4		2	DPC検討WG作業班の班長として診療報酬改定に関わった経験と知識に基づいて、社会制度の形成と改革についての講義を行う。
		リスクマネジメント論	坂本 真史	1 2 3 4		2	弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場におけるトラブル例やその対策についても紹介する。
		災害医療論	内海 清乃	1 2 3 4		2	実務経験から得た災害医療の実際と最新の知見を交え、災害医療に関する基礎から実践的な知識の提供までを授業として展開する。 特に第8回・9回、第14回講義では、被災地支援を行った実際の経験を活かし、どのような災害対策を行うことが必要か、またどのような支援が求められるかを演習などを交えて検討し解説を実施する。
専門基礎	専門基礎	医療概論	高橋 泰	1	2	30	教員が培った医師としての経験を生かした内容も講義中に扱う。特に、チーム医療の中で必ず理解するべき疾患や治療方法を紹介し、将来、医療現場で活躍することに資する授業展開とする。
		経営学	砂原 啓毅	1	2	30	銀行、コンサルティング会社、東京都庁、都立病院など官民の様々な組織において、経営企画、人事労務、財務、金融などの職務を通じて組織経営の実務に従事
		会計学	中井 雄一郎	1	2	30	公認会計士業務を通じて、上場・非上場企業の会計監査経験
		医療管理総論	佐藤 育美	1	2	30	診療情報管理士、病院事務職
		保健医療情報学	篠原 信夫	2	2	30	コンピュータシステム（病院情報システムを含む）管理：20年以上
		医療福祉関連法規	森川 伸吾	2	2	30	弁護士としての非訟実務（法的アドバイス、契約書の作成など）及び訴訟実務の経験（約30年）
専門教育科目	専門	医療マネジメント論Ⅰ（外部・内部環境分析）	石田 円	2	2	30	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐
		人体構造・機能論	高橋 泰	1	2	30	教員が培った医師としての経験を生かした内容も講義中に扱う。特に、医師がポイントとしている臨床診断や診療記録への適切な記載内容を紹介する。
		臨床医学総論	篠浦 丞	1	2	30	日米の大学病院、中核病院をはじめとする医療機関において、消化器内科、肝臓内科、肝胆膵内科、総合内科、一般内科における指導医としての臨床経験、教育経験が20年程度ある。
		経営学演習	砂原 啓毅	1		1 30	銀行、コンサルティング会社、東京都庁、都立病院など官民の様々な組織において、経営企画、人事労務、財務、金融などの職務を通じて組織経営の実務に従事
		簿記論Ⅰ（初級）	中井 雄一郎	1	2	30	公認会計士業務を通じて、上場・非上場企業の会計監査経験
		簿記論Ⅱ（応用）	寺内 泉	2	2	30	2014年より大手監査法人にて、病院、製造業、小売業の公認会計士監査業務に従事（現職）。2019年より日本公認会計士協会東京会にて、会計普及委員、非営利法人委員、会計監査委員（現任）を歴任。
		簿記演習	寺内 泉	2		1 30	2014年より大手監査法人にて、病院、製造業、小売業の公認会計士監査業務に従事（現職）。2019年より日本公認会計士協会東京会にて、会計普及委員、非営利法人委員、会計監査委員（現任）を歴任。
		医療財務会計論	寺内 泉	2	2	30	2014年より大手監査法人にて、病院、製造業、小売業の公認会計士監査業務に従事（現職）。2019年より日本公認会計士協会東京会にて、会計普及委員、非営利法人委員、会計監査委員（現任）を歴任。
		医学・医療用語	篠浦 丞	1	2	30	日米の大学病院、中核病院をはじめとする医療機関において、消化器内科、肝臓内科、肝胆膵内科、総合内科、一般内科における指導医としての臨床経験、教育経験が20年程度ある。
		臨床医学各論A（新生物と消化器・泌尿器）	篠浦 丞	1	2	30	日米の大学病院、中核病院をはじめとする医療機関において、消化器内科、肝臓内科、肝胆膵内科、総合内科、一般内科における指導医としての臨床経験、教育経験が20年程度ある。
		臨床医学各論B（精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系）	篠浦 丞	1	2	30	日米の大学病院、中核病院をはじめとする医療機関において、消化器内科、肝臓内科、肝胆膵内科、総合内科、一般内科における指導医としての臨床経験、教育経験が20年程度ある。
		臨床医学各論C（感染症と血液・代謝・内分泌等）	篠浦 丞	2	2	30	日米の大学病院、中核病院をはじめとする医療機関において、消化器内科、肝臓内科、肝胆膵内科、総合内科、一般内科における指導医としての臨床経験、教育経験が20年程度ある。
		臨床医学各論D（循環器・呼吸器と周産期系）	篠浦 丞	2	2	30	日米の大学病院、中核病院をはじめとする医療機関において、消化器内科、肝臓内科、肝胆膵内科、総合内科、一般内科における指導医としての臨床経験、教育経験が20年程度ある。
		データ処理Ⅰ（初級・データリテラシー）	石川 ベンジャミン寛一	1	2	30	国立研究開発法人における病院情報システムの整備と医療データ分析研究への従事
		データ処理Ⅱ（中級）	石川 ベンジャミン寛一	3	2	30	国立研究開発法人における病院情報システムの整備と医療データ分析研究への従事
		データ処理Ⅲ（上級）	石川 ベンジャミン寛一	3	2	30	国立研究開発法人における病院情報システムの整備と医療データ分析研究への従事
		診療報酬請求論Ⅰ（初級）	岡田 太郎	2	2	30	急性期病院の医事課長および回復期リハビリテーション病院の事務長としての実務経験を有する。また、一般財団法人日本医療教育財団が発行する月刊誌『メディカルクラーク』にて、『レセプト講座』を6年間執筆。
		診療報酬請求論Ⅱ（中級）	岡田 太郎	2	2	30	急性期病院の医事課長および回復期リハビリテーション病院の事務長としての実務経験を有する。また、一般財団法人日本医療教育財団が発行する月刊誌『メディカルクラーク』にて、『レセプト講座』を6年間執筆。
		診療報酬請求論Ⅲ（上級）	岡田 太郎	3	2	30	急性期病院の医事課長および回復期リハビリテーション病院の事務長としての実務経験を有する。また、一般財団法人日本医療教育財団が発行する月刊誌『メディカルクラーク』にて、『レセプト講座』を6年間執筆。
		医療管理各論Ⅰ（病院管理）	石田 円	2	2	30	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐
		医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）	石川 ベンジャミン寛一	2	2	30	厚生労働省保健医療専門審査員
		医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）	角田 圭雄	2	2	30	実務経験を生かした具体的な内容も講義中に扱う。

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
					必修	選択		
		医療マネジメント論Ⅱ（業務・物流の改善）	桑原 直行	2	2		30	診療所管理者や総合病院の経営補佐、さらに地域の医療・介護に関する行政側からの政策決定に関わる実務経験
		医療マネジメント論Ⅲ（パブリック・ヘルス）	桑原 直行	3	2		30	医師（診療所管理者）
		医療マネジメント論Ⅳ（リスクマネジメント）	桑原 直行	3	2		30	医師（診療所管理者）
		人的資源管理論	砂原 啓毅	2		2	30	東京都庁本庁各課や都立病院等において、管理職として人事労務管理を担うとともに、職員の採用、昇任、異動や組織編成など人事関連業務に従事
専門 教育 科目		診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）	佐藤 育美	2		2	30	診療情報管理士、病院事務職
		診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）	蔵下 千恵美	1		2	30	担当教員は、国立病院機構関連病院の実務経験を有する。診療情報管理士指導者の資格を有している。診療情報管理士業務の他、経営戦略課において病院経営戦略に関する業務に従事。
		診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助者等の実務）	蔵下 千恵美	2		2	30	担当教員は、国立病院機構関連病院の実務経験を有する。診療情報管理士指導者の資格を有している。診療情報管理士業務の他、経営戦略課において病院経営戦略に関する業務に従事。
		国際統計分類Ⅰ（基礎）	蔵下 千恵美	2		2	30	担当教員は国立病院機構関連病院で診療情報管理士としての勤務経験を持っている。さらに診療情報管理士指導者を有しており、診療情報管理士業務の他、経営戦略課において病院経営戦略に関する業務に従事。
		国際統計分類Ⅱ（応用）	蔵下 千恵美	3		2	30	担当教員は国立病院機構関連病院で診療情報管理士としての勤務経験を持っている。さらに診療情報管理士指導者を有しており、診療情報管理士業務の他、経営戦略課において病院経営戦略に関する業務に従事。
		国際統計分類特別講義	蔵下 千恵美	3		2	30	担当教員は国立病院機構関連病院で診療情報管理士としての勤務経験を持っている。さらに診療情報管理士指導者を有しており、診療情報管理士業務の他、経営戦略課において病院経営戦略に関する業務に従事。
		薬学概論	富田 隆	2		2	30	科目責任者及び科目担当者は、現職の病院薬剤師である。
		医療福祉施設実習	石川 ベンジャミン亮一	3	4		180	実習担当教員の多くが、診療情報管理士・医療事務関連職員・医師等として勤務経験有り。
		病院施設管理論	石川 ベンジャミン亮一	3	2		30	担当教員は、国立病院機構関連病院の実務経験を有する。診療情報管理士指導者の資格を有している。診療情報管理士業務の他、経営戦略課において病院経営戦略に関する業務に従事。
		病院管理演習Ⅰ（基礎）	蔵下 千恵美	3	1		30	担当教員は、国立病院機構関連病院の実務経験を有する。診療情報管理士指導者の資格を有している。診療情報管理士業務の他、経営戦略課において病院経営戦略に関する業務に従事。
		病院管理演習Ⅱ（応用）	佐藤 育美	3	1		30	科目担当責任者は、病院での実務経験があり、診療情報管理士・院内がん登録中級者の資格を有している
		経営戦略論	羽田 明浩	3		2	30	メガ銀行27年間の実務経験
		経営組織論	羽田 明浩	3		2	30	メガ銀行27年間の実務経験
		医療管理会計論	石田 円	3		2	30	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐
		経営分析論	砂原 啓毅	3		2	30	銀行での金融業務を通じて、企業の経営分析実務に従事。また、東京都庁では外郭団体を所管する管理職として多様な企業・団体の経営改革を推進
		マーケティング論	中田 健吾	3	2		30	経営戦略・マーケティング戦略・PRコミュニケーションのコンサルタントとして活動するほか、企業のマーケティング担当、などの経験を有する。
		病院原価計算論	石田 円	3		2	30	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐
		社会福祉運営管理論	中田 健吾	3		2	30	経営戦略・マーケティング戦略・PRコミュニケーションのコンサルタントとして活動するほか、企業のマーケティング担当、などの経験を有する。
		地域医療計画論	島崎 謙治	3		2	30	医師の働き方改革の推進に関する検討会委員である（島崎）。
		医療福祉マーケティング論	中田 健吾	3	2		30	経営戦略・マーケティング戦略・PRコミュニケーションのコンサルタントとして活動するほか、企業のマーケティング担当、などの経験を有する。
		診療情報管理演習Ⅰ（基礎科目A）	角田 圭雄	3		1	45	本講義は、臨床の実務経験のある教員による講義である
		診療情報管理演習Ⅱ（基礎科目B）	篠浦 丞	3		1	45	内科専門医であり。現在も実臨床に携わっている。また医学部教育にもかかわっており、医学医療関係の経験と知識のアップデートを日々行っている。これらの経験とアップデートを活かしてできる限り実地臨床に即した形での講義を行っていく。
		診療情報管理演習Ⅲ（専門科目A）	佐藤 育美	3		1	45	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐（石田） 診療情報管理士、がん登録中級保持者（佐藤）
		診療情報管理演習Ⅳ（専門科目B）	佐藤 育美	3		1	45	診療情報管理士、医療情報技師、看護師資格を基礎とした病院の経営補佐（石田） 診療情報管理士、がん登録中級保持者（佐藤）
		ケア・マネジメント論	小平 めぐみ	3		2	30	介護保険施設での相談員業務、居宅支援事業所での介護支援相談員業務。
		保健医療制度論	桑原 直行	3		2	30	医師（診療所管理者）
		医療マネジメント学特別講義Ⅰ（基礎）	角田 圭雄		4	2	30	若手病院経営者の会を主宰するなど、日頃から病院経営者と接し、病院経営に関する相談もよくうける
		医療マネジメント学特別講義Ⅱ（応用）	角田 圭雄		4	2	30	英国国立アングリアラスキン大学 MBA 客員教授 医療経営学会 スタート・アップ部会 副部会長

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	160	単位

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	実務経験のある教員等による授業科目
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4	2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		心理学	杉野 珠理	1 2 3 4	2	30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。
		コミュニケーション概論	杉野 珠理	1	2	30	実務経験を活かし、理解を深めるための授業を展開する。
		人間学	古城 慶子	1 2 3 4	2	30	病院などの診療を踏まえて講義している。
		教育学	木田 竜太郎	1 2 3 4	2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
		死生学-死を通して生を考える	大園 康文	1 2 3 4	2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4	1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4	2	30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4	2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社福祉協協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4	2	30	事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。
		社会学	魚岸 実弦	1 2 3 4	2	30	実務上、マイノリティと呼ばれる少数派の人々やスティグマ（差別や偏見）に悩む人々の支援に携わる機会が多い。また、研究領域もマイノリティやスティグマに関連している。管理職経験は約10年であり、昨今のハラスメント問題を身近に感じながら業務に取り組んでいる。長年の対人支援を中心とした実務の中で、社会的課題に直面する機会も多い。これらの経験を基に、社会と人々の関係に着目しながら、各テーマに対する既存の情報と実際の経験談を織り交ぜ講義を展開する。なお、アクティブラーニングの経験を基に、講義は教員と受講生との対話を重視す
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4	2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		医療関連法規	坂本 真史	1	2	30	弁護士としての実務経験を踏まえて、実際の裁判や事件についても紹介する。
		マスメディア論	山本 秀也	1 2 3 4	2	30	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じますが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実に即した解説を用意しています。
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	光山 奈保子	1 2 3 4	2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4	2	30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	牧田 浩行	1	1	30	本学所属の医師や教員らが、我が国の社会福祉・医療保障政策についての講義をオムニバス形式で行う。
	自然・情報系	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	牧田 浩行	1	1	30	臨床に携わる医師や教員らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。
	総合系	総合講義	石村 佳代子	1 2 3	1	15	さまざまな専門分野に携わった実践経験から時勢を連観してきた学内の講師が、各テーマの現状と課題を初学者にもわかりやすい授業内容として展開する。
		医療福祉教養講義	平島ユイ子	1 2 3 4	1	15	実務経験を活かして授業を展開する
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4	2	30	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。
	外国語系	英語C-1(英会話初級)A	Michael Littlewood	2 3 4	1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する
		英語C-1(英会話初級)B	Michael Littlewood	2 3 4	1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する
		英語C-2(英会話中級)	Michael Littlewood	2 3 4	1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する
		中国語初級1（基礎）A	山本 秀也	1 2 3 4	1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補充することで実用的な指導を図ります。
		中国語初級1（基礎）B	山本 秀也	1 2 3 4	1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補充することで実用的な指導を図ります。
	体育・保健系	健康科学実践 前期A	北濱 幹士	1 2 3 4	1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
		健康科学実践 A	北濱 幹士	1 2 3 4	1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
		健康科学実践 前期B	北濱 幹士	1 2 3 4	1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
		健康科学実践 B	北濱 幹士	1 2 3 4	1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
専門教育科目	専門基礎	救急医学	田邊 浩悌	2 3 4	1	15	臨床経験を活かした授業を展開する。
		リハビリテーション概論	久保 晃	1	2	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		関連職種連携論	石村 佳代子	2	2	30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		ケースワーク論	山口 佳子	1 2 3 4	1	15	地域包括支援センター、介護老人保健施設等における相談援助の実務経験に基づき、社会保障制度の仕組み、介護保険や高齢者福祉の運用について講義を行う。言語聴覚士としての実務経験に基づき、障害児者や高齢者の医療・保健・福祉のニーズについて講義を行う。保健福祉の現場における実務経験に基づき、多職種多機関連携の手法について講義を行う
		保健医療福祉制度論	石川 ベンジャミン晃一	1	2	30	DPC検討WG作業班の班長として診療報酬改定に関わった経験と知識に基づいて、社会制度の形成と改革についての講義を行う。
		社会福祉学	山口 佳子	1 2 3 4	2	30	地域包括支援センター、介護老人保健施設等における相談援助の実務経験に基づき、社会保障制度の仕組み、介護保険や高齢者福祉の運用について講義を行う。言語聴覚士としての実務経験に基づき、障害児者や高齢者の医療・保健・福祉のニーズについて講義を行う。保健福祉の現場における実務経験に基づき、多職種多機関連携の手法について講義を行
		臨床心理学概論	杉野 珠理	1	1	30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	実務経験のある教員等による授業科目
専門基礎	生体情報処理概論	㇑谷 直人	2 3 4	2	30	臨床経験を活かした臨床検査全般にわたる授業を展開する。
	関連職種連携実習	北島 栄二	4	1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展開する。
	関連職種連携ワーク	久保 晃	3	1	30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえ、グループワークがスムーズに進行するようチューターの役割を果たす。
専門教育科目	解剖学Ⅰ（運動器系・内臓学・循環器系）	堀口 和秀	1	1	30	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義を行う。多くの図や画像・模型などを用いて、人体構造の立体的位置関係をよく理解できるように説明する。
	解剖学Ⅱ（内臓学・神経系）	堀口 和秀	1	1	30	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義を行う。多くの図や画像・模型などを用いて、人体構造の立体的位置関係をよく理解できるように説明する。
	生理学Ⅰ（植物性功能）	須賀 比奈子	1	1	30	大学医学部での指導経験を活かした講義を展開する
	生理学Ⅱ（動物性功能、内分泌）	須賀 比奈子	1	1	30	大学医学部での指導経験を活かした講義を展開する
	栄養学	井部 奈生子	1	1	30	代謝系疾患への栄養管理および栄養教育に関する研究、ライフステージに沿った栄養教育教材に関する研究をテーマとし、栄養食事指導を行ってきた。管理栄養士としてこれまでの経験を活かして、具体例を挙げながら講義をする。
	微生物学	㇑谷 直人	1	1	30	臨床現場の経験を踏まえたICDとICNによる院内感染対策の基礎知識と感染予防策。
	病理学	金網 友木子	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	薬理学	長沼 美代子	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	看護英語Ⅰ（基礎）A	谷山 牧	2	1	30	専門的経験をもとに外国人患者と看護師の具体的なやり取りを設定し、授業で展開します。
	看護英語Ⅰ（基礎）B	谷山 牧	2	1	30	専門的経験をもとに外国人患者と看護師の具体的なやり取りを設定し、授業で展開します。
	看護英語Ⅱ（発展）	谷山 牧	3	1	30	専門的経験をもとに外国人患者と看護師の具体的なやり取りを設定し、授業で展開します。
	疫学	飯室 聡	2	2	30	実務経験を活かした授業を展開する
	教職入門	木田 竜太郎	1	2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	発達心理学	山本 美和	1 2	1	15	実務経験を活かして指導に当たる。
	教育課程論	木田 竜太郎	1 2	2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	道德教育の理論と実践	鈴木 明雄	2 3	1	15	中学校における道德科授業の指導経験と教育課程のカリキュラムマネジメント及び大学院における修士学位課程としての指導実績を本授業に活かしていく。
	教育方法論	木田 竜太郎	2 3	2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	生徒指導論	木田 竜太郎	2 3	1	15	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	教育相談の基礎と方法	加賀屋 千寿	2 3	1	15	教育現場での臨床経験をふまえて、授業を進める。
	教職実践演習（養護教諭）	山本 美和	4	2	30	教育に係る様々な職種の役割から教員に必要とされる資質能力について内省する機会を提示する。
	養護概説	山本 美和	2 3	2	30	実務経験を演習場面で活用し授業理解を促す。
	解剖学・生理学演習	堀口 和秀	2	1	30	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義・演習を行う。
	疾病・治療論Ⅰ（呼吸、循環、腎泌尿器系）	清岡 崇彦	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅱ（消化、代謝・内分泌系）	坂本 康成	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅲ（免疫、脳神経、運動器、精神系）	牧田 浩行	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅳ（感覚器、口腔、皮膚系）	石井 淳一郎	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅴ（リハビリテーション、小児）	北林 耐	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
	保健医療福祉行政論	渡部 瑞穂	4	2	30	施策化・事業化の実践に活用できる行政の仕組みや法制度の知識について教示する。また、住民や関係者との合意形成の方法例を演習する。
	保健統計学Ⅱ（発展）	渡部 瑞穂	3	1	15	疫学/保健統計の保健師活動への活用を含めて教授する。
	特別支援教育概論	山本 美和	1 2	1	15	実務経験を活かして指導に当たる。
専門	看護学原論	大石 朋子	1	1	30	看護の基盤となる主要概念・理論、看護史、看護専門職の専門性や倫理に関して、研究成果を紹介しながら、初学者にとって看護学への関心を
	小児看護学概論	吉岡 詠美	2	1	15	実体験を踏まえ、小児のみならず家族を対象にした看護を教授する。
	小児看護学方法論	吉岡 詠美	3	2	60	実体験を踏まえ、健康障害をもつ小児のみならず家族を対象にした看護を教授する。また、健康障害をもつ子どもに、成長・発達を踏まえた個別的な看護を探索できるよう、ディスカッション等を適宜行う。
	小児看護学演習	吉岡 詠美	3	1	30	実体験を踏まえ、健康障害をもつ小児への看護ケアを教授する。モデル人形を活用した演習を多く取り入れ、知識とケアを結び付けられるよう、適宜アドバイスする。
	小児看護学実習	吉岡 詠美	3	2	90	病院実習では、看護過程の展開と健康障害をもつ小児への看護ケアを一緒に実践する。学生が、知識とケアを結び付けられるよう、適宜アドバイスする。
	リプロダクティブヘルス看護学概論	山本 江里子	2	1	15	女性のライフサイクル全般にわたる性と生殖に関する諸課題とその看護援助をより具体的にイメージできるよう、助産師としての臨床経験を活かした講義を展開する
	リプロダクティブヘルス看護学方法論	山本 江里子	3	2	60	主に周産期における対象とその看護実践を具体的にイメージできるよう、助産師および認定看護師としての臨床経験・研究成果を活かした講義を展開する。
	リプロダクティブヘルス看護学演習	中田 かおり	3	1	30	妊産褥婦、胎児・新生児および家族に対する看護実践に必要な基礎的看護技術の習得に向けて、各々の専門分野における実務経験を活かした講義・演習を展開する。
	リプロダクティブヘルス看護学実習	中田 かおり	3	2	90	妊産褥婦および新生児とその家族に対し、ウェルネスの視点から支援する基礎的な看護実践能力の育成に向けて、実務経験を活かした臨地実習指導を行う。
	成人看護学概論	手島 芳江	2	1	15	担当教員の臨床経験を活かし、成人期における成長・発達と身体的・心理的・社会的特徴やあらゆる健康レベルで対象を捉え、健康レベルに応じた援助の概要をイメージできるように講義を展開する。また、成人期のヘルスプロモーション、ヘルスプロテクションの必要性和保健・医療・福祉システムや成人期の看護を考える上で基本的な看護理論についても事例を用いて講義する。
	成人看護学方法論Ⅰ（急性期、周手術看護）	小林 淳子	2	2	60	臨床経験を活かした講義を展開する。皮膚・排泄ケア認定看護師が臨床経験を活かした講義：「ストーマ造設術を受ける患者の看護」を行う。また、BLS演習においては、BLS講習インストラクターの資格を有する看護師による実践的な演習を行う。
	成人看護学方法論Ⅱ（慢性期看護）	渡辺 英子	3	2	60	各講義は、看護経験のある教員や臨地の看護師が臨床判断と実際の看護を踏まえた講義を展開する。さらに、看護過程の演習を通し治療を受けながら生活する患者に対する慢性期看護の理解を深める。
	成人看護学方法論Ⅲ（がん看護、終末期看護）	小林 淳子	3	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。化学療法認定看護師が「外来化学療法の実践と看護」の講義を 行う。がん専門看護師・がん性疼痛看護認定看護師が「がん患者の症状マネジメントの実践と看護」の講義を行
	老年看護学概論	山下 由香	2	1	15	担当教員は、病院、訪問看護などでの経験がある。老年看護のありかたと、超高齢社会における保健医療福祉の動向と制度について経験を活かして教授する。

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	実務経験のある教員等による授業科目
専門教育科目	専門	老年看護学方法論	山下 由香	3	2	60	担当教員は、病院、訪問看護などの経験があり、健康障害を有する高齢者への看護の課題と解決に向けた援助について看護師経験をいかして教授する。また、老人看護専門看護師、認知症看護認定看護師資格を有する教員による専門性を活かした授業を展開する。
		老年看護学演習	山下 由香	3	1	30	担当教員は、病院、訪問看護などでの看護師経験を活かして、高齢者の生活機能を整える看護について、基礎的な技術と個別的なケアのあり方について教授する。また、老人看護専門看護師、認知症看護認定看護師資格を有する教員による、専門性を活かした授業を展開する。
		精神看護学概論	石村 佳代子	2	1	15	精神科病院や精神障害者地域生活支援の場における実務経験に基づき、当事者とその家族が置かれている現状と課題について、学生の考察を促す授業展開を行う。
		精神看護学方法論	岡本 典子	2	2	60	精神科病院や精神障害者地域生活支援の場における実務経験に基づき、さまざまな発達状態や多様な場におけるリカバリーや自己決定を支える看護実践を紹介しながら、よりよい看護の方法について考えられるよう授業を展開する。
		精神看護学演習	岡本 典子	3	1	30	精神科病院や精神障害者地域生活支援の場における実務経験から、精神疾患を有する人々への倫理実践を基盤としたリカバリー支援の実際、家族支援や多職種連携を含めた幅広い支援について授業を展開する。
		精神看護学実習	田中 有紀	3	2	90	精神科病院や精神障害者地域生活支援の場における実務経験に基づき、対象者のリカバリーに向けた支援ができるような実習展開をする。
		在宅看護学演習	谷山 牧	4	1	30	担当教員は多様な場での実務経験を活かし、対象者が病院で療養する際、また、地域で生活する際など、看護の連続性を意識しながら、それぞれの場で求められる看護職としての役割を考えられるように支援す
		在宅看護学実習	石村 珠美	4	2	90	担当教員は多様な場での実務経験を活かし、対象者が病院で療養する際、また、地域で生活する際など、看護の連続性を意識しながら、それぞれの場で求められる看護職としての役割を考えられるように支援す
		国際看護論	手島 芳江	4	1	15	様々な国での国際看護活動を紹介し、文化や背景が異なる対象へのケアとは何か、学生が考察できるように支援する。
		パリアティブケア	山下 由香	3 4	1	15	がん看護、終末期看護の分野で実務経験がある老年看護学の担当教員が、事例を用いてパリアティブケアの概要を講義する。また、小児看護学の担当教員が小児看護における緩和ケア、緩和ケア認定看護師が臨床経験から実践的な講義（「一般病棟における緩和ケアの実際」）を行
		家族看護論	山口 みのり	2	1	15	豊富な教育研究と臨床経験を活かし、実践事例などを通して本科目の理解を深めるよう授業を展開する
		統合看護演習	小林 淳子	4	1	30	各々の専門分野における実務経験に基づき、臨床判断の基盤となる能力の育成に向けた講義・演習を展開する。
		統合技術演習	山口 みのり	4	1	30	担当する教員はそれぞれ専門特化した臨地の経験を持っており、実践を想定した技術の習得ができるように演習計画を立案している。
		看護研究法概説	石村 佳代子	3	1	15	研究に関する一般的な基礎知識から看護研究まで、実務経験を生かして具体的に、かつ段階を踏んで理解を深めるように授業を展開する。また研究倫理についても研究活動における経験を生かした教育を行う。
		養護実習	山本 美和	4	5	150	実務経験を活かし了事前事後指導および実習校の巡回
		看護コミュニケーション論	山口 みのり	1	1	15	看護に必要なコミュニケーションの知識と、援助の人間関係を構築する方法に関して、今後の演習・実習の基盤となるよう体験学習を交えて工夫を行い、授業を展開する
		看護過程展開論	佐藤 由理子	1	1	30	教員は看護師としての実務経験を活かし、臨床実践で看護展開ができるよう教育内容・方法の工夫を行っている。
		基礎看護学実習Ⅰ（基礎）	大石 朋子	1	1	45	上記の看護基礎教育課程と臨床における実務経験を活かし、教員は臨床実習指導者と連携して学習環境を整え、学生が臨床での経験をを通して多くの学びや気づきを得られるよう実習内容・指導方法を工夫し学修を支
		基礎看護学実習Ⅱ（発展）	大石 朋子	2	2	90	上記の看護基礎教育課程と臨床における実務経験を活かし、教員は臨床実習指導者と連携して学習環境を整え、学生が臨床での経験をを通して多くの学びや気づきを得られるよう実習内容・指導方法を工夫し学修を支
		老年看護学実習Ⅱ（施設看護）	山下 由香	4	1	45	指導教員は、病院や施設看護において認知症高齢者の看護に携わった経験がある。また老人看護専門看護師、認知症看護認定看護師の資格を有する教員もいることから、専門的な認知症高齢者看護の実践について教
専門教育科目	専門	公衆衛生看護学概論	斎藤 照代	1	2	30	保健師としての実務経験を活かし、理論的解説に加え事例を交えたより実践のイメージを高める授業を展開している。
		健康教育・保健指導論	大島 珠子	2	1	30	保健指導とは、人々の健康生活上の課題に対し、直接に働きかけて提供する対人援助技術の総称で、その技術の一つが健康教育である。健康教育とは、個人、家族、集団または地域が直面している健康問題を解決するにあたり、自ら必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして直面している問題に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助することである。本科目では、行政での実践経験を活かし、看護職として健康教育・保健指導に必要とされる基本的知識・技術・態度を身につけ、実践のイメージ化を図れるよう、講義・
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（健康支援）	斎藤 照代	3	2	90	実務経験を活かし了実習の様々な場面において、公衆衛生看護の在り方や展開方法等、事例を踏まえたより実践的な指導を実施している。
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（活動の展開）	斎藤 照代	4	2	90	実務経験を活かし了実習の様々な場面において、公衆衛生看護の在り方や展開方法等、事例を踏まえたより実践的な指導を実施している。
		公衆衛生看護学実習Ⅲ（管理）	斎藤 照代	4	1	45	実務経験を活かし了実習の様々な場面において、公衆衛生看護の在り方や展開方法等、事例を踏まえたより実践的な指導を実施している。
		災害看護論	山口 みのり	3	1	15	災害看護の基本となる考え方に関して、学生が今後、一看護職者になることを見据えて、災害時の自身のあり方を考え、看護を実践できるように授業を展開する。
		看護研究	石村 佳代子	4	2	60	各担当教員がそれぞれの実務経験を生かしながら、学生個々の研究課題や学修進度に応じて看護研究の基礎力を身につけ研究計画書作成ができるよう具体的、かつ段階を踏んで支援する。
		看護倫理学	吉岡 詠美	2 3 4	1	15	学生には、看護倫理に関する基礎知識を伝え、臨床現場で起こり得る倫理的問題に気づき、分析できるよう、経験を活かした授業を行う。
		コミュニティアセスメント論	山本 美和	3	1	30	実務経験を活かし了課題提示と演習を実施する。
		産業における看護活動	斎藤 照代	4	1	15	実務経験を活かし了理論の解説に加え、多くの事例を活用し産業保健の在り方や展開方法等学生がイメージしやすく実践力の高い講義を展開す
		学校における看護活動	山本 美和	3	1	15	実務経験に基づいた事例展開、例示を行い、講義・演習を実施します。
		公衆衛生看護管理論	渡部 瑞穂	4	1	15	公衆衛生看護管理の実践に必要な知識・技術に焦点をおいて演習の機会を提供する。
		看護援助論Ⅰ（看護援助の基本）	處 千恵美	1	1	30	教員は看護師としての実務経験を活かし、基本的看護技術や知識が習得できるよう教育内容・方法の工夫を行う。
		看護援助論Ⅱ（生活援助）	大石 朋子	1	2	60	教員は看護師としての実務経験を活かし、基本的看護技術や知識が習得できるよう教育内容・方法の工夫を行う。
		看護過程演習	佐藤 由理子	2	1	30	教員は看護師としての実務経験を活かし、臨床実践で看護展開ができるよう教育内容・方法の工夫を行っている。
		看護マネジメント実習	山口 みのり	4	1	45	上記の看護基礎教育課程と臨床における実務経験を活かし、教員は臨床実習指導者と連携して学習環境を整え、学生が多くの学びや気づきを得られるよう実習内容・方法を工夫し学修を支援する。

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育科目	専門	看護管理論	山口　みのり	3	1	15	看護管理の基本となる考え方に關して、学生が今後新人看護師として組織の一員になることを見据えて、自身のあり方を考えられるよう工夫を行い、授業を展開する。
		看護援助論Ⅲ（診療援助）	大石　朋子	2	2	60	教員は看護師としての実務経験を活かし、臨床での実践を想定した基礎看護技術や知識が習得できるような教育内容・方法の工夫を行っている。
		フィールド体験実習	吉岡　詠美	1	1	45	教員がそれぞれの専門領域での経験を基に、学生が地域や人・健康の多様性の理解に向けた思考を深めることを支援する
		フィジカルアセスメントⅠ（基礎）	處　千恵美	1	1	30	教員は看護師としての実務経験を活かし、基礎知識や技術が習得できるような教育内容・方法の工夫を行っている。
		フィジカルアセスメントⅡ（発展）	處　千恵美	2	1	15	教員は看護師としての実務経験を活かし、基礎知識や技術が習得できるような教育内容・方法の工夫を行っている。
		成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期看護）	手島　芳江	3	2	90	学内の授業・演習で修得した基礎知識、技術及び態度を基に、実習施設において受け持ち患者を総合的に理解し、対象者の疾患とその症状・治療方法に適した看護を実践できるように、臨床経験豊かな実習指導者と本学の担当教員が協働して指導を行う。
		成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期看護）	手島　芳江	3	2	90	学内の授業・演習で修得した基礎知識、技術および態度を基に、学生が受け持ち患者を総合的に理解し、対象者の疾患とその症状・治療方法に適した看護を実践できるように、臨床経験豊かな実習指導者と本学の担当教員が協同で指導を行う。
		成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢者の理解）	山下　由香	3	1	45	指導教員は病院、訪問看護において高齢者の看護に携わった経験を有していることから、地域・施設での実習を通し、老年期の特徴を教授す
		成人・老年看護学実習Ⅳ（健康障害のある高齢者の看護）	山下　由香	3	2	90	指導教員は病院、訪問看護において高齢者看護に関わった経験がある。また、老人看護専門看護師、認知症看護認定看護師の資格を有している教員もいることから、専門的な高齢者看護の実践、高齢者の個別性を尊重した看護実践について教授する。
		成人・老年看護学実習Ⅴ（認知症を有する高齢者の看護）	山下　由香	4	1	45	指導教員全員が臨床や施設看護において認知症高齢者の看護に携わった経験がある。また老人看護専門看護師、認知症看護認定看護師の資格を有する教員もいることから、専門的な認知症高齢者看護の実践について
		地域・在宅看護学概論	谷山　牧	2	1	15	担当教員は多様な場での実務経験を活かし、対象者が病院で療養する際、また、地域で生活する際など、看護の連続性を意識しながら、それぞれの場で求められる看護職としての役割を考えられるように支援す
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ（地域生活の理解）	石村　珠美	2	2	60	担当教員は多様な場での実務経験を活かし、対象者が病院で療養する際、また、地域で生活する際など、看護の連続性を意識しながら、それぞれの場で求められる看護職としての役割を考えられるように支援す
		地域・在宅看護学方法論Ⅱ（地域療養の支援）	石村　珠美	3	2	60	担当教員は、多様な場での実務経験を活かし、さまざまな生活の場で療養する対象者へ、看護の連続性を意識し、それぞれの場で求められる看護の役割を考えられるように支援する。
		地域・在宅看護学演習	谷山　牧	4	1	30	担当教員は多様な場での実務経験を活かし、対象者が病院で療養する際、また、地域で生活する際など、看護の連続性を意識しながら、それぞれの場で求められる看護職としての役割を考えられるように支援す
		地域・在宅看護学実習	石村　珠美	4	2	90	担当教員は多様な場での実務経験を活かし、対象者が病院で療養する際、また、地域で生活する際など、看護の連続性を意識しながら、それぞれの場で求められる看護職としての役割を考えられるように支援す
		統合看護実習	吉岡　詠美	4	2	90	教員が、それぞれの専門領域での経験をもとに、学生が看護基礎教育で修得した既存知識を活用し、個人・家族・地域社会における人々の健康課題の解決に向けた質の高い看護ケアを提供できることを支援する。
		健康危機管理論	斎藤　照代	4	1	15	保健師としての実務経験を活かし、理論的解説に加え事例を交えたより実践のイメージを高める授業を展開している。
		公衆衛生看護学対象別活動論	大島　珠子	3	2	30	実務経験を活かした授業・演習を行う。
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ（基礎）	渡部　瑞穂	3	1	30	健康診査・家庭訪問の実際を交えて講義する。公開されている実際の行政データをコミュニティアセスメントに活用し演習を展開する。
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ（発展）	大島　珠子	4	1	30	保健師としての実務経験を活かし、理論に加え演習を交えた実践のイメージを高める授業を展開している。

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業科目	199	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
	心理学	杉野 珠理	1 2 3 4		2	30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。
	コミュニケーション概論	杉野 珠理	1 2 3 4		2	30	実務経験を活かし、理解を深めるための授業を展開する。
	人間学	古城 慶子	1 2 3 4		2	30	病院などの診療を踏まえて講義している。
	教育学	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	教育方法論	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
	死生学-死を通して生を考える	大園 康文	1 2 3 4		2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
	演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4		2	30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
	宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4		2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
総合教育科目	法学	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	事例について講評する際に、実務経験を通じた実務感覚が活かされる。
	社会学	魚岸 実弦	1 2 3 4		2	30	実務上、マイノリティと呼ばれる少数派の人々やスティグマ（差別や偏見）に悩む人々の支援に携わる機会が多い。また、研究領域もマイノリティやスティグマに関連している。管理職経験は約10年であり、昨今のハラスメント問題を身近に感じながら業務に取り組んでいる。長年の対人支援を中心とした実務の中で、社会的課題に直面する機会も多い。これらの経験を基に、社会と人々の関係に着目しながら、各テーマに対する既存の情報と実際の経験談を織り交ぜ講義を展開する。なお、アクティブラーニングの経験を基に、講義は教員と受講生との対話を重視する
	国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	医療関連法規	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえて、実際の裁判や事件についても紹介する。
	マスメディア論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じますが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実 に即した解説を用意しています。
	経済学基礎Ⅰ（経済原論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	牧田 浩行	1	1		30	本学所属の医師や教員らが、我が国の社会福祉・医療保障政策についての講義をオムニバス形式で行う。
	自然・情報系	医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報— 牧田 浩行	1	1		30	臨床に携わる医師や教員らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。
総合系	総合講義	石村 佳代子	1 2 3		1	15	さまざまな専門分野に携わった実践経験から時勢を達観してきた学内の講師が、各テーマの現状と課題を初学者にもわかりやすい授業内容として展開する。
	医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2 3 4		1	15	実務経験を活かして授業を展開する
	メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2	30	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコールの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。
	英語C-1(英会話初級)A	Michael Littlewood	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する
	英語C-1(英会話初級)B	Michael Littlewood	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する
	英語C-2(英会話中級)	Michael Littlewood	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する
	中国語初級1(基礎)A	山本 秀也	1 2 3 4		1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図ります。
	中国語初級1(基礎)B	山本 秀也	1 2 3 4		1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用される「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図ります。
	健康科学実践 前期A	北濱 幹士	1 2 3 4		1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
	健康科学実践 A	北濱 幹士	1 2 3 4		1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
外国語系	健康科学実践 前期B	北濱 幹士	1 2 3 4		1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
	健康科学実践 B	北濱 幹士	1 2 3 4		1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
	救急医学	田邊 浩梯	1	1		15	臨床経験を活かした授業を展開する
体育系	リハビリテーション概論	久保 晃	1	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
					必修	選択		
専門教育科目	専門基礎	関連職種連携論	石村 佳代子	2	2		30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		ケースワーク論	山口 佳子	1 2 3 4		1	15	地域包括支援センター、介護老人保健施設等における相談援助の実務経験に基づき、社会保障制度の仕組み、介護保険や高齢者福祉の運用について講義を行う。言語聴覚士としての実務経験に基づき、障害児者や高齢者の医療・保健・福祉のニーズについて講義を行う。保健福祉の現場における実務経験に基づき、多職種多機関連携の手法について講義を行う。
		保健医療福祉制度論	石川 ベンジャミン寛一	1 2 3 4		2	30	DPC検討WG作業班の班長として診療報酬改定に関わった経験と知識に基づいて、社会制度の形成と改革についての講義を行う。
		社会福祉学	山口 佳子	1 2 3 4		2	30	地域包括支援センター、介護老人保健施設等における相談援助の実務経験に基づき、社会保障制度の仕組み、介護保険や高齢者福祉の運用について講義を行う。言語聴覚士としての実務経験に基づき、障害児者や高齢者の医療・保健・福祉のニーズについて講義を行う。保健福祉の現場における実務経験に基づき、多職種多機関連携の手法について講義を行う。
		臨床心理学概論	杉野 珠理	2	2		30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。
		生体情報処理概論	谷 直人	2 3 4		2	30	臨床経験を活かした臨床検査全般にわたる授業を展開する。
		関連職種連携実習	北島 栄二		4	1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨症的な指導を展開する。
		関連職種連携ワーク	久保 晃	3	1		30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえ、グループワークがスムーズに進行するようチューターの役割を果たす。
専門教育科目	専門基礎	解剖学Ⅰ(運動器系、内臓器系)	堀口 和秀	1		1	30	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義を行う。多くの図や画像・模型などを用いて、人体構造の立体的位置関係をよく理解できるように説明する。
		解剖学Ⅱ(内臓器系、神経系)	堀口 和秀	1		1	30	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義を行う。多くの図や画像・模型などを用いて、人体構造の立体的位置関係をよく理解できるように説明する。
		解剖学実習Ⅰ(肉眼)	堀口 和秀	1		1	45	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義・実習を行う。多くの図や画像・模型などを用いて、人体構造の立体的位置関係をよく理解できるように説明する。
		解剖学実習Ⅱ(組織)	堀口 和秀	1		1	45	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義・実習を行う。多くの図や画像・模型などを用いて、人体構造の立体的位置関係をよく理解できるように説明する。
		生理学Ⅰ(植物性機能)	須賀 比奈子	1	1		30	大学医学部での指導経験を活かした講義を展開する
		生理学Ⅱ(動物性機能)	須賀 比奈子	1	1		30	大学医学部での指導経験を活かした講義を展開する
		生理学実習	須賀 比奈子	1	1		45	大学医学部での指導経験を活かした演習を展開する
		病理学	金網 友木子	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		臨床医学概論	佐藤 哲夫	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		内科学Ⅰ(基礎)	山田 佳彦	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		内科学Ⅱ(臨床)	山田 佳彦	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		整形外科Ⅰ(基礎)	牧田 浩行	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		整形外科Ⅱ(臨床)	牧田 浩行	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		精神医学Ⅰ(総論・各論)	中里 道子	2	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する
		精神医学Ⅱ(各論)	中里 道子	2		1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		リハビリテーション医学	角田 亘	3	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		小児科学	北林 耐	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		老年学	須藤 英一	2 3 4		1	30	臨床・研究経験を活かし、老年学の基本から、老化、加齢現象とは具体的に何が生じるのか、卒業実務臨床場面で老年病・高齢患者さんを前にしてどのように考えて行動するか、どのような研究アプローチがあるか、等々の講義を展開していきます。
		神経心理学概論	永山 正雄	2 3 4		2	30	臨床経験を活かして授業を行う。
		スポーツ傷害学	南 和文	2 3 4		1	15	永らくスポーツ医学に関与してきた経験を生かし、理学療法士に必要な講義を展開する。
		外科学	利野 靖	2 3 4		1	15	臨床経験を活かした講義を展開する。
		脳神経外科学	中口 博	2 3 4		1	30	臨床経験を教育経験を活かした講義を展開する。
		栄養学	井部 奈生子	2 3 4		1	15	代謝系疾患への栄養管理および栄養教育に関する研究、ライフステージに沿った栄養教育教材に関する研究をテーマとし、栄養食事指導を行ってきた。管理栄養士としてこれまでの経験を活かして、具体例を挙げながら講義をする。
		疫学・保健医療統計学	飯室 聡	2		2	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		神経学Ⅰ(基礎)	永山 正雄	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		神経学Ⅱ(臨床)	永山 正雄	2	1		30	臨床経験を活かした講義を展開する
		運動学実習Ⅰ(基礎)	齋藤 孝義	2	1		45	本科目の実習課題は理学療法士が対象者の評価を行う際に行うものでもあることから、実施する際には測定方法の説明に加えて臨床で実施する際の注意点についても指導しながら実習を行っていく。
		運動学実習Ⅱ(応用)	久保 晃	2	1		45	経験を踏まえた演習を展開する
		臨床薬理学概論	長沼 美代子	2	1		15	臨床経験を活かした講義を展開する
		運動学Ⅰ(基礎)	前田 佑輔	1	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する
		運動学Ⅱ(応用)	前田 佑輔	1	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する
		運動生理学	久保 晃	1	2		30	経験を踏まえた講義を展開する
		人間発達学	渡邊 観世子	2	1		30	肢体不自由児・重症心身障害児施設における実務経験を活かし、発達学的な視点で授業を展開する。

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門	理学療法概論	久保 晃	1	2		30	様々な理学療法の専門分野及び社会的活動に従事してきた実務経験を活かし、授業を展開する。
	病態運動学	前田 佑輔	3	2		30	整形外科クリニックにて人工膝関節置換術や大腿骨頸部骨折に対する骨接合術、人工骨頭置換術などの術後の患者さんを多く担当した。
	運動解剖学	前田 佑輔	2	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	運動心理学	久保 晃	1 2 3 4		1	15	様々な理学療法士の専門分野に携わった実務経験を活かし、授業（演習）を展開する。
	バイオメカニクス	前田 佑輔	1 2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	スポーツ医科学	南 和文	1 2 3 4		1	15	永らくスポーツ医学に関与してきた経験を生かし、理学療法士を目指すにあたって必要な講義を展開する。
	理学療法評価学	前田 佑輔	2	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	動作分析学	前田 佑輔	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	運動負荷学	久保 晃	2 3 4		1	15	運動負荷試験の実施のポイントやデータの解釈の方法、得られたデータをどのように治療に活用するかを臨床での経験を交えながら説明する形で授業を展開していく。
	高次脳機能障害学	山口 将希	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	物理療法学Ⅰ（基礎）	豊田 大輔	1	1		30	本講義は2年次の物理療法学Ⅱとして演習科目を履修する前の重要科目となっています。臨床経験を踏まえて注意事項を交えながら講義を展開する。
	物理療法学Ⅱ（応用）	豊田 大輔	2	1		30	本講義では対象疾患を設定した上でその症例にあった適切な設定から実施まで学修していただきます。課題発表後には担当教員より臨床的な視点からアドバイスすることで臨床実習でも活用できる知識を身に付けることを目的にしています。
	運動療法学総論	久保 晃	2	1		30	理学療法士が行う治療手段のメインでもある運動療法の基礎について、臨床経験を活かした講義を行う。
	生活技術学	豊田 大輔	3	1		30	臨床経験を踏まえた講義・演習を実施する。
	生活環境学	齋藤 孝義	3	1		30	生活環境を考慮した理学療法の経験を踏まえた講義・演習を行う。患者様の生活環境、家屋状況を知ることが理学療法Goal設定には必要不可欠なので実習を見据えた授業を行う。
	義肢学	久保 晃	3	1		30	切断から義足歩行獲得までのプロセス、義足の知識や調整方法、リハビリテーションの進め方や注意点などを臨床での経験を交えながら講義していく。
	装具学	右田 正澄	3	1		30	2年次に履修する動作分析と同様で装具の選択は理学療法士に求められるスキルの一つです。現在、この領域における卒前・卒後教育の不足が問題視されておりますので、症例動画も交えながら装具の重要性を理解してもらえように展開していきます。
	運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	齋藤 孝義	3	1		30	整形外科病院に勤務していた臨床経験を踏まえた講義を展開する。特に疾患特有の検査、評価、治療方法だけでなく理学療法士が必要とされる臨床推論を学びます。
	運動系理学療法学Ⅱ（応用）	齋藤 孝義	3	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
専門 教育 科目	神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	右田 正澄	3	1		30	急性期や回復期における理学療法プログラムの実施手順を踏まえた講義を展開する。
	神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	山口 将希	3	1		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	循環器系理学療法学	久保 晃	3	1		15	循環器疾患患者の病態の理解、評価から治療の流れや実施する際のポイントについて、臨床経験を活かした講義を展開する。
	呼吸器系理学療法学	久保 晃	3	1		15	呼吸器疾患患者の評価～治療の流れやその方法、ポイントについて臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	代謝系理学療法学	久保 晃	3	1		15	患者に行ってきた指導内容や指導に対する患者の反応など、臨床経験を交えた講義を行う。
	スポーツ理学療法学	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえてスポーツ時の障害として多い靱帯損傷等を中心にした講義を展開する。
	老人理学療法学	山口 将希	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	産科理学療法学	久保 晃	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	基礎実習	前田 佑輔	1	1		45	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
	検査実習	齋藤 孝義	2	2		90	臨床経験を踏まえた実習指導を行う。
	評価実習	豊田 大輔	3	4		180	臨床経験を踏まえた実習指導を行う。
	総合臨床実習	右田 正澄	4	12		540	臨床経験を踏まえた実習指導を行う。
	理学療法特論Ⅰ（基礎）	右田 正澄	4	2		30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	理学療法特論Ⅱ（応用）	右田 正澄	2 3 4		2	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	理学療法研究法	久保 晃	2 3 4		1	15	臨床研究、教育的な研究など、業績を活かした講義・演習を行う。
	理学療法統計法	久保 晃	4		1	15	臨床及び大学院における研究指導の経験を踏まえ、講義・演習を展開する。
	障害者スポーツ概論	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	レクリエーション概論	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	集団で行うレクリエーションの経験を踏まえた講義・演習を行う。
	理学療法国際事情	前田 佑輔	1 2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	卒業研究	右田 正澄	4		4	180	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
	スポーツ心理学	久保 晃	1 2 3 4		1	15	理学療法の臨床は患者さんに動作を学習してもらう側面がある。スポーツ心理学における教示やフィードバックの知見が、実際の臨床での学習にどのように応用することができるかについて、講義の中に含めている。
	理学療法用語論	右田 正澄	1 2 3 4		1	15	様々な理学療法の専門分野に携わった実務経験を活かし、授業を展開する。
	バルベーション（運動機能）	齋藤 孝義	1		1	15	触診の経験を踏まえた講義及び実技演習を行う。
	PTスキルⅠ演習（課題発表・PBL）	前田 佑輔	1		1	30	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
	PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	齋藤 孝義	2		1	30	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
	PTスキルⅢ演習（課題学習）	豊田 大輔	3		1	30	実務経験を踏まえた演習を展開する。
	PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	久保 晃	3		2	60	経験を踏まえた演習を展開する。
	理学療法診断学Ⅰ（基礎）	前田 佑輔	2		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	齋藤 孝義	2		1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	久保 晃	2		1	15	運動器、神経系、内部障害系などの臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	山口 将希	2 3 4		1	15	臨床経験ならびに研究経験を活かした講義を行う。
	臨床動作分析学	前田 佑輔	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	理学療法計測法	右田 正澄	2		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
	クリニカルリーzing	右田 正澄	2 3 4		1	15	脳卒中と補装具の認定理学療法士を取得している理学療法士の教員が担当します。必修科目では、人数が多いことで体験する機会の少ない装具を用いた実践内容も取り入れていきます。
	癌のリハビリテーション	久保 晃	2 3		1	15	がんの病期に応じたアプローチ方法の違いやがん患者およびその家族の心理など、臨床での経験を活かした講義を展開する
	呼吸管理	久保 晃	2 3		1	15	呼吸介助手技の演習では臨床経験を踏まえてポイントを説明しながら講義を展開する。
	理学療法治療総論	右田 正澄	3	1		15	様々な理学療法士の専門分野に携わった実務経験を活かし、授業（演習）を展開する。
	小児理学療法学	渡邊 観世子	3	1		30	肢体不自由児・重症心身障害児施設における実務経験を活かし、発達学的な視点で授業を展開する。
	地域理学療法学演習(在宅・地域)	齋藤 孝義	3	1		30	訪問・地域理学療法法の臨床経験を活かした講義・演習を行う。
	急性期理学療法学	久保 晃	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	スポーツ傷害治療学	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	ヘルスプロモーション論	久保 晃	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	精神科理学療法学	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	身体運動が精神機能に及ぼすエビデンスを提示しながら講義を展開する。
	理学療法治療学演習Ⅰ(神経筋促通治療学)	右田 正澄	2 3 4		1	15	様々な理学療法士の専門分野に携わった実務経験を活かし、授業（演習）を展開する。
	理学療法治療学演習Ⅱ(神経発達学的治療学)	右田 正澄	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた演習を展開する。
	理学療法治療学演習Ⅲ(マニュアルセラピー関節)	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	理学療法士および登録理学療法士、認定理学療法士（介護予防）、専門理学療法士（運動器・スポーツ）、徒手手技有資格者が整形外科病院での実務経験で培った技術・知識について直接指導を行います。日本理学療法士協会、神奈川県理学療法士会から講習会講師を要請される理学療法士が実践に即した授業を行う。
	理学療法治療学演習Ⅳ(マニュアルセラピー脊柱)	齋藤 孝義	2 3 4		1	15	理学療法士および登録理学療法士、認定理学療法士（介護予防）、専門理学療法士（運動器・スポーツ）、徒手手技有資格者が整形外科病院での実務経験で培った技術・知識について直接指導を行います。日本理学療法士協会、神奈川県理学療法士会から講習会講師を要請される理学療法士が実践に即した授業を行う。
	ジャーナルリーディング	前田 佑輔	2 3 4		1	15	臨床経験を踏まえた講義を展開する
	地域リハビリテーション実習	豊田 大輔	3 4	1		45	臨床経験を踏まえた実習指導を行う
	理学療法教育学	久保 晃	2 3 4		1	15	現在までのキャリアを踏まえた講義を展開する。
	理学療法管理学	久保 晃	2	2		30	臨床及びこれまでの教育経験に加え、日本理学療法士協会や都道府県理学療法士会における公職経験を踏まえた授業を展開する。

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	198	単位

		授業科目の名称	教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
					必修	選択		
人間系		文学論	山内 則史	1 2 3 4		2	30	記者時代の経験、過去の記事などを随時紹介する。新聞を使って、日々報じられる文学の記事をリアルタイムで確認し、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		心理学	杉野 珠理	1 2 3 4		2	30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。
		コミュニケーション概論	杉野 珠理	1 2 3 4		2	30	実務経験を活かし、理解を深めるための授業を展開する。
		人間学	古城 慶子	1 2 3 4		2	30	病院などの診療を踏まえて講義している。
		教育学	木田 竜太郎	1		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
		教育方法論	木田 竜太郎	1 2 3 4		2	30	理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
		死生学-死を通して生を考える	大園 康文	1 2 3 4		2	30	小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1	15	取材経験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞での演劇に関する記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1 2 3 4		2	30	患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4		2	30	世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンフケア研究所グリーンフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
総合教育科目	社会系	法学	森川 伸吾	1 2 3 4		2	30	事例について講評する際に、実務感覚が活かされる。
		社会学	魚岸 実弦	1 2 3 4		2	30	実務上、マイノリティと呼ばれる少数派の人々やスティグマ（差別や偏見）に悩む人々の支援に携わる機会が多い。また、研究領域もマイノリティやスティグマに関連している。管理職経験は約10年であり、昨今のハラスメント問題を身近に感じながら業務に取り組んでいる。長年の対人支援を中心とした実務の中で、社会的課題に直面する機会も多い。これらの経験を基に、社会と人々の関係に着目しながら、各テーマに対する既存の情報と実際の経験談を織り交ぜ講義を展開する。なお、アクティブラーニングの経験を基に、講義は教員と受講生との対話を重視する
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2	30	大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		医療関連法規	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	弁護士としての実務経験を踏まえて、実際の裁判や事件についても紹介する。
		マスメディア論	山本 秀也	1 2 3 4		2	30	講座ではマスメディア論の基本となる概念を大学での学びにふさわしい形で講じますが、ジャーナリズムの現場にかかわる部分で、現実に即した解説を用意しています。
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	光山 奈保子	1 2 3 4		2	30	授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、ミニッツ・ペーパーなどを通じて自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		法と道徳・倫理	坂本 真史	1 2 3 4		2	30	薬剤師や弁護士としての実務経験を踏まえ、医療現場における事例についても紹介する。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	牧田 浩行	1		1	30	本学所属の医師や教員らが、我が国の社会福祉・医療保障政策についての講義をオムニバス形式で行う。
		自然・情報系 医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	牧田 浩行	1		1	30	臨床に携わる医師や教員らが実務経験も加味した講義をオムニバス形式で行う。
外国語系	総合系	総合講義	石村 佳代子	1 2 3		1	15	さまざまな専門分野に携わった実践経験から時勢を達観してきた学内の講師が、各テーマの現状と課題を初学者にもわかりやすい授業内容として展開する。
		医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1 2 3 4		1	15	実務経験を活かして授業を展開する
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1 2 3 4		2	30	別府美知子：国際線客室乗務員時代に身につけた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。
	外国語系	英語C-1(英会話初級)A	Michael Littlewood	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する
		英語C-1(英会話初級)B	Michael Littlewood	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する
		英語C-2(英会話中級)	Michael Littlewood	2 3 4		1	30	ネイティブスピーカーによる実務経験を活かした講義を展開する
		中国語初級1(基礎)A	山本 秀也	1 2 3 4		1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用する「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図ります。
		中国語初級1(基礎)B	山本 秀也	1 2 3 4		1	30	北方系の発音に準拠した中国語の話者ですが、台湾で使用する「華語（國語）」にも習熟しており、教科書を随時補完することで実用的な指導を図ります。
	体育系	健康科学実践 前期A	北濱 幹士	1 2 3 4		1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
		健康科学実践 A	北濱 幹士	1 2 3 4		1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
		健康科学実践 前期B	北濱 幹士	1 2 3 4		1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する
		健康科学実践 B	北濱 幹士	1 2 3 4		1	30	レジャー、スポーツを通じての経験をもとに授業を展開する

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎	救急医学	田邊 浩梯	2	1	15	臨床経験を活かした授業を展開する。
		リハビリテーション概論	久保 晃	1	2	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		関連職種連携論	石村 佳代子	2	2	30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		ケースワーク論	山口 佳子	1	1	15	地域包括支援センター、介護老人保健施設等における相談援助の実務経験に基づき、社会保障制度の仕組み、介護保険や高齢者福祉の運用について講義を行う。言語聴覚士としての実務経験に基づき、障害児者や高齢者の医療・保健・福祉のニーズについて講義を行う。保健福祉の現場における実務経験に基づき、多職種多機関連携の手法について講義を行う。
		保健医療福祉制度論	石川 ベンジャミン亮一	1	2	30	DPC検討WG作業班の班長として診療報酬改定に関わった経験と知識に基づいて、社会制度の形成と改革についての講義を行う。
		社会福祉学	山口 佳子	1	2	30	地域包括支援センター、介護老人保健施設等における相談援助の実務経験に基づき、社会保障制度の仕組み、介護保険や高齢者福祉の運用について講義を行う。言語聴覚士としての実務経験に基づき、障害児者や高齢者の医療・保健・福祉のニーズについて講義を行う。保健福祉の現場における実務経験に基づき、多職種多機関連携の手法について講義を行う。
		臨床心理学概論	杉野 珠理	1	2	30	臨床心理士・公認心理師の臨床経験を活かした講義を展開する。
		生体情報処理概論	ペ谷 直人	2	2	30	臨床経験を活かした臨床検査全般にわたる授業を展開する。
		関連職種連携実習	北島 栄二	4	1	45	病院に勤務する各専門職の有資格者により、実習場面において臨床的な指導を展開する。
		関連職種連携ワーク	久保 晃	3	1	30	病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえ、グループワークがスムーズに進行するようチューター役を果たす。
専門教育科目	専門基礎	解剖学Ⅰ(運動器系、循環器系)	堀口 和秀	1	1	30	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義を行う。多くの図や画像・模型などを用いて、人体構造の立体的位置関係をよく理解できるように説明する。
		解剖学Ⅱ(内臓器系、神経系、感覚器系)	堀口 和秀	1	1	30	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義を行う。多くの図や画像・模型などを用いて、人体構造の立体的位置関係をよく理解できるように説明する。
		解剖学実習	堀口 和秀	1	1	45	人体解剖実習を担当した経験を活かして、人体の構造と機能・病気との関係などについて教科書の記載にとどまらない、より実践的な解剖講義・実習を行う。多くの図や画像・模型などを用いて、人体構造の立体的位置関係をよく理解できるように説明する。
		生理学Ⅰ(植物性機能)	須賀 比奈子	1	1	30	大学医学部での指導経験を活かした講義を展開する
		生理学Ⅱ(動物性機能)	須賀 比奈子	1	1	30	大学医学部での指導経験を活かした講義を展開する
		生理学実習	須賀 比奈子	1	1	45	大学医学部での指導経験を活かした演習を展開する
		病理学	金網 友木子	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		整形外科Ⅰ(基礎)	牧田 浩行	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		整形外科Ⅱ(臨床)	牧田 浩行	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		精神医学Ⅰ(基礎)	中里 道子	2	1	30	臨床経験を踏まえた講義を展開する
		精神医学Ⅱ(臨床)	中里 道子	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		小児科学	北林 耐	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		老年学	須藤 英一	2	1	30	臨床・研究経験を活かし、老年学の基本から、老化、加齢現象とは具体的に何が生じるのか、卒後実務臨床場面で老年病・高齢患者さんを前にしてどのように考えて行動するか、どのような研究アプローチがあるか、等々の講義を展開していきます。
		リハビリテーション医学	角田 亘	3	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する。
		人間発達学	河野 眞	2	1	30	特に乳児期～学童期の発達について解説する授業において、実践の場で実際に経験した子供たちの様子を紹介することによって、人間の発達が具体的な生き生きとしたイメージで履修者に理解されるよう取り組む。
		栄養学	井部 奈生子	2	1	15	代謝系疾患への栄養管理および栄養教育に関する研究、ライフステージに沿った栄養教育教材に関する研究をテーマとし、栄養食事指導を行ってきた。管理栄養士としてこれまでの経験を活かして、具体例を挙げながら講義をする。
		外科学	利野 靖	2	1	15	臨床経験を活かした講義を展開する。
		脳神経外科学	中口 博	2	1	30	臨床経験を教育経験を活かした講義を展開する。
		神経心理学概論	永山 正雄	2	1	30	臨床経験を活かして授業を行う。
		対人援助論	北島 栄二	2	1	15	多様な医療・福祉現場における作業療法士としての実務経験をもとに、対人援助における専門職の役割や倫理的課題について講義を行う。特に、臨床現場領域での支援の実態を踏まえ、クライアント中心の支援のあり方や多職種連携の重要性について理論的・実践的に解説する。第1回、第8回、臨床経験を生かした講義を展開する。第2回～第7回、臨床経験を生かした演習を行う。
		内科学	山田 佳彦	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		疫学・保健医療統計学	飯室 聡	2	2	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		神経学Ⅰ(基礎)	永山 正雄	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		神経学Ⅱ(臨床)	永山 正雄	2	1	30	臨床経験を活かした講義を展開する
		臨床薬理学概論	長沼 美代子	2	1	15	臨床経験を活かした講義を展開する
		レクリエーション概論	窪田 聡	3	1	15	科目責任者の経験に基づき、レクリエーションの実践スキルについて教授する。さらに、レクリエーションからどのようにアセスメントするのか、介入をしていくのかについても、実践を通し、教授する。
		運動学Ⅰ(基礎)	富永 渉	1	1	30	当該科目担当者が臨床の作業療法場面で遭遇してきた疾患や運動器障害などを踏まえ、身体構造・機能と生活機能障害とのつながりに関する運動学的知識を教授する。
		運動学Ⅱ(応用)	窪田 聡	1	1	30	これまでの臨床上での患者の身体機能・活動のアセスメント、介入、研究経験に基づいて、作業療法士として必要となる、運動学・生体力学的知識を整理した上で、その知識を教授する。
		運動学実習	山本 潤	1	1	45	臨床の作業療法場面で遭遇する疾患や外傷性運動器障害などを踏まえ、対象者の評価や介入に関係する運動学的知識を教授する。
		運動生理学	窪田 聡	2	1	30	これまでの臨床上での患者の身体機能・活動のアセスメント、介入、研究経験に基づいて、作業療法士として必要となる、運動学・運動生理学的知識を整理した上で、その知識を教授する。また、国家試験に準じる知識も併せて教授する。

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
					必修	選択		
専門	専門英語 I -2(講読)	富永 渉	3 4	1	30			臨床の作業療法実践経験を活かし、将来の臨床で必要かつ、活用できる英文抄読技術を修得するための講義、演習を展開する。
	作業療法概論	北島 栄二	1	1	15			第1回～第4回、臨床経験を生かした講義を展開する。第5回～第8回、臨床経験を生かした演習を行う。
	作業学概論	北島 栄二	1	1	15			第1回～第4回、8回、臨床経験を生かした講義を展開する第5回～第6回、臨床経験を生かした演習を行う
	作業工程技術学・基礎論	甲本 夏穂	1	1	30			本講義は、創作活動を作業療法の介入に用いるためにその意義を学ぶ授業である。そのため、どのような障害にはどういった活動が好ましく、どのような配慮や工夫が必要かその基本的な視点について臨床の経験を基に教授する。
	作業工程技術学・応用論	出口 弦舞	3	1	30			各種疾患にアクティビティ（手工芸による治療）を提供した経験を有する作業療法士が講義・指導を行う。また臨床での経験に基づき講義、教科書等では理解しにくい技術はデモンストレーション、体験などを通じ理解してもらう。
	作業分析学Ⅰ(基礎)	窪田 聡	2	1	30			これまでの臨床上での患者の身体機能・活動のアセスメント、介入、研究経験に基づいて、作業療法士として必要となる、運動学・生体力学的知識を整理した上で、動作・作業の分析方法について、その技術について指導・助言する。
	作業分析学Ⅱ(応用)	窪田 聡	2	1	30			これまでの臨床上での患者の身体機能・活動のアセスメント、介入、研究経験に基づいて、作業療法士として必要となる、運動学・生体力学的知識を整理した上で、その分析技術について教授する。
	作業療法諸理論	北島 栄二	4	1	15			臨床や研究で得た知見をもとに、作業療法の主要な理論について講義する。特に、ADL・IADL支援に関する実務経験を活かし、作業療法の理論が実践にどのように応用されるかを教授する。また、政策・制度の変遷が作業療法実践に及ぼす影響についても言及し、理論と実践の統合的理解を促す。
	研究法概論	窪田 聡	3	1	15			臨床実践で生じた疑問を整理し、研究疑問に発展させ、研究計画の作成・実践・分析を行ってきた経験をもとに、臨床実践で必要となる研究に関する技能（臨床疑問の整理、論文読解、統計解析方法の理解）を座学と演習を通じ教授する。
	卒業研究	窪田 聡	4	1	30			臨床経験と臨床上での疑問に根差した研究に従事していることを踏まえ、Clinical QuestionsをResearch Questions (RQ) に変換し、さらにそのRQ検証の方法を実践を通して教授する。
	地域ケアシステム論	牛木 彩子	3	1	15			行政機関における、社会的資源の具体的な活用と多職種との連携、インフォーマルな支援の人的環境の整備にかかる企画運営経験を講義に展開する。
	作業療法の諸外国事情	河野 眞	3	1	15			これまでの経験を授業の中で豊富に伝えることで、履修学生が具体的なイメージをつかむことを支援する。同時に、実際に活動経験のある途上国の状況を演習課題とすることで、履修学生と一緒に解決策を議論し、支援計画立案時の思考方法を教授する。
	作業療法評価学概論	山本 潤	2	1	30			臨床実践を踏まえた作業療法の評価法についての考え方を教授する。また各領域（身体障害、精神障害、老年期障害、発達障害）や各病期（急性期・回復期・生活期）に関するそれぞれの評価の特性や方法について講義を展開する。
	基礎運動機能評価法	富永 渉	2	1	30			基本的な運動機能の評価する方法は、全ての作業療法士が持つ能力です。教科書に書かれた基本的方法に加え、臨床上で役立つ現場での実践方法も伝授します。また、臨床で遭遇するであろう様々な疾患の対象者における実践例なども実務経験を踏まえて教授する。
	上肢機能評価法	出口 弦舞	2	1	15			上肢機能の作業療法の臨床経験がある作業療法士が講義・指導を行う。また臨床での経験に基づき講義、教科書等では理解しにくい技術はデモンストレーション、体験などを通じ理解してもらう。
	日常生活活動評価法	出口 弦舞	2	1	15			臨床経験を基に各疾患の原則的な生活の対応方法を講義する。また講義や教科書等では理解しにくい技術はデモンストレーション、体験などを通じ理解してもらう。
	認知機能評価法	山本 潤	3	1	15			科目担当者は高次脳機能障害、認知機能障害を有する対象者への作業療法を実践してきた経験を活かした講義を展開する。単一の症状だけでなく複数の症状を認める複雑な臨床像を、実務経験を通して伝えることができ
	作業療法適応学概論	窪田 聡	3	1	15			評価に基づき作業療法を誰にどのように適用するのか？その基本を伝授するのがこの科目となる。実務の中で日々行われた対象者に対する評価・介入計画立案とその方法の経験を活かし、その経験を伝えるように授業は展開する。
	内科系疾患作業療法学	牛木 彩子	3	1	30			総合病院一般病棟（急性期）に勤務し、内科、循環器、呼吸器等の内科系疾患及び外科系疾患の術後介入を行った。現在も、急性期病院において実務に従事し、様々な内科系疾患をもつ患者の臨床にあたっている。実際の症例を示し、内科系疾患の介入について伝える。内科系疾患に関するリスク管理、ADL・IADLでの活動・参加での評価と実際の生活への応用について講義していく。さらに、在宅生活を想定した作業療法介入の視点を伝えることができる。
	運動器疾患作業療法学	出口 弦舞	3	1	30			頸髄損傷・整形疾患の臨床経験がある作業療法士が講義を行う。加えて臨床での経験に基づき講義や教科書等では理解しにくい技術についてはデモンストレーション、体験などを実施する。
	中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	富永 渉	3	1	30			各教員の脳卒中やパーキンソン病患者に対する作業療法経験に基づいて、疾患あるいは障害の理解、評価の選択、評価結果の解釈、評価結果に基づく具体的介入計画の立案に至るまでの知識や問題解決技法を教授する。
	中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	富永 渉	3	1	30			脳卒中やパーキンソン病、SCD、ALS患者に対する作業療法経験に基づいて、疾患あるいは障害の理解、評価の選択、評価結果の解釈、評価結果に基づく具体的介入計画の立案に至る、知識や問題解決技法を教授する。
	精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	河野 眞	3	1	30			臨床の場で経験した、さまざまな精神科疾患の事例を講義の中で豊富に紹介し、精神障害領域の作業療法について履修学生が具体的なイメージをつかめるような授業を展開する。
	精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	河野 眞	3	1	30			臨床の場で経験したさまざまな疾患の事例を豊富に紹介し、精神障害領域の作業療法について履修学生が具体的なイメージをつかめるような授業を展開する。また、事例検討では、臨床現場で実際に経験した事例を参考に課題事例を作成し、実際の臨床に即した検討や議論を賦活する。

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数 必修選択	時間	実務経験のある教員等による授業科目
専門 教育 科目	専門	認知障害作業療法学	山本 潤	3	1	30	担当教員は高次脳機能障害（神経心理学的症状・認知障害）を有する対象者の作業療法評価・介入を専門とした臨床を経験し、その臨床経験を活かした講義を展開する。
		作業療法適応学特論	山本 潤	4	1	15	実際に医療・福祉分野の臨床現場で経験してきたことをもとに、作業療法士の役割と可能性を教授する。また、実務経験を活かして、基礎的な知識をもとに領域特異的な作業療法士の在り方を考える。
		職業関連技術学	河野 眞	3	1	30	講義の中で臨床経験を紹介し実際の支援場面のイメージを伝えられるよう努める。また、実際の臨床場面で経験した課題をグループワークのテーマとして検討する。
		障害代償学概論(2019年度入学者用)	牛木 彩子	3	1	15	上肢義手の選定、義手使用訓練、適合判定について実際の義肢を使い講義を行うことができる。下肢切断者においては、特に日常生活活動の練習内容について講義を展開していく。
		障害代償学概論(2020年度入学者用)	牛木 彩子	3	1	30	上肢義手の選定、義手使用訓練、適合判定について実際の上肢義手を手に取り講義を行う。スプリントは、実際の制作を行いスプリント材質の特性から、作成のコツなどを伝えることができる。下肢切断については、特に日常生活活動の練習内容について講義を展開する。
		義肢適用論	牛木 彩子	3	1	15	上肢義手の選定、義手使用訓練、適合判定について実際の上肢義手を用いて講義で展開する。下肢切断については、特に日常生活活動の練習内容について講義を展開する。
		装具・副子適用論	出口 弦舞	3	1	30	装具適用の臨床経験がある作業療法士が講義・指導を行う。また臨床での経験に基づき講義、教科書等では理解しにくい技術はデモンストレーション、体験などを通じ理解してもらう。
		生活技術学Ⅰ(総論)	牛腸 昌利	2	1	30	上記の実務経験を基に、日常生活動作について評価・支援する技術について教授する。特に、年代や疾患・障害によらず必要となる基本的日常生活活動について、実際の評価・支援の方法を理解できるように授業を展開
		生活技術学Ⅱ(各論)	出口 弦舞	3	1	30	臨床経験を基に各疾患の原則的な対応方法を講義する。また講義や教科書等では理解しにくい技術はデモンストレーション、体験などを通じ理解してもらう。
		自助具・福祉機器適用論	出口 弦舞	3	1	30	自助具・福祉用具適合の臨床経験がある作業療法士が講義・指導を行う。また臨床での経験に基づき講義、教科書等では理解しにくい技術はデモンストレーション、体験などを通じ理解してもらう。
		地域生活作業療法論	牛腸 昌利	3	1	30	上記の実務経験等を活かし、地域作業療法のフィールドや法制度、ライフステージ、社会資源（ヒト・モノ）の活用等、対象児・者とその家族の地域生活支援に重要な視点について、講義やアクティブラーニングを通して授業を展開する。
		住環境整備論(2019年度以前入学者用)	牛木 彩子	3	1	15	在宅生活での生活のしづらさに関する市民の相談業務、地域づくりのためのボランティア育成、健康づくり教育などで得た、バリアフリーに関する知見を講義に展開する。
		住環境整備論(2020年度以降入学者用)	牛木 彩子	3	1	30	子どもから高齢者まで、障害児者の住環境整備を行ってきた知見を含め講義を行う。
		バリアフリー論	牛木 彩子	3	1	15	在宅生活での生活のしづらさに関する市民の相談業務、地域づくりのためのボランティア育成、健康づくり教育などで得た、まちの中のバリアについて視点をたえ、実際にフィールドワークを行う方法を伝える。
		臨床実習特論	山本 潤	3	1	15	臨床実践を踏まえた作業療法の評価計画、評価手技、評価結果の解釈、治療といった一連の臨床過程を教授する。また、各病期特有の臨床実践も理解できるように授業を展開し、より具体的な専門性の理解にもつなげる授業を行う。
		基礎実習	河野 眞	1	1	45	実習前の準備学習・実習中の臨床教育・実習後の振り返り学修において、すべての担当教員がそれぞれの臨床経験を踏まえながら、臨床家としての態度や各実習施設における作業療法の役割について具体的で実際の助言・指導を行う。
		検査実習	出口 弦舞	2	2	90	臨床での経験に基づき講義、教科書等では理解しにくい技術のデモンストレーション、解説などをその都度実施する
		評価実習	窪田 聡	3	5	225	当教員は、必要に応じ、個別に臨床現場での、実習指導者とのコミュニケーション、対象者とのコミュニケーション、多職種との連携に関する助言・指導を行う。
		作業応用論	牛腸 昌利	3	1	30	成人期の作業療法、発達期の作業療法、地域作業療法の分野において実際に活用できる作業活動を授業に取り入れ、臨床実習にも応用できるように授業を展開する。
		研究法演習	窪田 聡	3	1	30	臨床実践で生じた疑問を整理し、研究疑問に発展させ、研究計画の作成・実践・分析を行ってきた経験をもとに、臨床実践で必要となる研究に関する知識と技術（研究計画の立案、研究実践、研究倫理）を座学と演習を通じ教授する。
作業療法倫理・管理	河野 眞	4	2	30	作業療法の実務の中で経験した、職業倫理の課題や職場管理の課題を演習のテーマとして履修者と共に議論し理解を深める。		
作業療法評価学各論	牛木 彩子	2	1	30	各論はその名の如く各論です。それぞれの分野のエキスパートが、臨床現場での経験を活かして伝授します。		
		作業療法評価学演習	窪田 聡	2	1	30	老年期領域での実務経験に基づき、高齢者（障害高齢者、寝たきり高齢者、終末期高齢者）に対するアセスメントに対する基本的考え方、介入の具体的方法について教授する。
		小児作業療法学Ⅰ(総論)	牛腸 昌利	3	1	30	上記の臨床経験を基に脳性麻痺等の運動障害がある児・者の諸発達、ADL及びIADL等の支援について実践的な内容を教授する。また対象児・者の家族を含めた包括的な評価、支援について理解し、具体的アプローチ方法を考えることができるよう授業を展開する。
		小児作業療法学Ⅱ(各論)	牛腸 昌利	3	1	30	上記の臨床経験を基に発達障害（神経発達症）がある児・者の評価と介入について実践的な内容を教授する。また、発達障害領域の作業療法において必要な認知発達理論や検査の具体的方法の習得について、科目担当者の実務経験を活かした授業を展開する。
		老年作業療法学	窪田 聡	3	1	30	老年期領域での実務経験に基づき、高齢者（障害高齢者、寝たきり高齢者、終末期高齢者）に対するアセスメント、介入に対する基本的考え方、介入の具体的方法について教示する。
		作業療法応用学概論	牛木 彩子	3	1	15	行政機関における、社会的資源の具体的な活用と多職種との連携、インフォーマルな支援の人的環境の整備にかかる企画運営を模擬的に講義のなかで行う。

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
専門 教育科目	専門	就学・就労支援論	河野 眞	3	1	15	就学・就労支援それぞれの授業において、実務経験をふんだんに紹介し、履修学生が実務現場を具体的にイメージできるような講義を展開する。
		コミュニケーション技術論	窪田 聡	2	1	30	臨床現場での対象者やその家族、多職種・自職種とのコミュニケーションの経験をもとに、臨床現場で求められるコミュニケーションに関する理論・知識・技術について、座学と演習を組み合わせ教授する。
		作業療法総括論	富永 渉	4	1	30	各専門領域の作業療法経験に基づいて、国家試験に合格するための基礎となる医学的知識や、作業療法に関わる疾患あるいは障害の理解、評価の選択、評価結果の解釈、評価結果に基づく具体的介入計画の立案に至る、知識や問題解決技法に関するこれまでの講義を総括しながら学修を進める。
		作業療法総括論(2019年度入学者用)	富永 渉	4	1	15	各専門領域の作業療法経験に基づいて、国家試験に合格するための基礎となる医学的知識や、作業療法に関わる疾患あるいは障害の理解、評価の選択、評価結果の解釈、評価結果に基づく具体的介入計画の立案に至る、知識や問題解決技法に関するこれまでの講義を総括しながら学修を進める。
		総合実習Ⅰ(基礎的介入)	富永 渉	4	7	315	実務経験を踏まえたうえで実習指導を展開する。
		総合実習Ⅱ(応用的介入)	富永 渉	4	7	315	実務経験を踏まえたうえで実習指導を展開する。
		臨床実習ゼミⅠ(作業療法計画立案)	窪田 聡	3	1	15	集団の場でのコミュニケーションの活用についての経験をもとに、集団の場でのコミュニケーションから対象者のアセスメントや介入の方法についてのヒントを提示する。さらに、実際に集団の場でのコミュニケーションを実践し、具体的スキルを提示する。
		臨床実習ゼミⅡ(作業療法実践)	窪田 聡	3	1	15	集団の場でのコミュニケーションの活用についての経験をもとに、集団の場でのコミュニケーションから対象者の疾患別のアセスメントや介入の方法についてのヒントを提示する。さらに、実際に集団の場でのコミュニケーションを実践し、具体的スキルを提示する。
		専門英語	牛木 彩子	3	1	30	臨床の作業療法実践経験を活かし、将来の臨床で必要かつ、活用できる英文抄読技能を修得するための講義、演習を展開する。
		地域リハビリテーション実習	窪田 聡	3 4	1	45	担当教員は、必要に応じ、個別に臨床現場での、実習指導者とのコミュニケーション、対象者とのコミュニケーション、多職種との連携に関する助言・指導を行う。

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	176	単位

授業科目 の区分		科目名	教員名	配当年次				単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
								必修	選択		
人間系	文学部	文学論	山内 則史	1	2	3	4		2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		死生学－死を通して生を考える	大園 康文	1	2	3	4		2	30	VOD担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
		演劇論	山内 則史	1	2	3	4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		コミュニケーション概論	中島 薫	1				2		30	資格：臨床心理士、公認心理師 経歴・講義について：病院等において臨床心理士として対人支援の知識・技術に関する実務経験を有する。対人援助職養成に関わる教育機関での講義や、援助職を対象とした研修実施も行っている。実務経験を活かし、講義の中で実際の援助場面について具体例を挙げながら理解を深めるための講義を展開する。
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1	2	3	4		2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		宗教学	東海林 良昌	1	2	3	4		2	30	1997年4月雲上寺副住職(2023年3月まで)2010年4月全国浄土宗青年会常務理事(2012年3月まで)、同4月浄土宗総合研究所研究員、2011年4月佛教大学非常勤講師(2019年まで)、2012年4月全国浄土宗青年会監事(2014年3月まで)、2013年4月全国浄土宗青年会参与(2015年3月まで) 介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、2015年4月全日本仏教青年会理事長(2017年3月まで)、2017年5月世界仏教徒青年連盟ネパール地震支援奨学金支援特別委員会委員長(2019年5月まで)、2017年5月世界仏教徒連盟副事務総長、同5月全日本仏教会WFB日本センター委員、2018年4月正力松太郎賞奨励賞受賞、2019年4月全国介護者支援団体連合会運営委員、2019年11月浄土宗宗議会議員、2020年4月上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、同4月坂総合病院倫理委員、同4月お寺での介護者カフェ推進員、2022年5月世界仏教徒連盟人道支援委員会委員長、同4月全国介護者支援団体連合会副代表、2023年4月雲上寺住職、同4月塩竈市社会福祉協議会理事。世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
		教育学	木田 竜太郎	1	2	3	4		2	30	高等学校(サポート校・フリースクール)講師としての実務経験を有する。理論と実務(実際)をバランスよく学べるよう努めたい。
総合教育科目	経済学部	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	福井 譲		2	3	4	1		15	アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナム等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	福井 譲		2	3	4	1		45	アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナム等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。

授業科目 の区分		科目名	教員名	配当年次				単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
								必修	選択		
社会科学系	国際医療福祉論		後藤 純信	1	2	3	4		2	30	<資格>: 日本脳神経外科学会 専門医 日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 <経歴・講義について> 学 歴: 平成6年(1994)5月14日米国 ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程修士(科学)取得 平成7年(1995)9月30日 皿州大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了博士(医学)取得 平成4年(1992)10月1日 米国ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員 平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区国際交流委員会委員長 平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務。大学や病院等で医師(脳神経外科・臨床神経生理)の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	戸田 修二	1				1		30	服部 佳代子: 助産師として医療に携わった実務経験がある。大坪 昌喜: 看護師として医療・福祉に携わった実務経験がある。各教員が実務経験に基づき専門分野独自の授業展開を工夫する。
		手話入門	北島 由美子	1	2	3	4		2	30	地域の手話奉仕員養成講座、高校や短期大学等での手話指導講師や助手。医療現場、その他における手話通訳業務を担当する手話通訳者の立場。当時の立場からの教示、厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムの一部を授業に取り入れると共に、医療・介護の現場で役に立つ手話表現や聴覚障害者の理解が深まるような体験談を教示していく。
	化学		矢口 貴博	1	2	3	4		2	30	薬剤師・保険薬剤師薬剤師・保険薬剤師の経験を通して感じた基礎学力の大切さを教える
	医療福祉教養講義	メディカルマナー入門	橋本 光康	1	2	3	4		2	30	別府美知子: マナー・プロトコルの実務経験: 航空会社国際線客室乗務員として勤務していた経験により、最上級の日本式おもてなしを習得しており、世界各地の滞在経験により各国のマナー・プロトコルにも精通している。医療機関での実務経験: 8年半にわたり、各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等実務経験別府美知子: 国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。
		医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1	2	3	4		1	15	平島ユイ子: 科目責任者、担当者は、言語聴覚士の免許を有し、20年以上特別支援教育機関での経験を有し、福岡山王病院や国際医療福祉大学病院、言語聴覚センターでの実務経験を有する。実務経験を活かして授業を展開する
専門基礎科目	公衆衛生学		柳 裕哉	1					2	30	臨床心理士として、自治体の保健センター(母子保健係)にて、一般住民の発達相談および乳幼児健診に携わった。また、環境省が主導する出生コホート調査「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の調査・研究に従事した。そのほか、大学にて公衆衛生学の単元を担当した。実際に地域住民の悩みや心配事と向き合った経験を授業内容に反映する。特に、公的機関での特有の傾向について詳述する。
		救急医学	後藤 純信		2	3	4		1	15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
	微生物と病気		永沢 善三	1					2	30	臨床検査技師・一級臨床病理技術士(細菌学)、インфекションコントロールドクター(ICD)看護専門学校で講義した経験を生かし、感染対策を含め講義を展開する。
		リハビリテーション概論	河野 健一			3	4		2	30	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を踏まえて、理学療法士の職能及び学術的な視点に加え、作業療法士及び言語聴覚士を含むリハビリテーション関連職種に関する職能及び学術的な視点についても授業を展開する。
	臨床心理学概論		稲吉 真美子		2	3	4		2	30	公認心理師・臨床心理士として、精神科・心療内科、自治体・教育機関での実務経験を有する。病院でのカウンセリング・心理検査、自治体での発達・教育相談の臨床経験を生かし、「臨床心理学概論」の講義を展開する。
		国際医療保健学	山口 みどり	1	2	3	4		1	15	国際保健医療協力でJICA(ボランティア・個別専門家等)として、ネパール、フィリピン等における8年の実務経験途上国の現状を活動事例として、国際保健医療協力の概要・実践について教授する。
	関連職種連携論		日高 陵好		2				2	30	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ほか各専門職の有資格者が臨床経験をともに講義を行う。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		関連職種連携ワーク	佐藤 謙一			3			1	30	各専門職(薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の有資格者が臨床経験をともにグループワークにおけるチューターを担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
	関連職種連携実習		永井 良治			4			1	45	各職種の経験豊富な指導者が指導を担当する。実習施設の各専門職の豊富な実務経験から実習指導を受けることで、生きた学習ができる。連携論、連携ワークで学んだIPEを活かし、保健医療福祉に携わる専門職として、IPCに必要なコンピテンシーを学修する。
		生化学	矢口 貴博	1	2	3	4		2	30	薬剤師・保険薬剤師薬剤師・保険薬剤師の経験を通して感じた基礎学力の大切さを教える

授業科目 の区分	科目名	教員名	配当年次			単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
						必修	選択		
専門 教育科目	保健医療福祉行政論	彌永 和美		2			1	15	保健師実務経験保健師活動の経験を活かした講義を行う
	疫学	本荘 哲			3		2	30	1. Ⅲ児科臨床、疫学研究、がん登録、検診ガイドライン、行政、教育、臨床各科医師、看護師の研究への助言・協力など実務経験を活かした授業を展開する
	栄養と健康	緒方 智宏		2		1		15	資格・管理栄養士実務経験等・管理栄養士養成校での教育研究業務医療従事者として最低限備えておくべき栄養学について講義を行う
	遺伝と医療	西垣 昌和	1			1		15	講師は、看護師・認定遺伝カウンセラーとしておよそ15年以上の臨床経験を有している。講義内容に関連した、臨床でのエピソードを紹介する。
	疾病の成り立ち（病理学）	戸田 修二	1			1		30	病理学領域の専門職として活動する経験豊かな教員が講義を担当する臨床現場における病理学領域の豊富な経験を基盤にした実践的な授業を展開する
	疾病・治療論Ⅰ（呼吸、循環、腎泌尿器系）	平井 祐治	1			1		30	九州大学病院、高木病院等において内科学・循環器内科学の知識・技術に関する実務経験を有している。（平井）実務経験を生かし、授業においては、実際の症例の重要点など取り入れながら「疾病・治療論Ⅰ」の講義を展開する。
	疾病・治療論Ⅱ（消化、代謝・内分泌系）	赤木 由人	1			1		30	医師臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅲ（免疫、脳神経、運動器、精神系）	後藤 純信		2		1		30	医師臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅳ（感覚器、口腔、皮膚系）	梶岡 俊一		2		1		30	医師臨床経験を活かした講義を展開する
	疾病・治療論Ⅴ（リプロダクティブヘルス、小児）	日高 陵好		2		1		30	医師・助産師臨床経験を活かした講義を展開します。
	看護学概論	吉川 千鶴子	1			2		30	大学病院での臨床看護師としての実務経験13年の後、5年間の病棟管理の経験がある多様な臨床場面での経験から、看護の目的、対象、方法に関連する看護の具体的な場面や事柄に関連させて授業を展開する
	看護理論	吉川 千鶴子	1			1		15	大学病院での臨床看護師としての実務経験13年の後、5年間の病棟管理の経験がある多様な臨床場面での経験から看護の探求すべき課題を例示し、理論と実践の関連を具体的に解説しながら授業を展開する
	看護コミュニケーション	黒木 司	1			1		15	看護師実務経験：内科、精神科（精神科救急入院病棟、児童思春期病棟）、精神科訪問看護ステーション2018年～2019年他大学で医療コミュニケーションの講義を担当。臨床や講義等の実務経験を活かして、臨床で活用できるコミュニケーション技術を修得できるように工夫します。
	看護技術論Ⅰ（共通基本技術）	森本 紀巳子	1			1		30	看護師の実務経験の後、看護系大学で教育・研究に携わっている。基礎看護学の講義・演習・実習の経験が豊富で、長期にわたって看護基礎教育を担ってきた。担当教員は看護師としての実務経験を活かし、より臨床に近い実践的な教育内容演習方法の工夫を行う。
	看護技術論Ⅱ（日常生活援助技術）	仲前 美由紀	1			2		60	看護師の実務経験の後、看護系大学で教育・研究に携わっている。基礎看護学の講義・演習・実習を長期にわたって担ってきた。担当教員は、看護師としての実務経験を活かし、より臨床に近い実践的な教育内容演習方法の工夫を行う。
	看護技術論Ⅲ（医療支援技術）	仲前 美由紀		2		1		30	すべての科目担当者は、臨床現場での実務経験がある。科目責任者は看護師の実務経験の後、看護系大学で教育・研究に携わっている。基礎看護学の講義・演習・実習を長期にわたって担ってきた。臨床現場での実践から得られた知見を融合し、幅広い視点から授業を展開する。
	看護過程展開論	吉川 千鶴子		2		1		30	看護師の実務経験の後、看護系大学で教育・研究に携わっている。基礎看護学の講義・演習・実習の経験が豊富で、長期にわたって、看護基礎教育の根幹の部分を担当してきた。担当教員は、看護師としての実務経験と、ヘルスアセスメントや症候別看護の教育経験が豊富なため、より、看護過程の根幹となる思考過程を育てる授業を展開する。
	フィジカルアセスメントⅠ（概論・基本技術・問診・呼吸器系・循環器系）	吉川 千鶴子	1			1		30	科目責任者は、看護師としての実務経験が18年以上ある。科目責任者だけでなく、講義や演習を担当する全ての教員は、看護師としての実務経験があり実践的な指導ができる。大学病院での外科系、内科系での実務経験は医療の現場感覚を活かし、看護実践に必要な知識と技術、患者への関わり方など、より臨床に近い実践的な教育内容・演習方法の工夫を行う。
	フィジカルアセスメントⅡ（運動器系・消化器系・乳房・中枢神経系・感覚器系）	中島 史子		2		1		30	担当する教員は、看護師としての実務経験者である。実務経験を活かし、看護実践に必要な知識と技術、患者への関わり方など、より臨床に近い実践的な教育内容・演習方法の工夫を行う。
	基礎看護学実習Ⅰ（生活支援）	吉川 千鶴子	1			1		45	すべての科目担当者は、臨床看護師としての実務経験がある。科目責任者は、13年の臨床経験と5年の看護管理、基礎看護学の講義、演習、実習指導を25年以上経験している。看護職としての経験をもとにロールモデルとしての役割を示して指導に活かす。
	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程）	仲前 美由紀		2		2		90	すべての科目担当者は、臨床看護師として実務経験がある。科目責任者は、臨床経験に加えて、教育においては基礎看護学の授業科目（講義・演習・実習）を担当してきた豊富な教育経験を有する。看護職としての経験をもとにロールモデルとしての役割を示して指導に活かす
	地域・在宅看護論Ⅰ（地域での暮らしと健康）	野上 裕子	1			1		15	訪問看護師、訪問看護ステーション管理者の経験あり、その後看護系大学教員としての経験を有する看護師・保健師の資格を有し、訪問看護ステーションでの実践経験を活かした授業展開を行う。
	地域・在宅看護論Ⅱ（地域での療養支援）	山口 みどり		2		2		30	科目責任者は臨床経験14年（病院等医療機関、訪問看護）訪問看護師としての実務経験を活かして、授業の内容、展開、グループワークを実施する。
	地域・在宅看護方法論	山口 みどり			3	2		30	科目責任者は臨床経験14年（病院等医療機関、訪問看護）訪問看護師としての実務経験を活かし、授業の内容、展開、グループワークを実施する。

授業科目 の区分		科目名	教員名	配当年次			単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
							必修	選択		
		地域・在宅看護論演習	野上 裕子			3	1		30	科目責任者：訪問看護ステーションでの実務経験（訪問看護師・管理者）あり。大学教育においての地域・在宅看護論（講義・演習・実習）の経験あり。科目責任者：訪問看護での実務経験を通し、難病や在宅看取りまで様々な疾患の看護経験を有する。実務経験を活かした事例展開を行う。
		地域・在宅看護論実習Ⅰ（対象理解）	野上 裕子	1			1		45	科目責任者：訪問看護での実務経験を有し、教育においては地域・在宅看護論の授業科目（講義・演習・実習）担当の経験がある。病棟や訪問看護ステーションでの実務経験を有し、実践的な教育内容を展開し、地域・在宅看護に必要な人間性を養うことができるよう工夫する
		地域・在宅看護論実習Ⅱ（地域療養支援）	山口 みどり			3	2		90	科目責任者は臨床経験14年（病院等医療機関、訪問看護）訪問看護師としての実務経験をもち療養者の看護過程展開（看護技術の工夫、社会資源の活用）に活かす。
		成人看護学概論	寺町 芳子		2		2		30	講義を担当する教員は看護職としての実務経験を有する。実務経験を活かし、より臨床に近い実践的な教育内容を展開する。
		成人看護学方法論Ⅰ（急性期・回復期）	三橋 睦子			3	2		45	救命救急センター・外科系病棟・感染症専門病棟での実務経験を有する。また看護大学において、急性期看護についての教育に長く携わった。臨床経験を基に、テキストの内容を具体的な事例などに置き換えてわかりやすく教授する。
		成人看護学方法論Ⅱ（慢性期・終末期）	寺町 芳子		2		2		45	講義を担当する教員は看護職としての実務経験を有する。実務経験を活かし、より臨床に近い実践的な教育内容を展開する。
		老年看護学概論	中島 史子		2		1		15	本授業の担当教員は、大学病院、その他の医療機関での看護の経験が豊富である。教科書に記載される抽象的な概念等について、担当教員の豊富な看護経験の具体的事例を用いて説明し、学生が抽象と具象を関連づけて理解できるよう教授する。臨床とのユニフィケーションから得られた最新の知見を授業に活かす。
		老年看護学方法論	中島 史子		2		2		30	本授業の担当教員は、医療機関での看護の経験が豊富である。現在も医療施設の高齢者看護事例を研究するなど、臨床とのユニフィケーションを継続的に実施している。教科書に記載される抽象的な概念等について、担当教員の豊富な看護経験の具体的事例を用いて説明し、学生が抽象と具象を関連づけて理解できるよう教授する。臨床とのユニフィケーションから得られた最新の知見を授業に活かす。
		老年看護学演習	中島 史子			3	1		30	本授業の担当教員は、医療機関での看護の経験が豊富である。現在も医療施設の高齢者看護事例を研究するなど、臨床とのユニフィケーションを継続的に実施している。教科書に記載される抽象的な概念等について、担当教員の豊富な看護経験の具体的事例を用いて説明し、学生が抽象と具象を関連づけて理解できるよう教授する。臨床とのユニフィケーションから得られた最新の知見を授業に活かす。
		成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	三橋 睦子			3	3		135	科目責任者および科目担当者は、全て臨床看護師として豊富な実務経験がある。看護職としての経験を基にロールモデルとしての役割を示して指導に活かす。
		成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）	寺町 芳子			3	3		135	科目責任者や科目担当者はすべて臨床看護師としての豊富な実務経験がある。看護職としての経験を基にロールモデルとしての役割を示して指導に活かす。
		成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢者施設）	中島 史子			3	1		45	本授業の担当教員は、医療機関での看護の経験が豊富である。臨床とのユニフィケーションを継続的に実施している。教科書に記載される抽象的な概念等について、担当教員の豊富な看護経験の具体的事例を用いて説明し、学生が抽象と具象を関連づけて理解できるよう教授する。臨床とのユニフィケーションから得られた最新の知見を授業に活かす。
		小児看護学概論	古賀 幸子	1			1		15	担当教員は、看護師・助産師の資格を有し、病院勤務での小児実習指導や地域での子育て支援に関わる経験を有しています。母子保健活動における実務経験を活かしながら小児看護の重要な知識や感性を育成するように教授する。
		小児看護学方法論	前原 敬子		2		2		30	看護師と助産師の資格を有し、病院勤務・教育現場・地域の子育て支援、被災地支援など子どもと母親・家族を対象に実践活動に携わっています。また、子どもとその家族をテーマに研究活動を行っています。テキストおよび最新の知見だけを講義の中で教授するのではなく、実務経験で修得した知識・技術（臨床の知）も講義の中で役立てます。
		小児看護学演習	前原 敬子			3	1		30	担当教員は、看護師・助産師として、病院での勤務において小児実習指導や地域での子育て支援に関わる経験を有しています。実務経験を活かしながら、小児看護における看護の展開や看護ケアに結びつけるよう教授する。
		小児看護学実習Ⅰ（保育所）	前原 敬子	1			1		45	担当教員は、乳幼児、小児を含め、あらゆる年代の方々を看護した実務経験がある。さまざまな看護実践の中でも、小児看護、小児医療保健・児童福祉に関する多様な実務経験を活かし、実践に繋がるよう指導教育を展開する。
		小児看護学実習Ⅱ（病棟）	前原 敬子			3	1		45	科目責任者は臨床経験、教育においては小児看護学の授業科目（講義・演習・実習）を担当看護職としての経験をもとにロールモデルとしての役割を示して指導に活かす。

授業科目 の区分	科目名	教員名	配当年次				単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
							必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目									
	リプロダクティブヘルス看護学概論	日高 陵好		2			1		15	担当教員は、看護師・助産師の資格を有し、10年以上にわたり、病院の産科等での勤務や地域の性教育・子育て支援等に携わってきています。また、行政と連携して、地域の子育て支援の活発化に委員として関わっています。リプロダクティブヘルスに関わる学会に所属し、子育て、セクシュアリティ等の研究活動を行っています。トピックによっては、臨床や地域活動の中で経験したエピソードを材料に授業を展開します。研究活動から得た国内外の最新知識を織り込んだ授業を行います。
	リプロダクティブヘルス看護学方法論	日高 陵好		2			2		30	担当教員は全員、看護師・助産師の資格を有し、10年以上にわたり、病院の産科等での勤務や地域の性教育や子育て支援に携わっています。また、日本看護協会・日本助産師会等に所属し地域のリプロダクティブヘルスに係る活動も行ってきました。行政と連携して、地域の子育て支援の活発化に委員として関わっています。リプロダクティブヘルスに関わる学会に所属し、子育て、セクシュアリティ等の研究活動を行っています。トピックによっては、臨床や地域活動の中で経験したエピソードを材料に授業を展開します。研究活動から得た国内外の最新知識を織り込んだ授業を行います。
	リプロダクティブヘルス看護学演習	服部 佳代子			3		1		30	担当する教員は看護師と助産師の免許を有し、産婦人科病棟での臨床看護、子育てに関わる支援をさまざまな形で実施してきています。実務経験を活かし、看護実践に必要な知識と技術を臨場感ある教育内容・演習方法となるよう工夫する。
	リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ（地域育児支援）	日高 陵好			3		1		45	担当教員は看護師と助産師の免許を有し、子育てに関わる支援をさまざまな形で実施してきています。実務経験を活かし、実習での学びがスムーズにいくようにサポートします。
	リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ（病棟）	服部 佳代子			3		1		45	担当教員は看護師と助産師の免許を有し、産婦人科病棟での臨床看護、子育てに関わる支援をさまざまな形で実施してきています。実務経験を活かし、リプロダクティブヘルス看護学実習での学びが順調に進むようにサポートします。
	精神看護学概論	黒木 司		2			1		15	【黒木 司】看護師実務経験：内科、精神科（精神科救急入院病棟、児童思春期病棟）、精神科訪問看護ステーション 【大坪 昌喜】看護師実務経験：精神科（急性期病棟、回復期病棟）臨床での実務経験を活かし、精神看護学の基礎を修得できるように工夫します。
	精神看護学方法論	黒木 司			3		2		30	【黒木 司】看護師実務経験：内科、精神科（精神科救急入院病棟、児童思春期病棟）、精神科訪問看護ステーション 【大坪 昌喜】看護師実務経験：精神科（急性期病棟、回復期病棟）臨床での実務経験を活かし、精神看護学の基礎を修得できるように工夫します。
	精神看護学演習	大坪 昌喜			3		1		30	【大坪 昌喜】看護師実務経験：精神科（急性期病棟、回復期病棟） 【黒木 司】看護師実務経験：内科、精神科（精神科救急入院病棟、児童思春期病棟）、精神科訪問看護ステーション 臨床での経験を活かし、精神看護学の基礎を習得できるように工夫します。
	精神看護学実習	大坪 昌喜			3		2		90	科目責任者・担当者は、臨床看護師としての実務経験を有する。また、教育においては精神看護学の授業科目（講義・演習・実習）を担当してきた豊富な教育経験を有する。看護師としての経験を基にロールモデルとしての役割を示して指導に活かす。
	感染看護論	三橋 睦子		2			1		15	担当する教員は、看護師としての実務経験者である。実務経験を活かし、看護実践に必要な知識と技術、患者への関わり方など、より臨床に近い実践的な教育内容・演習方法の工夫を行う。
	看護倫理学	服部 佳代子		2			1		15	担当する教員は、助産師としての実務経験者であり、臨床や地域において看護倫理に関わる問題に遭遇した経験がある。実務経験を活かし、看護実践に必要な経験知などを盛り込み、より臨床に近い実践的な教育内容・演習方法の工夫を行う。
	家族看護論	山口 みどり		2			1		15	各回を担当する教員は各専門領域における臨床経験を有する。臨床経験を活かし、実践事例などを通して本科目の理解を深めるよう授業を展開する。
	看護研究Ⅰ（研究方法）	日高 陵好			3		2		30	担当教員は、看護研究を実践してきたと同時に、看護師および学士課程学生への看護研究指導に関して豊富な経験を有します。これまで実施した看護研究の実務を授業内容に反映させます。
	公衆衛生看護学概論	彌永 和美		2			2		30	保健師実務経験保健師の経験を活かし、講義を展開する。
	公衆衛生看護活動対象論Ⅰ（母子・成人・高齢者保健）	彌永 和美			3			2	30	保健師実務経験保健師の経験を活かし、授業を展開する
	公衆衛生看護活動対象論Ⅱ（難病・精神・障害等保健活動）	彌永 和美			3			2	30	保健師実務経験保健師の経験を活かし、授業を展開する
	産業保健	彌永 和美		2				1	15	産業保健師実務経験保健師の経験を活かし、具体例を提示して講義を展開する。
	学校保健	彌永 和美		2				1	15	保健師実務経験保健師実務経験を活かし授業を展開する。
卒業要件単位数							128		単位	
実務経験のある教員等による授業科目							125		単位	

授業科目の名称		教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
							必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4		2	30	新聞記者として演劇を担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
	死生学-死を通して生を考える	大園 康文	1	2	3	4		2	30	VOD担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きるのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
	演劇論	山内 則史	1	2	3	4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	コミュニケーション概論	中島 薫	1	2	3	4		2	30	資格:臨床心理士、公認心理師経歴・講義について:病院等において臨床心理士として対人支援の知識・技術に関する実務経験を有する。対人援助養成に関わる教育機関での講義や、援助職を対象とした研修実施も行っている。実務経験を活かし、講義の中で実際の援助場面について具体例を挙げながら理解を深めるための講義を展開する。
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1	2	3	4		2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
	宗教学	東海林 良昌	1	2	3	4		2	30	1997年4月雲上寺副住職(2023年3月まで)2010年4月全国浄土宗青年会常務理事(2012年3月まで)、同4月浄土宗総合研究所研究員、2011年4月佛教大学非常勤講師(2019年まで)、2012年4月全国浄土宗青年会監事(2014年3月まで)、2013年4月全国浄土宗青年会参与(2015年3月まで) 介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、2015年4月全日本仏教青年会理事長(2017年3月まで)、2017年5月世界仏教徒青年連盟ナール地震支援奨学金支援特別委員会委員長(2019年5月まで)、2017年5月世界仏教徒連盟副事務総長、同5月全日本仏教会WFB日本センター委員、2018年4月正力松太郎賞奨励賞受賞、2019年4月全国介護者支援団体連合会運営委員、2019年11月浄土宗宗議会議員、2020年4月上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、同4月坂総合病院倫理委員、同4月お寺での介護者カフェ推進員、2022年5月世界仏教徒連盟人道支援委員会委員長、同4月全国介護者支援団体連合会副代表、2023年4月雲上寺住職、同4月塩壺市社会福祉協議会理事。世界仏教徒連盟等での国際経歴、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩壺市社会福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	教育学	木田 竜太郎	1					2	30	高等学校(サポート校・フリースクール)講師としての実務経験を有する。理論と実務(実際)をバランスよく学べるよう努めたい。
	教育方法論	鶴田 利郎			3	4		2	30	高等学校(サポート校・フリースクール)の講師としての実務経験を有する。理論と実務(実際)をバランスよく学べるよう努めたい。
	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアニリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	福井 譲		②	3	4		1	15	アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナム等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	石橋 英恵		②	3	4		1	45	アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。アジア太平洋地域作業療法グループ役員。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4		2	30	資格:日本脳神経外科学会 専門医日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医経歴・講義について:学 歴:平成6年(1994)5月14日 韓国 ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程修士(科学)取得平成7年(1995)9月30日 西州大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了 博士(医学)取得平成4年(1992)10月1日 韓国 ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員長平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務大学や病院等で医師(脳神経外科・臨床神経生理)の知識、技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	上野 民生		2	3	4		1	30	特許取得(臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム)3編 大学病院における精度管理システムの構築AIの基礎的理解をExcel、Accessを用いて習得する。10万件以上のビッグデータへのアプローチ方法習得およびプログラミングによるシステム開発を目指し講義を展開する。
	医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	上野 民生		2	3	4		1	30	特許取得(臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム)3編 大学病院における精度管理システムの構築多変量解析である主成分分析、判別分析を基礎とし、様々なビッグデータへのアプローチについて学習する。AIである機械学習および深層学習を用いて多変量解析が可能なAIシステム開発を目指し講義を展開する。

授業科目の名称			教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				1	2	3	4	必修	選択		
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1	2	3	4		2	30	別府美知子: マナー・プロトコルの実務経験: 航空会社国際線客室乗務員として勤務していた経験により、最上級の日本式おもてなしを習得しており、世界各地の滞在経験により各国のマナー・プロトコルにも精通している。医療機関での実務経験: 8年半にわたり、各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等実務経験別府美知子: 国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。
		英会話	臨坂 多恵	1					1	30	海外コーディネーターとして放送局にて勤務経験国際交流事業のサポートなど上記の経験より、英語でのコミュニケーションを成り立たせるためには、リスニング能力、基本的な英語の構文や各国の文化的な知識が必要と考えている。具体的な実例を用いながら、充実した研修に向けて準備ができるよう実用的な会話、ディスカッションをしていく。
		実用英会話	臨坂 多恵		2				1	30	海外コーディネーターとして放送局にて勤務経験国際交流事業のサポートなど上記の経験より、コミュニケーションを成り立たせるためにはリスニング能力、基本的な英語の構文や各国の文化的な知識が必要と考えている。基礎を固めながら、実用的な英会話能力を高めていけるよう教授していく。また、海外での生活、ホームステイ、寮生活などについても自らの体験をもとに、具体的に例を提示し指導を行う。
		実用韓国語会話	新納 さおり		2				1	30	企業の契約関係書類、映像字幕の翻訳、通訳の経験がある。自らの韓国語学習体験や日韓対照研究を通して、両言語の違いを熟知している。日本語ネイティブが韓国語を学ぶ際、どんなところに注意を払う必要があるのか理解し、的確に教えることができる。ソウルでの留学経験から、正確な標準語を教えることができ、現地の大学で外国人に対する韓国語教育課程を修了したため、体系的に教えることができる。翻訳・通訳の実務経験もあり、基礎から応用まで幅広く対応できる。
専門基礎科目		公衆衛生学	柳 裕哉	1	2	3	4		2	30	臨床心理士として、自治体の保健センター(母子保健係)にて、一般住民の発達相談および乳幼児健診に携わった。また、環境省が主導する出生コホート調査「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の調査・研究に従事した。そのほか、大学にて公衆衛生学の単元を担当した。実際に地域住民の悩みや心配事と向き合った経験を授業内容に反映する。特に、公的機関での特有の傾向について詳述する。
		リハビリテーション概論	河野 健一	1					2	30	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を踏まえて、理学療法士の職能及び学術的な視点に加え、作業療法士及び言語聴覚士を含むリハビリテーション関連職種に関する職能及び学術的な視点についても授業を展開する。
		臨床心理学概論	稲吉 真美子		2				2	30	公認心理師・臨床心理士として、精神科・心療内科、自治体・教育機関での実務経験を有する。病院でのカウンセリング・心理検査、自治体での発達・教育相談の臨床経験を生かし、「臨床心理学 概論」の講義を展開する。
		救急医学	後藤 純信		2				1	15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
		関連職種連携論	日高 陵好		2				2	30	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ほか各専門職の有資格者が臨床経験をともに講義を行う。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
		関連職種連携ワーク	佐藤 謙一			3			1	30	各専門職(薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の有資格者が臨床経験をともにグループワークにおけるチューターを担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
		解剖学実習Ⅰ(肉眼)	有家 尚志	1					1	45	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ほか各専門職の有資格者が臨床経験をともに講義を行う。授業においては、理学療法士が臨床現場でどのように解剖学の知識を活用しているかという視点を踏まえながら展開する。
		生理学実習	森本 幸生	1					1	45	資格: 日本脳神経外科学会 専門医 日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医経歴: 講義について: 大学や病院等で医師(脳神経外科・臨床神経生理)の知識・技術に関する以下の実務経験を有している。臨床神経学の経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「生理学実習」の講義を展開する。
		病理学	戸田 修二		2				1	30	病理学領域の専門職として活動する経験豊かな教員が講義を担当する臨床現場における病理学領域の豊富な経験を基盤にした実践的な授業を展開する
		臨床医学概論	後藤 純信	1					1	30	科目担当責任者は脳神経外科専門医、臨床神経生理(脳波分野、筋電図・神経伝導)専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
		内科学Ⅰ(基礎)	岸 拓弥		2				1	30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に28年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
		内科学Ⅱ(臨床)	岸 拓弥		2				1	30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に28年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
		神経学Ⅰ(基礎)	後藤 純信		2				1	30	日本脳神経外科学会 専門医日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医1997年より九州大学大学院医学研究院にて臨床神経生理の講義2005年より当大学教員にて、「神経学」、「臨床神経学」、「神経心理学」等の講義を担当 大学や病院等で医師(脳神経外科専門医・臨床神経生理専門医)の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「神経学Ⅰ(基礎)」の講義を展開する。

授業科目の名称			教員名	配当年次		単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目		
						必修	選択				
専門教育科目	専門 教育 科目	神経学Ⅱ（臨床）	後藤 純信	2		1		30	日本脳神経外科学会 専門医日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 1997年より九州大学大学院医学研究院にて臨床神経生理の講義2005年より当大学教員にて、「神経学」、「臨床神経学」、「神経心理学」等の講義を担当 大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「神経学Ⅱ（臨床）」の講義を展開する。		
		整形外科学Ⅰ（基礎）	山内 豊明	2		1		30	医学博士前高木病院副院長・整形外科部長・地域医療連携部長元久留米大学整形外科日本専門医機構認定整形外科専門医・整形外科専門研修指導医日本整形外科学会認定スポーツ医日本整形外科学会認定脊椎骨髄病臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示しながら講義を展開する。		
		整形外科学Ⅱ（臨床）	山内 豊明	2		1		30	医学博士前高木病院副院長・整形外科部長・地域医療連携部長元久留米大学整形外科日本専門医機構認定整形外科専門医・整形外科専門研修指導医日本整形外科学会認定スポーツ医日本整形外科学会認定脊椎骨髄病臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示しながら講義を展開する。		
		精神医学Ⅰ（総論・各論）	尾籠 晃司	2		1		30	精神科医としての36年の臨床経験臨床経験から得られた知識・技術を症例のディスカッションなどに応用する。		
		精神医学Ⅱ（各論）	尾籠 晃司	2	3		1	30	精神科医としての36年の臨床経験臨床経験から得られた知識・技術を症例のディスカッションなどに応用する。		
		リハビリテーション医学	田中 順子	1		1		30	リハビリテーション科専門医、整形外科専門医0		
		小児科学	升永 憲治	2		1		30	医師柳川療育センターにおいて小児医療の知識・技術に関する実務経験あり。経験を生かし、小児科学の講義においては実際の事例などを取り入れながら「小児科学」の講義を展開する。		
		老年学	岸 拓弥	2		1		30	循環器内科を専門とする内科学全般の高齢者診療に28年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。		
		栄養学	緒方 智宏	1	2	3	4	1	15	資格：管理栄養士実務経験等：管理栄養士養成校での教育研究業務医療従事者として最低限備えておくべき栄養学について講義を行う 資格：理学療法士、医療的ケア等養成研修修了入川市乳幼児健康診査（4ヶ月児健康診査 運動発達担当）の実務経験総合病院において小児理学療法の実務経験大川市乳幼児健康診査や総合病院において小児理学療法の実務経験を活かし、画像・動画による実際の事例を紹介しながら授業を展開する。	
		人間発達学	劉 振	1		1		30	臨床心理士・公認心理師として、母子保健、犯罪加害者再犯防止、各種相談を行ってきた。臨床心理士・公認心理師としての職務経験や、公衆衛生学・疫学の研究経験を基に授業を展開する。		
		カウンセリング論	柳 裕哉	1	2	3	4	1	15	臨床心理士・公認心理師として、母子保健、犯罪加害者再犯防止、各種相談を行ってきた。臨床心理士・公認心理師としての職務経験や、公衆衛生学・疫学の研究経験を基に授業を展開する。	
		運動学Ⅰ（基礎）	永井 良治	1		1		30	病院勤務において理学療法の実務経験を有する。臨床経験を生かし運動学の講義を展開する。		
		運動学Ⅱ（応用）	永井 良治	1		1		30	病院勤務において理学療法の実務経験を有する。臨床経験を生かし運動学の講義を展開する。		
		運動生理学	下田 武良	1		2		30	資格：理学療法士実務：理学療法士として医療機関の勤務経験有 病院等において理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「運動生理学」の講義を展開する。		
		運動学演習Ⅰ（基礎）	劉 振	2		1		30	理学療法士病院における理学療法士に関する実務経験を有しており、授業においては、実務の事例など取り入れながら担当教員と一緒に展開する。		
		運動学演習Ⅱ（応用）	下田 武良	2		1		30	理学療法士病院等において理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有している。授業ではその経験を生かし、臨床での理学療法と実習内容を関連付けながら「運動学演習Ⅱ（応用）」を展開する。		
		専門 科目	専門 科目	理学療法概論	河野 健一	1		2		30	専門理学療法士様々な理学療法の専門分野に携わった実務経験を生かし、授業を展開する。
				PTスキルⅠ演習	永井 良治	1		1		30	資格 理学療法士病院での実務経験を有しており、その経験を活かし講義を展開する
PTスキルⅡ演習	鈴木 あかり			2		1		30	資格：理学療法士実務経験：理学療法士として医療機関の業務経験有病院、老人保健施設、訪問リハビリテーションなどの実務経験を有しており、その経験から得た知識・技術を活かし、実際の事例などを提示しながら、「PTスキルⅡ演習」の演習を展開する。		
PTスキルⅢ演習	中原 雅美				3	2		60	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。		
PTスキルⅣ演習	中原 雅美					4	1	30	理学療法学科における国家試験科目を担当した経験を有する。国家試験過去問題等をベースに展開し、基本的な基礎医学領域、臨床医学、専門領域の理解を進める。グループワーク、弱点領域のスクリーニング、自己学習等の指導を行いながら、国家試験対策を促進する。		
病態運動学	下田 武良有家 尚志				3	2		30	理学療法士病院における理学療法士に関する実務経験を有しており、授業においては、事例など取り入れながら講義を展開する。		
運動解剖学	永井 良治			1		2		30	病院において実務経験を有する。臨床経験を生かし講義を展開する。		
理学療法用語論	松田 憲亮			1		1		15	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「理学療法用語論」の講義を展開する。		
バイオメカニクス	有家 尚志			1		1		15	理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「バイオメカニクス」の講義を展開する。		
理学療法評価学	鈴木 あかり			1		2		30	理学療法士病院での理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実例などを取り入れながら「理学療法評価学」の講義を展開する。		
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	鈴木 あかり	2		2		60	資格：理学療法士実務経験：理学療法士として医療機関の業務経験有病院等において理学療法の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、測定時のポジションの取り方、四肢の支え方なども含め、デモンストラーションを行いながら演習を展開する。		
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	有家 尚志	2		1		30	急性期病院において理学療法士としての実務経験授業においては、臨床現場の事例などを取り入れながら講義を展開する。		
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	永井 良治	2		2		30	病院において中枢神経系の理学療法の実務経験病院での実務経験を有しており、その経験から得た知識・技術を実際の事例などを提示し「理学療法診断学Ⅲ（神経診断学）」の演習を展開する。		
		高次脳機能障害学	永井 良治	2	3	4	1	15	理学療法士臨床では脳血管障害や頭部外傷、認知症の症例を多数経験している。臨床実習および国家試験に向けた高次脳機能障害の病態の理解を促すために、臨床経験も踏まえて解説する。		
		物理療法学Ⅰ（基礎）	松田 憲亮	2		1		30	資格：理学療法士実務経験等：理学療法士として医療機関における物理療法業務に携わる。医療機関等において理学療法士および物理療法の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら「物理療法学Ⅰ基礎」の講義を展開する。		

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目		
					必修	選択				
専門 教育 科目	専門 科目	物理療法学Ⅱ（応用）	松田 憲亮	2		1		30	資格：理学療法士・専門理学療法士実務経験等：理学療法士として医療機関における臨床業務、物理療法業務に携わる。医療機関等にて理学療法士・物理療法の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を生かし、演習においては、実際の事例など取り入れながら「物理療法学Ⅱ応用」の演習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。	
		運動療法学総論	下田 武良	2		1		30	資格：理学療法士実務：理学療法士として医療機関の勤務経験有 病院等において理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「運動療法学総論」の講義を展開する。	
		生活技術学	中原 雅美	2		1		30	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。	
		生活環境学	中原 雅美	2		1		30	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。	
		義肢学	永井 良治	2		1		30	理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「義肢学」の講義を展開する。	
		装具学	松田 憲亮	2		1		30	資格：理学療法士実務経験等：理学療法士として医療機関における臨床業務、装具や車いす作製に関する業務に携わる。医療機関等において理学療法士および装具の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実例や現場の課題などを取り入れながら「装具学」の講義を展開する。	
		理学療法治療総論	有家 尚志	3		1		15	理学療法士病院等において理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有している。授業ではその経験を活かし、事例を取り入れながら講義を展開する。	
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	松田 憲亮	3		1		30	資格：運動器専門理学療法士実務：理学療法士として医療機関の入院・外来における運動器理学療法経験有 病院等において理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の症例など取り入れながら「運動系理学療法学Ⅰ（基礎）」の講義を展開する。	
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	鈴木 あかり	3		1		30	理学療法士病院での理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実例などを取り入れながら「運動系理学療法学Ⅱ（応用）」の講義を展開する。	
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	永井 良治	3		1		30	理学療法士臨床では、脳血管障害及び脊髄損傷の症例を多数経験している。臨床実習および国家試験に向けた疾患の理解を、臨床経験も踏まえて解説する。	
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	中原 雅美	3		1		30	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「神経系理学療法学Ⅱ」の講義を展開する。	
		小児理学療法学	劉 振	2		1		30	資格：理学療法士、医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了大川市乳幼児健康診査（4ヶ月児健康診査 運動発達担当）の実務経験総合病院において小児理学療法の実務経験大川市乳幼児健康診査や総合病院において小児理学療法の実務経験を活かし、画像・動画による実際の事例を紹介しながら授業を展開する。	
		呼吸器系理学療法学	河野 健一	3		2		30	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「呼吸器系理学療法学」の講義を展開する。	
		循環器系理学療法学	河野 健一	3		1		15	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「循環器系理学療法学」の講義を展開する。	
		代謝系理学療法学	河野 健一	3		1		15	理学療法士・専門理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「代謝系理学療法学」の講義を展開する。	
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	中原 雅美	3		2		30	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。	
		老人理学療法学	中原 雅美	2		1		15	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。	
		スポーツ理学療法学	下田 武良	3	4		1	15	資格：理学療法士実務経験等：理学療法士として医療機関における臨床業務に携わる全国障害者スポーツ大会のトレーナーとしての帯同ウィルチェアラグビー選手の専属トレーナーとして活動病院等において理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、現在は、スポーツ現場のトレーナー活動に従事している。その経験を活かし、講義においては実際の事例などを取り入れながら「スポーツ理学療法学」の講義を展開する。	
		障害者スポーツⅠ（入門）	下田 武良	1	2	3	4	1	15	上級バラスポーツ指導員、スポーツ理学療法推進協力者《経歴・講義について》東京2020パラリンピック 陸上競技メディカルスタッフ全国障害者スポーツ大会 福岡県代表団（陸上コーチ）車椅子ツインバスケットボール トレーナー初級・中級バラスポーツ指導員養成講習会講師「バラスポーツ分野において全般的な知識、技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら講義を展開する。」
		障害者スポーツⅡ（応用）	下田 武良			3	4	1	45	上級バラスポーツ指導員、スポーツ理学療法推進協力者《経歴・講義について》東京2020パラリンピック 陸上競技メディカルスタッフ全国障害者スポーツ大会 福岡県代表団（陸上コーチ）車椅子ツインバスケットボール トレーナー初級・中級バラスポーツ指導員養成講習会講師「バラスポーツ分野において全般的な知識、技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら講義を展開する。」
		癌のリハビリテーション	劉 振	2	3	4		1	15	・資格：理学療法士・がんリハビリテーション研修修了病院等において理学療法士の知識・技術に関する臨床経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「癌のリハビリテーション」の講義を展開する。
		福祉住環境論	中原 雅美	2	3			1	15	理学療法士医療福祉の経験を基に授業を展開する。
		理学療法技術学	永井 良治		3	4		1	30	理学療法士病院における理学療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実例などを取り入れながら「理学療法技術学」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	河野 健一			4	1		30	理学療法士、専門理学療法士及び認定理学療法士様々な理学療法の専門分野に携わった実務経験を生かし、授業を展開する。
		理学療法特論Ⅱ（総合）	河野 健一			4	2		30	理学療法士、専門理学療法士及び認定理学療法士様々な理学療法の専門分野に携わった実務経験を生かし、授業を展開する。
		理学療法管理学	村上 武士		3	2			30	理学療法士として病院に勤務し管理業務に携わっている管理業務の経験を活かしして授業を展開する
		卒業研究	大内田 博文			4		4	120	資格：言語聴覚士 実務経験等：言語聴覚士として医療機関における言語聴覚障害のリハビリテーションや研究に携わる。医療機関等において言語聴覚士の知識、技術に関する実務経験を有し研究を実践しており、その経験を生かし、研究を指導していく。

授業科目の名称		教員名	配当年次		単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
					必修	選択		
	基礎実習	下田 武良	1			1	45	資格:理学療法士実務経験等:理学療法士として医療機関、介護保険領域施設における臨床業務に携わる。医療機関等において理学療法の知識、技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、実習においては、医療施設や介護保険領域施設等の課題等の題材として取り入れながら、教員と一緒に実習を展開する。
	検査実習	松野 豊		2	3	1	45	資格:作業療法士臨床経験:病院にて身体障害領域に対する作業療法の実務経験あり。実務経験を生かし、他教員と共に臨床的応用技術を含めた指導を展開する。
	評価実習	永井 良治			3	1	45	資格:理学療法士実務経験等:理学療法士として医療機関、介護保険領域施設における臨床業務に携わる。指導教員は臨床実習指導者講習会を受講済みである。医療機関等において理学療法の知識、技術に関する実務経験を有しており、臨床経験を踏まえた実習指導を行う。
	地域リハビリテーション実習	永井 良治			3	4	45	資格:理学療法士実務経験等:理学療法士として医療機関、介護保険領域施設における臨床業務に携わる。指導教員は臨床実習指導者講習会を受講済みである。医療機関、介護保険領域等において理学療法の知識、技術に関する実務経験を有しており、臨床経験を踏まえた実習指導を行う。
	臨床実習Ⅰ(入門)	永井 良治			3	4	360	資格:理学療法士実務経験等:理学療法士として医療機関、介護保険領域施設における臨床業務に携わる。指導教員は臨床実習指導者講習会を受講済みである。医療機関等において理学療法の知識、技術に関する実務経験を有しており、臨床経験を踏まえた実習指導を行う。

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	130	単位

授業科目の名称			教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
								必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4		2	30	新聞記者として演劇を担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。	
	死生学-死を通して生を考える	大園 康文	1	2	3	4		2	30	VOD担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。	
	演劇論	山内 則史	1	2	3	4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。	
	コミュニケーション概論	中島 薫	1	2	3	4		2	30	資格：臨床心理士、公認心理師経歴・講義については：病院等において臨床心理士として対人支援の知識・技術に関する実務経験を有する。対人援助職養成に関わる教育機関での講義や、援助職を対象とした研修実施も行っている。実務経験を活かし、講義の中で実際の援助場面について具体例を挙げながら理解を深めるための講義を展開する。	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1	2	3	4		2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う	
	宗教学	東海林 良昌	1	2	3	4		2	30	1997年4月雲上寺副住職(2023年3月まで)2010年4月全国浄土宗青年会常務理事(2012年3月まで)、同4月浄土宗総合研究所研究員、2011年4月佛教大学非常勤講師(2019年まで)、2012年4月全国浄土宗青年会監事(2014年3月まで)、2013年4月全国浄土宗青年会参考(2015年3月まで)、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、2015年4月全日本仏教青年会理事長(2017年3月まで)、2017年5月世界仏教徒青年連盟ナール地震支援奨学金支援特別委員会委員長(2019年5月まで)、2017年5月世界仏教徒連盟副事務総長、同5月全日本仏教会WFB日本センター委員、2018年4月正力松太郎賞奨励賞受賞、2019年4月全国介護者支援団体連合会運営委員、2019年11月浄土宗宗議会議員、2020年4月上智大学グリーフケア研究所グリーフケア人材養成講座講師、同4月坂総合病院倫理委員、同4月お寺での介護者カフェ推進員、2022年5月世界仏教徒連盟人道支援委員会委員長、同4月全国介護者支援団体連合会副代表、2023年4月雲上寺住職、同4月塩埕市社会福祉協議会理事。世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーフケア研究所グリーフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩埕市社旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。	
	教育学	木田 竜太郎	1	1				2		高等学校(サポート校・フリースクール)講師としての実務経験を有する。理論と実務(実際)をバランスよく学べるよう努めたい。	
	教育方法論	木田 竜太郎	1					2	30	高等学校(サポート校・フリースクール)講師としての実務経験を有する。理論と実務(実際)をバランスよく学べるよう努めたい。	
	総合教育科目	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通して、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通して「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておきたい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	福井 謙		②	3	4	1	15		アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナム等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
海外保健福祉事情Ⅱ(実習)		福井 謙		②	3	4	1	45		アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナム等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。	
国際医療福祉論		後藤 純信	1	2	3	4		2	30	資格：日本脳神経外科学会 専門医日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医経歴・講義について 学 歴：平成6年(1994)5月14日盛国ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程修士(科学)取得平成7年(1995)9月30日岡山大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了 博士(医学)取得平成4年(1992)10月1日盛国ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員会委員長平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務大学や病院等で医師(脳神経外科・臨床神経生理)の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。	
医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－		家入 一郎	1					1	30	臨床経験：医療機関にて作業療法士として実務経験あり 実務経験にもとづくコメントや事例紹介を含めた授業を展開する。	
社会系	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	上野 民生		2	3	4		1	30	特許取得(臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム)3編大学病院における精度管理システムの構築AIの基礎的理解をExcel、Accessを用いて習得する。10万件以上のビッグデータへのアプローチ方法習得およびプログラミングによるシステム開発を目指し講義を展開する。	
	医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	上野 民生		2	3	4		1	30	特許取得(臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム)3編 大学病院における精度管理システムの構築多変量解析である主成分分析、判別分析を基礎とし、様々なビッグデータへのアプローチについて学習する。AIである機械学習および深層学習を用いて多変量解析が可能なAIシステム開発を目指し講義を展開する。	

授業科目の名称			教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
								必修	選択			
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1	2	3	4		2	30	別府美知子：マナー・プロトコルの実務経験：航空会社国際線客室乗務員として勤務していた経験により、最上級の日本式おもてなしを習得しており、世界各地の滞在経験により各国のマナー・プロトコルにも精通している。医療機関での実務経験：8年半にわたり、各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等実務経験別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。	
		英会話	脇坂 多恵	1					1	30	海外コーディネーターとして放送局にて勤務経験国際交流事業のサポートなど上記の経験より、英語でのコミュニケーションを成り立たせるためには、リスニング能力、基本的な英語の構文や各国の文化的な知識が必要と考えている。具体的な実例を用いながら、充実した研修に向けて準備ができるよう実用的な会話、ディスカッションをしていく。	
		実用英会話	脇坂 多恵		2					1	30	海外コーディネーターとして放送局にて勤務経験国際交流事業のサポートなど上記の経験より、コミュニケーションを成り立たせるためにはリスニング能力、基本的な英語の構文や各国の文化的な知識が必要と考えている。基礎を固めながら、実用的な英会話能力を高めていけるよう教授していく。また、海外での生活、ホームステイ、寮生活などについても自らの体験をもとに、具体的に例を提示し指導を行う。
		実用韓国語会話	新納 さおり		2						30	企業の契約関係書類、映像字幕の翻訳、通訳の経験がある。自らの韓国語学習体験や日韓対照研究を通して、両言語の違いを熟知している。日本語ネイティブが韓国語を学ぶ際、どんなところに注意を払う必要があるのか理解し、的確に教えることができる。ソウルでの留学経験から、正確な標準語を教えることができ、現地の大学で外国人に対する韓国語教育課程を修了したため、体系的に教えることができる。翻訳・通訳の実務経験もあり、基礎から応用まで幅広く対応できる。
専門基礎		公衆衛生学	柳 裕哉	1					2	30	臨床心理士として、自治体の保健センター(母子保健係)にて、一般住民の発達相談および乳幼児健診に携わった。また、環境省が主導する出生コホート調査「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の調査・研究に従事した。そのほか、大学にて公衆衛生学の単元を担当した。実際に地域住民の悩みや心配事と向き合った経験を授業内容に反映する。特に、公的機関での特有の傾向について詳述する。	
		関連職種連携実習	永井 良治				4			1	45	各職種の経験豊富な指導者が指導を担当する。実習施設の各専門職の豊富な実務経験から実習指導を受けることで、生きた学習ができる。連携論、連携ワークで学んだIPEを活かし、保健医療福祉に携わる専門職として、IPGに必要なコンピテンシーを学修する。
		リハビリテーション概論	河野 健一	1					2	30	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を踏まえて、理学療法士の職能及び学術的な視点に加え、作業療法士及び言語聴覚士を含むリハビリテーション関連職種に関する職能及び学術的な視点についても授業を展開する。	
		臨床心理学概論	稲吉 真美子		2				2	30	公認心理師・臨床心理士として、精神科・心療内科、自治体・教育機関での実務経験を有する。病院でのカウンセリング・心理検査、自治体での発達・教育相談の臨床経験を生かし、「臨床心理学概論」の講義を展開する。	
		救急医学	後藤 純信		2				1	15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。	
		関連職種連携論	日高 陵好		2				2	30	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ほか各専門職の有資格者が臨床経験をともに講義を行う。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。	
		関連職種連携ワーク	佐藤 謙一				3		1	30	各専門職(薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の有資格者が臨床経験をともにグループワークにおけるチューターを担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。	
		解剖学実習	韓 旻熙	1					1	45	身体障害領域の総合病院での作業療法士の実務経験を有しており、その経験を活かし講義を展開する。作業療法士の知識・技術を有しており、その知見を活かし、作業療法に必要な解剖学の授業を展開する。	
		生理学実習	森本 幸生	1					1	45	資格：日本脳神経外科学会 専門医 日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医・経歴・講義について大学や病院等で医師(脳神経外科・臨床神経生理)の知識・技術に関する以下の実務経験を有している。臨床神経生理学の教育・研究経験を活かし、本授業を基に、人体の生理学的反応についての事象の解説を展開する。	
		病理学	戸田 修二	1					1	30	病理学領域の専門職として活動する経験豊かな教員が講義を担当する臨床現場における病理学領域の豊富な経験を基盤にした実践的な授業を展開する	
		臨床医学概論	後藤 純信	1	2	3	4			1	30	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳神経生理専門医(脳波、筋電図・神経伝導)として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経疾患患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
		内科学Ⅰ(基礎)	岸 拓弥		2					1	30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に28年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
		内科学Ⅱ(臨床)	岸 拓弥		②	3				1	30	循環器内科を専門とする内科学全般の診療に28年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。

		授業科目の名称	教員名	配当年次		単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
						必修	選択			
専門 教育 科目	科 目	神経学Ⅰ（基礎）	後藤 純信	2		1		30	日本脳神経外科学会 専門医日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 1997年より九州大学大学院医学研究院助教～講師にて臨床神経生理の講義2005年より当大学教員にて、「神経学」、「臨床神経学」、「神経心理学」等の講義を担当大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「神経学Ⅰ（基礎）」の講義を展開する。	
		神経学Ⅱ（臨床）	後藤 純信	2		1		30	日本脳神経外科学会 専門医日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医 1997年より九州大学大学院医学研究院にて臨床神経生理の講義2005年より当大学教員にて、「神経学」、「臨床神経学」、「神経心理学」等の講義を担当 大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「神経学Ⅱ（臨床）」の講義を展開する。	
		整形外科Ⅰ（基礎）	山内 豊明	2		1		30	医学博士前高木病院副院長・整形外科部長・地域医療連携部長元久留米大学整形外科日本専門医機構認定整形外科専門医・整形外科専門研修指導医日本整形外科学会認定スポーツ医日本整形外科学会認定脊椎骨髄病医臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示しながら講義を展開する。	
		整形外科Ⅱ（臨床）	山内 豊明	2		1		30	医学博士前高木病院副院長・整形外科部長・地域医療連携部長元久留米大学整形外科日本専門医機構認定整形外科専門医・整形外科専門研修指導医日本整形外科学会認定スポーツ医日本整形外科学会認定脊椎骨髄病医臨床実務経験をもとに、実際の経験症例を提示しながら講義を展開する。	
		精神医学Ⅰ（基礎）	尾籠 晃司	2		1		30	精神科医としての36年の臨床経験臨床経験から得られた知識・技術を症例のディスカッションなどに応用する。	
		精神医学Ⅱ（臨床）	尾籠 晃司	2		1		30	精神科医としての36年の臨床経験臨床経験から得られた知識・技術を症例のディスカッションなどに応用する。	
		リハビリテーション医学	田中 順子	1		1		30	リハビリテーション科専門医、整形外科専門医0	
		小児科学	升永 憲治	2		1		30	医師柳川療育センターにおいて小児医療の知識・技術に関する実務経験あり。経験を生かし、小児科学の講義においては実際の事例などを取り入れながら「小児科学」の講義を展開する。	
		老年学	岸 拓弥	2		1		30	循環器内科を専門とする内科学全般の高齢者診療に28年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。	
		栄養学	緒方 智宏	1	2	3	4	1	15	資格:管理栄養士実務経験等;管理栄養士養成校での教育研究業務医療従事者として最低限備えておくべき栄養学についての講義を行う
		人間発達学	日田 勝子	1		1		30	作業療法士として小児領域における施設・医療機関・教育機関などの業務、研究に携わる。発達障害の知識、技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、子どもから成人までの発達課題などを題材として取り入れながら講義を展開する	
		カウンセリング論	柳 裕哉	1	2	3	4	1	15	臨床心理士・公認心理師として、母子保健、犯罪加害者再犯防止、各種相談を行ってきた。臨床心理士・公認心理師としての職務経験や、公衆衛生学・疫学の研究経験を基に授業を展開する。
		運動学Ⅰ（基礎）	松野 豊	1		1		30	作業療法士病院等において作業療法士の知識・技能に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては事例などを取り入れながら「運動学Ⅰ（基礎）」の講義を展開する。	
		運動学Ⅱ（応用）	永井 良治	1		1		30	病院勤務において理学療法の実務経験を有する。臨床経験を生かし運動学の講義を展開する。	
		運動生理学	松野 豊	2		1		30	病院勤務において理学療法の実務経験を有する。臨床経験を生かし運動学の講義を展開する。	
		運動学実習	吉田 亮平	2		1		45	作業療法士身体障害領域の病院等において作業療法士の知識・技能に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては事例などを取り入れながら講義を展開する。	
専門 科 目		作業療法概論	石橋 英恵	1		1		15	作業療法士作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する	
		作業学概論	石橋 英恵	1		1		15	作業療法士施設等において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。	
		作業工程技術学	石橋 英恵	1		1		45	作業療法士作業療法士の知識・技術を有しており、その知見を活かし、作業療法で頻度が高く用いられる手工芸の特徴と、集団をリードする際の準備と実施について、演習を通じて授業展開する。	
		作業分析学	石橋 英恵	2		1		45	作業療法士作業療法士の知識・技術を有しており、その知見を活かし、作業療法に必要な分析学の授業を展開する。	
		作業応用論	長谷 麻由	2	3	4	1	30	作業療法士科目担当者は、日本作業療法士協会の中級バラスポーツ指導員養成講習会事業検討委員として講習会カリキュラムの検討および講習会の運営に携わっており、その知見を基に障害者スポーツの講義を展開する。	
		研究法概論	後藤 純信		3	1		15	日本脳神経外科学会 専門医日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術に関する以下の実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「研究法概論」の講義を展開する。	

授業科目の名称			教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目	
					必修	選択			
		研究法演習	原 麻理子		3	1	30	資格:認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士 臨床や大学院で研究および研究指導の経験あり。研究指導の経験を活かした授業を展開する。	
		卒業研究	大内田 博文		4		4	120	資格:言語聴覚士 実務経験等:言語聴覚士として医療機関における言語聴覚障害のリハビリテーションや研究に携わる。医療機関等において言語聴覚士の知識、技術に関する実務経験を有し研究を実践しており、その経験を生かし、研究を指導していく。
		作業療法管理学	石橋 英恵		4	1		15	作業療法士として施設・医療機関・教育機関などの業務に携わる。 作業療法の実務経験を有しており、その経験を活かし教授する。
		作業療法教育学	日田 勝子		3	1		15	作業療法士として施設・医療機関・教育機関などの業務、研究に携わる。 作業療法の実務経験を有しており、その経験を活かし教授する。
		作業療法評価学概論	原 麻理子	2		1		15	認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士の資格を持つ。また急性期と回復期を併せ持つ医療機関、および生活期の地域活動支援センターにおいて、作業療法の実務経験あり。 実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。その中で、作業療法評価における面接、観察、情報収集、検査測定、および統合と解釈の実際を伝える。
専門 専		作業療法評価学各論	吉田 亮平	2		1		30	作業療法士病院での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら講義を展開する
		作業療法評価学演習	日田 勝子	2				30	作業療法士として発達領域および精神領域での実務経験あり病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながらオムニバス担当教員が講義を展開する。
		基礎運動機能評価法	松野 豊	2		1		30	作業療法士急性期から回復期の病院、訪問リハ等にて作業療法士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「基礎運動機能評価法」の講義を展開する。
		生活機能評価法	長谷 麻由	2		1		30	作業療法士・福祉用具プランナー急性期総合病院・行政において作業療法士および福祉用具プランナーの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら「生活機能評価法」の講義を展開する。
		上肢機能評価法	吉田 亮平	2		1		15	作業療法士身体障害分野での作業療法士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を活かし、上肢機能評の役割とその評価法について展開する。
		高次脳機能評価法	原 麻理子	2		1		15	認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士の資格を持つ。また急性期と回復期を併せ持つ医療機関、および生活期の地域活動支援センターにおいて、高次脳機能障害に対する作業療法の実務経験あり。 実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。その中で高次脳機能障害の症状と作業療法の実際を伝える。
		作業療法諸理論	長谷 麻由	2	3	4	1	15	作業療法士作業療法士の知識・技術を有しており、その知見を活かし、各分野で使用される理論の背景と臨床との関係について授業を展開する。
		作業療法適用学概論	原 麻理子	2		1		15	認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士の資格を持つ。また急性期と回復期を併せ持つ医療機関、および生活期の地域活動支援センターにおいて、作業療法の実務経験あり。 実務経験を活かし、事例を含めた授業を展開する。
		内科系疾患作業療法学	松野 豊		3	1		30	資格:作業療法士急性期から回復期の病院、訪問リハ等にて作業療法士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「内科系作業療法学」の講義を展開する。
		運動器疾患作業療法学	長谷 麻由		3	1		30	作業療法士急性期総合病院・行政において作業療法士・福祉用具プランナーの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら「運動器疾患作業療法学」の講義を展開する。
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ(総論)	原 麻理子		3	1		30	認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士の資格を持つ。また急性期と回復期を併せ持つ医療機関、および生活期の地域活動支援センターにおいて、中枢神経疾患に対する作業療法の実務経験あり実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。その中で、片麻痺の治療、生活動作の指導、環境調整における臨床の実際を伝える。
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ(各論)	松野 豊		3	1		30	作業療法士作業療法士の知識・技術に関する実務経験臨床経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「中枢神経障害作業療法学Ⅱ(各論)」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
		中枢神経疾患作業療法学Ⅲ(特論)	原 麻理子		3	4	1	15	認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士の資格を持つ。また急性期と回復期を併せ持つ医療機関、および生活期の地域活動支援センターにおいて、中枢神経疾患に対する作業療法の実務経験あり。 実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。その中で、脳血管障害や外傷性脳損傷に対する作業療法の実際を伝える。
		精神疾患作業療法学Ⅰ(総論)	韓 旻熙		3	1		30	作業療法士精神科病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
		精神疾患作業療法学Ⅱ(各論)	韓 旻熙		3	1		30	作業療法士精神科病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
		精神疾患作業療法学Ⅲ(特論)	韓 旻熙		3	4	1	15	大学病院の神経精神科の作業療法士として実務経験を有している。病院において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
		小児作業療法学Ⅰ(総論)	日田 勝子		3	1		30	作業療法士として小児領域における施設・医療機関・教育機関などの業務、研究に携わる。 発達障害に関する作業療法の実務経験を有しており、その経験を活かし、発達障害の基礎的知識を教授する。
		小児作業療法学Ⅱ(各論)	日田 勝子		3	1		30	作業療法士として小児領域における施設・医療機関・教育機関などの業務、研究に携わる。発達障害に対する作業療法の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、発達障害の作業療法について教授する。
		小児作業療法学Ⅲ(特論)	日田 勝子		3	4	1	15	作業療法士として小児領域における施設・医療機関・教育機関などの業務、研究に携わる。 発達障害に対する作業療法の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、発達障害の作業療法について教授する。
		老年作業療法学	韓 旻熙		3	1		30	作業療法士として、総合病院および大学病院にて幅広い領域の実務経験を有している。実務経験に基づくコメントや事例紹介を含めた授業を展開する。
		認知障害作業療法学	原 麻理子		3	1		30	認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士の資格を持つ。また急性期と回復期を併せ持つ医療機関、および生活期の地域活動支援センターにおいて、中枢神経疾患に対する作業療法の実務経験あり。 実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。その中で高次脳機能障害の症状と作業療法の実際を伝える。

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数 必修 選択		時間	実務経験のある教員等による授業科目
学 科 目	作業療法応用学概論	原 麻理子		4	1	15	作業療法士として、病院、施設、地域等で様々な作業療法の実務経験あり。各専門領域の実務経験を生かした授業を展開する。
	就学・就労支援論	原 麻理子	3		1	15	認定作業療法士 高次脳機能障害専門作業療法士の資格を持つ。また急性期、回復期の病院および生活期の地域活動支援センターにおいて、復学、復職、就労支援の実務経験あり。実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。医療機関や障害福祉サービス事業所における復学・就労支援、復職・就労支援の実態を伝える。
	生活技術学Ⅰ（総論）	長谷 麻由	3		1	30	作業療法士・福祉用具プランナー急性期総合病院・行政において作業療法士および福祉用具プランナーの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら「生活技術学Ⅰ」の講義を展開する。
	生活技術学Ⅱ（各論）	長谷 麻由	3		1	30	作業療法士・福祉用具プランナー急性期総合病院・行政において作業療法士および福祉用具プランナーの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら講義を展開する。
	コミュニケーション技術論	松野 豊	3		1	30	作業療法士作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては実例等を挙げながら講義を展開する。
	職業関連技術学	原 麻理子	3	4		15	認定作業療法士、高次脳機能障害専門作業療法士の資格を持つ。また急性期と回復期を併せ持つ医療機関、および生活期の地域活動支援センターにおいて作業療法の実務経験あり。実務経験を生かし、事例を含めた授業を展開する。その中で復職支援や就労支援における作業療法士の役割を伝える。
	地域生活作業療法論	石橋 英恵	3		1	15	作業療法士作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、オムニバス担当教員と共に講義を展開する
	地域ケアシステム論	石橋 英恵	3		1	15	作業療法士地域社会での作業療法士の知識を有しており、その経験を活かし、地域におけるケアシステムについての授業を展開する。
	地域生活支援論	石橋 英恵	3		1	15	作業療法士医療施設での作業療法士の知識と技術を有しており、その経験を活かし、地域生活への移行とその継続に関する授業を展開する。
	地域生活支援演習	石橋 英恵	3		1	30	作業療法士地域施設での作業療法士の知識・技術を有しており、その経験を活かし、地域における作業療法の実践について演習を企画する。
	障害代償学概論	松野 豊	2		1	15	作業療法士障害児・高齢者施設等での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する。
	義肢適用論	長谷 麻由	3		1	15	作業療法士総合病院や地方自治体での作業療法士としての実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する
	装具・副子適用論	吉田 亮平	3		1	30	作業療法士病院での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する
	自助具・福祉機器適用論	長谷 麻由	3		1	30	作業療法士急性期総合病院・行政において作業療法士・福祉用具プランナーの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら講義を展開する。
	住環境整備論	松野 豊	3		1	15	作業療法士施設等での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する。
	バリアフリー論	松野 豊	2	3		15	作業療法士病院等での作業療法士の知識・技術に関する実務経験を有し、住環境コーディネーター2級も取得している。それらの経験を活かし事例等を取り入れながら、講義を展開する。
	作業療法総括論	日田 勝子		4	1	30	医師及び作業療法士の免許を保持し、各専門分野での実務経験を有している施設等において作業療法士として知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実例等を挙げながらオムニバス担当教員と解説を含めた講義を展開する。
	基礎実習	長谷 麻由	1		1	45	総合病院や地方自治体などでの作業療法士として実務経験あり総合病院や地方自治体などでの作業療法士の知識・技術を有しており、その経験を活かし、医療・福祉施設や地域社会における作業療法の実践について実習を企画する。
	検査実習	松野 豊	2		1	45	資格：作業療法士臨床経験：病院にて身体障害者領域に対する作業療法の実務経験あり。実務経験を生かし、他教員と共に臨床的応用技術を含めた指導を展開する。
	地域作業療法実習	韓 旻熙	3		1	45	作業療法士地域施設での作業療法士の知識・技術を有しており、その経験を活かし、地域における作業療法の実践について実習を企画する。
	評価実習	永井 良治	3		3	135	資格：理学療法士実務経験等：理学療法士として医療機関、介護保険領域施設における臨床業務に携わる。指導教員は 臨床実習指導者講習会を受講済みである。医療機関等において理学療法の知識、技術に関する実務経験を有しており、臨床経験を踏まえた実習指導を行う。
	総合実習	原 麻理子		4	18	810	作業療法士として、病院や施設等での作業療法の実務経験あり。実務経験を生かし、実例等を挙げながらオムニバス担当教員が指導を展開する。

卒業要件単位数	126	単位
実務経験のある教員等による授業科目	138	単位

授業科目の名称			教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
								必修	選択		
人間系		文学論	山内 則史	1	2	3	4		2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		死生学－死を通して生を考える	大園 康文	1	2	3	4		2	30	VOD担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
		演劇論	山内 則史	1	2	3	4		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		コミュニケーション概論	中島 薫	1	2	3	4		2	30	資格：臨床心理士、公認心理師経歴・講義について：病院等において臨床心理士として対人支援の知識・技術に関する実務経験を有する。対人援助職業成に関わる教育機関での講義や、援助職を対象とした研修実施も行っている。実務経験を活かし、講義の中で実際の援助場面について具体例を挙げながら理解を深めるための講義を展開する。
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1	2	3	4		2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		宗教学	東海林 良昌	1	2	3	4		2	30	1997年4月雲上寺副住職（2023年3月まで）2010年4月全国浄土宗青年会常務理事（2012年3月まで）、同4月浄土宗総合研究所研究員、2011年4月佛教大学非常勤講師（2019年まで）、2012年4月全国浄土宗青年会監事（2014年3月まで）、2013年4月全国浄土宗青年会参与（2015年3月まで）介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、2015年4月全日本仏教青年会理事長（2017年3月まで）、2017年5月世界仏教徒青年連盟ネパール地震支援奨学金支援特別委員会委員長（2019年5月まで）、2017年5月世界仏教徒連盟副事務総長、同5月全日本仏教会WFB日本センター委員、2018年4月正力松太郎賞奨励賞受賞、2019年4月全国介護者支援団体連合会運営委員、2019年11月浄土宗宗議会議員、2020年4月上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、同4月坂総合病院倫理委員、同4月お寺での介護者カフェ推進員、2022年5月世界仏教徒連盟人道支援委員会委員長、同4月全国介護者支援団体連合会副代表、2023年4月雲上寺住職、同4月塩壺市社会福祉協議会理事。世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩壺市社旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
		教育学	木田 竜太郎	1	2	3	4		2	30	高等学校（サポート校・フリースクール）講師としての実務経験を有する。理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
総合教育科目	社会系	経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4		2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	福井 譲		2	3	4	1		15	アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナム等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	福井 譲		2	3	4	1		45	アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナム等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4		2	30	日本脳神経外科学会 専門医<経歴>講義について<学歴>学歴：平成6年（1994）5月14日<医国>ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程修士（科学）取得平成7年（1995）9月30日<医国>大学大学院医学系研究科外科系専攻修士課程修士（医学）取得平成4年（1992）10月1日<医国>ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員会委員長平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修健康相談センター業務大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	戸田 修二	1				1		30	臨床検査技師各教員が実務経験に基づき授業展開する。
自然・情報系		統計学	上野 民生		2				2	30	特許取得（臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム）3編大学病院における精度管理システムの開発データ処理の基礎を講義する。実務において必要な統計技術の習得から、多変量解析を用いた特許技術へ繋がる様々なデータ解析方法を講義する。
		データリテラシー	上野 民生	1					1	30	特許取得（臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム）3編大学病院における精度管理システムの構築データ解析の基礎をExcel、Wordを用いて習得する。これを基に解析結果のプレゼンテーション方法習得を目指し講義を展開する。
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	家入 一郎	1					1	30	大学病院、臨床検査関連企業での実務経験を有する。実務経験にもとづき、講義内容と臨床検査の関連について適宜コメント等行う。
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	上野 民生		2	3	4		1	30	特許取得（臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム）3編大学病院における精度管理システムの構築AIの基礎的理解をExcel、Accessを用いて習得する。10万件以上のビッグデータへのアプローチ方法習得およびプログラミングによるシステム開発を目指し講義を展開する。

授業科目の名称			教員名	配当年次			単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
							必修	選択		
総合系	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	上野 民生	2	3	4	1	30	特許取得（臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム）3編 大学病院における精度管理システムの構築多変量解析である主成分分析、判別分析を基礎とし、様々なビッグデータへのアプローチについて学習する。AIである機械学習および深層学習を用いて多変量解析が可能なAIシステム開発を目指し講義を展開する。		
	基礎生物学	牛島 美保	1			2	30	臨床検査技師 専門知識を習得するための前段階として、臨床検査技師の実務経験を踏まえた基礎的な講義を展開する。		
	基礎化学	矢口 貴博	1			1	30	薬剤師・保険薬剤師薬剤師・保険薬剤師の経験を通して感じた基礎学力の大切さを教える		
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	戸田 修二	1			1	30	大学病院、臨床検査関連企業での実務経験を有する。 実務経験にもとづき、講義内容と臨床検査の関連について適宜コメント等行う。		
	メディカルマナー入門	橋本 光康	1	2	3	4	2	30	別府美知子：マナー・プロトコルの実務経験：航空会社国際線客室乗務員として勤務していた経験により、最上級の日本式おもてなしを習得しており、世界各地の滞在経験により各国のマナー・プロトコルにも精通している。医療機関での実務経験：8年半にわたり、各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等実務経験別府美知子：国際線客室乗務員時代に身に着けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。	
	医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1	2	3	4	1	15	平島ユイ子：科目責任者、担当者は、言語聴覚士の免許を有し、20年以上特別支援教育機関での経験を有し、福岡山王病院や国際医療福祉大学病院、言語聴覚センターでの実務経験を有する。実務経験を活かして授業を展開する	
	実用英会話	脇坂 多恵	2			1	30	海外コーディネーターとして放送局にて勤務経験国際交流事業のサポートなど上記の経験より、コミュニケーションを成り立たせるためにはリスニング能力、基本的な英語の構文や各国の文化的な知識が必要と考えている。基礎を固めながら、実用的な英会話能力を高めていけるよう教授していく。また、海外での生活、ホームステイ、寮生活などについても自らの体験をもとに、具体的に例を提示し指導を行う。		
	実用韓国語会話	新納 さおり	2			1	30	企業の契約関係書類、映像字幕の翻訳、通訳の経験がある。自らの韓国語学習体験や日韓対照研究を通して、両言語の違いを熟知している。日本語ネイティブが韓国語を学ぶ際、どんなところに注意を払う必要があるのか理解し、的確に教えることができる。ソウルでの留学経験から、正確な標準語を教えることができ、現地の大学で外国人に対する韓国語教育課程を修了したため、体系的に教えることができる。翻訳・通訳の実務経験もあり、基礎から応用まで幅広く対応できる。		
	外国語系	公衆衛生学	上野 民生	2			1	30	臨床検査技師・認定臨床微生物検査技師・ICMT病院等において臨床検査技師および認定臨床微生物検査技師・ICMTの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「公衆衛生学」の講義を展開する。	
		臨床心理学概論	稲吉 真美子	1	2	3	4	2	30	公認心理師・臨床心理士として、精神科・心療内科、自治体・教育機関での実務経験を有する。病院でのカウンセリング・心理検査、自治体での発達・教育相談の臨床経験を生かし、「臨床心理学概論」の講義を展開する。
救急医学		後藤 純信	1	2	3	4	1	15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。	
関連職種連携論		日高 陵好	2			2	30	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ほか各専門職の有資格者が臨床経験をともにに講義を行う。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。		
関連職種連携ワーク		佐藤 謙一		3		1	30	各専門職（薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の有資格者が臨床経験をともににグループワークにおけるチューターを担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。		
関連職種連携実習		永井 良治			4	1	45	各職種の経験豊富な指導者が指導を担当する。実習施設の各専門職の豊富な実務経験から実習指導を受けることで、生きた学習ができる。連携論、連携ワークで学んだIPEを活かし、保健医療福祉に携わる専門職として、IPCに必要なコンピテンシーを学修する。		
解剖学Ⅰ（総論）		北口 恭規	1			1	30	医学部での解剖学・組織学・細胞生物学・発生学の講義経験。機能形態学的視点を踏まえた授業		
解剖学Ⅱ（各論）		北口 恭規	1			1	30	医学部での解剖学・組織学・細胞生物学・発生学の講義経験。機能形態学的視点を踏まえた授業		
解剖組織学実習		草場 耕二	1			1	45	臨床検査技師病院等において臨床検査技師および国際細胞検査士の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「解剖組織学実習」の講義を展開する。		
食品栄養学		船島 由美子			4	2	30	臨床検査技師・健康食品管理士・二級臨床病理技術士（細菌学） 病院等において臨床検査技師および二級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、実際の事例など取り入れながら「食品栄養学」の講義を展開する。		
生理学		牛島 美保	1			1	30	臨床検査技師病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「生理学Ⅰ（植物性機能）」の講義を展開する。		
病理学		戸田 修二	1			1	30	病理学領域の専門職として活動する経験豊かな教員が講義を担当する臨床現場における病理学領域の豊富な経験を基盤にした実践的な授業を展開する		
臨床医学概論		後藤 純信	1			1	30	科目担当責任者は脳神経外科専門医、臨床神経生理(脳波、筋電図・神経伝導)専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経疾患患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。		
内科学		平井 祐治	2			2	30	久留米大学病院、高木病院等において内科学・循環器内科学の知識・技術に関する実務経験を有している。実務経験を生かし、授業においては、実際の症例の重要点など取り入れながら「内科学Ⅰ」の講義を展開する。		

授業科目の名称			教員名			配当年次			単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
									必修	選択		
専門教育科目	専門教育科目	遺伝学	佐藤 謙一	1					1		30	臨床検査技師、一級遺伝子分析科学認定士、認定臨床染色体遺伝子検査師大学病院の遺伝子検査部門にて10年間担当していた。また、一級遺伝子分析科学認定士の知識・技術を有している。これらの背景をもとに講義を進行していく。
		分析化学	矢口 貴博	1					1		30	薬剤師・保険薬剤師薬剤師・保険薬剤師の経験を通して感じた基礎学力の大切さを教える
		生化学	矢口 貴博	1					1		30	薬剤師・保険薬剤師薬剤師・保険薬剤師の経験を通して感じた基礎学力の大切さを教える
		生化学実習	矢口 貴博	1					1		45	薬剤師・保険薬剤師薬剤師・保険薬剤師としての経験から、医療人に求められている知識を有している
		医用工学・情報概論	佐藤 謙一	1					1		30	臨床検査技師、修士（工学） 修士（工学）をバックグラウンドとし、授業はその経験をもとに実施する。医用工学の担当歴は10年になる。
		医用工学・情報実習	佐藤 謙一		2				1		45	臨床検査技師、修士（工学） 修士（工学）をバックグラウンドとし、授業はその経験をもとに実施する。医用工学の担当歴は10年になる。
		検査機器学・情報システム学総論	佐藤 謙一			3			2		30	草場：臨床検査技師佐藤：臨床検査技師、修士（工学）病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「検査機器学・情報システム学総論」の講義を展開する。
		保健機能食品学	佐藤 謙一				4			1	30	臨床検査技師実際の事例などを取り入れながら「健康食品学」の講義を展開する。
		食の安全管理学	森山 良太			3				1	30	臨床検査技師・健康食品管理士健康食品管理士としての学会活動や臨床検査技師の実務経験や知識を活かし、授業においては、実際の事例などを取り入れながら、「保健機能食品学」の講義を展開する。
	専門科目	病理検査学	坂梨 史典		2				2		30	臨床検査技師、細胞検査士、国際細胞検査士、二級臨床検査士(病理)、認定病理検査技師を取得。病院病理部門の業務(病理検査、細胞診、剖検)について20年の経験を持つ。病院等において病理細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、実際の事例や最新のトピックスなどを取り入れながら「病理検査学」の講義を展開する。
		病理検査学実習Ⅰ（基礎）	坂梨 史典		2				1		45	臨床検査技師、細胞検査士、国際細胞検査士、二級臨床検査士(病理)、認定病理検査技師を取得。病院病理部門の業務(病理検査、細胞診、剖検)について20年の経験を持つ。病院等において病理細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、実際の臨床現場の知識や技術などを取り入れながら、「病理検査学実習Ⅰ（基礎）」を展開する。
		病理検査学実習Ⅱ（応用）	坂梨 史典			3				1	45	臨床検査技師、細胞検査士、国際細胞検査士、二級臨床検査士(病理)、認定病理検査技師を取得。病院病理部門の業務(病理検査、細胞診、剖検)について20年の経験を持つ。病院等において病理細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、実際の臨床現場の知識や技術などを取り入れながら、「病理検査学実習Ⅱ（応用）」を展開する。
		細胞診断検査学	坂梨 史典		2				2		30	臨床検査技師、細胞検査士、国際細胞検査士、二級臨床検査士(病理)、認定病理検査技師を取得。病院病理部門の業務(病理検査、細胞診、剖検)について20年の経験を持つ。病院等において病理組織診・細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、実際の事例や最新のトピックスなどを取り入れながら「細胞診断検査学」の講義を展開する。
		細胞検査学実習	坂梨 史典		2					1	45	臨床検査技師、細胞検査士、国際細胞検査士、二級臨床検査士(病理)、認定病理検査技師を取得。病院病理部門の業務(病理検査、細胞診、剖検)について20年の経験を持つ。病院等において病理細胞診検査の実務経験を持っており、その経験を活かし、実際の臨床現場の知識や技術などを取り入れながら「細胞検査学実習」を展開する。
		血液検査学Ⅰ（基礎）	澁田 樹	1					2		30	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「血液検査学Ⅰ（基礎）」の講義を展開する。
		血液検査学Ⅱ（臨床）	澁田 樹		2				2		30	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「血液検査学Ⅱ(臨床)」の講義を展開する。
		血液検査学実習Ⅰ（形態検査）	澁田 樹		2					1	45	臨床検査技師 病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「血液検査学実習Ⅰ（形態検査）」の実習を展開する。
		血液検査学実習Ⅱ（分析検査）	澁田 樹		2					1	45	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「血液検査学実習Ⅱ（分析検査）」の実習を展開する。
		一般検査学Ⅰ（分析）	東 靖之	1					2		30	臨床検査技師 病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「一般検査学Ⅰ(分析)」の講義を展開する。
		一般検査学Ⅱ（形態）	草場 耕二		2				2		30	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「一般検査学Ⅱ（形態）」の講義を展開する。
		一般検査学実習Ⅰ（分析）	東 靖之		2					1	45	臨床検査技師 病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「一般検査学実習Ⅰ(分析)」の講義を展開する。
		一般検査学実習Ⅱ（形態）	草場 耕二		2					1	45	臨床検査技師 病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「一般検査学実習Ⅰ(分析)」の講義を展開する。
		臨床化学検査学Ⅰ（総論）	東 靖之		2				2		30	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「臨床化学検査学Ⅰ(総論)」の講義を展開する。
		臨床化学検査学Ⅱ（各論）	東 靖之		2				2		30	臨床検査技師授業においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら講義を展開する。
		臨床化学検査学実習	矢口 貴博			3			1		45	薬剤師・保険薬剤師薬剤師としての実務経験を有している。実習においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら展開する。
		遺伝子検査学	佐藤 謙一		2				2		30	臨床検査技師、一級遺伝子分析化学認定士、認定臨床染色体遺伝子検査師大学病院の遺伝子検査部門にて10年間担当していた。また、一級遺伝子分析科学認定士および認定臨床染色体遺伝子検査師の知識・技術を有している。これらの背景をもとに講義を進行していく。
		遺伝子検査学実習	佐藤 謙一			3				1	45	臨床検査技師、一級遺伝子分析化学認定士、認定臨床染色体遺伝子検査師大学病院の遺伝子検査部門にて10年間担当していた。また、一級遺伝子分析科学認定士および認定臨床染色体遺伝子検査師の知識・技術を有している。これらの背景をもとに実習を進行していく。
		分子病態検査学演習	矢口 貴博			3				1	30	薬剤師・保険薬剤師薬剤師としての実務経験を有している。実習においては、実例や現場の課題などを題材として取り入れながら展開する。

授業科目の名称			教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
								必修	選択		
専門教育科目	専門科目	微生物検査学Ⅰ（総論）	永沢 善三	1				2		30	臨床検査技師・一級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および一級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「微生物学Ⅰ」の講義を展開する。
		微生物検査学Ⅱ（各論）	永沢 善三	1				2		30	臨床検査技師・一級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および一級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「微生物学Ⅱ」の講義を展開する。
		微生物学実習Ⅰ（基礎）	永沢 善三		2			1		45	臨床検査技師・一級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および一級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「微生物学実習Ⅰ」の講義・実習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
		微生物学実習Ⅱ（応用）	永沢 善三		2			1		45	臨床検査技師・一級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および一級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「微生物学実習Ⅱ」の講義・実習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
		医動物検査学演習	船島 由美子			3		1		30	臨床検査技師・二級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および二級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、実際の事例など取り入れながら「医動物検査学」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
		免疫検査学	小荒田 秀一		2			2		30	医師、日本内科学会総合内科認定医・専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本リウマチ学会認定ソノグラファー、日本リウマチ財団登録医、医学博士（免疫学分野）、難病指定医、日本臨床免疫学会免疫療法認定医、日本感染症学会インフェクションコントロール・ドクター（ICD）病院等医療機関における実臨床の経験を通じた実践的指導教育を展開し、また、ベットサイドからベンチへのリバース・トランスレーション・リサーチを目指した授業内容へ展開していく
		輸血検査学	森山 良太		2			2		30	臨床検査技師・緊急臨床検査士（5年間）、輸血検査学に関する研究（8年間）臨床検査技師および緊急臨床検査士の知識・技術に関する実務経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら輸血検査に関する講義を展開する。
		免疫検査学実習	小荒田 秀一		2			1		45	医師、日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本リウマチ学会認定ソノグラファー、日本臨床免疫学会免疫療法認定医、難病指定医、リウマチ財団登録医、日本感染症学会認定ICD、医学博士（免疫学分野）病院等医療機関における実臨床の経験を通じた実践的指導教育を展開し、また、ベットサイドからベンチへのトランスレーション・リサーチを目指した実習内容へ展開していく
		輸血検査学実習	森山 良太			3		1		45	臨床検査技師・緊急臨床検査士（5年間）、輸血検査学に関する研究（9年間）臨床検査技師および緊急臨床検査士の知識・技術に関する実務経験等を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら輸血検査に関する講義を展開する。
		生理検査学Ⅰ（総論）	西之園 菜	1				2		30	資格：臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「生理検査学Ⅰ（総論）」の講義を展開する。
		生理検査学Ⅱ（各論）	西之園 菜		2			2		30	資格：臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「生理検査学Ⅱ（各論）」の講義を展開する。
		生理検査学実習Ⅰ（基礎）	西之園 菜		2			1		45	資格：臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「生理検査学実習Ⅰ（基礎）」の実習を展開する。
		生理検査学実習Ⅱ（応用）	西之園 菜		2			1		45	臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「生理検査学実習Ⅱ（応用）」の実習を展開する。
		超音波画像検査学	西之園 菜			3		2		30	資格：臨床検査技師病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「超音波画像検査学」の講義を展開する。
		超音波検査学実習	西之園 菜			3		1		45	資格：臨床検査技師病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、実習においては、実際の事例など取り入れながら「超音波検査学実習」の実習を他担当教員と一緒に展開する。
		検査学入門	東 靖之	1				1		30	臨床検査技師病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「検査学入門」の実習を展開する。
		精度管理学	上野 民生			3		2		30	資格：臨床検査技師実務経験等：臨床検査技師として医療機関における検査業務、研究に5年携わる。病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を活かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「精度管理学」の講義を展開する。
		検査管理運営学	草場 耕二				4	2		30	臨床検査技師部長、医療技術部統括事務長、ISO取得プロジェクトリーダー医療機関における財務管理・人材管理、ISO15189認定ならびにISO9001承認取得への展開
		臨床検査統計学	上野 民生			3		2		30	特許取得（臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム）3編大学病院における臨床検査精度管理システムの構築単変量解析を基礎として多変量解析である主成分分析、判別分析、因子分析などの理解を深め、これらを基に特許技術を含めた実務への応用について講義を展開する。
		臨床検査医学総論	小荒田 秀一			3		2		30	資格：医師・日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医、専門医機構認定リウマチ専門医、感染症コントロール・ドクター（ICD）、日本臨床免疫学会認定免疫療法認定医、リウマチソノグラファー実務経験等：医師として診療および研究に携わる。内科専門医としての知識、および診療と免疫学研究の実務経験を生かし、実例や最新の知見を取り入れながら講義を展開する。
		医療安全管理学	船島 由美子				4	1		15	臨床検査技師・二級臨床病理技術士（細菌学）病院等において臨床検査技師および二級臨床病理技術士（細菌学）の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、実際の事例など取り入れながら「医療安全管理学」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。

授業科目の名称			教員名	配当年次				単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
								必修	選択		
		医学検査特論Ⅰ（応用）	上野 民生				4	2		60	資格：臨床検査技師病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「医学検査特論Ⅰ」の講義・演習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
		医学検査特論Ⅱ（発展）	東 靖之				4		1	30	資格：臨床検査技師、他病院等において臨床検査技師等の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例などを取り入れながら「医学検査特論Ⅱ」の講義・演習をオムニバス担当教員と一緒に展開する。
		臨地実習	矢口 貴博			3		12		360	薬剤師・保険薬剤師薬剤師・保険薬剤師としての経験から、医療人に求められている知識を有している
		総合病態学演習	矢口 貴博			3		2		60	薬剤師・保険薬剤師薬剤師・保険薬剤師の経験を通して感じた基礎学力の大切さを教える
		移植検査学	澁田 樹			3		1		15	大学病院の輸血・移植検査部門にて6年間業務を担当した。病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「移植検査学」の講義を展開する。
		シミュレーション医学検査演習	東 靖之		2			1		30	臨床検査技師 病院等において臨床検査技師およびの知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては実際の事例など取り入れながら「シミュレーション医学検査演習」の講義を展開する。
		先端臨床検査学	澁田 樹				4		1	15	臨床検査技師病院等において臨床検査技師の知識・技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かし、授業においては、実際の事例など取り入れながら「先端臨床検査学」の講義をオムニバス担当教員と一緒に展開する。

卒業要件単位数	128	単位
実務経験のある教員等による授業科目	143	単位

授業科目の名称		教員名	配当年次	単位数		時間	実務経験のある教員等による授業科目
				必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	山内 則史	1 2 3 4		2 30	新聞記者として演劇を担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
		死生学 一死を通して生を考える	大園 康文	1 2 3 4		2 30	VOD担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
		演劇論	山内 則史	1 2 3 4		1 15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
		コミュニケーション概論	中島 薫	1 2 3 4		2 30	資格：臨床心理士、公認心理師経験・講義について：病院等において臨床心理士として対人支援の知識・技術に関する実務経験を有する。対人援助職養成に関わる教育機関での講義や、援助職を対象とした研修実施も行っている。実務経験を活かし、講義の中で実際の援助場面について具体例を挙げながら理解を深めるための講義を展開する。
		雑談と傾聴へ話す力と聴く力へ	中野 真也	1 2 3 4		2 30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
		宗教学	東海林 良昌	1 2 3 4		2 30	1997年4月雲上寺副住職（2023年3月まで）2010年4月全国浄土宗青年会常務理事（2012年3月まで）、同4月浄土宗総合研究所研究員、2011年4月佛教大学非常勤講師（2019年まで）、2012年4月全国浄土宗青年会監事（2014年3月まで）、2013年4月全国浄土宗青年会参与（2015年3月まで）介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、2015年4月全日本仏教青年会理事長（2017年3月まで）、2017年5月世界仏教徒青年連盟ナール地震支援奨学金支援特別委員会委員長（2019年5月まで）、2017年5月世界仏教徒連盟副事務総長、同5月全日本仏教会WFB日本センター委員、2018年4月正力松太郎賞奨励賞受賞、2019年4月全国介護者支援団体連合会運営委員、2019年11月浄土宗宗議会議員、2020年4月上智大学グリーフケア研究所グリーフケア人材養成講座講師、同4月坂総合病院倫理委員、同4月お寺での介護者カフェ推進員、2022年5月世界仏教徒連盟人道支援委員会委員長、同4月全国介護者支援団体連合会副代表、2023年4月雲上寺住職、同4月塩壠市社会福祉協議会理事。世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーフケア研究所グリーフケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩壠市社旗福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のこころに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
		教育学	木田 竜太郎	1 2 3 4		2 30	高等学校（サポート校・フリースクール）講師としての実務経験を有する。理論と実務（実際）をバランスよく学べるよう努めたい。
社会系		経済の仕組み	光山 奈保子	1 2 3 4		2 30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことにも自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	福井 譲	2 3 4	1	15	アメリカ ロマリング大学で学士・修士修得。作業療法士。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア、フィリピン等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	石橋 英恵	2 3 4	1	45	アメリカ ロマリング大学で学士・修士修得。作業療法士。アジア太平洋地域作業療法グループ役員。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		国際医療福祉論	後藤 純信	1 2 3 4		2 30	資格：日本脳神経外科学会 専門医日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医経歴・講義について：学歴：平成6年(1994)5月14日 福岡県 九州大学シカゴ医学部大学院科学修士課程修士（科学）取得平成7年(1995)9月30日 四州大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了 博士（医学）取得平成4年(1992)10月1日 福岡県 九州大学医学部神経内科学講座客員研究員平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員長平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務大学や病院等で医師（脳神経外科・臨床神経生理）の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。
専門教育科目	専門基礎（学部共通）	臨床心理学概論	稲吉 真美子	2 3 4		2 30	公認心理師・臨床心理士として、精神科・心療内科、自治体・教育機関での実務経験を有する。病院でのカウンセリング・心理検査、自治体での発達・教育相談の臨床経験を生かし、「臨床心理学」の講義を展開する。
		救急医学	後藤 純信	2 3 4		1 15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
		老年学	岸 拓弥	2 3 4		1 30	循環器内科を専門とする内科学全般の高齢者診療に28年間従事してきた。教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。
		栄養学	緒方 智宏	1 2 3 4		1 15	資格：管理栄養士実務経験等；管理栄養士養成校での教育研究業務医療従事者として最低限備えておくべき栄養学について講義を行う
		臨床実習Ⅱ（総合）	西田 哲司	4	10	400	実習指導者は言語聴覚士免許の取得者であり、病院等で臨床5年以上の経験を有する。学生を直接的に指導する臨床実習指導者は、病院等での実務経験を活かし学生指導にあたる。科目担当責任者および科目担当者は、言語聴覚士養成教育において複数年の指導経験を有している。

卒業要件単位数	124	単位
実務経験のある教員等による授業	80	単位

授業科目の区	科目名	教員名	配当 年次						単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
									必修	選択		
人間系	文学論	山内 則史	1	2	3	4	5	6		2	30	新聞記者として文芸分野を10年間担当。記者時代の体験、過去の記事などを随時紹介する。新聞記事を使って、日々報じられる文学をリアルタイムで確認することで、社会の中にある文学の動向を意識しながら授業を展開する。
	演劇論	山内 則史	1	2	3	4	5	6		1	15	新聞記者として演劇を担当。取材体験と過去の記事を随時紹介し、日々の新聞に掲載される演劇記事でリアルタイムの動きを参照しながら授業を展開したい。
	心理学	藤枝 恵	1						2		30	精神科医師として、大学病院での研究経験、病院等での臨床経験、および大学等での講義経験を有する。これまでの実務経験をもとに、「心理学」の講義を行う。
	コミュニケーション概論	中島 薫	1						2		30	資格：臨床心理士、公認心理師経歴・講義について：病院等において臨床心理士として対人支援の知識・技術に関する実務経験を有する。対人援助職養成に関わる教育機関での講義や、援助職を対象とした研修実施も行っている。実務経験を活かし、講義の中で実際の援助場面について具体例を挙げながら理解を深めるための講義を展開する。
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	中野 真也	1	2	3	4	5	6		2	30	臨床心理士、公認心理師、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー・ファミリーセラピストとしての臨床・指導経験患者・家族の関係やコミュニケーションを扱う家族療法家として、実務経験を活かしたコミュニケーションの講義を行う
	宗教学	東海林 良昌	1	2	3	4	5	6		2	30	1997年4月雲上寺副住職(2023年3月まで)2010年4月全国浄土宗青年会常務理事(2012年3月まで)、同4月浄土宗総合研究所研究員、2011年4月佛教大学非常勤講師(2019年まで)、2012年4月全国浄土宗青年会監事(2014年3月まで)、2013年4月全国浄土宗青年会参与(2015年3月まで) 介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、2015年4月全日本仏教青年会理事長(2017年3月まで)、2017年5月世界仏教徒青年連盟ネパール地震支援奨学金支援特別委員会委員長(2019年5月まで)、2017年5月世界仏教徒連盟副事務総長、同5月全日本仏教会WFB日本センター委員、2018年4月正力松太郎賞奨励賞受賞、2019年4月全国介護者支援団体連合会運営委員、2019年11月浄土宗宗議会議員、2020年4月上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、同4月坂総合病院倫理委員、同4月お寺での介護者カフェ推進員、2022年5月世界仏教徒連盟人道支援委員会委員長、同4月全国介護者支援団体連合会副代表、2023年4月雲上寺住職、同4月塩竈市社会福祉協議会理事。世界仏教徒連盟等での国際経験、全日本仏教会WFB日本センター委員として他教団交流を深める中で諸宗教対話を学び、寺院住職、自坊での介護者カフェの主宰、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、全国介護者支援団体連合会副上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座講師、坂総合病院倫理委員、塩竈市社福祉協議会理事を務めながら、介護者支援、孤独孤立支援、人生の最終段階における医療について、宗教者として議論を重ねてきた経験を踏まえ、医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていきます。
	教育学	木田 竜太郎	1	2	3	4	5	6		2	30	高等学校(サポート校・フリースクール)講師としての実務経験を有する。理論と実務(実際)をバランスよく学べるよう努めたい。
	死生学－死を通して生を考える	大園 康文	1	2	3	4	5	6		2	30	VOD担当教員は、小児外科からがん治療、さらには緩和医療の臨床現場を経験しており、現在は在宅ケアを中心とした地域医療の実践から臨床死生学の実践を継続している。小児外科や障害者医療の経験からつらい人生を生きのびる知恵を語り、緩和医療や高齢者における終わりの人生の迎え方を語る。
	国際医療福祉論	後藤 純信	1	2	3	4	5	6		2	30	資格：日本脳神経外科学会 専門医日本臨床神経生理学会 脳波分野および神経伝導・筋電図分野 専門医経歴・講義について 学 歴：平成6年(1994)5月14日畿国ロヨラ大学シカゴ校医学部大学院科学修士課程修士(科学)取得平成7年(1995)9月30日西州大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了 博士(医学)取得平成4年(1992)10月1日畿国ロヨラ大学医学部神経内科学講座客員研究員平成20年4月より国際医療福祉大学九州地区 国際交流委員会委員長平成28年10月より国際医療福祉大学九州地区 国際研修 健康相談センター業務大学や病院等で医師(脳神経外科・臨床神経生理)の知識・技術と海外留学経験に関する実務経験を有しており、その経験を生かし授業においては実際事例などを織り交ぜて、「国際医療福祉論」の講義を展開する。

授業科目の区		科目名	教員名	配当 年次							単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
											必修	選択		
総合教育科目	社会系	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	石橋 英恵	2							1		15	アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナム等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	福井 謙	2							1		45	アメリカ ロマリンダ大学で学士・修士修得。作業療法士。アジア太平洋地域作業療法グループ役員。大川キャンパス国際交流委員長。海外保健福祉事情の授業運営に長く関わる。韓国、シンガポール、マレーシア等の豊富な海外研修引率業務経験を踏まえ、「海外保健福祉事情」の講義・実習を展開する。
		経済の仕組み	光山 奈保子	1	2	3	4	5	6			2	30	日本企業、外資系企業、及び内閣府にて、情報通信分野・男女共同参画のアナリストとして市場や政策の動向の分析に従事。海外での勤務経験や海外顧客等との交流を通じて、海外の人々が自分の専門分野以外のことに自分の意見を明確に持ち表現できることに衝撃を受けた。授業では、実務経験を通じて「世界標準の社会人としてこれだけは最低限知っておいてほしい」と感じた経済学の知識や考え方を取り上げる。また、双方向型授業によって自分の意見を表現するトレーニングを行い、世界標準の度胸を身につけることを目指す。
	自然・情報系	データリテラシー	上野 民生	1							1		30	特許取得（臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム）3編大学病院におけるシステム構築データ解析の基礎をExcel、Wordを用いて習得する。これを基に解析結果のプレゼンテーション方法習得を目指し講義を展開する。
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	上野 民生		2	3	4	5	6			1	30	特許取得（臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム）3編大学病院における精度管理システムの構築AIの基礎的理解をExcel、Accessを用いて習得する。10万件以上のビッグデータへのアプローチ方法習得およびプログラミングによるシステム開発を目指し講義を展開する。
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	上野 民生		2	3	4	5	6			1	30	特許取得（臨床検査値の精度管理、管理方法及び管理プログラム）3編 大学病院における精度管理システムの構築多変量解析である主成分分析、判別分析を基礎とし、様々なビッグデータへのアプローチについて学習する。AIである機械学習および深層学習を用いて多変量解析が可能なAIシステム開発を目指し講義を展開する。
	総合系	医療福祉教養講義	平島 ユイ子	1	2	3	4	5	6			1	15	平島ユイ子:科目責任者、担当者は、言語聴覚士の免許を有し、20年以上特別支援教育機関での経験を有し、福岡山王病院や国際医療福祉大学病院、言語聴覚センターでの実務経験を有する。実務経験を活かして授業を展開する
		メディカルマナー入門	橋本 光康	1	2	3	4	5	6			2	30	別府美知子:マナー・プロトコルの実務経験:航空会社国際線客室乗務員として勤務していた経験により、最上級の日本式おもてなしを習得しており、世界各地の滞在経験により各国のマナー・プロトコルにも精通している。医療機関での実務経験:8年半にわたり、各種医療従事者と協働し、患者様接遇、クレーム対応等実務経験別府美知子:国際線客室乗務員時代に身に付けた日本式おもてなしのマナー、世界のマナー・プロトコルの実体験を、グローバルな医療現場での接遇、社会人に必要なビジネスマナーを身につけるべく、講義・演習・ディスカッション等に活かしている。
		英語講読1(Primary)	林 千晶	1							1		30	・英国ロンドン大学教育研究大学院にてMA in TESOLを取得 ・英語教育歴26年以上(中学3か月・高校2年・大学24年)第二言語としての英語教授法(TESOL)の理論を活用し、より自律的で、活動的な学習を促す。
		英語講読2(Basic)	加藤 明子	2							1		30	・ロータリー財団奨学生として英国で「英語教育、カルチュラル・スタディーズ」の修士号を取得するかたわら、障がい者施設などで地域ボランティア活動に関わる・病院や療育施設などで医療通訳に従事・ビジネス文書翻訳や商談通訳、オンライン会議通訳多数・全国通訳案内士として通訳ガイドや旅程管理を担当・観光庁インバウンド研修認定講師(英語)英語教育やカルチュラル・スタディーズの知識を、実際の異文化コミュニケーションの場面で活用する 通訳技術を英語教育に活かし、実際の現場で「使える」英語の習得を目指す

授業科目の区	科目名	教員名	配当						単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
			年次						必修	選択		
外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	脇坂 多恵	1	2	3	4	5	6		1	30	病院、クリニックでの医療通訳ボランティア（7年目）、米国での生活の中の医療体験（8年）、病院・福祉施設で言語聴覚士として勤務（20年）授業説明などの通訳経験から実践的な英語を教えることができる。＜br＞米国での経験より日本と医療システムの違いなどを説明できる。＜br＞病院・福祉施設での勤務経験より、医療の流れを説明することができる。
	医学英語Ⅱ（応用）	脇坂 多恵	1	2	3	4	5	6		1	30	病院、クリニックでの医療通訳ボランティア（7年）、米国での生活の中の医療体験（約8年）、病院・福祉施設での言語聴覚士として勤務（20年）授業説明などの通訳経験から実践的な英語を教えることができる。＜br＞米国での経験より日本と医療システムの違いなどを説明できる。＜br＞病院・福祉施設での勤務経験より、医療の流れを説明することができる。＜br＞臨床での抄読会や学会発表の流れを教えることができる。
	実用韓国語会話	新納 さおり		2	3	4	5	6		1	30	企業の契約関係書類、映像字幕の翻訳、通訳の経験がある。自らの韓国語学習体験や日韓対照研究を通して、両言語の違いを熟知している。日本語ネイティブが韓国語を学ぶ際、どんなところに注意を払う必要があるのか理解し、的確に教えることができる。ソウルでの留学経験から、正確な標準語を教えることができ、現地の大学で外国人に対する韓国語教育課程を修了したため、体系的に教えることができる。翻訳・通訳の実務経験もあり、基礎から応用まで幅広く対応できる。
専門基礎科目	救急医学(救命救急を含む)	後藤 純信		2	3					1	15	科目担当責任者は脳神経外科専門医、脳卒中治療専門医として長年臨床医学に従事している。また、基礎医学研究者として、脳疾患における生理学的・薬理学的研究成果を数多く国際誌に発表している。脳神経外科患者の治療を通して得た経験と基礎医学領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生の皆さんに分かりやすく講義を行う。
	リハビリテーション概論	河野 健一	1	2	3	4	5	6		2	30	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を踏まえて、理学療法士の職能及び学術的な視点に加え、作業療法士及び言語聴覚士を含むリハビリテーション関連職種に関する職能及び学術的な視点についても授業を展開する。
	微生物と病気	多田納 豊	1	2	3	4	5	6		2	30	西村：病院薬剤師、感染制御専門薬剤師、インフェクションコントロールドクター 西村：医療機関における感染対策、加えて抗菌薬適正使用支援を授業で説明する。
	臨床心理学概論	藤枝 恵	1							2	30	精神科医師として、大学病院での研究経験、病院等での臨床経験、および大学等での講義経験を有する。これまでの実務経験をもとに、「臨床心理学概論」の講義を行う。
	関連職種連携論	日高 陵好		2						2	30	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ほか各専門職の有資格者が臨床経験をもとに講義を行う。病院や施設等に勤務する各専門職の有資格者の臨床経験を踏まえた講義を展開する。
	関連職種連携ワーク	佐藤 謙一			3					1	30	各専門職（薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の有資格者が臨床経験をもとにグループワークにおけるチューターを担当する。臨床現場における自職種の役割と多職種との関わり、連携を実務経験に基づき展開する。
	関連職種連携実習	永井 良治					5			1	45	各職種の経験豊富な指導者が指導を担当する。実習施設の各専門職の豊富な実務経験から実習指導を受けることで、生きた学習ができる。連携論、連携ワークで学んだIPEを活かし、保健医療福祉に携わる専門職として、IPCに必要なコンピテンシーを学修する。
	コミュニケーション実習	石田 卓巳		2						1	45	多様な実務経験（臨床薬剤師等）を有する薬剤師、法規・倫理の専門家、および情報収集・処理の専門家が実習を担当する。実務経験に基づいて社会で必要なコミュニケーションスキルを伝達し、また、キャリアデザイン作成において適切に助言する。コミュニケーションスキルを活かして多様な職場で活躍できるように実習を展開する。
専門教育科目	解剖生理学Ⅰ（器官系概論、神経系等）	倉岡 晃夫	1							2	30	医学部での解剖学・組織学・細胞生物学・発生学の講義経験（村田）脳神経内科医、臨床神経生理学教室にて脳波など神経系の研究に携わってきた（緒方）機能形態学的視点を踏まえた授業（村田）＜br＞臨床経験を踏まえ、包括的な内容の理解に務める（緒方）

授業科目の区	科目名	教員名	配当						単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
			年次						必修	選択		
専門科目	解剖生理学Ⅱ(循環器系、消化器系等)	緒方 勝也	2						2		30	緒方:脳神経内科医、臨床神経生理学教室にて脳波など神経系の研究に携わってきた梶岡(医師、歯科医師として、臨床経験30年以上、消化器、呼吸器、泌尿器を形成する重要な細胞である平滑筋研究に30年以上従事臨床経験を踏まえ、包括的な内容の理解に務める。
	がん薬物療法学	猪部 学	3						2		30	病院薬剤師としてレジメンの管理や抗癌剤調製、副作用の指導等を行った。(宗像)実務での経験を生かして講義を行う。(宗像)
	化学療法学	多田納 豊	3						2		30	西村:病院薬剤師、感染制御専門薬剤師、インフエクションコントロールドクター 西村:感染症治療の理論と実践、加えて抗菌薬適正使用を踏まえた抗菌化学療法について講義を行う。
	免疫学	猪部 学	3						2		30	太田昭一郎:資格:医師・臨床検査専門医実務経験等:医師として診療および基礎研究に携わる。太田昭一郎: 診療と免疫学研究の実務経験を生かし、実例や最新の知見を取り入れながら講義を展開する。
	疾病と病態生理学Ⅰ(神経精神系疾患、循環器系疾患等)	緒方 勝也	2						2		30	脳神経内科医、循環器内科医、泌尿器科医、薬剤師など多彩な各専門分野で豊富な臨床、研究経験を持つ医師、あるいは薬剤師としての臨床経験と各専門領域での研究から得た知見とを講義に取り入れ、学生に分かりやすく講義を行う。
専門教育科目	疾病と病態生理学Ⅱ(代謝系疾患、消化器系疾患等)	梶岡 俊一	2						2		30	梶岡:医師、歯科医師として、臨床経験30年以上、消化器、呼吸器、泌尿器を形成する重要な細胞である平滑筋研究に30年以上医療機関等において臨床処方などの知識、処方技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かすこと、また、研究においては、創薬、また新薬の薬剤機序の解明に努めており、授業においては、実例や現場の課題、研究経験などを題材として取り入れながら講義を展開する。
	薬理学Ⅳ(呼吸器薬理、内分泌薬理等)	窪田 香織	3						1		15	多様な実務経験(医師、病院薬剤師等)を有する教員が実習を担当する。薬理学的知識が社会においてどのように役立つか、実務経験に基づいて伝える。
	臨床検査医学	太田 昭一郎			4				2		30	資格:医師・臨床検査専門医実務経験等:医師として診療、臨床検査および基礎研究に携わる。診療と臨床検査部での実務経験を生かし、実例や最新の知見を取り入れながら講義を展開する。
	薬物治療学Ⅰ(神経精神系疾患、内分泌系疾患等)	緒方 勝也			4				2		30	多様な実務経験(医師、病院薬剤師等)を有する教員が実習を担当する薬物治療学の知識が社会においてどのように役立つか、実務経験に基づいて伝える。
	薬物治療学Ⅱ(循環器系疾患、呼吸器系疾患等)	齊藤 秀俊			4				2		30	梶岡:医師、歯科医師として、臨床経験30年以上、消化器、呼吸器、泌尿器を形成する重要な細胞である平滑筋研究に30年以上岸:循環器内科を専門とする内科学全般の診療に25年間従事平木:あり(病院薬剤師)西村:病院薬剤師、感染制御専門薬剤師、インフエクションコントロールドクター梶岡:医療機関等において臨床処方の知識、処方技術に関する実務経験を有しており、その経験を生かすこと、また、研究においては、創薬、また新薬の薬剤機序の解明に努めており、授業においては、実例や現場の課題、研究経験などを題材として取り入れながら講義を展開する。 岸:教科書に書いてあることだけではなく実務経験でのエピソードを交えながら実践的な授業内容を展開する。 平木:実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努める。また、教材に使用するシナリオも自身が経験した症例について説明を加える。 西村:感染症治療の実践とそれに関わる薬剤師の役割、加えて抗菌薬適正使用を踏まえた抗菌化学療法について講義を行う。
	臨床薬学Ⅰ(調剤の基礎)	平木 洋一		3					2		30	病院薬剤師として実務経験あり。薬剤師として実際に経験した事例を交え、講義・演習を実施する。
	臨床薬学Ⅱ(調剤の実践)	平木 洋一			4				2		30	あり(病院薬剤師) 実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。また、教材に使用するシナリオも自身が経験した症例を匿名化し活用している。
	臨床薬学Ⅲ(薬物療法の実践)	一木 裕子			4				2		30	病院勤務にて、薬剤管理指導等の薬学的管理を実践した。教科書以外の臨床実例等を加えて講義を行う。

授業科目の区	科目名	教員名	配当 年次					単位数		時間数	実務経験のある教員等による授業科目
								必修	選択		
	臨床薬学Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に)	平木 洋一			4	5		1		15	あり(病院薬剤師)実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。
	薬物動態学	西村 信弘		3				2		30	西村信弘:臨床経験(病院薬剤師)あり臨床における薬物動態学の必要性、活用などを授業で説明する。
	臨床薬物動態学	西村 信弘			4			2		30	福田光良、西村信弘、家入一郎:臨床経験(病院薬剤師)あり臨床でのTDMの展開、薬物相互作用予測、回避などについて授業で説明する。
	医薬品情報学Ⅰ(医薬品情報の収集と活用)	宗像 千恵		3				2		30	病院・薬局で薬剤師として勤務した経験がある(宗像、一木)薬剤師として勤務した中で実際に経験した事例等を交え、講義・演習を実施する。(宗像、一木)
	医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究)	一木 裕子			4			1		15	病院・薬局で薬剤師として勤務した経験がある。薬剤師として勤務した中で実際に経験した事例等を交え、講義・演習を実施する。
	環境衛生学	山本 緑		3				2		30	長崎県都市計画審議会委員長崎県公共事業評価監視委員会委員長崎県環境審議会委員長崎県環境影響評価審査会委員我々の暮らしを便利するために計画・実施される公共事業と、それが及ぼす環境への影響やその対策について、現状を紹介する。
	OTC医薬品概論	宗像 千恵		3				2		30	担当教員は臨床現場(病院・薬局)での実務経験があり、その経験を活かし、講義を実施する。担当教員は臨床現場(病院・薬局)での実務経験があり、その経験を活かし、講義を実施する。
	早期体験実習	平木 洋一	1					1		45	【主担当教員】資格:薬剤師実務経験:薬剤師として医療機関における臨床業務に携わる。医療機関等において薬剤師の知識、技術に関する実務経験を有している。その経験を生かし、実習においては、医療施設の課題等を題材として取り入れながら、オムニバス教員と一緒に実習を展開する。
	医療系薬学実習Ⅰ(調剤の基礎と情報収集)	西村 信弘			4			1		45	病院薬剤師として実務経験あり薬剤師としての経験を基盤に実習を実施する。
	医療系薬学実習Ⅱ(調剤の実践と服薬指導)	西村 信弘			4			1		45	あり(病院薬剤師/薬局薬剤師)実務経験で得られた体験を通して、今学んでいる知識等がどのように実臨床で活用されるのかについて伝えるよう努めている。

卒業要件単位数	191	単位
実務経験のある教員等による授業科目	86	単位